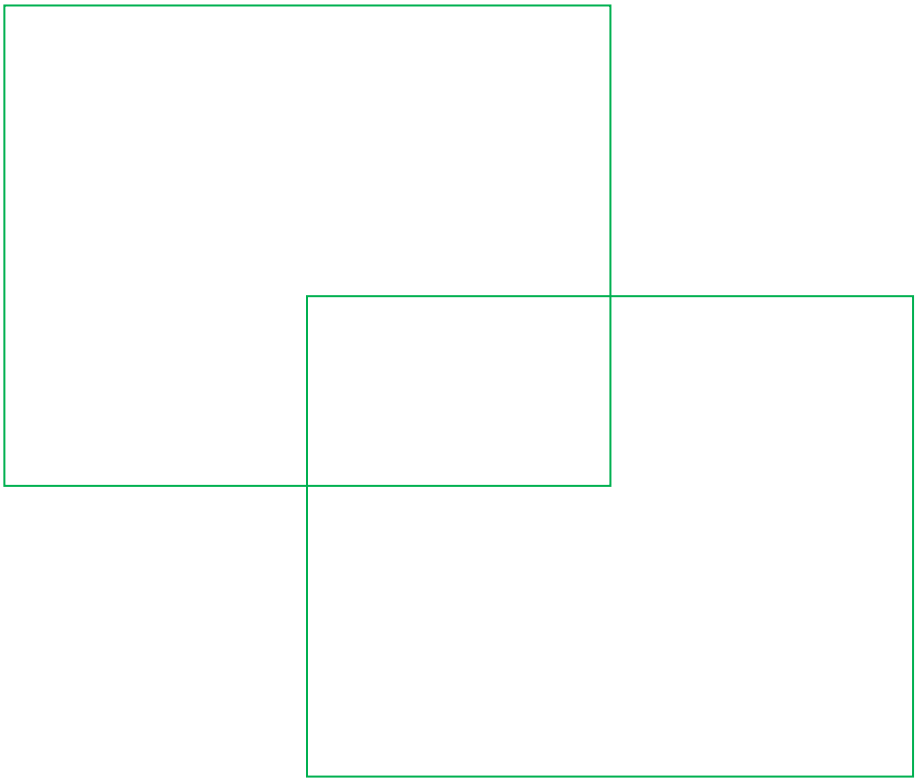
「和」で紡ぎ　未来へ歩む　私たちの斑鳩

第５次斑鳩町総合計画
【前期基本計画】

前期実施計画実施状況

【令和６年度（見込）】



斑　鳩　町

目　次

Ⅰ　実施計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **1**
（１）計画策定の趣旨 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（２）総合計画における位置付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（３）計画の期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（４）進捗管理と公表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（５）重点施策（第２期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略） ・・・・・・・・・・ 2
（６）ＳＤＧｓとの調和 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（７）基本的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（８）実施計画ヒアリングの実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（９）実施計画（まちづくりの基本施策）の施策体系 ・・・・・・・・・・・・・・・ 4

Ⅱ　実施計画搭載事業進捗調書【まちづくりの基本施策】 ・・・・・・・・・・・・ **5**
基本目標１　安全・安心にくらせるまちにします ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
基本目標２　コンパクトで質の高い持続可能なまちにします ・・・・・・・・・・・・・ 30
基本目標３　子どもの未来が輝くまちにします ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
基本目標４　誰もが健やかに生き生きとくらせるまちにします ・・・・・・・・・・・ 130
基本目標５　つながりを大切にするまちにします ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 234
基本目標６　魅力に満ちた活力あるまちにします ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 229
基本目標７　悠久の歴史と文化、自然を大切にするまちにします ・・・・・・・・・・ 269

Ⅲ　重点施策 - 第２期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略 - ・・・・・・・・ **301**
（１）実施計画（重点施策）の施策体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 301
（２）実施計画（重点施策）事業一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 302
　重点１　元気な“斑鳩っ子”を増やすための支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 302
　重点２　“世界遺産　法隆寺”を核としたにぎわいと活力の創出 ・・・・・・・・・ 304
　重点３　選ばれ続ける“斑鳩の里”づくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 306

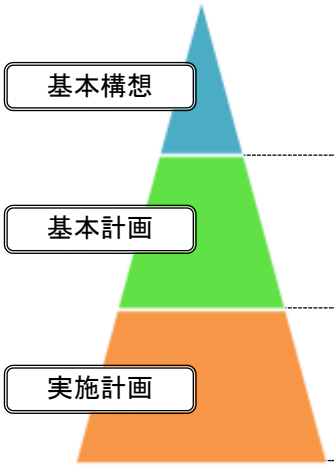
Ⅰ　実施計画の概要

（1）計画策定の趣旨

この実施計画は、第５次斑鳩町総合計画基本構想に定めたまちの将来像『「和」で紡ぎ　未来へ歩む私たちの斑鳩』の実現をめざして、前期基本計画に示した施策を社会経済環境への対応をはかりながら、着実に実施するために策定するもので、毎年度の予算編成の指針となります。

（2）総合計画における位置付け

第５次斑鳩町総合計画は、基本構想、基本計画および実施計画により構成します。



基本構想
本町がめざすまちの将来像とまちづくりの基本的な考え方を定め、その実現にむけた町政運営の基本目標を示します。

基本計画
基本構想に掲げる本町の将来像の実現にむけて、各分野で取り組むべき施策の基本方向・体系を示します。

実施計画
基本計画で示した施策の基本方向・体系に従って、具体的な事業の内容を示します。
環境変化に柔軟に対応し、円滑な進行管理を期するため、毎年度、事業の評価・検証を実施し、必要に応じて見直します。

（3）計画の期間

実施計画の計画期間は、2021（令和３）年度から 2025（令和７）年度の５年間の計画とし、毎年度進捗管理を行い、必要に応じて見直します。

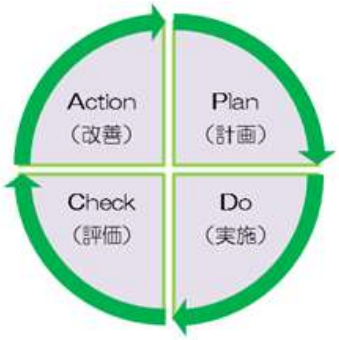
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
基本構想　10 年間									
前期基本計画　5 年間					後期基本計画　5 年間				
第 2 期　まち・ひと・しごと創生総合戦略					第 3 期　まち・ひと・しごと創生総合戦略				
前期実施計画　5 年間					後期実施計画　5 年間				

（4）進捗管理と公表

この実施計画に掲載した事業は、毎年度進捗管理を行い、その成果を検証するとともに、次年度以降の実施計画に反映させていきます。また、毎年度進捗状況を公表します。

＜総合計画におけるＰＤＣＡ サイクル＞

①年間計画を立案（Ｐ）
②予算執行（Ｄ）
③成果を検証（Ｃ）
④事業の改善（Ａ）



（5）重点施策（第２期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略）

第５次斑鳩町総合計画では、第２期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略を総合計画に包含し、重点施策として位置付け、効率的・効果的な進捗管理をはかります。

総合計画のまちづくりにかかる基本施策に基づく事業から、人口減少対策・地域活性化に資するものを抽出し、重点施策の事業として位置付けています。

（6）ＳＤＧｓとの調和

ＳＤＧｓは、2015（平成 27）年の国連サミットにおいて採択された 2030（令和 12）年を期限とする、国際社会全体の共通目標です。

2017（平成 29）年には、地方でのＳＤＧｓの推進が地方創生に資するとして、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略にＳＤＧｓの推進が組み込まれました。

本町では、第５次斑鳩町総合計画の下、地方創生を推進していくこととしており、本計画の各施策分野に、ＳＤＧｓのめざす 17 のゴールを関連付けることで、総合計画、地方創生、ＳＤＧｓを一体的に推進することとします。

出典：国際連合広報センター

（7）基本的事項

「Ⅱ　実施計画搭載事業進捗管理調書」においては、事業の達成度の評価指標として「進捗状況」、今後の方向性を示すものとして「次年度対応」の項目を下記のとおり設定しています。

なお、重点施策（第２期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略）に掲載した事業については【★】、新規事業については【新規】、事業の内容によって、ひとつの事業が複数の計画（施策）に重複する場合は、関連する計画（施策）に【再掲】と事業名欄に表示しています。

（１）進捗状況

◎：達成→年度目標値を達成しているもの。

○：順調→年度目標値達成にむけて、順調に進捗しているもの。（目標の８割以上を達成）

△：やや遅れ→年度目標値達成にむけて、やや遅れが見受けられるもの。
（目標の５割以上を達成）

×：遅れ→年度目標値達成にむけて、遅れが見受けられるもの。（目標の５割未満）

－：評価外→評価の対象としないもの。（当該年度に事業進捗の予定のないもの等）

（２）次年度対応

継続　：現状の計画にそってすすめることが妥当であるもの。

見直し：実施内容の見直しを行ってすすめることが妥当であるもの。

完了　：計画を達成し、事業を終了することが妥当であるもの。

廃止　：計画を達成していないが、事業を廃止することが妥当であるもの。

（8）実施計画ヒアリングの実施

総合計画の実現と計画的な推進にむけての進捗管理を行うため、令和６年１０月１日、１０月２日、１０月３日にヒアリングを実施しました。

※実施計画搭載事業進捗調書は、このヒアリングをとりまとめたものとなっています。

（9）実施計画（まちづくりの基本施策）の施策体系

基本目標		基本施策		施策	
1	安全・安心にくらせるまちにします	1	災害に強いまちづくり	1	災害に対するまちの安全性の確保
				2	消防力の充実
				3	地域防災力の向上
		2	防犯・生活安全の向上	1	防犯活動の強化
				2	交通安全対策の推進
				3	消費者トラブルへの対応
		3	ライフラインの確保	1	上水道施設の整備
				2	公共下水道の整備
2	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします	4	道路・交通網の整備	1	計画的な道路の整備
				2	公共交通の利便性の向上
		5	住宅・生活環境の整備	1	住環境の整備
				2	市街地の整備
		6	循環型社会の推進・環境保全	1	循環型社会の推進
				2	環境保全対策の推進
		7	持続可能な行財政経営	1	行財政改革の強化と効率的な行財政経営
				2	公共施設マネジメントの推進
				3	開かれた町政の推進と発信力の強化
3	子どもの未来が輝くまちにします	8	子育て環境の充実	1	妊娠期から子育て期への切れ目のない支援
				2	多様な保育サービスと受け入れ体制の充実
				3	子育てしやすい環境の充実
		9	子どもの教育の充実	1	時代に応じた教育内容の充実
				2	教育環境の整備・充実
				3	青少年の健全育成
		10	子どもを守るしくみの充実	1	子どもの権利の保障
				2	子どもの貧困対策
4	誰もが健やかに生き生きとくらせるまちにします	11	健康づくり	1	健康づくり活動の推進
				2	保健・福祉・医療の連携と充実
		12	高齢者の福祉・介護の充実	1	高齢者の生きがいづくりの推進
				2	地域包括ケアシステムの構築
		13	障害者福祉の充実	1	地域共生社会の実現にむけた取組みの推進
				2	障害福祉サービスの充実
				3	障害のある子どもへの支援の充実
		14	安定した社会保障制度の運営	1	国民健康保険の運営
				2	福祉医療の充実
				3	国民年金制度の普及促進
				4	生活困窮世帯への支援の充実
				5	互いに支え合えるネットワークの構築
		15	生涯学習・生涯スポーツの推進	1	生涯にわたって学べる環境づくり
				2	生涯スポーツの推進
5	つながりを大切にするまちにします	16	住民活動と協働の推進	1	住民活動の推進によるコミュニティの充実
				2	多様な主体との協働
		17	男女共同参画社会の推進	1	男女共同参画の意識形成
				2	女性活躍の推進
		18	人権・平和社会・多文化共生	1	人権の擁護と啓発の推進
				2	非核平和の推進
				3	多文化共生の推進
6	魅力に満ちた活力あるまちにします	19	観光まちづくりの推進	1	地域ぐるみの観光ブランド力の強化
				2	観光コンテンツの充実
				3	発信力の充実による誘客
		20	商工業の振興	1	活力ある商工業の振興
				2	新産業の創出、起業支援
		21	農業の活性化	1	生産基盤の整備促進
				2	地産地消の推進
7	悠久の歴史と文化、自然を大切にするまちにします	22	歴史・文化遺産の保全と活用	1	歴史文化資源の保全
				2	歴史文化資源の「魅力」の発信
		23	文化・芸術の振興	1	文化・芸術に親しめる環境づくり
				2	文化・芸術活動の支援
		24	風景・景観・自然環境の保全	1	斑鳩の里にふさわしい景観づくり
				2	自然環境の保全と活用

Ⅱ．実施計画登載事業進捗管理調書
【まちづくりの基本施策】

01・災害に強いまちづくり

1・災害に対するまちの安全性の確保

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域防災計画の見直しおよび各種マニュアルの作成 【★】 担当課 安全安心課	大規模災害発生時に迅速な対応をはかることができるよう、必要に応じて、地域防災計画を見直すとともに各種マニュアルを作成する。	災害対策基本法の一部改正（R3.5.10改正・R3.5.20公布）にともなう避難行動要支援者名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、避難支援等を実施するための計画（個別避難計画）の作成が市町村の努力義務となり、地域防災計画見直しにむけた準備をすすめる。	避難行動要支援者名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、避難支援等を実施するための計画（個別避難計画）の作成をふまえた地域防災計画の見直しを行った。また、地域防災計画の見直しに関連して、斑鳩町受援計画を策定し、町職員初動マニュアルを更新した。	随時、災害対策基本法等が改正されるため、地域防災計画を見直す準備を行った。	能登半島地震等をふまえて、国の防災基本計画等が、被災地の情報収集および進入方法、他の自治体からの受援、避難所運営等について改正された（R6.6.27）ため、地域防災計画を見直す準備を行う。	令和6年度に引き続き、国の防災計画改正をふまえ、地域防災計画を見直しする。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	地域防災計画の見直しの必要性の検討	地域防災計画の見直し	地域防災計画の見直しむけた準備	地域防災計画の見直しにむけた準備	地域防災計画の見直し	地域防災計画の見直し	地域防災計画の見直しにむけた準備	地域防災計画の見直しにむけた準備	地域防災計画の見直しにむけた準備	地域防災計画の見直しに向けた準備	地域防災計画の見直し	
	R2年度	地域防災計画の見直し											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
被災者支援システムの運用 【★】 担当課 安全安心課	被災者支援システムを運用し、災害発生時における避難所の開設・運営、緊急物資の供給などについて、迅速かつ円滑な被災者支援の取組みを行うとともに、職員に対する研修の実施により、システム操作に対する習熟をはかる。	被災者支援者システムの操作習熟研修の一環として、『危機管理研修（Web研修）』を実施した。	被災者支援者システムの操作習熟研修の一環として、『危機管理研修』を実施した。	被災者支援システムの操作習熟研修の一環として、『危機管理研修』を実施した。	被災者支援システムの操作習熟研修の一環として、『危機管理研修』を開催する。	被災者支援システムの操作習熟研修の一環として、『危機管理研修』を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
システム操作に関する職員研修の実施回数	R1年度	―	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	
	R2年度	0回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

01・災害に強いまちづくり

1・災害に対するまちの安全性の確保

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
防災ネットワークの構築 担当課 安全安心課	関係機関や関係団体との防災協定の締結にむけ、調整をすすめるとともに、他の自治体等からの支援やボランティア等の受入れと協力体制を整える。	災害時における食糧品の提供等および緊急避難場所としての使用に関する協定の締結にむけた調整・検討を行った。	・災害時における食糧品の提供等に関する協定を締結した。（4件） ・指定緊急避難所および指定避難所である斑鳩西幼稚園がレイモンド斑鳩こども園に建替えとなるが、引き続き避難所とするよう協議を行った。	・災害時における物資の提供に関する協定を締結した。（1件） ・レイモンド斑鳩こども園を指定緊急避難場所等とする協議を行い、協定を締結した。 ・国が災害専門ボランティア育成事業を開始したため、奈良県の動向も見て研究をすすめた。	・災害時における食糧品の提供等および緊急避難場所としての使用に関する協定の締結にむけた調整・検討を行う。 ・国が災害専門ボランティア育成事業を開始したため、奈良県の動向も見て研究をすすめる。	・災害時における食糧品の提供等および緊急避難場所としての使用に関する協定の締結にむけた調整・検討を行う。 ・国が災害専門ボランティア育成事業を開始したため、奈良県の動向も見て研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	災害時における段ボール製品の調達に関する協定の締結	防災協定の締結 受援体制の整備	協定の調整・検討	協定の調整・検討	協定の調整・検討・締結	協定の調整・検討・締結	協定の調整・検討・締結	協定の調整・検討・締結	協定の調整・検討・締結	協定の調整・検討・締結	協定の調整・検討・締結	
	R2年度	防災協定の締結											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
防災情報伝達手段の充実 【★】 担当課 安全安心課	誰もが防災情報を受け取ることができるよう、防災情報伝達手段のさらなる高度化・重層化をはかる。	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行った。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行った。 ・防災行政無線システム整備の準備をすすめた。	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行った。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行った ・防災行政無線システムの整備を行った。	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行った。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行った。 ・防災行政無線戸別受信機の無償貸与を行った。（1,503台）	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行う。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行う。 ・防災行政無線戸別受信機の貸与について、周知拡大をはかる。 ・現場情報手段の充実をはかるため、タブレット等の配備と防災情報システムの構築をすすめた。	防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行う。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行う。 ・防災行政無線戸別受信機の貸与について、周知拡大をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	防災情報伝達手段の高度化・重層化	防災行政無線システム整備の検討	防災行政無線システム整備の検討	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	
	R2年度	Jアラートシステムおよび災害情報伝達システムの運用											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

O1・災害に強いまちづくり

1・災害に対するまちの安全性の確保

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
災害用備蓄品の整備 【★】 担当課 安全安心課	避難所等における食料および生活用品等の計画的な備蓄を行うとともに、女性や高齢者・乳幼児にも配慮した備蓄品の充実をはかる。	主な災害備蓄品の購入状況 ①アルファ米：1,800食 ②おかゆ：1,000食 ③ビスコ：1,800食 ④レトルトパン：1,800食 ⑤粉ミルク：1,500本 ⑥災害用敷マット：700枚 ⑦液体ミルク：96本	主な災害備蓄品の購入状況 ①アルファ米：1,800食 ②おかゆ：1,000食 ③ビスコ：1,800食 ④レトルトパン：1,800食 ⑤粉ミルク：1,500本 ⑥災害用敷マット：700枚 ⑦災害用簡易間仕切り：50張	主な災害備蓄品の購入状況 ①アルファ米：1,800食 ②ビスコ：1,800食 ③レトルトパン：1,800食 ④粉ミルク：1,500本 ⑤液体ミルク：96缶 ⑥生理用品：5,018枚 ⑦子ども紙用おむつ：3,136枚 ⑧大人紙用おむつ：570枚 白石畑集会所用災害備蓄品 毛布・敷マット：各25枚 龍田西地区地域交流館用災害備蓄品 消耗品および備品各種	主な災害備蓄品の購入状況 ①アルファ化米：1,800食 ②ビスコ：1,800食 ③レトルトパン：1,800食 ④粉ミルク：1,500本 ⑤液体ミルク：96缶 ⑥災害用簡易トイレ：33,750回分 ⑦尿取りパッド：3,015枚 ⑧災害用トイレットペーパー540巻	主な災害備蓄品の購入予定 ①アルファ化米：2,750食 ②ビスコ：1,800食 ③レトルトパン：1,800食 ④粉ミルク：1,500本 ⑤液体ミルク：96缶 ⑥災害用簡易トイレ：33,750回分 ⑦尿取りパッド：3,015枚 ⑧職員用備蓄品（水・食糧品）：100人分

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①食料の備蓄数 ②応急給水物質（給水袋）の整備率	R1年度	①30,000食 ②52.3%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	①30,000食 ②100%	
	R2年度	①30,000食 ②100%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
避難行動要支援者支援計画の推進 【★】 担当課 福祉課	避難行動要支援者支援計画に基づき、避難行動要支援者名簿の作成および避難支援等関係者への情報提供をすすめるとともに、避難支援等関係者と連携しながら、避難行動要支援者からの策定の申請に基づき、個別支援計画の策定をすすめる。	避難行動要支援者名簿の更新を実施するとともに、情報提供の同意確認を行う調査を実施し、名簿情報を充実させた。 また、個別支援計画の策定の準備をすすめた。	避難行動要支援者名簿の更新を実施するとともに、情報提供の同意確認を行う調査を実施し、名簿情報を充実させた。 また、個別支援計画の策定した。 個別支援計画説明会を開催。（28事業所参加） 作成対象者131名 作成者　　74名	避難行動要支援者名簿の更新を実施するとともに、情報提供の同意確認を行う調査を実施し、名簿情報を充実させた。 また、個別支援計画の策定をすすめた。 名簿更新後、事業所に委託依頼した。 作成対象者　148名 作成者　　57名	避難行動要支援者名簿の更新を実施するとともに、情報提供の同意確認を行う調査を実施し、名簿情報を充実させる。 また、個別支援計画の策定をすすめ、今後においても継続して取り組む。 避難行動要支援者同意者　365名 個別支援計画作成済　107名 （9月末時点）	避難行動要支援者名簿の更新を実施するとともに、情報提供の同意確認を行う調査を実施し、名簿情報を充実させる。 また、個別支援計画の策定をすすめ、今後においても継続して取り組む。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	避難行動要支援者リストの作成（更新）・運用	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定準備	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	①避難行動要支援者名簿の運用 ②個別支援計画の策定	
	R2年度	避難行動要支援者名簿の運用											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

01・災害に強いまちづくり

1・災害に対するまちの安全性の確保

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国民保護法制への対応 担当課 安全安心課	国等における国民保護措置に関する変更などに応じ、町国民保護計画の修正を行う。	国等における国民保護措置に関する変更などに応じ、国民保護計画の修正の必要性について検討した。	国等における国民保護措置に関する変更などに応じ、国民保護計画の修正の必要性について検討した。	国等における国民保護措置に関する変更などに応じ、国民保護計画の修正の必要性について検討した。	国等における国民保護措置に関する変更などに応じ、国民保護計画の修正の必要性について検討する。	国等における国民保護措置に関する変更などに応じ、国民保護計画の修正の必要性について検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	町国民保護計画の修正	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	町国民保護計画の修正の検討	
	R2年度	町国民保護計画の修正											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
治水対策の推進 担当課 建設農林課	大和川水系河川整備計画の一環とする大和川遊水地事業にて外水氾濫対策を講じながら、奈良県平成緊急内水対策事業などによる内水対策および奈良県管理河川の整備とあわせて、町内の総合的な治水（浸水）対策を推進する。	国）大和川遊水地整備事業の推進 ・三代川地区：用地測量 ・目安地区：現況測量 県）三代川、富雄川河川整備事業の推進 ・事業用地の取得、井堰の統廃合検討 町）平成緊急内水対策事業に着手 ・平面・用地測量、護岸詳細設計を翌年度に繰越した。	国）大和川遊水地整備事業の推進 県）三代川、富雄川河川整備事業の推進 町）平成緊急内水対策事業の推進 ・繰越分の平面・用地測量、護岸詳細設計と本年度分の用地買収（公有財産購入費：66,115千円をR5へ繰越） ・新規適地候補地選定	国）大和川遊水地整備事業の推進 ・関係自治会を対象に事業に関する勉強会を開催 県）三代川、富雄川河川整備事業の推進 ・三代川、整備工事 ・富雄川、井堰統廃合協議 町）平成緊急内水対策事業の推進 ・施設本体部分の用地買収 ・整備工事は埋蔵文化財発掘調査により進捗なし ・工事請負費：114,995千円をR6年度へ繰越した。	国）大和川遊水地整備事業の推進 ・関係自治会との協議を継続 県）三代川、富雄川河川整備事業の推進 ・三代川、整備工事 ・富雄川、井堰統廃合協議 町）平成緊急内水対策事業の推進 ・埋蔵文化財発掘調査が終了し9月から整備工事に着手 ・取水部分の用地買収と整備工事	国）大和川遊水地整備事業の推進 県）三代川、富雄川河川整備事業の推進 町）平成緊急内水対策事業の推進 ・施設底面利活用の検討 町）内水浸水想定区域図の作成

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

01・災害に強いまちづくり

1・災害に対するまちの安全性の確保

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町内浸水被害対策の推進（奈良県平成緊急内水対策事業等） 担当課 建設農林課	奈良県平成緊急内水対策事業とあわせて、雨水を円滑に流下させる施設の整備検討を継続し、町内の浸水常襲地域への対策を推進する。	優位な財源の補助率を適用するため、法隆寺北一丁目地内適地にて予定していた ・平面測量 ・用地測量 ・護岸詳細設計 を翌年度に繰越した。	法隆寺北一丁目地内 ・平面測量（繰越分） ・用地測量（繰越分） ・護岸詳細設計（繰越分） ・用地買収 を実施した。なお公有財産購入費：66,115千円をR5に繰越した。 法隆寺東二丁目地内 ・新規適地候補地を選定した。	法隆寺北一丁目地内 ・施設本体部分の用地買収 ・整備工事は埋蔵文化財発掘調査により進捗なし ・工事請負費：114,995千円をR6年度へ繰越	法隆寺北一丁目地内 ・埋蔵文化財発掘調査が終了し9月から整備工事に着手 ・取水部分の用地買収と整備工事	法隆寺北一丁目地内 ・施設底面利活用の検討

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
都市下水路の管理 担当課 建設農林課	都市下水路の機能を確保するため、引き続き、雨水の排除が円滑にできるよう都市下水路の適切な維持管理を計画的に実施する。	雨水の排除が円滑にできるよう都市下水路（5路線）の適切な維持管理を行った。	雨水の排除が円滑にできるよう都市下水路（5路線）の適切な維持管理を行った。	雨水の排除が円滑にできるよう都市下水路（5路線）の適切な維持管理を行った。	雨水の排除が円滑にできるよう都市下水路（5路線）の適切な維持管理を行う。	雨水の排除が円滑にできるよう都市下水路（5路線）の適切な維持管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

01・災害に強いまちづくり

1・災害に対するまちの安全性の確保

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
建築物の耐震化促進 担当課 都市創生課	大地震による建築物の倒壊等による被害を未然に防止するため、建築物の所有者等による耐震診断や耐震改修の実施を支援することなどにより、建築物の耐震化の促進にむけた取組みを実施する。	・「建築士等による電話相談会」を開催した。 （主催：LSO,共催:斑鳩町） ・5件の耐震診断に対する支援を行った。 ・耐震改修工事に対して補助金を交付する予定であった。 ・1件の耐震シェルター設置に対して補助金を交付した。 ・1件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付した。	・「建築士等による電話相談会」を開催した。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・7件の耐震診断に対する支援を行った。 ・1件の耐震改修工事に対して補助金を交付した。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する予定であった。 ・4件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付した。	・耐震に関する住民フォーラムや電話相談会を開催した。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・6件の耐震診断に対する支援を行った。 ・2件の耐震改修工事に対して補助金を交付した。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する。 ・4件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付した。	・耐震に関する住民フォーラムや電話相談会を開催する。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・12件の耐震診断に対する支援を行う。 ・1件の耐震改修工事に対して補助金を交付する。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する。 ・4件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付する。 （9月末時点）	・耐震に関する住民フォーラムや電話相談会を開催する。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・耐震診断に対する支援を行う。 ・耐震改修工事に対して補助金を交付する。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する。 ・ブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付する。 ・耐震改修促進計画の改定を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①耐震診断、 ②耐震改修 ③ブロック塀撤去 ※補助件数累計	R1年度	①236件 ②48件 ③1件	①265件 ②63件 ③27件	①245件 ②51件 ③7件	①245件 ②49件 ③5件	①250件 ②54件 ③12件	①252件 ②50件 ③9件	①255件 ②57件 ③17件	①258件 ②51件 ③13件	①260件 ②60件 ③22件	①270件 ②52件 ③17件	①265件 ②63件 ③27件	
	R2年度	①240件 ②48件 ③3件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国土強靭化地域計画に基づく取組みの推進 【★】 担当課 安全安心課	斑鳩町国土強靭化地域計画に掲げる施策について、進捗管理を行いながら、着実に実施することにより、「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムの構築をはかる。	国基本計画および県地域計画と調和をはかるとともに、「第5次斑鳩町総合計画」、「第2期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「斑鳩町地域防災計画」との整合をはかりながら、本町の国土強靭化に関する様々な分野の計画を実施した。 また、計画に基づく各事業の進捗状況等を管理した。	国基本計画および県地域計画と調和をはかるとともに、「第5次斑鳩町総合計画」、「第2期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「斑鳩町地域防災計画」との整合をはかりながら、本町の国土強靭化に関する様々な分野の計画を実施した。 また、計画に基づく各事業の進捗状況等を管理した。	国基本計画および県地域計画と調和をはかるとともに、「第5次斑鳩町総合計画」、「第2期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「斑鳩町地域防災計画」との整合をはかりながら、本町の国土強靭化に関する様々な分野の計画を実施した。 また、計画に基づく各事業の進捗状況等を管理した。	国基本計画及び県地域計画と調和をはかるとともに、「第5次斑鳩町総合計画」、「第2期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合計画」、「斑鳩町地域防災計画」との整合をはかりながら、本町の国土強靭化に関する様々な分野の計画を実施する。 また、計画に基づく各事業の進捗状況等を管理する。	国基本計画及び県地域計画と調和をはかるとともに、「第5次斑鳩町総合計画」、「第2期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合計画」、「斑鳩町地域防災計画」との整合をはかりながら、本町の国土強靭化に関する様々な分野の計画を実施する。 また、計画に基づく各事業の進捗状況等を管理する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

01・災害に強いまちづくり

1・災害に対するまちの安全性の確保

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
宅地防災の推進 担当課 都市創生課	地震等による人的被害を防止し、また宅地や家屋、周辺公共施設等の被害を防止・軽減することにより、被災後の早期復旧・コスト低減をはかるため、大規模盛土造成地の調査等を行う。	・宅地防災等担当課長近畿地方ブロック会議出席 ・奈良県大規模盛土造成地の第2次スクリーニング計画策定に関する説明会出席	・第2次スクリーニング計画の策定（奈良県と協働） ※R3補正繰越分	・第2次スクリーニング計画を元に、経過観察。	・第2次スクリーニング計画を元に、経過観察。	・第2次スクリーニング計画を元に、経過観察。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地籍調査の実施 担当課 建設農林課	近年の異常気象や地震による自然災害の被災状況が深刻化するなか、第7次国土調査事業（R2～R11）にて町内の地籍調査を実施し、甚大な被害により地形の形状が変わった地域が発生した場合であっても、正確に土地境界を復元し、災害復旧の迅速化をはかる。	・稲葉車瀬地区にて C工程：図根三角点測量 ・稲葉車瀬地区①にて E1工程：一筆地調査（素図）を実施した。	・稲葉車瀬地区①にて E2工程：一筆地調査（立会） F1工程：図根測量 F2-1工程：一筆測量 ・稲葉車瀬地区②にて E1工程：一筆地調査（素図）を実施した。	・稲葉車瀬地区①にて F2-2工程：原図作成 G工程：地積測量 H工程：地籍簿原案作成 他 ・稲葉車瀬地区②にて E2工程：一筆地調査（立会） F1工程：図根測量 F2-1工程：一筆測量 ・稲葉車瀬地区③にて E1工程：一筆地調査（素図）を実施した。	・稲葉車瀬地区①にて 地籍簿、地籍図の認証・承認 ・稲葉車瀬地区②にて F2-2工程：原図作成 G工程：地積測量 H工程：地籍簿原案作成 他 ・稲葉車瀬地区③にて E2工程：一筆地調査（立会） F1工程：図根測量 F2-1工程：一筆測量	・稲葉車瀬地区②にて 地籍簿、地籍図の認証・承認 ・稲葉車瀬地区③にて F2-2工程：原図作成 G工程：地積測量 H工程：地籍簿原案作成 他 ・稲葉車瀬地区④にて 三代川の廃川敷について法務局、奈良県との事前協議 ・稲葉車瀬地区⑤にて E1工程：一筆地調査（素図）を実施した。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
地籍が明確化された面積の割合	R1年度	10.9%	11.4%	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	11.4%	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

01・災害に強いまちづくり

2・消防力の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
消防団活動の強化 【★】 担当課 安全安心課	地域防災力の充実・強化にむけ、消防団への加入促進をはかるとともに、消防車両の更新や消防団員の装備等資機材等の充実をはかる。	・町広報紙等における団員募集記事を掲載し加入を促した。 ・消防団の装備品充実のため、防火帽およびしころの更新を行った。 ・消防団の資機材充実のため、排水ポンプの配備を行った。	・消防団活動の充実強化をはかるため、消防団の資器材の充実をはかった。 ・消防団員雨衣等の更新や救助用チェーンソー防護用品等を整備した。 ・消防団の装備品充実のため、ホイッスルの配備を行う。 ・消防指令（指揮）車の更新を行った。	・第1分団消防ポンプ車の更新に向けた発注を行った（令和5・6年度2箇年事業）。 ・児童防災リーダー夏休み学習会（地域防災リーダーの育成に掲載）を通じて、保護者世代の加入を促した。 ・消防団員の活動服の更新を行った。 ・消防団出動報酬について検討・改正を行った。	・第1分団消防ポンプ車の更新を行う（令和5・6年度2箇年事業）。 ・児童防災リーダー夏休み学習会（地域防災リーダーの育成に掲載）を通じて、保護者世代の加入を促した。 ・校区別防災訓練等で、消防団のアピールを行い、加入促進をはかる。	・消防団活動の充実強化をはるため、消防団の資器材の充実（エンジンカッター・ドローン等が補助金交付の対象と認められたら購入）をはかり、訓練を行う。 ・児童防災リーダー夏休み学習会（地域防災リーダーの育成に掲載）を通じて、保護者世代の加入を促す。 ・校区別防災訓練等で、消防団のアピールを行い、加入促進をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	第1分団ポンプ車の更新 消防指令車の更新	消防団装備備品・資機材の更新・配備	消防団装備備品・資機材の更新・配備	消防団装備備品・資機材の更新・配備、消防指令車の更新、消防団員加入の促進	消防団装備備品・資機材の更新・配備、消防指令車の更新、消防団員加入の促進	消防ポンプ車の更新、消防団員加入の促進、活動服の更新	消防ポンプ車の更新、消防団員加入の促進、活動服の更新	消防ポンプ車の更新、消防団装備備品資器材の更新・配備、消防団員加入の促進	消防ポンプ車の更新、消防団装備備品資器材の更新・配備、消防団員加入の促進	消防団装備備品資器材の更新・配備、消防団員加入の促進	
	R2年度	第2分団ポンプ車の更新、 消防団員用のゴムボート、救命胴衣、フロー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
消防水利の充実 担当課 安全安心課	消防水利の充実にむけ、公共施設等の整備にあわせ、消火栓や防火水槽を計画的に設置するとともに、ため池等を消防水利として利用できるよう、引き続き、水利組合等に対し、協力を求める。	・公共施設の整備に合わせ、防火水槽や消火栓を設置し、消防水利体制の強化・充実をはかった。	・公共施設の整備に合わせ、防火水槽や消火栓を設置し、消防水利体制の強化・充実をはかった。	・公共施設の整備に合わせ、防火水槽や消火栓を設置し、消防水利体制の強化・充実をはかった。 ・斑鳩町水道事業管理者に対して、消火栓の移設工事に対する負担金を支出した。	・公共施設の整備に合わせ、防火水槽や消火栓を設置し、消防水利体制の強化・充実をはかる。	・公共施設の整備に合わせ、防火水槽や消火栓を設置し、消防水利体制の強化・充実をはかる。 ・奈良県広域水道企業団に対して、配水管移設工事および老朽管更新工事にともなう消火栓のリニューアル等の差額分を負担金として支出する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
消防水利として利用可能な、ため池の箇所数	R1年度	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	14箇所	
	R2年度	14箇所											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

01・災害に強いまちづくり

2・消防力の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
消防施設整備の実施および支援 担当課 安全安心課	消防水利の充実にむけ、防火水槽や消火栓の整備をすすめるとともに、自衛消防団活動および自治会における消防施設の整備を支援する。	・自衛消防団ならびに自主防災組織の設立および運営に対し、補助金を交付した。 ・開発協議に基づき消火栓（1栓）を設置した。 ・消火栓の移設・修繕等の工事負担金を支出した。	・自衛消防団の運営に対し、補助金の交付を行った。 ・自治会における消防施設の整備を支援した。	・自衛消防団の運営に対し、補助金の交付を行った。 ・自治会における消防施設の整備を支援した。	・自衛消防団の運営に対し、補助金の交付を行う。 ・自治会における消防施設の整備を支援を行う。 ・龍田西地区地域交流館の建設にあたり、容量60tの防火水槽1基を設置した。	・自衛消防団の運営に対し、補助金の交付を行う。 ・自治会における消防施設の整備の支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
新設防火水槽の整備箇所数（累計）	R1年度	―	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	○	継続		

01・災害に強いまちづくり

3･地域防災力の向上

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自主防災組織等の設立の促進と活動支援 【★】 担当課 安全安心課	地域における自主防災体制を確立するとともに、地域防災力の向上にむけ、自主防災組織の活動を支援する。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行った。 ・斑鳩町協働のまちづくり活動提案事業のテーマとして、「地域防災向上サポート事業」を募集テーマとして需要の有無を検討したが、応募がなかった。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行った。 ・自主防災組織に、11月23日の校区別防災訓練に参加してもらった。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行った。 ・自主防災連絡会の設立および活動を支援し、自主防災組織の団体間での連携強化をはかった。 ・自主防災連絡会に対し、11月11日の校区別防災訓練に参加を促した。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行う。 ・自主防災連絡会の自主的な活動を支援し、自主防災組織の団体間での連携強化をはかる。 ・自主防災連絡会に対し、11月10日の校区別防災訓練に参加を促す。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行う。 ・自主防災連絡会の自主的な活動を支援し、自主防災組織の団体間での連携強化をはかる。 ・自主防災連絡会に対し、校区別防災訓練に参加を促す。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
自主防災組織結成数（累計）	R1年度	28団体	40団体	31団体	31団体	32団体	30団体	31団体	30団体	31団体	37団体	40団体	
	R2年度	30団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
防災訓練の実施および支援 担当課 安全安心課	自治会や自主防災組織における防災訓練の実施を支援するとともに、関係機関や関係団体との連携のもと、さまざまな状況を想定した多様な防災訓練を実施する。	・自治会や自主防災組織に対し、防災訓練・出前講座の実施について働きかけを行った。 ・12月13日法隆寺における避難誘導訓練を実施した。 ・9月号町広報紙に防災クッキングレシピ（動画含）を掲載した。 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ・防災クッキング	・自治会や自主防災組織に対し、防災訓練・出前講座の実施について働きかけを行った。 ・校区防災訓練を実施した。（中央公民館） ・法隆寺における避難誘導訓練を実施した。 ・防災クッキングを実施した。合わせてレシピを町広報紙、facebookに掲載した。	・自治会や自主防災組織に対し、防災訓練・出前講座の実施について働きかけを行った。 ・校区別防災訓練を実施した。（東小学校） ・法隆寺における避難誘導訓練を実施した。 ・まるごとまちごとハザードマップの設置により、浸水深や避難場所等の知識の普及をはかり、災害時の自主的な避難を促すことにより、被害の軽減に努めた。	・自治会や自主防災組織に対し、防災訓練・出前講座の実施について働きかけを行う。 ・校区別防災訓練を実施する。（西小学校） ・法隆寺における避難誘導訓練を実施する。	・自治会や自主防災組織に対し、防災訓練・出前講座の実施について働きかけを行う。 ・校区別防災訓練を実施する。（斑鳩小学校） ・法隆寺における避難誘導訓練を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
町主催の防災訓練開催回数	R1年度	1回	2回／年	2回／年	1回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	
	R2年度	15回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

O1・災害に強いまちづくり

3･地域防災力の向上

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域防災リーダーの育成 担当課 安全安心課	地域防災力の向上にむけ、地域の防災リーダーとして活動する防災士を育成するため、奈良県が実施する防災士養成講座の受講および防災士資格の取得に要する費用を助成する。	・地域の防災リーダーを養成するため、防災士育成事業補助金の交付を行った。	・地域の防災リーダーを養成するため、防災士育成事業補助金の交付を行う予定であったが、申請がなかった。 ・防災士連絡会を開催し、災害時における活動等ついて、協議を行った。	・地域の防災リーダーを養成するため、防災士育成事業補助金の交付を行った。 ・国が災害専門ボランティア育成事業を開始したため、奈良県の動向も見て研究を行った。（再掲） ・防災士連絡会を開催し、災害時における活動等ついて、協議を行った。 ・児童防災リーダー夏休み学習会を実施した。	・地域の防災リーダーを養成するため、防災士育成事業補助金の交付を行う。 ・国が災害専門ボランティア育成事業を開始したため、奈良県の動向も見て研究を行う。（再掲） ・自主防災連絡会に防災士の出席を依頼し、災害時における活動等について、協議を行う。 ・児童防災リーダー夏休み学習会を実施する。	・地域の防災リーダーを養成するため、防災士育成事業補助金の交付を行う。 ・国が災害専門ボランティア育成事業を開始したため、奈良県の動向も見て研究を行う。（再掲） ・自主防災連絡会に防災士の出席を依頼し、災害時における活動等について、協議を行う。 ・児童防災リーダー夏休み学習会を実施する。

指 標		実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
防災士の資格取得支援に係る補助件数（累計）	R1年度	1件	30件	10件	6件	10件	10件	15件	10件	15件	15件	30件	
	R2年度	5件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	△	継続	○	継続		

02・防犯・生活安全の向上

1・防犯活動の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
防災情報伝達手段の充実 【再掲】 【★】 担当課 安全安心課	誰もが防災情報を受け取ることができるよう、防災情報伝達手段のさらなる高度化・重層化をはかる。	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行った。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行った。 ・防災行政無線システム整備の準備をすすめた。	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行った。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行った。 ・防災行政無線システムの整備を行った。	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行った。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行った。 ・防災行政無線戸別受信機の無償貸与を行った。（1,503台）	・防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行う。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行う。 ・防災行政無線戸別受信機の貸与について、周知拡大をはかる。 ・現場情報手段の充実をはかるため、タブレット等の配備と防災情報システムの構築をすすめた。	防災情報メール、緊急速報メールおよび災害情報伝達システム等の運用を行う。 ・登録者増加にむけ、町広報紙や行政出前講座を通じて、防災情報メールおよび災害情報伝達システムの周知を行う。 ・防災行政無線戸別受信機の貸与について、周知拡大をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	防災情報伝達手段の高度化・重層化	防災行政無線システム整備の検討	防災行政無線システム整備の検討	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	防災行政無線システムの構築	
	R2年度	Jアラートシステムおよび災害情報伝達システムの運用											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域防犯体制の充実 【★】 担当課 安全安心課	誰もが安全で安心してくらせる地域社会の形成にむけ、関係機関のほか、自主防犯組織や自治会との協働により、生活安全推進協議会の活動、こども110番の家やSOSネットワークなどの取組みを通じて、地域防犯のためのネットワークづくりの充実をはかる。	・子ども110番の家の旗の設置について、関係機関へ協力を求めるほか、町広報紙などで周知啓発を行った。 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】 ・第24回安全と安心を守る町民の集いの開催 ・第20回身近な犯罪から家庭を守る町民集会の開催	・子ども110番の家の旗の設置について、関係機関へ協力を求めるほか、町広報紙や行政出前講座で周知啓発を行った。 ・第20回身近な犯罪から家庭を守る町民集会の開催 ※「身近な犯罪から家庭を守る町民集会」と「安全と安心を守る町民の集い」について、一本化した。	・子ども110番の家の旗の設置について、関係機関へ協力を求めるほか、町広報紙や行政出前講座で周知啓発を行った。 ・第21回身近な犯罪から家庭を守る町民集会の開催 ・教育委員会、西和警察署と連携し、学童に対し防犯教育をすすめた。 ・防犯体制の強化のため15ヵ所・17台の防犯カメラを増設した。（令和5年度：8ヵ所・9台）	・子ども110番の家の旗の設置について、関係機関へ協力を求めるほか、町広報紙や行政出前講座で周知啓発を行う。 ・第22回身近な犯罪から家庭を守る町民集会の開催（予定） ・教育委員会、西和警察署と連携し、学童に対し防犯教育をすすめる。 ・防犯体制の強化のため15ヵ所・17台の防犯カメラを増設する。（令和6年度：7ヵ所・8台）	・子ども110番の家の旗の設置について、関係機関へ協力を求めるほか、町広報紙や行政出前講座で周知啓発を行う。 ・第23回身近な犯罪から家庭を守る町民集会の開催（予定） ・教育委員会、西和警察署と連携し、学童に対し防犯教育をすすめる。 ・防犯カメラ（37台）の維持管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
防犯に関する町民集会の開催回数	R1年度	2回	2回／年	2回／年	―	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	
	R2年度	0回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

02・防犯・生活安全の向上

1・防犯活動の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
旧法隆寺駐在所跡地の防犯拠点整備 担当課 安全安心課	令和4年に解体された法隆寺駐在所跡地に、地域住民の安全・安心の拠り所となり、世界遺産である法隆寺の玄関口となる移動交番を誘致する。			・警察との協議 （「動く交番の導入」の実施要望） ・所有者である法隆寺との協議 （「動く交番の導入」に先立ち、土地使用の許可）	・「動く交番の導入」にむけた、当該敷地の舗装工事を行った。	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		移動交番の誘致					警察・所有者との協議	警察・所有者との協議	移動交番の誘致	移動交番の誘致		
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
								○	継続	◎	完了		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
防犯灯の整備の実施および支援 【★】 担当課 安全安心課	誰もが安全で安心してくらせる地域社会の形成にむけ、町が管理する防犯灯の新設、維持管理を行うとともに、自治会が管理する防犯灯の新設、維持管理に対する助成を行う。	・自治会が管理する防犯灯の設置および維持管理に要する費用について助成を行った。 ・自治会区域外の防犯灯について、町で維持管理を行った。 ・町が管理する防犯灯について、随時LED化を行った。 ・今後、自治会で設置したLED防犯灯が、耐用年数を迎えるにあたり、新たに自治会負担が生じないよう、要綱改正を行った。	・自治会が管理する防犯灯の設置および維持管理に要する費用について助成を行った。 ・自治会区域外の防犯灯について、町で新設および維持管理を行った。 ・町が管理する防犯灯について、随時LED化をすすめた。	・自治会が管理する防犯灯の設置および維持管理に要する費用について助成を行った。 ・自治会区域外の防犯灯について、町で新設および維持管理を行った。 ・町が管理する防犯灯について、随時LED化をすすめた。 ・補助金申請・工事発注に係る事務手続きの簡素化を検討した。	・自治会が管理する防犯灯の設置および維持管理に要する費用について助成を行う。 ・自治会区域外の防犯灯について、町で新設および維持管理を行う。 ・町が管理する防犯灯について、随時LED化をすすめる。 ・補助金申請・工事発注に係る事務手続きの簡素化をすすめる。	・自治会が管理する防犯灯の設置および維持管理に要する費用について助成を行う。 ・自治会区域外の防犯灯について、町で新設および維持管理を行う。 ・町が管理する防犯灯について、随時LED化をすすめる。 ・補助金申請・工事発注に係る事務手続きの簡素化をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
自治会管理防犯灯設置灯数（累計）	R1年度	2,638灯	2,758灯	2,679灯	2,675灯	2,699灯	2,675灯	2,719灯	2,692灯	2,739灯	2,712灯	2,758灯	
	R2年度	2,659灯											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

02・防犯・生活安全の向上

1・防犯活動の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自治会管理防犯カメラの設置に対する支援 【★】 担当課 安全安心課	犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進し、自発的な防犯活動を支援するため、自治会等に対し、防犯カメラの設置費用の一部を助成する。	自治会等における防犯カメラの設置に対する補助制度の運用行った。 3自治会　4台　544,000円	自治会等における防犯カメラの設置に対する補助制度の運用を行った。 2自治会　3台　267,500円	自治会等における防犯カメラの設置に対する補助制度の運用を行った。 2自治会　374,000円	自治会等における防犯カメラの設置に対する補助制度の運用を行う。 1自治会　191,000円（9月末時点）	自治会等における防犯カメラの設置に対する補助制度の運用を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
自治会防犯カメラの補助台数（累計）	R1年度	4台	40台	18台	13台	24台	16台	30台	18台	35台	22台	40台	
	R2年度	9台											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

02・防犯・生活安全の向上

2･交通安全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
交通安全対策の実施 担当課 安全安心課	警察などの協力を得て、幼稚園、保育園、小学校にて交通安全教室等を開催し、園児、児童への交通安全意識の高揚をはかる。	前期においては、交通ルール習得を目的としたDVDおよび紙芝居での交通安全学習を各園で実施し、後期においては、各園および小学校を対象とした交通安全教室を実施した。	前期においては、交通ルール習得を目的としたDVDおよび紙芝居での交通安全学習を各園で実施し、後期においては、各園および小学校を対象とした交通安全教室を実施した。	前期においては、交通ルール習得を目的としたDVDおよび紙芝居での交通安全学習を各園で実施し、後期においては、各園および小学校を対象とした交通安全教室を実施した。	前期においては、交通ルール習得を目的としたDVDおよび紙芝居での交通安全学習を各園で実施し、後期においては、各園および小学校を対象とした交通安全教室を実施する。	前期においては、交通ルール習得を目的としたDVDおよび紙芝居での交通安全学習を各園で実施し、後期においては、各園および小学校を対象とした交通安全教室を実施する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
交通安全教室の開催回数	R1年度 18回	18回／年	18回／年	16回／年	18回／年	16回／年	18回／年	18回／年	18回／年	18回／年	18回／年	
	R2年度 18回											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
運転免許自主返納支援制度の推進 担当課 安全安心課	ICOCAカードの交付など、運転免許証自主返納者に対する支援を推進し、さらなる高齢者等の交通事故未然防止をはかる。	・高齢者の自動車運転による交通事故を未然に防ぐため、高齢者の運転免許証の自主返納を推進し、公共交通の利用促進のためICOCAカードを交付した。 交付件数　106件	高齢者の自動車運転による交通事故を未然に防ぐため、高齢者の運転免許証の自主返納を推進し、公共交通の利用促進のためICOCAカードを交付した。 交付件数　131件	高齢者の自動車運転による交通事故を未然に防ぐため、高齢者の運転免許証の自主返納を推進し、公共交通の利用促進のためICOCAカードを交付した。 交付件数　97件	高齢者の自動車運転による交通事故を未然に防ぐため、高齢者の運転免許証の自主返納を推進し、公共交通の利用促進のためICOCAカードを交付する。 交付件数　49件（9月末時点）	高齢者の自動車運転による交通事故を未然に防ぐため、高齢者の運転免許証の自主返納を推進し、公共交通の利用促進のためICOCAカードを交付する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

02・防犯・生活安全の向上

2･交通安全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
放置自転車の防止 担当課 安全安心課	放置自転車を防止するため、放置禁止区域の定期的な巡回を行うとともに啓発活動を実施する。	放置禁止区域内の場所等の啓発を広く行い、放置台数および移送台数を減少させた。	放置禁止区域内の場所等の啓発を広く行い、放置台数および移送台数を目標台数より減少させた。	放置禁止区域内の場所等の啓発を広く行い、放置台数および移送台数を目標台数より減少させた。	放置禁止区域内の場所等の啓発を広く行い、放置台数および移送台数を目標台数より減少させる。	放置禁止区域内の場所等の啓発を広く行い、放置台数および移送台数を目標台数より減少させる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
禁止区域内放置自転車移送台数	R1年度	21台	20台／年	20台／年	8台／年	20台／年	14台／年	20台／年	15台／年	20台／年	20台／年	20台／年	
	R2年度	11台											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
交通安全施設の整備 担当課 建設農林課	交通事故防止のためのガードレールやカーブミラーなど各種交通安全施設の新設および維持補修を行うとともに、道路パトロールを実施する。	交通事故防止にむけて、ガードレールやカーブミラーなどの各種交通安全施設の新設および維持管理を行った。	交通事故防止にむけて、ガードレールやカーブミラーなどの各種交通安全施設の新設および維持管理を行った。	交通事故防止にむけて、ガードレールやカーブミラーなどの各種交通安全施設の新設および維持管理を行った。	交通事故防止にむけて、ガードレールやカーブミラーなどの各種交通安全施設の新設および維持管理を行う。	交通事故防止にむけて、ガードレールやカーブミラーなどの各種交通安全施設の新設および維持管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

02・防犯・生活安全の向上

3・消費者トラブルへの対応

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
消費者被害の未然防止 担当課 安全安心課	消費形態の多様化に伴い、消費者被害も複雑・多様になっていることから、被害の未然防止にむけ、被害状況や被害者の保護に関する情報などを提供するため、町広報紙に相談事例等を掲載する。	町広報紙への相談事例の掲載（年間6回） 「訪問販売お断りシール」を消費生活相談窓口等で配布 特殊詐欺等被害防止対策機器購入費助成金の交付 助成件数　41件	町広報紙への相談事例の掲載（年間6回） 「訪問販売お断りシール」を消費生活相談窓口等で配布 特殊詐欺等被害防止対策機器購入費助成金の交付 助成件数　39件	町広報紙への相談事例の掲載（年間6回） 「訪問販売お断りシール」を消費生活相談窓口等で配布 特殊詐欺等被害防止対策機器購入費助成金の交付 助成件数　60件	町広報紙への相談事例の掲載（年間6回） 「訪問販売お断りシール」を消費生活相談窓口等で配布 特殊詐欺等被害防止対策機器購入費助成金の交付 助成件数　33件（9月末時点）	町広報紙への相談事例の掲載（年間6回） 「訪問販売お断りシール」を消費生活相談窓口等で配布 特殊詐欺等被害防止対策機器購入費助成金の交付

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
消費者相談の実施 担当課 安全安心課	消費生活相談を毎週木曜日午後および第4木曜日午前・午後に開設する。また、生駒郡4町の輪番制による相談窓口の広域連携を実施する。	消費者相談窓口の開設 毎週木曜日午後 第4木曜日午前・午後 生駒郡4町による相談窓口輪番制での広域連携を行った。	消費者相談窓口の開設 毎週木曜日午後 第4木曜日午前・午後 生駒郡4町による相談窓口輪番制での広域連携を行った。	消費者相談窓口の開設 毎週木曜日午後 第4木曜日午前・午後 生駒郡4町による相談窓口輪番制での広域連携を行った。	消費者相談窓口の開設 毎週木曜日午後 第4木曜日午前・午後 生駒郡4町による相談窓口輪番制での広域連携を行う。	消費者相談窓口の開設 毎週木曜日午後 第4木曜日午前・午後 生駒郡4町による相談窓口輪番制での広域連携を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
相談窓口開設数	R1年度	62回	60回／年	60回／年	59回／年	60回／年	58回／年	60回／年	61回／年	60回／年	60回／年	60回／年	
	R2年度	60回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

03・ライフラインの確保

1・上水道施設の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
取水井の管理 担当課 上下水道課	県水への水源転換（自己水廃止）後に水源として不要となった取水井について、町が水源として利用開始した際に地元と締結した契約に基づき、一定期間維持管理を行う。	契約に基づく井戸の維持管理等を行った。	・目安水利組合との覚書に基づき取水井5箇所の維持管理を行った。 （履行期間：10年） ・不要となった取水井の解体（解体対象） 幸前地区の井戸（2本）	・目安水利組合との覚書に基づき取水井5箇所の維持管理を行った。 （履行期間：10年） ・三井、幸前地区の井戸（2本）の撤去を行った。	・目安水利組合との覚書に基づき取水井5箇所の維持管理を行う。 （履行期間：10年） ・大字岡本・大字幸前地区の井戸（2本）の撤去	県域水道一体化にともない、所管が当町から変更となることから、奈良県広域水道企業団にて実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
有収率の向上 担当課 上下水道課	漏水などのムダを極力なくし、有効に水道水を供給していく。 漏水調査を実施し、漏水箇所の早期復旧を行う。	給水区域を配水区域（三井・第一・北部）で分割し3年計画で漏水調査を実施。今年度については、北部配水池配水区域において調査を実施し、漏水箇所の復旧を行った。	埋設後40年を経過した路線を対象に漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を行った。	埋設後40年を経過した路線を対象に漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を行った。	埋設後40年を経過した路線を対象に漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を行う。	県域水道一体化にともない、所管が当町から変更となることから、奈良県広域水道企業団にて実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
有収率（年間の料金徴収の対象となった割合・・・有収水量／給水量）	R1年度	93.8%	95.0%	95.0%	93.1%	95.0%	92.6%	95.0%	93.6%	95.0%	95.0%	―	
	R2年度	92.2%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

03・ライフラインの確保

1・上水道施設の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
県域水道一体化 担当課 上下水道課	県内の水道事業を統合し、業務の効率化、施設投資の最適化、水源の適正化をはかる。	奈良県広域水道企業団設立準備協議会に参加し、各市町村が各々経営する飲料水供給事業等の統合のための協議、検討を行った。	奈良県広域水道企業団設立準備協議会などに参加し、令和5年2月に基本計画の合意・策定、基本協定の締結を行うとともに同年3月に議会において、奈良県広域水道企業団設立準備協議会とするための議案が可決された。	4月に奈良県広域水道企業団設立準備協議会が法定協議会として発足。 令和7年度に予定している事業統合にむけた準備のため、協議会・幹事会・作業部会に参加し、諸課題の継続検討とともに、設立許可、水道事業認可等の事前調整を行った。	令和7年度に予定している事業統合にむけ、議会での関係議案（企業団設立議案・関係条例等廃止議案）の提案を行う。	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
事業統合（企業団体事業開始）	R1年度	―	企業団設立	―	―	―	―	―	―	企業団設立	企業団設立		
	R2年度	覚書締結											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	完了		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
県営水道への水源転換 担当課 上下水道課	県営水道に水源転換した場合に不要となる水道施設の有効活用について検討をすすめる。	県営水道へ水源転換を行ったことから、残存する水道資産の有効活用について検討を行った。	残存する水道施設について、町で活用する資産を決定し、その他の資産は企業団と資産の引き継ぎについて協議した。	三井浄水場内の不要な浄水施設（急速ろ過池、薬品沈殿池等）の処分（解体）を行った。	庁舎改修として、多目的トイレの設置やLED化工事を行うことで、庁舎活用方法の幅を広げる。	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―		
	R2年度	転換時期の決定											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	完了		

03・ライフラインの確保

1・上水道施設の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
浄水場の廃止 担当課 上下水道課	県営水道への水源転換を行い、浄水場の稼働を停止する。	県営水道への水源転換を行い、浄水場の稼働を停止した。				

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	浄水場の稼働停止	浄水場の稼働停止	浄水場の稼働停止								
	R2年度	水源転換の時期決定											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	完了								

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老朽管の更新（石綿管） 担当課 上下水道課	良好な水の安定供給をはかるため、老朽石綿管の更新をすすめる。	計画的に更新をすすめるとともに、他事業と連携した取組みを行い、経費節減に努めた。	計画的に更新をすすめるとともに、他事業と連携した取組みを行い、経費節減に努めた。	計画的に更新をすすめるとともに、他事業と連携した取組みを行い、経費節減に努めた。 【石綿管更新箇所】 ・龍田北4丁目、大字岡本地内　L=133m	計画的に更新をすすめるとともに、他事業と連帯した取組みを行い、経費節減に務める。	県域水道一体化にともない、所管が当町から変更となることから、奈良県広域水道企業団にて実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
進捗率 整備済延長/1,002m（R1年度未改良延長）	R1年度	10.0%	57.9%：580m（整備延長）/1,002m	25.9%	27.9%	33.9%	38.8%	41.9%	52.1%	54.1%	54.1%	―	
	R2年度	18.0%：180m（R2整備予定延長）/1,002m											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

03・ライフラインの確保

1・上水道施設の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老朽管の更新（塩化ビニル管） 担当課 上下水道課	水道水の安定供給をはかるため、老朽塩化ビニル管の更新をすすめる。	アセットマネジメントにより計画的に老朽管の更新を行うとともに、他事業との連携もはかりながら、事業をすすめた。	アセットマネジメントにより計画的に老朽管の更新を行うとともに、他事業との連携もはかりながら、事業をすすめた。 【老朽管更新路線】 ・興留6丁目（服部道） ・大字三井・大字岡本　等	アセットマネジメントにより計画的に老朽管の更新を行うとともに、他事業との連携もはかりながら、事業をすすめた。 【老朽管更新路線】 ・阿波3丁目 ・龍田北4丁目 ・大字三井、大字岡本、大字幸前	アセットマネジメントにより計画的に老朽管の更新を行うとともに、他事業との連携もはかりながら、事業をすすめる。 【老朽管更新予定路線】 ・幸前1丁目 ・阿波3丁目 ・神南1丁目等	県域水道一体化にともない、所管が当町から変更となることから、奈良県広域水道企業団にて実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
進捗率 整備済延長/4,190m（R1年度末未改良延長）	R1年度	0.5%	54.7%：2,290m（整備済延長）/4,190m	14.6%	18.2%	24.6%	27.2%	34.6%	37.4%	54.6%	54.6%	―	
	R2年度	4.5%：190m（R2整備延長）/4,190m											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
水道情報管理のシステム化 担当課 上下水道課	震災や水道管事故に対し、迅速かつ的確な対応できる水道情報管理システムについて、整備･運用を行う。	管路更新を実施した箇所の図面修正等を行った。	管路更新を実施した箇所の図面修正等を行った。	管路更新を実施した箇所の図面修正等を行った。	管路更新を実施した箇所の図面修正等を行う。	県域水道一体化にともない、所管が当町から変更となることから、奈良県広域水道企業団にて実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
システム整備済延長	R1年度	延長2.5km	3km（整備予定延長）×5年（計画期間）＝15km	2.5km	2.5km	2.5km	2.5km	3.0km	2.5km	3.0km	2.4km	―	
	R2年度	3.0km											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

03・ライフラインの確保

2･公共下水道施設の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公共下水道の普及促進 担当課 上下水道課	公共用水域の水質保全と生活環境の改善、公共下水道の普及促進を目的に、「公共下水道事業計画」に基づく、面整備をすすめる。 平成30年度から令和6年度の下水道整備計画に基づき整備をすすめるとともに、区域の見直しを含む次期事業計画の策定を行う。	目安北2丁目、目安4丁目において2か年継続事業のほか、9件の工事と2件の測量設計業務を実施し、約7haの面整備をすすめた。	2か年継続事業の2年目として目安北2丁目、目安4丁目において工事を実施するなど面整備をすすめた。	龍田西5丁目、龍田南5丁目、法隆寺北1･2丁目等において面整備をすすめた。目安北2丁目においては、令和5年度･6年度の2か年継続事業として工事発注を行った。	2か年継続事業の2年目として、目安北1･2丁目の工事を実施する。また、令和5年度に実施している続きとして、龍田西6丁目、龍田南5丁目、法隆寺北2丁目の面整備をすすめる。	龍田西6丁目、龍田南5･6丁目、目安北1･2丁目、法隆寺北1丁目、阿波3丁目地内の面整備を進める。 また、いかるがパークウェイ事業に併せた施工を行うため、測量調査設計業務の発注を行う。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
普及率 （供用開始人口/計画区域内人口）	R1年度 63.4%（17,846人／28,164人）	74.0%	66%	66%	68%	69%	71%	71%	73%	73%	74%	
	R2年度 65.8%（18,555人／28,193人）											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公共下水道施設台帳の適切な管理 担当課 上下水道課	公共下水道の整備にともなう施設の情報提供や維持管理を目的として、施設管理台帳システムの適切な更新と管理を実施する。	公共下水道台帳に整備済みの箇所を追加し、適正に維持管理を行う。	公共下水道台帳に整備済みの箇所を追加し、適正に維持管理を行った。	公共下水道台帳に整備済みの箇所を追加し、適正に維持管理を行った。	公共下水道台帳に整備済みの箇所を追加し、適正に維持管理を行う。	公共下水道台帳に整備済みの箇所を追加し、適性に維持管理を行う。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
台帳整備率	R1年度 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	R2年度 100.0%											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

03・ライフラインの確保

2・公共下水道施設の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公共下水道の効率的な整備 担当課 上下水道課	公共下水道の普及促進事業をすすめるにあたり、関連事業との調整を密にし、できる限り一体的な事業実施をはかることで、効率的な整備をすすめる。	平成30年度から令和6年度の下水道整備計画に基づき整備をすすめた。	平成30年度から令和6年度までの事業計画に基づき整備をすすめた。	平成30年度から令和6年度までの事業計画に基づき整備をすすめるとともに、他事業と連携して、早期に整備を行う区域について編入を検討した。	平成30年度から令和6年度までの整備計画に基づき整備をすすめる。 また、大和川上流流域下水道事業計画の延伸にともない、令和7年度から令和13年度までの整備計画の変更を行う。	令和7年度から令和13年度の事業計画に基づき整備をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	－	－	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	－											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
水洗化率の向上 担当課 上下水道課	公共下水道が使える区域では、家屋等が下水道接続することによって事業効果が発揮され、公共下水道事業の健全な経営が行えることから、公共下水道供用区域における接続率の向上に努める。	供用開始区域における未接続世帯に対し、接続促進の文書の投函、戸別訪問により、促進をはかった。 さらに、先進事例など、効果的な促進手法を調査研究を行った。 接続申請件数　185件 接続申請総数　4,658件 接続人口　14,000人 融資あっせん利用者　3人 浄化槽雨水貯留施設転用　5人	供用開始区域における未接続世帯・共同住宅等へ促進の働きかけを行った。 接続申請件数　162件 接続申請総数　4,824件 接続人口　14,583人 融資あっせん利用者　0人 浄化槽雨水貯留施設転用　4人	供用開始区域における未接続の世帯・共同住宅等の所有者に接続促進の文書の郵送するなどにより促進をはかった。 接続申請数　233件 接続申請総数　5,057件 接続人口　15,162人 融資あっせん利用者　1人 浄化槽雨水貯留施設転用　4人	供用開始区域における未接続の世帯・共同住宅等の所有者に接続促進の文書の郵送するなどにより促進をはかる。	供用開始区域における未接続の世帯・共同住宅等の所有者に接続促進の文書の郵送するなどにより促進をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
水洗化率（接続率） （公共下水道利用人口/供用開始人口）	R1年度	70.0% （12,484人／17,846人）	72.0%	72.0%	74.9%	72.0%	74.5%	72.0%	76.2%	72.0%	76.4%	72.0%	
	R2年度	73.1% 13,562人／18,555人）											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

04・道路・交通網の整備

1・計画的な道路の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
道路環境の整備 担当課 建設農林課	適正な道路機能を維持していくため、道路パトロールを行い、道路点検と維持管理の充実に努める。	道路パトロールを実施するとともに、道路点検により、舗装や側溝等の維持補修を行った。	道路パトロールを実施するとともに、道路点検により、舗装や側溝等の維持補修を行った。	道路パトロールを実施するとともに、道路点検により、舗装や側溝等の維持補修を行った。	道路パトロールを実施するとともに、道路点検により、舗装や側溝等の維持補修を行う。	道路パトロールを実施するとともに、道路点検により、舗装や側溝等の維持補修を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
いかるがパークウェイの整備促進 担当課 都市創生課	町内道路網の骨格を構築し、国道25号の渋滞緩和、住宅内などの生活道路への通過交通の進入を解消し、安全性の向上と円滑な交通の流れを確保するとともに、町域へのアクセス向上により商業および観光の活性化と発展をはかる。また災害時における防災空間や災害物資の輸送路としての役割を担うために、国の直轄事業である、いかるがパークウェイの早期整備にむけて、関係機関との調整や住民対応を行う。	・五百井・興留区間の用地買収、発掘調査の進捗を促し、道路詳細設計による国との協議を行った。 ・県道大和高田斑鳩線との交差点部分に関する各種調整を行った。 ・県道大和高田斑鳩線以東について、国の事業評価監視委員会の評価結果に基づき、国と地権者との調整、住民対応を行った。 ・事業予算確保にむけた関係機関への要望活動を実施した。	・五百井・興留区間の用地買収、発掘調査の進捗を促し、道路詳細設計による国との協議を行った。 ・五百井1丁目の町有地を事業用地として、国へ売却した。 ・県道大和高田斑鳩線との交差点部分に関する各種調整を行った。 ・いかるがパークウェイ事業全体のすすめ方について、国と住民対応等を行った。 ・事業予算確保にむけた関係機関への要望活動を実施し	・五百井・興留区間の早期開通をめざし、道路詳細設計に係る国との協議を行った。 ・県道大和高田斑鳩線との交差点部分に関する各種調整を行った。 ・県道大和高田斑鳩線以東への事業のすすめ方について、国と地権者との調整、住民対応等を行った。 ・事業予算確保にむけた関係機関への要望活動を実施した。	・五百井・興留区間の早期開通をめざし、道路詳細設計に係る国との協議を行う。 ・県道大和高田斑鳩線との交差点部分に関する各種調整を行う。 ・県道大和高田斑鳩線以東への事業のすすめ方について、国と地権者との調整、住民対応等を行う。 ・事業予算確保にむけた関係機関への要望活動を実施する。	・五百井・興留区間の早期開通をめざし、道路詳細設計に係る国との協議を行う。 ・県道大和高田斑鳩線との交差点部分に関する各種調整を行う。 ・県道大和高田斑鳩線以東への事業のすすめ方について、国と地権者との調整、住民対応等を行う。 ・事業予算確保にむけた関係機関への要望活動を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	三室・紅葉ヶ丘区間の整備工事および五百井・興留区間の用地買収、道路構造の取	五百井・興留区間の完成、供用開始、県道大和高田斑鳩線以東の区間の事業展開	五百井・興留区間の用地買収、道路構造の取りまとめおよび県道大和高田斑鳩線以東の国の説明会の調整	国と地元の各種調整を行い、また、今後のすすめ方について、住民説明会の開催にむけ準備をすすめた。	五百井・興留区間の早期開通にむけ、国と地元との各種調整を行う。	五百井・興留区間の早期開通にむけ、国と地元との各種調整を行った。	県道大和高田斑鳩線との交差点部分の各種調整を行う。	県道大和高田斑鳩線との交差点部分の各種調整を行った。	五百井・興留区間の早期開通にむけ、国と地元との各種調整を行う。	五百井・興留区間の早期開通にむけ、国と地元との各種調整を行う。	五百井・興留区間の早期開通にむけ、国と地元との各種調整を行う。	
	R2年度	三室・紅葉ヶ丘区間の整備工事および五百井・興留区間の用地買収、道路構造の取											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

04・道路・交通網の整備

1・計画的な道路の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
都市計画道路の整備 担当課 都市創生課	町内道路網の骨格を構築することにより、生活道路の円滑な交通の流れを確保し、住宅内道路の通過交通の進入解消による安全性の向上をはかるため、都市計画道路の整備を行う。	いかるがパークウェイの整備を促進した。	いかるがパークウェイの整備を促進した。 奈良県において、都市計画道路郡山斑鳩王寺線および都市計画道路法隆寺線の一部区間の見直し検証を行い、町内を通る都市計画道路は計画存続となった。	いかるがパークウェイの整備を促進した。	いかるがパークウェイの整備を促進する。 まちづくり連携協定に係るJR法隆寺駅南側地区に対する都市計画道路のあり方について、廃止を含め検討する。	いかるがパークウェイの整備を促進する。 まちづくり連携協定に係るJR法隆寺駅南側地区に対する都市計画道路のあり方について、廃止を含め検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国道25号の交通安全対策 担当課 都市創生課	町域内国道25号における歩道未整備区間について、国による計画的な整備がなされ、歩行者、自動車双方の安全性向上をはかるため、予算確保や整備内容に関する関係機関との調整および住民対応を行う。 【B工区】龍田大橋東詰から猫坂交差点まで 【他工区】他の歩道未整備区間	・B工区事業用地の関係権利者への用地協力を依頼し、事業の進捗をはかった。 ・他の歩道未整備区間の事業化にむけた関係機関への要望活動を実施した。	・B工区事業用地の関係権利者への用地協力を依頼し、事業の進捗をはかった。 ・他の歩道未整備区間の事業化にむけた関係機関への要望活動を実施した。	・B工区事業用地の関係権利者への用地協力を依頼し、事業推進に向け、協力的な意向であることを確認した。 ・他の歩道未整備区間の事業化にむけた関係機関への要望活動を実施した。	・B工区事業用地の関係権利者へ用地協力を依頼し、補償算定のための現地調査を行う。 ・他の歩道未整備区間の事業化にむけた関係機関への要望活動を実施する。	・B工区事業用地の関係権利者に対して、用地交渉を行う。 ・他の歩道未整備区間の事業化にむけた関係機関への要望活動を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
整備完了延長 ①B工区 ②他工区	R1年度	①140m ②―	①180m ② ―（事業化）	①180m ②―（事業化）	①140m ②―	①180m ②―（事業化）	①140m ②―	①180m ②―（事業化）	①140m ②―	①180m ②―（事業化）	①140m ②―	①180m ②―（事業化）	
	R2年度	①140m ② ―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

04・道路・交通網の整備

1・計画的な道路の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
道路の新設改良 担当課 建設農林課	幅員の狭い道路や場所を改修することにより、緊急車輌の通行や避難経路の確保を行うとともに生活道路の安全性向上に努める。	幅員の狭い道路等の改修をすすめ、生活道路の安全性の向上をはかった。 なお、町道437号線（大和川堤防道路）改良事業について登記手続きに時間を要したため事業予算の一部を翌年度に繰越した。	幅員の狭い道路等の改修をすすめ、生活道路の安全性の向上をはかった。 ・町道437号線（大和川堤防） →用地買収、一部改良工事 ・岡本循環道路　→用地買収、一部改良工事 ・町道227号線　→改良工事 ・町道301号線　→用地買収 ・町道352号線　→用地買収	幅員の狭い道路等の改修をすすめ、生活道路の安全性の向上をはかった。 ・町道437号線（大和川堤防） →一部改良工事 ・岡本循環道路整備工事 →改良工事 ・町道301号線　→補償調査 ・町道110号線　→公有財産購入費他：2,502千円をR6に繰越 ・町道220号線　→筆界確認	幅員の狭い道路等の改修をすすめ、生活道路の安全性の向上をはかる。 ・町道301号線　→筆界確認 ・町道110号線　→用地買収、改良工事 ・町道220号線　→用地買収 ・町道212号線　→用地買収	幅員の狭い道路等の改修をすすめ、生活道路の安全性の向上をはかる。 ・町道437号線　→改良工事 ・町道301号線　→用地買収 ・町道212号線　→改良工事 ・町道501号線　→用地買収、改良工事

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
道路･公共施設のバリアフリー化の推進 担当課 建設農林課	誰もが安全で快適に生活できる福祉のまちづくりをすすめるため、バリアフリーに配慮した道路・公共施設の整備を行う。	歩道整備にともなう段差の解消や公共施設周辺道路への点字誘導ブロック設置など、バリアフリーに配慮する道路整備についてはなかった。	歩道整備にともなう段差の解消や公共施設周辺道路への点字誘導ブロック設置など、バリアフリーに配慮した道路整備をすすめた。 ・町道301号線道路改良事業にて道路拡幅に合わせて歩道整備に必要な事業用地を取得した。	歩道整備にともなう段差の解消や公共施設周辺道路への点字誘導ブロック設置など、バリアフリーに配慮した道路整備をすすめた。 ・町道301号線道路改良事業にて道路拡幅に合わせて歩道整備に必要な事業用地取得にむけた事務をすすめた。	歩道整備にともなう段差の解消や公共施設周辺道路への点字誘導ブロック設置など、バリアフリーに配慮した道路整備をすすめる。 ・町道301号線道路拡幅にて歩道整備用地取得に関する事務をすすめた。 ・町道212号線道路拡幅にて歩道整備用地を取得をすすめる。 ・興留踏切（町道306号線）の視覚障害者誘導表示設置に向け、JR等と協議をすすめる。	歩道整備にともなう段差の解消や公共施設周辺道路への点字誘導ブロック設置など、バリアフリーに配慮した道路整備をすすめる。 ・町道301号線道路拡幅にて歩道整備用地を取得する。 ・町道212号線道路改良事業にて道路拡幅に合わせて歩道を整備する。 ・興留踏切（町道306号線）に視覚障害者誘導表示を設置する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

04・道路・交通網の整備

1・計画的な道路の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
バリアフリー基本構想の推進 【★】 担当課 都市創生課	高齢者、障害者等が日常生活、社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設等を含み、それらの相互施設間の移動が通常徒歩で行われる地区等において、公共交通機関、建築物、道路等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため策定したバリアフリー基本構想およびバリアフリー基本構想特定事業計画の進捗管理を行う。	令和6年度（短期進捗管理）の協議会開催にむけた進捗管理の方法等について検討。	令和6年度（短期進捗管理）の進捗管理の方法等について検討。	令和6年度（短期進捗管理）の進捗管理の方法等について検討。	令和6年度（短期進捗管理）の取りまとめを実施。中期事業計画の進捗管理を開始。	中期事業計画の進捗管理を実施。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民・事業者との協働の道路パトロールのシステムづくり 担当課 建設農林課	住民・事業者が発見した道路などの損壊状況等に関する情報の提供を受け、道路パトロールに反映させる体制を確立する。	住民・事業者が発見した道路などの破損状況等に関する情報の提供を受け、道路パトロールに反映させるシステムづくりの検討を行った。	住民・事業者が発見した道路などの破損状況等に関する情報の提供を受け、道路パトロールに反映させるシステムづくりの検討を行った。 町ホームページで道路破損箇所の情報提供を住民に呼びかけた。 日本郵便(株)との包括連携協定により、斑鳩興留郵便局、竜田郵便局、法隆寺郵便局、王寺郵便局から道路損傷状況を情報提供してもらうこととなった。	住民・事業者が発見した道路などの破損状況等に関する情報の提供を受け、道路パトロールに反映させるシステムづくりの検討を行った。 町ホームページで道路破損箇所の情報提供を住民に呼びかけた。 斑鳩興留郵便局、竜田郵便局、法隆寺郵便局、王寺郵便局からの道路損傷状況の情報提供件数：0件	住民・事業者が発見した道路などの破損状況等に関する情報の提供を受け、道路パトロールに反映させるシステムづくりの検討を行う。 町ホームページで道路破損箇所の情報提供を住民に呼びかける。 斑鳩興留郵便局、竜田郵便局、法隆寺郵便局、王寺郵便局からの道路損傷状況の情報提供。	住民・事業者が発見した道路などの破損状況等に関する情報の提供を受け、道路パトロールに反映させるシステムづくりの検討を行う。 町ホームページで道路破損箇所の情報提供を住民に呼びかける。 斑鳩興留郵便局、竜田郵便局、法隆寺郵便局、王寺郵便局からの道路損傷状況の情報提供。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

04・道路・交通網の整備

1・計画的な道路の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
「橋りょう長寿命化修繕計画」の推進 担当課 建設農林課	安全で安心して利用できる道路環境を確保するため、橋梁点検により管理橋梁の現状を把握し、計画的かつ予防的な修繕を実施することによって適正な維持管理と、橋梁の長寿命化をはかる。	長寿命化修繕計画に基づいて、橋りょう長寿命化をはかった。 橋梁定期点検（9橋） 橋梁補修設計（4橋）	長寿命化修繕計画に基づいて、橋りょう長寿命化をはかった。 橋梁定期点検（16橋） 橋梁補修工事（ 1橋）	長寿命化修繕計画に基づいて、橋りょう長寿命化をはかった。 「橋りょう長寿命化修繕計画」の更新 橋梁定期点検（16橋）	長寿命化修繕計画に基づいて、橋りょう長寿命化をはかる。 橋梁定期点検（13橋）	長寿命化修繕計画に基づいて、橋りょう長寿命化をはかる。 橋梁定期点検（14橋） 橋梁補修設計（1橋）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

04・道路・交通網の整備

2･公共交通の利便性の向上

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
観光アクセスの改善促進 担当課 都市創生課	バスの利便性を高めるため、停留所の整備、バスルートの検討や本数の増発などをバス交通会社に働きかける。斑鳩町観光協会に観光客の動向調査を依頼し、結果等を勘案する中で、バスルート、本数などを検討し、バス交通会社と協議を行うことに加え、より利便性の高い観光アクセスの在り方を検討する。	・観光施設へのアクセスについて、斑鳩町コミュニティバスの活用の検討をすすめた。 ・コロナ禍における観光客数の推移と今後の見通しおよび、バス運行の在り方等について情報共有を行った。	・観光施設へのアクセスについて、斑鳩町コミュニティバスの活用の検討をすすめた。 ・コロナ禍における観光客数の推移と今後の見通しおよび、バス運行の在り方等について情報共有を行った。	・観光施設へのアクセスについて、斑鳩町コミュニティバスの活用の検討をすすめた。 ・アフターコロナにおける観光客数の戻りや推移、今後の見通しおよび、バス運行の在り方等について情報共有を行った。	・観光施設へのアクセスについて、斑鳩町コミュニティバスの活用の検討をすすめる。 ・アフターコロナにおける観光客数の戻りや推移、今後の見見通しおよび、バス運行の在り方等について情報共有を行う。	・観光施設へのアクセスについて、斑鳩町コミュニティバスの活用の検討をすすめる。 ・アフターコロナにおける観光客数の戻りや推移、今後の見見通しおよび、バス運行の在り方等について情報共有を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
コミュニティバス等による地域公共交通の確保 【★】 担当課 都市創生課	コミュニティバスの王寺駅乗入れにともなう効果検証を継続的に行い、身近な交通機関としてコミュニティバスだけに限定せず、地域公共交通のあり方を検討する。	・令和2年4月1日から王寺駅乗り入れが開始し、令和3年度から本格運行に移る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和5年度まで実証運行を行うこととした。	・実証運行計画に基づき、引き続き、コミュニティバスの運行を行った。 ・コロナ禍や少子高齢化時代における持続可能な公共交通の在り方について、情報収集を行った。	・実証運行計画に基づき、引き続き、コミュニティバスの運行を行った。 ・令和6年度から3年間の運行計画について、現行計画を継続することとした。 ・アフターコロナや少子高齢化時代における持続可能な公共交通の在り方について、情報収集を行った。	・新たな実証運行計画に基づき、引き続き、コミュニティバスの運行を行う。 ・アフターコロナや少子高齢化時代における持続可能な公共交通の在り方について、情報収集を行う。	・実証運行計画に基づき、引き続き、コミュニティバスの運行を行う。 ・アフターコロナや少子高齢化時代における持続可能な公共交通の在り方について、情報収集を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
乗車人数	R1年度	23,392人	30,000人／年	30,000人／年	25,300人／年	30,000人／年	29,518人／年	30,000人／年	30,208人／年	30,000人／年	31,000人／年	30,000人／年	
	R2年度	22,738人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

04・道路・交通網の整備

2･公共交通の利便性の向上

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
高齢者優待券の交付 【再掲】 担当課 福祉課	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付する。また、高齢者外出支援タクシー基本料金助成券を交付する。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付した。 ICOCAカードについて、今年度から、従来のカード交換方式からチャージ方式に変更した。 また、引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付した。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付した。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付した。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付した。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付した。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付する。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付する。 ICOCA選択者に交付しているいきいきの里入館券（500円分）について、すこやか斑鳩・スポーツセンタートレーニング機器にも利用できる共通利用券として交付する。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付する。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付する。 他事業と調整しながら、タクシー券の利用方法について検討していく。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
交付率	R1年度	76.6%	75.0%	75.0%	75.4%	75.0%	76.8%	75.0%	79.4%	75.0%	79.0%	75.0%	
	R2年度	73.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

05・住宅・生活環境の整備

1・住環境の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
建築物の耐震化促進 【再掲】 担当課 都市創生課	大地震による建築物の倒壊等による被害を未然に防止するため、建築物の所有者等による耐震診断や耐震改修の実施を支援することなどにより、建築物の耐震化の促進にむけた取組みを実施する。	・「建築士等による電話相談会」を開催した。 （主催：LSO,共催:斑鳩町） ・5件の耐震診断に対する支援を行った。 ・耐震改修工事に対して補助金を交付する予定であった。 ・1件の耐震シェルター設置に対して補助金を交付した。 ・1件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付した。	・「建築士等による電話相談会」を開催した。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・7件の耐震診断に対する支援を行った。 ・1件の耐震改修工事に対して補助金を交付した。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する予定であった。 ・4件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付した。	・耐震に関する住民フォーラムや電話相談会を開催した。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・6件の耐震診断に対する支援を行った。 ・2件の耐震改修工事に対して補助金を交付した。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する。 ・4件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付した。	・耐震に関する住民フォーラムや電話相談会を開催する。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・12件の耐震診断に対する支援を行う。 ・1件の耐震改修工事に対して補助金を交付する。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する。 ・4件のブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付する。 （9月末時点）	・耐震に関する住民フォーラムや電話相談会を開催する。 （主催：LSO,共催：斑鳩町） ・耐震診断に対する支援を行う。 ・耐震改修工事に対して補助金を交付する。 ・耐震シェルター設置に対して補助金を交付する。 ・ブロック塀等撤去工事に対して補助金を交付する。 ・耐震改修促進計画の改定を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①耐震診断、 ②耐震改修 ③ブロック塀撤去 ※補助件数累計	R1年度	①236件 ②48件 ③1件	①265件 ②63件 ③27件	①245件 ②51件 ③7件	①245件 ②49件 ③5件	①250件 ②54件 ③12件	①252件 ②50件 ③9件	①255件 ②57件 ③17件	①258件 ②51件 ③13件	①260件 ②60件 ③22件	①270件 ②52件 ③17件	①265件 ②63件 ③27件	
	R2年度	①240件 ②48件 ③3件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
まちづくりの推進 担当課 都市創生課	開発行為や建築行為に対し、都市計画法、建築基準法、町開発指導要綱等に基づく行政指導を行うことにより、良好な都市環境の形成と秩序あるまちづくりの実現をはかる。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。 また、立地適正化計画の策定に着手する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

05・住宅・生活環境の整備

1・住環境の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
景観計画の推進 担当課 都市創生課	景観計画および景観条例の適切な運用により、町全域の景観区域と幹線道路沿道などの重点景観形成区域において良好な景観を形成する。また、農業、商工業、観光との連携をはかるとともに、景観まちづくりに取り組む住民活動を支援し、官民協働による斑鳩の里の景観の保全と創出に努める。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかる。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
「町営住宅長寿命化計画」の推進 担当課 建設農林課	「町営住宅長寿命化計画」に基づき、予防保全的な管理・修繕、効率的かつ円滑な更新等を実施することにより、今ある住宅ストックを出来るだけ長く有効活用しながら、ライフサイクルコストの縮減、修繕や更新時期の分散化、毎年の事業費の平準化に努める。	「町営住宅長寿命化計画」に基づき、修繕をすすめた。 長田団地B棟屋根外壁等改修工事をすすめた。なお、公法検討により工期が年度を跨ぐため、事業予算の一部を翌年度に繰越した。	「町営住宅長寿命化計画」に基づき、修繕をすすめた。 長田団地B棟屋根外壁等改修工事が竣工（6月30日）した。 長田団地A棟設計業務を行った。 「町営住宅長寿命化計画」を更新した。	「町営住宅長寿命化計画」に基づき、修繕をすすめた。 長田団地A棟屋根外壁等改修工事を行った。	「町営住宅長寿命化計画」に基づき、修繕をすすめる。	「町営住宅長寿命化計画」に基づき、修繕をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
町営住宅長寿命化計画に基づき長寿命化を行った箇所数	R1年度	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	
	R2年度	計画推進											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

05・住宅・生活環境の整備

1・住環境の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
空家の活用 【★】 担当課 安全安心課	適切な管理が行われていない空家等に対し、指導を行うことにより、適正管理を促すとともに、空家等およびその跡地の活用を促進する施策を実施する。	・空き家等総合対策事業を実施し、適正な管理が行われていない空家等に対する適正管理にむけた指導ならびに空家の活用の促進をはかった。 ・固定資産税納税通知書に空家等の適正管理に係るチラシを封入し、所有者への啓発をはかった。 ・新型コロナ感染症感染拡大防止のため、空き家セミナーに代わり空家相談会を開催（平群町とNPO法人空き家コンシェルジュ共催）	・空き家等総合対策事業を実施し、適正な管理が行われていない空家等に対する適正管理にむけた指導ならびに空家の活用の促進をはかった。 ・固定資産税納税通知書に空家等の適正管理に係るチラシを封入し、所有者への啓発をはかった。 ・平群町とNPO法人空き家コンシェルジュとの共催により、空き家相談会を開催した。	・空き家等総合対策事業を実施し、適正な管理が行われていない空家等に対する適正管理にむけた指導ならびに空家の活用の促進をはかった。 ・固定資産税納税通知書に空家等の適正管理に係るチラシを封入し、所有者への啓発をはかった。 ・平群町とNPO法人空き家コンシェルジュとの共催により、空き家セミナー及び空き家相談会を開催した。	・空き家等総合対策事業を実施し、適正な管理が行われていない空家等に対する適正管理にむけた指導ならびに空家の活用の促進をはかる。 ・固定資産税納税通知書に空家等の適正管理に係るチラシを封入し、所有者への啓発をはかる。 ・NPO法人空き家コンシェルジュに業務を委託し、空き家セミナーおよび空き家相談会を開催する。	・空き家等総合対策事業を実施し、適正な管理が行われていない空家等に対する適正管理にむけた指導ならびに空家の活用の促進をはかる。 ・固定資産税納税通知書に空家等の適正管理に係るチラシを封入し、所有者への啓発をはかる。 ・NPO法人空き家コンシェルジュに「空き家総合相談窓口運営等業務」を委託するとともに、空き家セミナーおよび空き家相談会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
空き家セミナーの開催回数	R1年度	1回	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	
	R2年度	1回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

05・住宅・生活環境の整備

2･市街地の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公園の適正な維持管理 担当課 都市創生課	既存の公園や子どもの広場を安全で快適に利用できるよう、専門業者による遊具の点検および担当職員による付帯施設の点検作業を実施するとともに、日常管理をいただいている地元自治会からの通報も含めて、公園施設の劣化などを早期に発見し、対応することにより、事故の未然防止と長寿命化をはかる。	・専門業者による遊具の安全点検を実施した。 ・職員による遊具と付帯施設の日常点険を12回実施した。 ・その他適正な管理を行った。 ・専門業者による点検の結果に基づき、優先順位を決め、遊具を更新した。	・専門業者による遊具の安全点検を実施した。 ・職員による遊具と付帯施設の日常点険を12回実施した。 ・その他適正な管理を行った。 ・専門業者による遊具の安全点検の結果に基づき、遊具の修繕を行い、使用不可遊具への対応を完了した。	・専門業者による遊具の安全点検を実施する。点検回数については、点検基準や、費用対効果を考慮し、実施回数を年2回から1回へ変更した。 ・職員による遊具と付帯施設の日常点険を12回実施した。 ・その他適正な管理を行った。 ・専門業者による遊具の安全点検の結果から、修繕の緊急性が高い遊具がないことを確認した。また、職員で対応可能な簡易な不備について、修繕を行った。	・専門業者による遊具の安全点検を1回実施する。 ・職員による遊具と付帯施設の日常点険を12回実施する。 ・その他適正な管理を行う。 ・専門業者による遊具の安全点検の結果から、修繕の緊急性が高い遊具の有無を確認する。	・専門業者による遊具の安全点検を1回実施する。 ・職員による遊具と付帯施設の日常点険を12回実施する。 ・その他適正な管理を行う。 ・専門業者による遊具の安全点検の結果に基づき、修繕の緊急性が高い遊具を更新する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	2回	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	
	R2年度	2回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
JR法隆寺駅周辺整備の推進 担当課 都市創生課	町の玄関口にふさわしい交通拠点として、駅前広場や周辺アクセス道路の整備など、駅周辺整備の推進をはかるとともに、県とも連携し、まちづくり連携協定に基づく基本構想の策定等をすすめ、財政計画などをふまえた計画的な整備をはかる。	令和3年9月、県とのまちづくり連携協定に基づく「法隆寺及びJR法隆寺駅周辺地区のまちづくりに関する基本協定」を締結し、「まちづくり基本構想」を策定した。	まちづくり基本構想をより具体化した、「まちづくり基本計画」の策定にむけ、県のとりまとめ担当課や事業担当課と協議を行った。	・県とのまちづくり連携協定に基づき、基本構想をより具体的な事業へ落とし込んだ「まちづくり基本計画」の策定へむけ検討をすすめた。 ・奈良県による西和医療センター移設・再整備の候補地として、県担当課との協議を行った。 ・駅南側の都市機能集積およびアクセス道路の整備について、検討をすすめた。	・駅南側の都市機能集積およびアクセス道路の整備について、検討をすすめ、駅南側地区の基本計画を策定する。 ・県とのまちづくり連携協定に基づき、基本構想をより具体的な事業へ落とし込んだ「まちづくり基本計画」の策定へむけ検討をすすめる。 ・奈良県による西和医療センター移設・再整備について、県担当課および県立病院機構との協議を行う。	・県とのまちづくり連携協定に基づき、基本構想をより具体的な事業へ落とし込んだ「まちづくり基本計画」の策定へ向け、計画（案）に基づき、県との調整を行い、計画策定を行う。 ・奈良県による西和医療センター移設・再整備について、県担当課および県立病院機構との協議を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	まちづくり連携協定における基本構想および基本計画の策定	法隆寺駅周辺の整備方針の検討およびまちづくり連携協定に基づく基本構想の策定	法隆寺駅周辺の整備方針の検討およびまちづくり連携協定に基づく基本構想の策定	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	基本計画策定に向けた関係各所との協議	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	基本計画策定に向けた関係各所との協議	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	まちづくり連携協定に基づく基本計画（案）の策定	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	×	継続	×	継続	△	継続		

05・住宅・生活環境の整備

2・市街地の整備

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
回遊型まちなか観光の推進 【再掲】 【★】 担当課 都市創生課	まちあるき拠点の整備支援を行うとともに、体験型観光プログラムの拡充や民間事業者の誘致など総合的かつ戦略的なまちあるき観光を推進する。また、法起寺や法輪寺などを含めた回遊性の向上と奈良市内との交通アクセス等について、県とも連携し強化をはかる。	・斑鳩町創業支援補助金制度を創設した。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成を行った。 ・奈良県とのまちづくり基本協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめた。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成を行った。 ・奈良県とのまちづくり基本協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめた。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめた。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめる。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめる。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめる。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体や指定管理者との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ゼロ・ウェイストの推進 【★】 担当課 環境対策課	資源の浪費、無駄をなくし、脱焼却、脱埋立をめざす「ゼロ・ウェイスト」を達成するため、その考え方について、広く内外に周知を行う。	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催し啓発活動を行った。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施した。 事業系ごみの減量化・資源化を推進するため、事業系可燃ごみ質検査を実施し、組成分析を行った。（6月7日）	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行った。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施した。 家庭系可燃ごみ質検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかった。（10月13日） 斑鳩町商工会員に対して、古紙類の分別について未記名のアンケート調査を行った。	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行った。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施した。 食品ロス検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかった。（7月21日・28日） 斑鳩町商工会員に対して、古紙類の分別に関するアンケート調査を実施した。	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行う。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施する。 事業系可燃ごみ質検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかった。（7月17日）	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行う。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施する。 ごみ質検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
焼却・埋立処理量	R1年度 4,264t 焼却：3,580t 埋立：684t	2,533t 焼却：2,241t 埋立：292t	3,442t 焼却：3,141t 埋立：301t	3,876t 焼却：3,579t 埋立：297t	3,215t 焼却：2,916t 埋立：299t	3,829t 焼却：3,589t 埋立：240t	2,988t 焼却：2,691t 埋立：297t	3,813t 焼却：3,616t 埋立：197t	2,761t 焼却：2,466t 埋立：295t	3,813t 焼却：3,616t 埋立：197t	2,533t 焼却：2,241t 埋立：292t	
	R2年度 3,669t 焼却：3,366t 埋立：303t											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

2・コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ゼロ・ウェイスト推進員の育成 担当課 環境対策課	自ら率先してゼロ・ウェイストを推進する住民リーダーを育成し、ゼロ・ウェイストの達成をめざす。	・「未来へつなぐゼロ・ウェイスト斑鳩の会」の開催 ・ゼロ・ウェイスト推進にかかる町の啓発事業への参加といった地域活動をサポートすることとしていたが、新型コロナウィルス感染拡大のため中止となった。 ・ゼロ・ウェイスト推進員の設置を検討した。	・「未来へつなぐゼロ・ウェイスト斑鳩の会」の開催 ・座談会の開催やゼロ・ウェイスト推進にかかる町の啓発事業への参加といった地域活動をサポートした。 ・ゼロ・ウェイスト推進員の設置を検討した。	・「未来へつなぐゼロ・ウェイスト斑鳩の会」の開催 ・座談会の開催やゼロ・ウェイスト推進にかかる町の啓発事業への参加といった地域活動をサポートした。 ・ゼロ・ウェイスト推進員の設置を検討し、さらなる活動の推進、発展をはかった。	・「未来へつなぐゼロ・ウェイスト斑鳩の会」の開催 ・座談会の開催やゼロ・ウェイスト推進にかかる町の啓発事業への参加といった地域活動をサポートする。 ・ゼロ・ウェイスト推進員の設置を検討し、さらなる活動の推進、発展をはかる。	・「未来へつなぐゼロ・ウェイスト斑鳩の会」の開催 ・座談会の開催やゼロ・ウェイスト推進にかかる町の啓発事業への参加といった地域活動をサポートする。 ・ゼロ・ウェイスト推進員の設置を検討し、さらなる活動の推進、発展をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―		
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ごみ分別体験ステーションの拡大 担当課 環境対策課	ごみを燃やさない、埋め立てない「ゼロ・ウェイスト」のまちをめざし、さらなる資源の有効活用をはかるため、拠点整備を行う。	ごみ分別体験ステーションを運営した。 分別体験者：　9,153件	ごみ分別体験ステーションを運営した。 分別体験者：8,560件	ごみ分別体験ステーションを運営した。 分別体験者：7,465件	ごみ分別体験ステーションを運営する。 分別体験者：3,568件 （9月末時点）	ごみ分別体験ステーションを運営する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
施設数（累計）	R1年度	1施設	3施設	3施設	1施設	3施設	1施設	3施設	1施設	3施設	1施設	3施設	
	R2年度	1施設											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
人にやさしいごみ収集の実施 【★】 担当課 環境対策課	高齢社会の進展にともない、家庭ごみの排出やごみ集積所の維持管理等が難しくなっていく状況が予想される中、ステーション収集から戸別収集への収集方法を変更することにより、高齢者のごみ出し支援の充実をはかるとともに、循環型社会の推進に取り組む。		ステーション収集から戸別収集に移行するための問題、課題を抽出し、抽出した問題、課題等の方策の検討を行った。	戸別収集実施計画書を作成した。	令和7年度から開始する戸別収集モデル事業実施にともない、対象自治会と協議を行う。	戸別収集モデル事業を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		戸別収集への移行			戸別収集への移行の検討	戸別収集の検討	戸別収集の実施	戸別収集実施計画書の作成	戸別収集の実施	戸別収集モデル事業の展開	戸別収集モデル事業の展開	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						○	継続	△	継続	○	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1･循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ごみ減量化の促進 担当課 環境対策課	ごみを燃やさない、埋め立てない「ゼロ･ウェイスト」のまちをめざし、さらなるごみ発生量の抑制に努める。	生ごみ処理機等の購入者に対する奨励金の交付や、生ごみ堆肥化講習会の開催等を行い、自家処理を促進した。 事業系一般廃棄物収集運搬許可の有効期間が経過するため、許可更新を行った。 一人1日あたりのごみ総排出量： 729g	生ごみ処理機等の購入者に対する奨励金の交付や、生ごみ堆肥化講習会の開催等を行い、自家処理を促進した。 一人1日あたりのごみ総排出量： 723g	生ごみ処理機等の購入者に対する奨励金の交付や、生ごみ堆肥化講習会の開催等を行い、自家処理を促進した。 一人1日あたりのごみ総排出量:705g	生ごみ処理機等の購入者に対する奨励金の交付や、生ごみ堆肥化講習会の開催等を行い、自家処理を促進する。	生ごみ処理機等の購入者に対する奨励金の交付や、生ごみ堆肥化講習会の開催等を行い、自家処理を促進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
一人1日あたりのごみ総排出量	R1年度	737g	717g／年	717g／年	729g／年	717g／年	723g／年	717g／年	705g／年	717g／年	705g／年	717g／年	
	R2年度	713g											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ごみ資源化の促進 担当課 環境対策課	ごみを燃やさない、埋め立てない「ゼロ･ウェイスト」のまちをめざし、さらなる資源の有効活用をはかる。	雑がみ類の資源化の啓発や資源にカエル宝箱の利用促進、小型家電の回収等を行った。 衛生処理場内のごみ分別体験ステーションで、ごみを38分別に細分化することにより、可能な限り資源化処理を行った。 新たなリサイクル品目の調査研究を行った。	雑がみ類の資源化の啓発や資源にカエル宝箱の利用促進、小型家電の回収等を行った。 衛生処理場内のごみ分別体験ステーションで、ごみを38分別に細分化することにより、可能な限り資源化処理を行った。 国の認定事業者と協定を締結し、宅配便による小型家電の回収を4月1日から開始した。 新たなリサイクル品目の調査研究を行った。	雑がみ類の資源化の啓発や資源にカエル宝箱の利用促進、小型家電の回収等を行った。 衛生処理場内のごみ分別体験ステーションで、ごみを38分別に細分化することにより、可能な限り資源化処理を行った。 10月1日から家電4品目の自宅回収を開始した。 新たなリサイクル品目の調査研究を行う。	雑がみ類の資源化の啓発や資源にカエル宝箱の利用促進、小型家電の回収等を行う。 衛生処理場内のごみ分別体験ステーションで、ごみを38分別に細分化することにより、可能な限り資源化処理を行う。 新たなリサイクル品目の調査研究を行う。	雑がみ類の資源化の啓発や資源にカエル宝箱の利用促進、小型家電の回収等を行う。 衛生処理場内のごみ分別体験ステーションで、ごみを38分別に細分化することにより、可能な限り資源化処理を行う。新たなリサイクル品目の調査研究を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ごみ総発生量に対するリサイクル率	R1年度	50.3%	88.2%	88.2%	55.7%	88.2%	55.7%	88.2%	55.0%	88.2%	55.0%	88.2%	
	R2年度	56.8%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
こどもエコクラブに対する支援 【★】 担当課 環境対策課	次代を担う子どもたちが、地域において主体的に環境学習および環境保全活動を行うこどもエコクラブの取組みを支援する。	こどもエコクラブの取組みを支援した。 こまちクラブ（一般）3人	こどもエコクラブの取組みを支援した。 こまちクラブ他2団体（一般）13人	こどもエコクラブの取組みを支援した。 こまちくらぶ他3団体（一般）15人	こどもエコクラブの取組みを支援する。	こどもエコクラブの取組みを支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
こどもエコクラブ数	R1年度	1団体	6団体／年	6団体／年	1団体／年	6団体／年	3団体／年	6団体／年	4団体／年	6団体／年	4団体／年	6団体／年	
	R2年度	1団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
環境問題学習会の開催 担当課 環境対策課	斑鳩町の全自治会を対象に、さまざまな環境問題をテーマにした学習会の開催を呼びかけ、住民との対話を通して、地域での問題点の把握や地域ぐるみでの取組みへの働きかけを行う。	自治会からの要望に基づき、環境問題学習会の開催を予定していた。 錦ケ丘自治会より、開催依頼を受けたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、資料のみ配布を行った。	自治会からの要望に基づき、環境問題学習会を開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。	自治会からの要望に基づき、環境問題学習会を開催した。生ごみ分別モデル事業未実施自治会に対して、説明会を実施した。	自治会からの要望に基づき、環境問題学習会を開催する。生ごみ分別モデル事業未実施自治会に対して、説明会を実施する。	自治会からの要望に基づき、環境問題学習会を開催する。生ごみ分別モデル事業未実施自治会に対して、説明会を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①学習会開催率 ②学習会参加率	R1年度	①3.73% ②23.3%	①45.0% ②45.0%	①45.0% ②45.0%	①ー ②ー	①45.0% ②45.0%	①ー ②ー	①45.0% ②45.0%	①4.0% ②4.0%	①45.0% ②45.0%	①4.0% ②4.0%	①45.0% ②45.0%	
	R2年度	①ー ②ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	ー	継続	×	継続	×	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民の環境保全活動への支援 担当課 環境対策課	環境保全分野で活動するNPO・ボランティアの活動を支援する。また、自然を回復する取組みについても支援を行うとともに、衛生害虫の駆除に対する支援を行う。	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・親子環境教室（ソーラーランタン教室） ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩の開催 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：29件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩2022の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：28件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ2023斑鳩の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：30件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。 補助件数：14件 （9月末時点）	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	1団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
スマートフォンを活用したごみ分別アプリの充実 担当課 環境対策課	ごみ分別アプリの活用を推進するとともに、多言語対応を実施するなど、提供内容の充実をはかる。	ごみ分別アプリの利用促進をはかるため、転入者に利用啓発を行った。	ごみ分別アプリの利用促進をはかるため、転入者やエコフェスタなどで利用啓発を行った。 また、外国人むけ多言語機能を追加し、誰もがアプリを利用しやすい環境づくりをはかった。	ごみ分別アプリの利用促進をはかるため、転入者やエコフェスタなどで利用啓発を行った。	ごみ分別アプリの利用促進をはかるため、転入者やエコフェスタなどで利用啓発を行う。	ごみ分別アプリの利用促進をはかるため、転入者やエコフェスタなどで利用啓発を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ダウンロード数（累計）	R1年度	2,285件	6,100件	3,300件	3745件	4,000件	4,482件	4,700件	5,231件	5,400件	5,400件	6,100件	
	R2年度	2,946件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
食品ロス削減対策 担当課 環境対策課	ゼロ・ウェイストの実現にむけて、食品ロス削減に努める。	食品ロス調査（組成調査）やイベント時などに食品ロスに関する住民アンケート調査を実施し、分析を行うとともに、家庭や事業所・飲食店などにおける食品ロス削減にむけた広報および周知啓発を行った。	食品ロス調査やイベント時に食品ロスに関する住民アンケート調査を実施し、分析を行うとともに、家庭や飲食店などにおける食品ロス削減にむけた広報および周知啓発を行った。また、食品ロス削減計画や認定事業所制度の創設などについて、調査・検討を行った。 また、社会福祉協議会が実施する「まごころドライブ」事業を支援した。	食品ロス調査やイベント時に食品ロスに関する住民アンケート調査を実施し、分析を行うとともに、家庭や飲食店などにおける食品ロス削減にむけた広報および周知啓発を行った。また、食品ロス削減計画や認定事業所制度の創設などについて、斑鳩町商工会員（飲食業）に対して、食品ロス削減に関するアンケートを実施した。 社会福祉協議会が実施する「まごころドライブ」事業を支援した。	食品ロス調査やイベント時に食品ロスに関する住民アンケート調査を実施し、分析を行うとともに、家庭や飲食店などにおける食品ロス削減にむけた広報および周知啓発を行う。 また、社会福祉協議会が実施する「まごころドライブ」事業を支援する。	食品ロス調査やイベント時に食品ロスに関する住民アンケート調査を実施し、分析を行うとともに、家庭や飲食店などにおける食品ロス削減にむけた広報および周知啓発を行う。 また、社会福祉協議会が実施する「まごころドライブ」事業を支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
飲食店等食品ロス削減啓発・認定事業 担当課 環境対策課	ゼロ・ウェイストの実現のため、食品ロスの削減は、必要不可欠であり、飲食店等から発生する食品ロスは、その多くを占める。飲食店等に対し、食品ロス削減にむけた取組みの推進をはかるとともに、食べきり協力店認定制度の創設などを行う。	食品ロス削減事業所認定制度の実施計画について検討した。	食品ロス削減事業所認定制度の実施計画について検討した。	斑鳩町商工会員（飲食業）に対して、食品ロス削減に関するアンケートを実施した。 食品ロス削減事業所認定制度の実施計画について検討した。	令和8年度から実施予定の食品ロス削減事業所認定制度の実施計画について検討した。	令和8年度から実施予定の食品ロス削減事業所認定制度について、事業実施にともなう取組みをすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	事業所の実態の把握	認定制度のしくみの構築	認定制度のしくみの構築	事業所の実態の把握	認定制度のしくみの構築	事業所の実態の把握	認定制度のしくみの構築	認定制度のしくみの構築	認定制度のしくみの構築	認定制度のしくみの構築	認定制度のしくみの構築	
	R2年度	事業所の実態の把握											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	○	継続	○	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
紙おむつ類の資源化 担当課 環境対策課	ゼロ･ウェイストの達成のためには、紙おむつ類の資源化が不可欠であることから、その処理方法について調査研究をすすめる。	環境省所管の「使用済紙おむつ再生利用等に関するコンサルティング」に応募した結果、事業採択を受けたため、同事業により、紙おむつ類の資源化実施にむけ、検討、調査・研究をすすめた。	紙おむつ類の資源化実施にむけ、検討、調査・研究をすすめた。	紙おむつ類の資源化実施にむけ、検討、調査・研究をすすめた。	使用済紙おむつ再生機器メーカーである㈱スーパーフェイズ、使用済紙おむつ分別処理装置「クリタサムズシステム」を展開する栗田工業㈱と協議を実施	紙おむつ類の資源化実施にむけ、検討、調査・研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
最終処分量の削減対策 担当課 環境対策課	ゼロ･ウェイストの達成のためには、埋め立てて処理する最終処分量の削減が不可欠であり、繊維類をはじめ、現在埋め立て処理としている廃棄物の資源化処理への移行をはかる。	不燃ごみからのピックアップ回収 資源物集団回収の奨励	不燃ごみからのピックアップ回収 資源物集団回収の奨励	不燃ごみからのピックアップ回収 資源物集団回収の奨励	不燃ごみからのピックアップ回収 資源物集団回収の奨励	不燃ごみからのピックアップ回収 資源物集団回収の奨励

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1･循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生ごみ分別収集モデル事業 担当課 環境対策課	町全域における生ごみ分別収集の実施をめざし、最も効率的な回収方法を検討するため、生ごみ分別収集モデル事業を実施する。	生ごみ分別収集モデル自治会を拡大するとともに、既に実施している自治会内の未参加世帯に対し、参加を促し、参加世帯の拡大をはかった。 また、町全域収集にむけた実施方法などについて検討した。	生ごみ分別収集モデル自治会を拡大するとともに、既に実施している自治会内の未参加世帯に対し、参加を促し、参加世帯の拡大をはかった。 また、町全域収集にむけた実施方法などについて検討した。	生ごみ分別収集モデル自治会を拡大するとともに、既に実施している自治会内の未参加世帯に対し、参加を促し、参加世帯の拡大をはかった。 また、未実施自治会に対する説明会の開催等により、町全域収集にむけた実施方法など、調査・研究をすすめた。	生ごみ分別収集モデル事業参加世帯数が伸び悩むなか、令和7年度から戸別収集モデル事業を実施し、生ごみ分別によるさらなる資源化の推進をはかる。	生ごみ分別収集モデル自治会を拡大するとともに、既に実施している自治会内の未参加世帯に対し、参加を促し、参加世帯の拡大をはかる。 また、未実施自治会に対する説明会の開催等により、町全域収集にむけた実施方法など、調査・研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
モデル世帯数（累計）	R1年度	6,882世帯	8,500世帯	8,500世帯	6,947世帯	8,500世帯	6,954世帯	8,500世帯	7,117世帯	8,500世帯	7,300世帯	8,500世帯	
	R2年度	6,930世帯											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
事業系生ごみ分別収集 担当課 環境対策課	事業系ごみのうち、多くを占める生ごみを、分別収集することにより、ごみ処理量の削減および再資源化をすすめる。	対象事業者に対して、分別収集への参加依頼を行い、利用拡大をはかった。	対象事業者に対して、分別収集への参加依頼を行い、利用拡大をはかった。	対象事業者に対して、分別収集への参加依頼を行い、利用拡大をはかった。	対象事業者に対して、分別収集への参加依頼を行い、利用拡大をはかる。	対象事業者に対して、分別収集への参加依頼を行い利用拡大をはかる。 事業系一般廃棄物処理手数料改定にむけ取り組む。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加事業者数（累計）	R1年度	2事業者	12事業者	12事業者	2事業者 （既存:2）	12事業者	2事業者 （既存:2）	12事業者	2事業者 （既存:2）	12事業者	2事業者 （既存:2）	12事業者	
	R2年度	2事業所 （既存:2）											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
エコポカード利活用の推進 【★】 担当課 環境対策課	空き缶回収機のポイント制度により、ポイントに応じてエコ商品と交換する取組みを行っているが、ポイントの対象を、ごみ減量等の取組み全般に拡大し、ゼロ･ウェイスト達成にむけて、住民の積極的な参画を促す手段として活用する。	エコポカードの継続利用の促進をはかった。	エコポカードの継続利用の促進をはかった。	エコポカードの継続利用の促進をはかった。 また、利用者および利用率向上の為、アンケート調査を実施し、交換商品をリニューアルした。	エコポカードの継続利用の促進をはかる。 また、利用者および利用率向上の為、交換商品をリニューアルした。	エコポカードの継続利用の促進をはかる。 また、利用者および利用率向上の為、アンケート調査により、交換商品をリニューアルする。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
リユース市の開催 担当課 環境対策課	ゼロ・ウェイストの達成のため、再利用をさらにすすめる必要がある。粗大ごみや不燃ごみからリサイクル可能なものについて、自由に持ち帰ってもらい、リユース意識の高揚をはかるため、イベント時等にリユース市を開催する。	環境イベント時に、リユース市を開催した。 開催日　令和3年11月27日	環境イベント時に、リユース市を開催した。 開催日　令和4年12月3日	民間事業者との連携による粗大ごみのリユース事業の展開にむけて、調査検討をすすめた。	環境イベント時に、リユース市を開催する。 開催日　令和6年11月16日	環境イベント時に、リユース市を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
リユース市の開催	R1年度	1回	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	0回／年	1回／年	1回／年	1回／年	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	×	継続	○	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1･循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
安心サポートごみ収集事業の充実 【★】 担当課 環境対策課	すべての人にやさしいごみ処理をすすめるため、安心サポートごみ収集事業を継続するとともに、効率的な収集体制等について検討する。	安心サポートごみ収集を実施する。 申請件数：17件	安心サポートごみ収集を実施した。 対象者の要件を見直し、対象者の拡大をはかった。 申請件数：38件	安心サポートごみ収集を実施した。 申請件数：　22件	安心サポートごみ収集を実施する。 申請件数：21件 （R6.9月末時点）	安心サポートごみ収集を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	安心サポートごみ収集事業の実施											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ごみステーションの整備 担当課 環境対策課	ごみ収集業務の効率化・迅速化の向上をはかるため、ごみステーション等の整備を計画的に行う。	自治会からの設置要望に対して、計画的にごみステーションを整備した。 整備件数　7件	自治会からの設置要望に対して、計画的にごみステーションを整備した。 整備件数　6件	自治会からの設置要望に対して、計画的にごみステーションを整備した。 整備件数　6件	町全域の戸別収集モデル事業実施にともない、ごみステーションの整備については、一時中断する。	町全域の戸別収集モデル事業の状況を鑑み、方向性を検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
安定的なごみ処理対策 担当課 環境対策課	直営による中間処理を廃止し、すべて民間委託による処理となっていることから、契約内容や契約方法を常に見直すなど、安定的なごみ処理対策を継続していく。	複数年（3年）契約により、ごみ処理を業務委託した。 契約期間：令和2～4年度	複数年（3年）契約により、ごみ処理を業務委託した。 契約更新にあたり、委託費用等の検討を行った。 契約期間：令和2～4年度	複数年（3年）契約により、ごみ処理を業務委託した。 契約期間：令和5～7年度	複数年（3年）契約により、ごみ処理を業務委託する。 契約期間：令和5～7年度 可燃ごみにおけるごみ処理広域化にむけ、近隣市町村と協議をすすめる。	複数年（3年）契約により、ごみを処理を業務委託する。 契約期間：令和8～10年度

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大	
	R2年度	契約内容の見直しおよび複数年契約の業務委託拡大											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
最終処分場・ごみ積替え施設の維持管理 担当課 環境対策課	最終処分場・ごみ積替え施設の適正な維持管理のため、整備・補修を行う。	最終処分場の安定的な運用をはかるため、施設改修等を行う。 補修整備箇所 水処理施設 ダストドラムコンベヤベルト ダストドラムインナー ダストドラムガイドローラー 搬入設備（段差ホッパー） 事務所棟法面	最終処分場の安定的な運用をはかるため、施設改修等を行った。 補修整備箇所 水処理施設 ダストドラムエプロンパン ダストドラム受入供給コンベヤ	最終処分場の安定的な運用をはかるため、施設改修等を行った。 補修整備箇所 水処理施設 ダストドラムデッキ ダストドラム駆動チェーン トラックスケールシステム 屋外気中開閉器 施設内舗装	最終処分場の安定的な運用をはかるため、施設改修等を行う。 補修整備箇所 水処理施設 ダストドラムコンベヤベルト ダストドラム投入ブレード 施設内舗装 監視カメラ	最終処分場の安定的な運用をはかるため、施設改修等を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ごみ収集車の更新 担当課 環境対策課	ごみ収集車両の経年劣化により、修繕回数および費用が増加してきていることから、ごみ収集車の計画的な更新を行い、収集業務の効率化、維持管理費用の縮小化をはかるとともに、環境にやさしい車両の導入を検討する。		ごみ収集車更新計画を策定し、令和5年度からの計画的な車両更新にむけ、準備をすすめた。 なお、斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともなう温室効果ガス削減目標の達成にむけ、環境省の補助事業「二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金」を活用し、環境にやさしい車両（ハイブリッド車・電気自動車など）の導入を検討した。	ごみ収集車更新計画に基づき、収集車両（パッカー車）1台を更新する。 納入期限：令和7年3月26日	ごみ収集車更新計画に基づき、収集車両（ダンプトラック車）1台を更新する。 納入期限：令和8年3月19日	家庭ごみ収集の全委託化に伴い、委託業者による車両更新をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		ごみ収集車の更新			計画の策定、計画の実施の準備	計画の策定、計画の実施の準備	収集車更新	収集車更新契約の締結	収集車更新	収集車更新契約の締結	収集車更新	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ごみ収集の委託化への移行 担当課 環境対策課	町直営で実施しているごみ収集業務について、委託化をすすめる。	町直営で実施しているごみ収集業務の今後の委託化について検討した。	町直営で実施しているごみ収集業務の今後の委託化について検討した。	町直営で実施しているごみ収集業務の今後の委託化について検討した。	戸別収集モデル事業実施に合わせて、家庭ごみ収集の全委託化の協議をすすめる。	戸別収集モデル事業実施に合わせて、家庭ごみ収集の全委託化をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	ごみ収集業務の委託化の検討											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

1・循環型社会の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
災害廃棄物処理計画の推進 担当課 環境対策課	「斑鳩町災害廃棄物処理計画」に基づき、災害発生時に迅速かつ適切な災害廃棄物処理を行う。	斑鳩町災害廃棄物処理計画を策定した。（8月） 本計画に基づき、仮置場候補地の選定等について検討し、災害廃棄物対策をすすめた。	斑鳩町災害廃棄物処理計画に基づき、仮置場候補地の選定等について検討をすすめた。	斑鳩町災害廃棄物処理計画に基づき、仮置場候補地の選定を行い、仮置場活用案を策定するため、国のモデル事業へ応募した。	国のモデル事業採択を受け、仮置場候補地の選定および活用案の策定をすすめる。	仮置場候補地の選定および活用案に基づき、仮置場の整備案を検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
環境パトロールの実施 担当課 環境対策課	環境問題に対する住民意識の向上をはかるため、環境パトロールや町広報紙等による啓発を行う。	環境パトロールの実施回数： 71回 ポイ捨ての処理： 39件 不法投棄の処理： 5件	環境パトロールの実施回数： 130回 ポイ捨ての処理： 103件 不法投棄の処理： 3件	環境パトロールの実施 160回 ポイ捨ての処理：221件 不法投棄の処理： 4件	環境パトロールの実施 92回 ポイ捨ての処理：107件 不法投棄の処理：7件 （9月末時点）	環境パトロールの実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
不法投棄処理件数	R1年度	4件	0件／年	0件／年	5件／年	0件／年	3件／年	0件／年	4件／年	0件／年	7件／年	0件／年	
	R2年度	10件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

2・環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ゼロ・ウェイストの推進 【再掲】 【★】 担当課 環境対策課	資源の浪費、無駄をなくし、脱焼却、脱埋立をめざす「ゼロ・ウェイスト」を達成するため、その考え方について、広く内外に周知を行う。	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催し啓発活動を行った。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施した。 事業系ごみの減量化・資源化を推進するため、事業系可燃ごみ質検査を実施し、組成分析を行った。（6月7日）	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行った。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施した。 家庭系可燃ごみ質検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかった。（10月13日） 斑鳩町商工会員に対して、古紙類の分別について未記名のアンケート調査を行った。	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行った。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施した。 食品ロス検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかった。（7月21日・28日） 斑鳩町商工会員に対して、古紙類の分別に関するアンケート調査を実施した。	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行う。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施する。 事業系可燃ごみ質検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかった。（7月17日）	エコフェスタや環境学習（小学校）を開催するとともに、各種イベントにおいて雑がみ分別袋などを配布し啓発活動を行う。 また、斑鳩まほろば宣言・推進計画に基づき、事業を実施する。 ごみ質検査を実施し、組成分析を行うことで、ごみ減量化・資源化の推進をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
焼却・埋立処理量	R1年度	4,264t 焼却：3,580t 埋立：684t	2,533t 焼却：2,241t 埋立：292t	3,442t 焼却：3,141t 埋立：301t	3,876t 焼却：3,579t 埋立：297t	3,215t 焼却：2,916t 埋立：299t	3,829t 焼却：3,589t 埋立：240t	2,988t 焼却：2,691t 埋立：297t	3,813t 焼却：3,616t 埋立：197t	2,761t 焼却：2,466t 埋立：295t	3,813t 焼却：3,616t 埋立：197t	2,533t 焼却：2,241t 埋立：292t	
	R2年度	3,669t 焼却：3,366t 埋立：303t											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民の環境保全活動への支援 【再掲】 担当課 環境対策課	環境保全分野で活動するNPO・ボランティアの活動を支援する。また、自然を回復する取組みについても支援を行うとともに、衛生害虫の駆除に対する支援を行う。	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・親子環境教室（ソーラーランタン教室） ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩の開催 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：29件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩2022の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：28件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ2023斑鳩の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：30件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。 補助件数：14件 （9月末時点）	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	1団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

2･環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
環境保全推進委員活動の支援 担当課 環境対策課	環境問題に対する住民意識の向上をはかるため、環境保全推進委員を中心とした実践活動を継続して実施する。	地域の良好な環境づくりをはかるため、第13期環境保全推進委員を委嘱した。（114名）	第13期環境保全推進委員（114名）により、地域の良好な環境づくりをはかるため、活動を行った。	地域の良好な環境づくりをはかるため、第14期環境保全推進委員を委嘱した。（106名） また、奈良県環境アドバイザー制度を活用し、環境保全推進委員研修会を実施した。	第14期環境保全推進委員（106名）により、地域の良好な環境づくりをはかるため、活動を行う。 また、奈良県環境アドバイザー制度を活用し、環境保全推進委員研修会を実施する。	地域の良好な環境づくりをはかるため、第15期環境保全推進委員を委嘱する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
推進委員の数	R1年度	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	各自治会1名	
	R2年度	各自治会1名											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩町地球温暖化防止実行計画の策定 担当課 環境対策課	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づいて、環境負荷低減に対する取組みの実施にむけた斑鳩町地球温暖化防止実行計画を策定する。	斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）素案を作成するとともに、各施設の温室効果ガス排出量調査や進捗管理体制を構築する。	斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、町が行う事務事業にともなって発生する温室効果ガスの排出抑制をはかった。 令和5年度からの計画実施、進捗管理にむけ、準備をすすめた。 （令和4年9月策定）			

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	計画の策定	計画の策定	計画の策定準備	計画の策定	計画の策定						
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	◎	完了						

06・循環型社会の推進・環境保全

2･環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進 担当課 環境対策課	地球温暖化対策推進法第21条に基づく斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともない、温室効果ガス削減目標の達成にむけ、取組みの推進をはかる。		斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、令和5年度からの実施、進捗管理にむけ、準備をすすめた。	斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともない、温室効果ガス削減目標の達成にむけた取組みを推進した。	斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともない、温室効果ガス削減目標の達成にむけた取組みを推進する。	斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともない、温室効果ガス削減目標の達成にむけた取組みを推進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
温室効果ガス総排出量の削減率（2013年度比）	R1年度		2030年度までに、2013年度を基準として、温室効果ガス総排出量を60%以上削減			計画の策定、計画の実施・進捗管理等の準備	計画の策定、計画の実施・進捗管理等の準備	2023年度で43.7%削減	2023年度で51.7%削減	2024年度で46.0%削減	2024年度で51.7%削減	2030年度までに、2013年度を基準として、温室効果ガス総排出量を60%以上削減	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町有施設における再生可能エネルギー等の導入 担当課 環境対策課	地球温暖化対策推進法第21条に基づく斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともない、温室効果ガス削減目標の達成にむけ、町有施設における効果的・効率的な太陽光発電設備等の再生可能エネルギー等導入をすすめる。		斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともなう温室効果ガス削減目標の達成にむけ、町有施設における再生可能エネルギー等の導入を検討した。	環境省の補助事業「地域脱炭素実現にむけた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業（補助率：3/4）を活用し、斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の対象施設（37施設）を対象として、再生可能エネルギー等導入可能性調査を実施した。	町有施設における効果的・効率的な太陽光発電設備等の再生可能エネルギー導入を検討する。	斑鳩町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定にともなう温室効果ガス削減目標の達成にむけ、「町有施設太陽光発電設備導入計画」を策定する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ー	R1年度		町有施設における再生可能エネルギー等の導入			再生可能エネルギー等の導入検討	再生可能エネルギー等の導入検討	導入可能性調査の実施、導入の検討	導入可能性調査の実施、導入の検討	町有施設への再生可能エネルギーの導入	町有施設への再生可能エネルギーの導入	町有施設への再生可能エネルギーの導入	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						○	継続	○	継続	○	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

2･環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生き生きプラザ斑鳩ガーデニングボランティア活動の推進 担当課 健康対策課	ガーデニングボランティアの活動を通して、生き生きプラザ斑鳩の低木の剪定、草引き、草花の補植など植栽管理を行う。	ガーデニングボランティアによる低木の剪定、草引、草花の補植等、植栽管理を行った。また、開館時より当館のガーデニングをコーディネイトしていた事務所の閉鎖にともない、コーディネーターが不在となり、ボランティア養成を行うことができないため、廃止とした。				

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ボランティア登録数（累計）	R1年度	31人	35人	35人	31人								
	R2年度	31人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	廃止								

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公害の未然防止対策 担当課 環境対策課	民間における騒音・振動規制法に該当する特定施設等の防止設備の徹底など、公害の未然防止に努める。	特定建設作業実施届出 19件 特定施設設置届出 2件	特定建設作業実施届出 12件 特定施設設置届出 0件	特定建設作業実施届出 19件 特定施設設置届出 3件	民間における騒音・振動規制法に該当する特定施設等の防止設備の徹底など、公害の未然防止に努める。 特定建設作業実施届出 8件 特定施設設置届出 0件 （9月末時点）	民間における騒音・振動規制法に該当する特定施設等の防止設備の徹底など、公害の未然防止に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

2･環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
広域的な水質改善活動の推進 担当課 環境対策課	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動等を実施する。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進した。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進した。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進した。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進する。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
河川の水質浄化 担当課 環境対策課	町内河川の水質検査等を継続して実施することにより、河川の水質浄化に努める。	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施した。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.97 富雄川　5.91 竜田川　4.07	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施した。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.29 富雄川　3.70 竜田川　3.08	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施した。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.56 富雄川　4.17 竜田川　3.33	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施する。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.70 富雄川　4.08 竜田川　2.97 （9月末時点）	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
大和川水系のBOD （生物化学的酸素要求量）	R1年度	大和川　3.79 富雄川　2.39 竜田川　2.88	BOD　5以下	BOD　5以下	大和川　3.97 富雄川　5.91 竜田川　4.07	BOD　5以下	大和川　3.29 富雄川　3.70 竜田川　3.08	BOD　5以下	大和川　3.56 富雄川　4.17 竜田川　3.33	BOD　5以下	大和川　3.70 富雄川　4.08 竜田川　2.97	BOD　5以下	
	R2年度	大和川　4.53 富雄川　4.08 竜田川　4.51											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

2･環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
環境教室の開催 担当課 環境対策課	環境問題に対する住民意識の向上、知識の習得を促進するため、親子で学べる環境教室を開催する。	親子環境教室の開催 1教室を開催 （親子水生生物探検教室） アンケート調査の実施	親子環境教室の開催 1教室を開催 （ソーラーカーづくり教室） アンケート調査の実施	親子環境教室の開催 1教室を開催 （親子で自然エネルギー教室） アンケート調査の実施	親子環境教室の開催 2教室を開催 （キラキラボールペンづくり教室） （親子水生生物教室） アンケート調査の実施	親子環境教室の開催 1教室を開催 （省エネルギー電気工作教室） アンケート調査の実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①教室参加者の意識向上率 ②開催回数	R1年度	①100.0% ②2教室	①100.0% ②2教室	①100.0% ②2教室	①100.0% ②1教室	①100.0% ②2教室	①100.0% ②1教室	①100.0% ②2教室	①100.0% ②1教室	①100.0% ②2教室	①100.0% ②2教室	①100.0% ②2教室	
	R2年度	①－ ②－											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
クリーンキャンペーン活動の推進 担当課 環境対策課	環境問題に対する住民意識の向上をはかるため、①町内全域を対象としたクリーンキャンペーンと②自治会内クリーンキャンペーンを実施する。	①クリーンキャンペーン ※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 ②自治会内美化キャンペーン 実施日　9～10月の間	①クリーンキャンペーン 開催日：6月26日（日） ②自治会内美化キャンペーン 実施日　9～10月の間	①クリーンキャンペーン 6月3日（土）に予定していたが、天候不良のため中止した。 ②自治会内美化キャンペーン 実施日　9～11月の間 自治会に対し、自治会内美化キャンペーンの実施時期について、アンケート調査を行った。	①クリーンキャンペーン 開催日：6月1日（土） ②自治会内美化キャンペーン 実施日：9～11月の間	①クリーンキャンペーン 開催日：令和7年6月頃 ②自治会内美化キャンペーン 実施日：9～11月の間

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①参加者数 ②実施自治会数	R1年度	①1,500人 ②130自治会	①3,000人 ②130自治会	①3,000人 ②130自治会	①－ ②81自治会	①3,000人 ②130自治会	①700人 ②96自治会	①3,000人 ②130自治会	①－ ②116自治会	①3,000人 ②130自治会	①1,100人 ②113自治会	①3,000人 ②130自治会	
	R2年度	①－ ②70自治会											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

2･環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
廃食用油回収の推進 担当課 環境対策課	生活排水による河川の汚濁防止をはかるため、廃食用油の回収を行う。また、回収した廃食用油の有効活用をはかるため、NEF化し、鳩水園において重油の代替燃料として使用する。	廃油回収量 9,013ﾘｯﾄﾙ NEF使用量（鳩水園） ｰﾘｯﾄﾙ 河川の水質の維持・向上をはかるため、引き続き廃食用油の回収を行うとともに、廃食用油の有効活用をはかるため、NEFの使用を予定していたが地下重油タンクの不具合により、NEFは使用しなかった。（鳩水園曝気槽ボイラー用）	廃油回収量 7,393ﾘｯﾄﾙ NEF使用量（鳩水園） ｰﾘｯﾄﾙ 河川の水質の維持・向上をはかるため、引き続き廃食用油の回収を行った。	廃油回収量 6,545ﾘｯﾄﾙ NEF使用量（鳩水園） ｰﾘｯﾄﾙ 河川の水質の維持・向上をはかるため、引き続き廃食用油の回収を行った。	廃油回収量 3,236ﾘｯﾄﾙ（R6.9月末現在） NEF使用量（鳩水園） ｰﾘｯﾄﾙ 河川の水質の維持・向上をはかるため、引き続き廃食用油の回収を行う。	河川の水質の維持・向上をはかるため、引き続き廃食用油の回収を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
廃食用油回収量	R1年度	7,990ﾘｯﾄﾙ	8,500ﾘｯﾄﾙ／年	8,500ﾘｯﾄﾙ／年	9,013ﾘｯﾄﾙ／年	8,500ﾘｯﾄﾙ／年	7,393ﾘｯﾄﾙ／年	8,500ﾘｯﾄﾙ／年	6,545ﾘｯﾄﾙ／年	8,500ﾘｯﾄﾙ／年	6,472ﾘｯﾄﾙ／年	8,500ﾘｯﾄﾙ／年	
	R2年度	8,907ﾘｯﾄﾙ											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	○	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
鳩水園の維持管理 担当課 環境対策課	し尿処理技術の向上と周辺環境の保全に努めるための整備補修を行う。	施設補修工事として、通年補修整備を行う。 公共下水道接続にむけ、関係機関と協議が整い、公共下水道への接続工事を行った。 なお、操作盤等の作成に期間を要するため、令和4年度への繰越明許にて工事を実施した。	施設補修工事として、通年補修整備を行った。 公共下水道への接続工事が完了し、県流域下水道へ放流を開始（R4.8.25）した。	施設補修工事として、通年補修整備を行った。 BOD：3.45	施設補修工事として、通年補修整備を行う。 BOD：9.88 （9月末時点）	施設補修工事として、通年補修整備を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
放流水の汚濁度（BOD）	R1年度	8.01	5.0	5.0	2.67	5.0	1.68	5.0	3.45	5.0	9.88	5.0	
	R2年度	13.14											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	△	継続		

06・循環型社会の推進・環境保全

2･環境保全対策の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
合併処理浄化槽の設置補助 担当課 環境対策課	合併処理浄化槽の設置について、公共下水道の整備状況を見ながら補助制度の運用をはかり、公域水域の水質汚濁の防止をはかる。	浄化槽設置整備に対し補助する。また、循環型社会形成推進地域計画を作成した。（R4～R8） 5人槽　6基 7人槽　4基	浄化槽設置整備に対し補助をおこなった。 5人槽　10基 10人槽　1基	浄化槽設置整備に対し補助した。 5人槽　9基 7人槽　2基	浄化槽設置整備に対し補助する。 5人槽　10基 10人槽　1基 （.9月末時点）	浄化槽設置整備に対し補助する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	補助事業の実施	
	R2年度	補助事業の実施											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
脱水汚泥再生利用の推進 担当課 環境対策課	脱水汚泥の再生利用について、資源化処理を実施する。	民間委託による脱水汚泥の資源化処理を実施した。	民間委託による脱水汚泥の資源化処理を実施した。	民間委託による脱水汚泥の資源化処理を実施した。	民間委託による脱水汚泥の資源化処理を実施する。	民間委託による脱水汚泥の資源化処理を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	資源化処理の実施	
	R2年度	資源化処理の実施											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

07・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
行政組織機構の整備 担当課 総務課	新たな行政課題や住民ニーズに対応した効率的・効果的な行政組織体制の構築をはかるとともに、定年延長にむけて、役職定年制度の導入や給与制度の見直し等により、高齢になっても働き続けられる職場づくりを行う。	「第5次斑鳩町総合計画」に掲げる諸施策を着実に実施する組織体制を確保するとともに、より効率的で機能的な組織運営を行いつつ、住民サービスの向上をはかることを目的として、本町の行政組織機構を再編した。	令和5年4月1日からの地方公務員の定年の引上げにともない、役職定年制の導入などの制度構築および例規整備を行った。	各部署の連携・協力により、効率的・効果的な組織運営をはかるとともに、定年延長、役職定年制等の運用を行った。 役職定年制の導入にともなう例規整備を行った。	各部署の連携・協力により、効率的・効果的な組織運営をはかるとともに、定年延長、役職定年制等の運用を行う。	各部署の連携・協力により、効率的・効果的な組織運営をはかるとともに、定年延長、役職定年制等の運用を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	調査・研究	高齢職員を含めた組織のあり方の整備	行政組織の再編	行政組織の再編	定年引上げにともなう制度構築および例規整備	定年引上げにともなう制度構築および例規整備	定年延長、役職定年制等の運用および役職定年制の導入にともなう例規整備	定年延長、役職定年制等の運用および役職定年制の導入にともなう例規整備	定年延長、役職定年制等の運用	定年延長、役職定年制等の運用	定年延長、役職定年制等の運用	
	R2年度	他団体の状況調査・研究											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公益通報制度の継続 担当課 総務課	開かれた行政を推進するため、公益通報制度の運用を行う。	開かれた行政を推進することから、引き続き、公益通報制度を運用した。	開かれた行政を推進することから、引き続き、公益通報制度を運用した。	開かれた行政を推進することから、引き続き、公益通報制度を運用した。	開かれた行政を推進することから、引き続き、公益通報制度を運用する。	開かれた行政を推進することから、引き続き、公益通報制度を運用する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	制度の継続	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	公益通報制度の運用	
	R2年度	制度の継続											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

07・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
職員の健康管理 担当課 総務課	職員の能力が十分に発揮できるよう、健康診断や産業医による健康相談、ストレスチェック制度の実施、衛生委員会の開催などを通じて、職員の健康保持増進をはかる。	定期健康診断、雇入れ時健康診断、健康相談およびストレスチェックを実施するとともに衛生委員会を開催（書面開催）した。 なお、メンタルヘルス研修の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況に鑑み中止した。	定期健康診断、雇入れ時健康診断、健康相談、ストレスチェックおよびメンタルヘルス研修を実施するとともに衛生委員会を開催した。	定期健康診断、雇入れ時健康診断、健康相談、ストレスチェックおよびメンタルヘルス研修を実施するとともに衛生委員会を開催した。 心の悩みを抱えた職員の心理的負担を軽減し、職員の健康を保持するため、専門的な知識・経験を有する専門家によるカウンセリングを開始した。	定期健康診断、雇入れ時健康診断、健康相談、ストレスチェック、職員カウンセリングおよびメンタルヘルス研修を実施するとともに衛生委員会を開催する。 精神保健面の不調に適切に対応するため、産業医として精神保健専門医1名を増員した。 環境変化が大きい新規採用職員の心理的負担を軽減するため、新規採用職員カウンセリングを開始した。	定期健康診断、雇入れ時健康診断、健康相談、ストレスチェック、職員カウンセリングおよびメンタルヘルス研修を実施するとともに衛生委員会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施	
	R2年度	健康診断・健康相談・ストレスチェック等の実施											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
人材育成の推進 担当課 総務課	人材育成方針に基づき、常に問題意識を持ち自発的に能力維持向上に努める人材を育成するため、各階層又は職種ごとの受講必須科目の設定や、提供研修内容の改善、充実をはかる。 また、住民からの信頼を確保するため、個人情報保護や法令順守に関する意識の向上を目的とした研修を継続的に実施する。	奈良県市町村総合事務組合主催の各種研修の受講を勧奨した。 本町主催の研修として、コンプライアンス研修、人事評価研修および聴覚障害者サポート研修を実施した。 なお、メンタルヘルス研修については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況に鑑み開催を中止した。	奈良県市町村総合事務組合主催の各種研修の受講を勧奨した。 本町主催の研修として、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、人事評価研修及び斑鳩らしさウォッチング研修を実施した。 職員の自己啓発意欲および資質を高めるため、職員の資格取得に係る助成金交付規程を制定した。	奈良県市町村総合事務組合主催の各種研修の受講を勧奨した。 本町主催の研修として、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修および人事評価研修を実施した。 環境の変化、新たな行政課題に対応するための研修・人材育成の制度設計・方針を決定するため、経常的に実施している研修内容について、効果を検証した。	奈良県市町村総合事務組合主催の各種研修の受講を勧奨する。 本町主催の研修として、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、人事評価研修および救急救命講習を実施する。 組織として職員の研修体制を確保し、住民福祉の向上および持続可能な組織運営を行うことを目的に、職員研修計画を策定した。	奈良県市町村総合事務組合主催の各種研修の受講を勧奨する。 本町主催の研修として、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、人事評価研修および救急救命講習を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
各種職員研修の実施回数	R1年度	26回	20回／年	20回／年	19回／年	20回／年	21回／年	20回／年	13回／年	20回／年	20回／年	20回／年	
	R2年度	21回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	◎	継続	△	継続	○	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
人事評価制度の運用 担当課 総務課	職員がその職務を遂行するにあたり発揮した能力および挙げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を運用し、これを任用、給与、分限等の人事管理の基礎として活用することにより、職員の能力向上や公務能率の向上など、さらなる組織の活性化をはかる。	評価者に対し、人事評価制度に関する研修を実施した。 人事評価制度の運用を行うとともに、その結果を人事管理の基礎として活用した。 人事評価結果の給与等への反映について、全職員への適用拡大を、令和4年4月1日から実施するよう制度改正した。	被評価者に対し、人事評価に関する研修を実施した。 人事評価制度の運用を行うとともに、その結果を人事管理の基礎として活用した。 人事評価結果の給与等への反映を全職員に適用拡大した。	評価者に対し、人事評価に関する研修を実施した。 人事評価制度の運用を行うとともに、その結果を人事管理の基礎として活用した。	被評価者に対し、人事評価に関する研修を実施する。 会計年度任用職員の人事評価を開始した。 評価の精密化と人事評価点へのより的確な反映をはかるため、能力評価の評価値決定方法を変更した。 人事評価制度の運用を行うとともに、その結果を人事管理の基礎として活用する。	評価者に対し、人事評価に関する研修を実施する。 人事評価制度の運用を行うとともに、その結果を人事管理の基礎として活用する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
人事評価制度に関する職員研修の実施回数	R1年度	1回	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	
	R2年度	1回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
総合計画の進捗管理 担当課 政策財政課	第5次総合計画がめざすまちづくりの実現と計画的な事業の推進にむけた進捗管理を毎年度行い、進捗状況を公表する。特に、その進捗管理には、事務事業評価的な要素を取り入れ、事業の有効性等を客観的に測ることのできる目標指標を可能な限り設定する。	進捗管理のためのヒアリングを実施した。 実施日 令和3年11月10・12・18・19・25日	進捗管理のためのヒアリングを実施した。 実施日 令和4年10月6・7・13・14日	進捗管理のためのヒアリングを実施する。 実施日 令和5年10月2・3・5・11日	進捗管理のためのヒアリングを実施した。 実施日 令和6年10月1・2・3日 第5次総合計画後期基本計画および第3期総合戦略策定にむけたアンケート調査を実施した。 アンケート回収率：48.1% （前回（H30）回収率：40.7%）	総合計画審議会を開催し、第5次総合計画後期基本計画を策定する。 進捗管理のためにヒアリングを実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	
	R2年度	進捗管理の実施・公表 第5次総合計画の策定											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 担当課 政策財政課	第5次総合計画の重点施策である「斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の円滑な施策の推進をはかるため、まち・ひと・しごと創生会議を開催し、効果検証を行う。	まち・ひと・しごと創生会議による地方創生交付金事業および総合戦略事業の効果検証を行った。 6月1日～18日（書面開催）	まち・ひと・しごと創生会議による地方創生交付金事業および総合戦略事業の効果検証を行った。 5月27日～6月10日（書面開催）	まち・ひと・しごと創生会議を開催し、総合戦略事業および地方創生交付金事業の効果検証を行った。 開催日：5月25日	まち・ひと・しごと創生会議を開催し、総合戦略事業および地方創生交付金事業の効果検証を行った。 5月24日～6月7日（書面開催） 第5次総合計画後期基本計画および第3期総合戦略策定にむけたアンケート調査を実施した。 アンケート回収率：48.1% （前回（H30）回収率：40.7%）	まち・ひと・しごと創生会議を開催し、総合戦略事業および地方創生交付金事業の効果検証を行う。 第3期総合戦略を、第5次総合計画後期基本計画の重点施策として位置付け策定する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	進捗管理および見直し	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	進捗管理の実施・公表	
	R2年度	進捗管理 第2期策定											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
行政改革の推進 担当課 政策財政課	行政改革大綱の理念に基づき、簡素で効率的な行政システムを確立し、施策の着実な推進をはかる。	現状の問題点を洗い出し、それに対応した実現可能な改善策を検討するために職員アンケートを実施した。	職員の成功体験となり住民サービスの向上につながる計画として斑鳩町行政改革アクションプランを策定した。	重点項目と推進項目に分類し、計画期間に取り組む具体的な事業内容やスケジュールを取りまとめた。 【主な取組み】 ・イベントの集約（産業まつり・斑鳩の里文化芸術祭） ・職員出退勤管理システムの導入 ・コピー機・プリンタの一括管理等	デジタル推進係が創設され、各課の伴走支援を行いながら取組みを推進する。また、説明会を開催し、業務改善の必要性等を再確認した。 【主な取組み】 ・庁内会議・打合せ等におけるペーパーレス化の実施 ・会議録等の音声反訳発注の推進 ・年末調整システムの導入 ・中央体育館キャッシュレス決済の導入　等	各課の伴走支援を行いながら取組みを推進する。 また、行政改革アクションプランの更新を行う。 【主な取組み予定】 ・基幹システムの標準化 ・行政手続オンライン化（電子申請）の推進 ・文書管理システムの導入検討 ・ビジネスチャットツールの導入検討　等

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健全な財政運営 担当課 政策財政課	既存事業の必要性や費用対効果、規模等の見直しなどによる経常的経費の縮減に努めるとともに、新たな財源の確保にむけ積極的に取り組むことで、財政運営の健全化に努める。また、健全化判断比率の各指標について、引き続き、早期健全化基準未満とし、健全な財政を維持していく。	令和2年度の歳計剰余金を活用し、交付税措置のない町債の借入れをとりやめ、後年度負担の軽減をはかった。令和4年度予算編成では、引き続き全庁的な視点を持って各事業の必要性や費用対効果等を見直しながら、財源に見合った規模に抑制するよう周知した。	令和3年度の歳計剰余金を活用し、交付税措置のない町債の借入れをとりやめ、後年度負担の軽減をはかった。令和5年度予算編成では、町単独事業の再構築など、全庁的な視点を持って各事業の必要性や費用対効果等を見直しながら、財源に見合った規模に抑制するよう周知した。	令和4年度の歳計剰余金を活用し、交付税措置のない町債の借入れをとりやめ、後年度負担の軽減をはかった。令和6年度予算編成では、町単独事業の再構築など、全庁的な視点を持って各事業の必要性や費用対効果等を見直しながら、財源に見合った規模に抑制するよう周知した。	令和5年度の歳計剰余金については、現年度予算の財源を確保しつつ、後年度負担の軽減をはかる。令和7年度予算編成では、町単独事業の再構築など、全庁的な視点を持って各事業の必要性や費用対効果等を見直しながら、財源に見合った規模に抑制するよう周知した。	令和6年度の歳計剰余金を活用し、交付税措置のない町債の借入れをとりやめ、後年度負担の軽減をはかる。令和8年度予算編成では、町単独事業の再構築など、全庁的な視点を持って各事業の必要性や費用対効果等を見直しながら、財源に見合った規模に抑制するよう周知する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①連結実質赤字比率 ②実質公債費比率 ③将来負担比率	R1年度	①△9.70% ② 6.9% ③39.8% （H30決算） 早期健全化基準未満達成	すべての指標において、早期健全化基準未満とする。	早期健全化基準未満	①△16.55% ② 7.0% ③37.5% （R2決算） 早期健全化基準未満達成	早期健全化基準未満	①△21.15% ② 7.3% ③24.9% （R3決算） 早期健全化基準未満達成	早期健全化基準未満	①△20.83% ② 7.8% ③18.6% （R4決算） 早期健全化基準未満達成	早期健全化基準未満	①△12.77% ② 8.1% ③ 9.6% （R5決算） 早期健全化基準未満達成	早期健全化基準未満	
	R2年度	①△13.23% ② 7.1% ③46.1% （R1決算）											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
財務書類4表の作成 担当課 政策財政課	住民のストック情報への関心の高まりに対応するため、また適正な財政運営を実施していくため、地方公会計改革に対応した財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成および公表を引き続き行う。	令和2年度決算に係る一般会計分と、特別会計や公営企業会計など関連する会計を含めた連結分を作成し、議会へ報告するとともに、町ホームページにて公表した。また、作成にかかる事務の効率化をはかるため、委託内容を助言・指導業務から作成業務へ変更した。	令和3年度決算に係る一般会計分と、特別会計や公営企業会計など関連する会計を含めた連結分を作成し、議会へ報告するとともに、町ホームページにて公表した。	令和4年度決算に係る一般会計分と、特別会計や公営企業会計など関連する会計を含めた連結分を作成し、議会へ報告するとともに、町ホームページにて公表した。	令和5年度決算に係る一般会計分と、特別会計や公営企業会計など関連する会計を含めた連結分を作成し、議会へ報告するとともに、町ホームページにて公表する。	令和6年度決算に係る一般会計分と、特別会計や公営企業会計など関連する会計を含めた連結分を作成し、議会へ報告するとともに、町ホームページにて公表する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	国の統一基準によるH30決算財務書類4表の作成および公表	国の統一基準による財務書類4表の作成および公表	国の統一基準による財務書類4表の作成および公表	国の統一基準によるR2決算財務書類4表の作成および公表	国の統一基準による財務書類4表の作成および公表	国の統一基準によるR3決算財務書類4表の作成および公表	国の統一基準による財務書類4表の作成および公表	国の統一基準によるR4決算財務書類4表の作成および公表	国の統一基準による財務書類4表の作成および公表	国の統一基準によるR5決算財務書類4表の作成および公表	国の統一基準による財務書類4表の作成および公表	
	R2年度	国の統一基準によるR1決算財務書類4表の作成および公表											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町税収入の確保 担当課 税務課	滞納整理の推進および新規滞納の抑制をはかり、安定した町税収入の確保を行う。	安定した町税収入を確保するため、適時の滞納処分と適切な債権管理に基づく執行停止・不納欠損処分等により、累積滞納額を縮減するとともに、税に関する専門的知識・能力を持った人材育成をはかった。 現年度徴収率および住民の利便性向上をはかるため、スマホ収納を導入し、収納手段の多角化をすすめた。	安定した町税収入を確保するため、適時の滞納処分と適切な債権管理に基づく執行停止・不納欠損処分等により、累積滞納額の抑制をはかるとともに、税に関する専門的知識・能力を持った人材育成をはかった。 現年度徴収率および住民の利便性向上をはかるため、地方税共通納税システムの対象税目の拡大およびｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ等による納付を可能とする地方税統一QRコードの導入準備をすすめた。	安定した町税収入を確保するため、適時の滞納処分と適切な債権管理に基づく執行停止・不納欠損処分等により、累積滞納額の抑制をはかるとともに、税に関する専門的知識・能力を持った人材育成をはかった。 現年度徴収率および住民の利便性向上をはかるため、地方税共通納税システムの対象税目の拡大およびｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ等による納付を可能とする地方税統一QRコードの運用を開始した。	安定した町税収入を確保するため、滞納整理の推進と適切な債権管理に基づく執行停止・不納欠損処分等により、累積滞納額の抑制をはかるとともに、税に関する専門的知識・能力を持った人材育成をはかる。 現年度徴収率向上をはかるため、口座振替や地方税統一QRコードなど多様な納付方法について広報PRを強化し、納期内納付につなげる。	安定した町税収入を確保するため、滞納整理の推進と適切な債権管理に基づく執行停止・不納欠損処分等により、累積滞納額の抑制をはかるとともに、税に関する専門的知識・能力を持った人材育成をはかる。 現年度徴収率向上をはかるため、口座振替や地方税統一QRコードなど多様な納付方法について広報PRを強化し、納期内納付につなげる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
現年度徴収率の維持 累積滞納額の縮減	R1年度 現年度徴収率 99.4% 累積滞納額 61,643千円	現年度徴収率 99.4% 累積滞納額 60,000千円	現年度徴収率 99.4% 累積滞納額 60,000千円	現年度徴収率 99.6% 累積滞納額 32,570千円	現年度徴収率 99.5% 累積滞納額 32,570千円	現年度徴収率 99.5% 累積滞納額 29,565千円	現年度徴収率 99.5% 累積滞納額 29,565千円	現年度徴収率 99.4% 累積滞納額 34,093千円	現年度徴収率 99.5% 累積滞納額 34,093千円	現年度徴収率 99.5% 累積滞納額 34,093千円	現年度徴収率 99.5% 累積滞納額 34,093千円	
	R2年度 現年度徴収率 99.1% 累積滞納額 61,205千円											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
課税客体の適正な把握 担当課 税務課	課税客体の適正な把握のため申告指導･現況調査の充実をはかるとともに、課税事務の効率化をはかるため情報化を推進する。	町県民税および固定資産税償却資産（太陽光発電）の未申告者等に対する申告勧奨を行うとともに、土地・家屋の実地調査等により課税客体の調査確認を行った。 エルタックスによる電子申告等の利用の拡大、固定資産業務支援システム・登記課税連携システムの運用等による適正な課税および事務の効率化をすすめた。	町県民税および固定資産税償却資産の未申告者等に対する申告勧奨を行うとともに、土地・家屋の実地調査等により課税客体の調査確認を行った。 エルタックスによる電子申告等の利用の拡大、固定資産業務支援システム・登記課税連携システムの運用等による適正な課税および事務の効率化を推進するとともに、基幹税システムの仕様の全国統一化に対応する準備をすすめた。	町県民税および固定資産税償却資産の未申告者等に対する申告勧奨を行うとともに、土地・家屋の実地調査等により課税客体の調査確認を行った。 エルタックスによる電子申告等の利用の拡大、固定資産業務支援システム・登記課税連携システムの運用等による適正な課税および事務の効率化を推進するとともに、基幹税システムの仕様の全国統一化に対応する準備をすすめた。	町県民税および固定資産税償却資産の未申告者等に対する申告勧奨を行うとともに、土地・家屋の実地調査等により課税客体の調査確認を行う。 エルタックスによる電子申告等の利用の拡大、適正な課税および事務の効率化を推進するとともに、基幹税システムの仕様の全国統一化に対応する準備をすすめる。	町県民税および固定資産税償却資産の未申告者等に対する申告勧奨を行うとともに、土地・家屋の実地調査等により課税客体の調査確認を行う。 エルタックスによる電子申告等の利用の拡大、適正な課税および事務の効率化を推進するとともに、基幹税システムの仕様の全国統一化に対応する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
使用料・手数料の適正化 担当課 政策財政課	行政サービスを利用する人としない人の公平性の確保と受益者負担の原則を基本として、サービス提供に要する経費に無駄がないか、あるいは、より効率的なサービス提供の方法はないかなど、十分な検証を行ったうえで、その適正化をすすめる。 また、定期的に原価（コスト）調査を実施し、使用料・手数料の見直しを行っていく。	サービス提供を行う行政として、効率的な施設運営や事務推進をはかり、利用者の理解が得られる負担軽減への努力を行いつつ、原価調査結果や周辺自治体における料金設定状況の確認等を行いながら、適正な受益者負担の原則に則り、3年ごとの定期的な見直しを検討・実施するための調査研究を行った。	サービス提供を行う行政として、効率的な施設運営や事務推進をはかり、利用者の理解が得られる負担軽減への努力を行いつつ、原価調査結果や周辺自治体における料金設定状況の確認等を行いながら、適正な受益者負担の原則に則り、3年ごとの定期的な見直しを検討した。（見直し項目なし）	サービス提供を行う行政として、効率的な施設運営や事務推進をはかり、利用者の理解が得られる負担軽減への努力を行いつつ、原価調査結果や周辺自治体における料金設定状況の確認等を行いながら、適正な受益者負担の原則に則り、今後は町全体の方針等を確認したうえで必要に応じて見直しを検討することとした。	サービス提供を行う行政として、効率的な施設運営や事務推進をはかり、利用者の理解が得られる負担軽減への努力を行いつつ、原価調査結果や周辺自治体における料金設定状況の確認等を行いながら、適正な受益者負担の原則に則り、町全体の方針等を確認したうえで必要に応じて見直しを検討する。	サービス提供を行う行政として、効率的な施設運営や事務推進をはかり、利用者の理解が得られる負担軽減への努力を行いつつ、原価調査結果や周辺自治体における料金設定状況の確認等を行いながら、適正な受益者負担の原則に則り、町全体の方針等を確認したうえで必要に応じて見直しを検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	見直し検討	調査研究・見直し検討	調査研究	調査研究	見直し検討	見直し検討	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	
	R2年度	調査研究											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自治体クラウドの導入 担当課 政策財政課	情報システムの最適化・効率化をはかるため、費用対効果を検証のうえ、自治体クラウドの導入を検討する。独自調達システムにおいては、仮想サーバーによるサーバーの集約、効率化、費用対効果等を調査研究し、再構築をすすめる。	クラウド移行している基幹系システムの機器更新を行った。	自治体クラウドの位置付けとして、平成31年度に4町2村（平群町・斑鳩町・御杖村・高取町・明日香村・吉野町）で締結した「電算システムの共同化の実施に関する基本協定書」について、令和8年3月31日まで事業期間を延長した。	国のガバメントクラウドの構築や自治体情報システムの標準化・共通化を見据えたシステム運用・管理を行った。	国のガバメントクラウドの構築や自治体情報システムの標準化・共通化を見据えたシステム運用・管理を行う。	国のガバメントクラウドの構築や自治体情報システムの標準化・共通化を見据えたシステム運用・管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
GIS構築の調査・研究 担当課 政策財政課	図面情報・台帳情報をデータベース化し、全庁の共通データベースとしての全庁型地理情報システムの構築にむけた調査・研究を行う。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討した。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討した。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討した。	・全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討する。 ・都市建設部において、下水道等の埋設物や道路状況についてホームページ上に公開する公開型GISの導入について検討している。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
事務のOA化の推進 担当課 政策財政課	情報システムの導入・更新にあたっては、既存業務の効率化に主眼をおいた見直しを行う。また、AI、RPA等の新たなICTの利活用を推進し、全庁的な行政コストの削減、住民の利便性の向上や行政事務の効率化をすすめる。	行政手続のオンライン化など、自治体DXの取組みを推進するため、仮想化集約によるネットワーク環境の再構築等について、制度設計を行った。	自治体DXを推進するための環境整備として、庁内ネットワーク機器等の更新およびネットワークの最適化・再構築を行い、セキュリティの強靭化と事務の効率化をはかった。 AI議事録の無料トライアルを実施し、全庁的な導入を検討した。 行政改革アクションプランの策定において、業務の棚卸および各課ヒアリングを行い、業務改善のツールとなるICTの活用について検討した。	出先機関のLGWAN系ネットワーク環境を整備し、出退勤管理システムや共有ファイルサーバ等を活用できるようにした。 本庁および出先機関のコピー機、プリンタを一括更新し、費用対効果を高め、事務の効率化をはかった。 業務の生産性を向上させるため、生成AI利用ガイドラインを策定し、試行実施した。 AI議事録の導入にむけて、音声認識精度を確認するため、無料トライアルを再実施した。	自治体情報システムの標準化・共通化に係る契約を締結し、移行準備をすすめるとともに、第5次LGWANに移行する。 また、県が実施する電子契約システムの共同調達に参加し、電子契約システムを導入する。	行政手続のオンライン化やAI、RPA等の新たなICTの利活用など、自治体DXの取組みを推進し、全庁的な行政コストの削減、住民の利便性の向上や行政事務の効率化をすすめる。 自治体情報システムの標準化・共通化について、システム事業者がガバメントクラウド上に構築した「標準準拠システム」を令和7年10月（本稼働予定）から利用する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
職員の出退勤管理のシステム化 担当課 総務課	町職員の出退勤等に係る出退勤管理システムを導入する。	出退勤管理システムの導入にむけ、本町に適したシステムの仕様等を検討した。	出退勤管理システムの導入にむけ、本町に適したシステムの仕様等を検討・決定した。	出退勤管理システムを導入し、令和6年1月から運用を開始した。		

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	職員の出退勤管理システムの導入	出退勤管理システムの導入にむけた検討	出退勤管理システムの導入にむけた検討	出退勤管理システムの導入にむけた仕様等の検討	出退勤管理システムの導入にむけた仕様等の検討	出退勤管理システムの導入・運用	出退勤管理システムの導入・運用				
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	◎	完了				

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
マイナンバー独自利用事務の推進 担当課 総務課	社会保障・地方税・防災に関する事務において、マイナンバーによる情報連携を行う独自利用事務を推進することにより、申請時における添付書類の削減や事務の効率化をはかる。	マイナンバーによる情報連携を行う独自利用事務を運用した。	マイナンバーによる情報連携を行う独自利用事務を運用した。	マイナンバーによる情報連携を行う独自利用事務を運用した。	マイナンバーによる情報連携を行う独自利用事務を運用する。	マイナンバーによる情報連携を行う独自利用事務を運用する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民サービスのOA化の推進 担当課 政策財政課	情報化による住民サービスの向上をめざし、施設予約システムなど利便性を高めるサービスを整備する。	行政手続のオンライン化を推進するため、仮想化集約によるネットワーク環境の再構築等について、制度設計を行った。	自治体DX推進計画の対象となっている子育て・介護関係の26手続について、オンライン化を行うための環境整備として、申請管理システムの構築を行った。 行政改革アクションプランの策定において、業務の棚卸および各課ヒアリングを行い、住民の利便性の向上をはかるためのICTの活用について検討した。	行政改革アクションプランにおけるICTを活用した利便性の向上をはかる取組みについて調査研究を行った。	行政改革アクションプランにおけるICTを活用した利便性の向上をはかる取組みについて今後のすすめ方等を検討する。	行政改革アクションプランにおけるICTを活用した利便性の向上をはかる取組みについてスケジュールに沿って順次実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
オンラインによる申請・届出が可能な業務数（累計）	R1年度	3業務	30業務	3業務	3業務	3業務	3業務	29業務	29業務	30業務	29業務	30業務	
	R2年度	3業務											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民基本台帳ネットワークの運用 担当課 住民課	住民基本台帳ネットワークシステムの運用を推進し、住民基本台帳カードおよびマイナンバーカードを活用して、転入・転出手続きの簡素化・市町村の区域を超えた広域的な住民票の写しの交付を行う。また、申請者にマイナンバーカードの発行を行う。	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 3,190枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（コンビニ交付サービス周知と同時、9・2月号お知らせ版） ・休日交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　18件	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 6,762枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（12・3月号お知らせ版） ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　71件 ・特設会場での申請サポート 152件	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 2,729枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（1月号お知らせ版） ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　88件 ・特設会場での申請サポート 22件	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 640枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（1月号お知らせ版） ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　37件 ・特設会場での申請サポート 0件 （9月末時点）	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進 ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
マイナンバー発行枚数（累計）	R1年度	5,411枚	28,338枚	13,473枚	12,063枚	16,132枚	18,825枚	21,996枚	21,554枚	23,815枚	22,794枚	28,338枚	
	R2年度	8,873枚											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
広域行政の推進 担当課 政策財政課	広域的な対応を必要とする行政課題に対しては、多様な枠組みによる効果的、効率的な広域行政を推進する。	王寺周辺広域市町村圏協議会の廃止にともない、継承組織として西和7町の行政運営に係る課題等の連絡調整をはかることを目的とする、西和7町連絡調整会議を設置した。 （会議開催） 第1回　12月22日 第2回　3月28日	西和7町連絡調整会議の開催 （令和4・5年度は三郷町が事務局） （会議開催） 第1回　8月26日 第2回　3月28日	西和7町連絡調整会議の開催 （令和4・5年度は三郷町が事務局） （会議開催） 第1回　6月21日 第2回　8月28日 第3回　12月19日	西和7町連絡調整会議の開催 （令和6・7年度は河合町が事務局） （会議開催） 第1回　10月7日	西和7町連絡調整会議の開催 （令和6・7年度は河合町が事務局）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
王寺周辺広域休日応急診療施設組合との連携 【再掲】 担当課 健康対策課	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかる。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかった。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかった。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかった。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかる。 令和6年11月から、窓口受付に加えオンラインでの順番受付を開始。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

1・行財政改革の強化と効率的な行財政経営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老人福祉施設三室園組合との連携 【再掲】 担当課 福祉課	老人福祉施設三室園組合との連携により、特に高度な高齢者福祉サービスを支える養護老人ホームや特別養護老人ホームの施設機能サービスの提供を行う。	施設運営に必要な負担金を負担した。	施設運営に必要な負担金を負担した。	施設運営に必要な負担金を負担した。	施設運営に必要な負担金を負担する。	施設運営に必要な負担金を負担する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公民連携（官民連携）の推進 【再掲】 担当課 政策財政課	多様化する地域の課題や町民ニーズに対応するため、民間事業者と積極的に協働し、公民連携（官民連携）による質の高い公共サービスの創出に努める。	多様化する公共サービスへのニーズに対応するため、公民連携による質の高い公共サービスの創出を検討した。	「斑鳩町と日本郵便（株）との包括連携に関する協定」締結（7月19日）	NPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」締結（6月21日） 「斑鳩町とNara Great Buddhersとの連携協力に関する協定」締結（7月4日） （株）MSTアシストと「災害時における緊急通行妨害車両等の排除業務に関する協定」提結（9月22日） 大和信用金庫と「脱炭素社会に向けた取組みにかかる連携協定」締結（2月27日）	多様化する公共サービスへのニーズに対応するため、公民連携による質の高い公共サービスの創出を検討する。	多様化する公共サービスへのニーズに対応するため、公民連携による質の高い公共サービスの創出を検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

07・持続可能な行財政経営

2・公共施設マネジメントの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町有財産の適切な管理 担当課 安全安心課	普通財産・行政財産の適切な管理・運営に努める。また、遊休財産については、可能なものから売却等による処分をすすめていく。	遊休財産の処分および活用方法を検討した。	遊休財産の処分および活用方法を検討した。 パークウェイ事業用地として、興留団地跡地及び五百井基金用地の一部を国に売却した。	遊休財産の処分および活用方法を検討した。	遊休財産の処分および活用方法を検討する。	遊休財産の処分および活用方法を検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町有財産の適切な管理（道路台帳の整備） 担当課 建設農林課	道路台帳等管理システムを適正に運用し、行政財産の適切な管理・運営に努めるとともに、事務の効率化と窓口業務におけるサービスの向上をはかる。	町道・法定外公共物の既明示情報、交通安全施設の情報についてデータの更新を行った。	町道・法定外公共物の既明示情報、交通安全施設の情報についてデータの更新を行った。	町道・法定外公共物の既明示情報、交通安全施設の情報についてデータの更新を行った。	町道・法定外公共物の既明示情報、交通安全施設の情報についてデータの更新を行う。	町道・法定外公共物の既明示情報、交通安全施設の情報についてデータの更新を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

2・公共施設マネジメントの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公共施設等総合管理計画の推進 担当課 安全安心課	今後の人口減少や少子高齢化による、厳しい財政状況を見据えた中で、大きく変化している町民ニーズを的確に捉えた公共施設等のあり方を検討し、各施設別の計画や具体的な方針の整合性をはかりながら、公共施設等の最適化を推進する。	・各施設の管理担当課で、令和2年度に策定した公共施設等管理計画（個別施設計画）や改定した公共施等設総合管理計画に基づき、今後の施設管理において、検討を行った。 ・役場庁舎の長寿命化対策を含め、今後の維持管理について検討した。	・令和2年度に策定した公共施設等管理計画（個別施設計画）や改定した公共施等設総合管理計画に基づき、今後の施設管理において、検討を行った。 ・役場庁舎の長寿命化対策を含め、今後の維持管理について検討した。 ・斑鳩町役場庁舎劣化診断点検業務を実施した。	・令和4年度に実施した斑鳩町役場庁舎劣化診断点検業務の診断結果に基づき、短期の修繕年次計画を検討を行った。 ・役場庁舎の長寿命化対策を含め、今後の維持管理について、中長期的な修繕・改修計画を検討した。	・令和4年度に実施した斑鳩町役場庁舎劣化診断点検業務の診断結果に基づき、短期の修繕年次計画を検討する。 ・役場庁舎の長寿命化対策を含め、今後の維持管理について、中長期的な修繕・改修計画を検討する。 ・公共施設等総合管理計画について、年1回、各課に現状確認を行う。	・令和4年度に実施した斑鳩町役場庁舎劣化診断点検業務の診断結果に基づき、短期の修繕年次計画を検討する。 ・役場庁舎の長寿命化対策を含め、今後の維持管理について、中長期的な修繕・改修計画を検討する。 ・公共施設等総合管理計画について、年1回、各課に進捗状況を確認する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	
	R2年度	個別施設計画の策定・公共施設総合管理計画の改訂											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

O7・持続可能な行財政経営

3・開かれた町政の推進と発信力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自治体クラウドの導入 【再掲】 担当課 政策財政課	情報システムの最適化・効率化をはかるため、費用対効果を検証のうえ、自治体クラウドの導入を検討する。独自調達システムにおいては、仮想サーバーによるサーバーの集約、効率化、費用対効果等を調査研究し、再構築をすすめる。	クラウド移行している基幹系システムの機器更新を行った。	自治体クラウドの位置付けとして、平成31年度に4町2村（平群町・斑鳩町・御杖村・高取町・明日香村・吉野町）で締結した「電算システムの共同化の実施に関する基本協定書」について、令和8年3月31日まで事業期間を延長した。	国のガバメントクラウドの構築や自治体情報システムの標準化・共通化を見据えたシステム運用・管理を行った。	国のガバメントクラウドの構築や自治体情報システムの標準化・共通化を見据えたシステム運用・管理を行う。	国のガバメントクラウドの構築や自治体情報システムの標準化・共通化を見据えたシステム運用・管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
GIS構築の調査・研究 【再掲】 担当課 政策財政課	図面情報・台帳情報をデータベース化し、全庁の共通データベースとしての全庁型地理情報システムの構築にむけた調査・研究を行う。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討した。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討した。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討した。	・全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討する。 ・都市建設部において、下水道等の埋設物や道路状況についてホームページ上に公開する公開型GISの導入について検討している。	全庁型地理情報システムの構築にむけ、他自治体の動向も注視しながら検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

O7・持続可能な行財政経営

3・開かれた町政の推進と発信力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民基本台帳ネットワークの運用 【再掲】 担当課 住民課	住民基本台帳ネットワークシステムの運用を推進し、住民基本台帳カードおよびマイナンバーカードを活用して、転入・転出手続きの簡素化・市町村の区域を超えた広域的な住民票の写しの交付を行う。また、申請者にマイナンバーカードの発行を行う。	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 3,190枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（コンビニ交付サービス周知と同時、9・2月号お知らせ版） ・休日交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　18件	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 6,762枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（12・3月号お知らせ版） ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　71件 ・特設会場での申請サポート 152件	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 2,729枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（1月号お知らせ版） ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　88件 ・特設会場での申請サポート 22件	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 640枚 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進（1月号お知らせ版） ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施　37件 ・特設会場での申請サポート 0件 （9月末時点）	・住民票の写しの広域交付 ・マイナンバーカードの発行 ・町広報紙啓発 ・マイナンバーカードの発行促進 ・休日・夜間交付案内（月1回） ・タブレット端末によるマイナンバーカードの申請補助サービスの実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
マイナンバー発行枚数（累計）	R1年度	5,411枚	28,338枚	13,473枚	12,063枚	16,132枚	18,825枚	21,996枚	21,554枚	23,815枚	22,794枚	28,338枚	
	R2年度	8,873枚											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
情報セキュリティ対策の推進 担当課 政策財政課	年々高度化するサイバー攻撃から個人情報等の情報資産を守るため、情報セキュリティ対策の強化をはかる。また、情報セキュリティポリシー、特定個人情報安全管理措置について、必要な見直しを適宜行うとともに、業務において適切な運用ができるよう、職員への研修を定期的に実施する。	情報セキュリティポリシー、特定個人情報安全管理措置について、適宜見直しを行うとともに、業務において適切な運用ができるよう、Eラーニング職員研修を実施した。	庁内ネットワークの再構築や業務端末の更新等にともない、セキュリティ対策の強化をはかった。	庁内ネットワークの再構築、LGWAN拠点の追加等をふまえ、情報セキュリティポリシーの改訂を行った。 業務において適切な運用ができるよう、Eラーニング職員研修「情報セキュリティコース」の全職員受講を実施した。	情報セキュリティポリシー、特定個人情報安全管理措置については、適宜見直しの必要性を確認する。 業務において適切な運用ができるよう、Eラーニング職員研修を実施する。	情報セキュリティポリシー、特定個人情報安全管理措置については、適宜見直しの必要性を確認する。 業務において適切な運用ができるよう、Eラーニング職員研修を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

07・持続可能な行財政経営

3・開かれた町政の推進と発信力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
行政情報のユニバーサルデザイン化 担当課 総務課	誰もが、行政情報を受け取ることができるよう、視認性が高いUDフォントや、より直感的に理解しやすくなるピクトグラムを使用するなど、誰もが読みやすく、親しみやすい町広報紙を作成する。また、視覚障害者等を対象に行政情報を提供するため、町広報紙の内容をCDに録音した声の広報を発行する。	WEBアクセシビリティの強化を含めた町ホームページのトップページを見直した。 町広報紙において、UDフォントを使用した。 町広報紙および議会だより等について、声の広報を発行した。	町広報紙において、UDフォントを使用した。 町広報紙および議会だより等について、声の広報を発行した。	町広報紙において、UDフォントを使用した。 町広報紙および議会だより等について、声の広報を発行した。	町広報紙において、UDフォントを使用する。 町広報紙および議会だより等について、声の広報を発行する。	町広報紙において、UDフォントを使用する。 町広報紙および議会だより等について、声の広報を発行する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
声の広報発行回数	R1年度	24回	24回／年	24回／年	24回／年	24回／年	24回／年	24回／年	24回／年	24回／年	24回／年	24回／年	
	R2年度	24回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付サービスの推進 担当課 住民課	マイナンバーカードを用いて、コンビニエンスストア等のキオスク端末等を経由し、市町村から住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄本、戸籍の附票、税証明書にかかるデータを取り寄せ、キオスク端末等で印刷された当該証明書を入手できるサービス（コンビニ交付サービス）を実施する。	コンビニ交付サービスの周知 町広報紙啓発（9月号お知らせ版、2月号お知らせ版） 住民票等各種証明書交付時にコンビニ交付サービス周知のチラシを配布 令和4年1月役場庁舎内に証明書交付機（キオスク端末）の導入および証明書交付開始 R4.1月開始　237件	コンビニ交付サービスの周知 町広報紙啓発（10・3月号お知らせ版） 住民票等各種証明書交付時にコンビニ交付サービス周知のチラシを配布 役場庁舎内設置の証明書交付機（キオスク端末）による証明書交付　1,307件	コンビニ交付サービスの周知 町広報紙啓発（9・1月号お知らせ版） 住民票等各種証明書交付時にコンビニ交付サービス周知のチラシを配布 役場庁舎内設置の証明書交付機（キオスク端末）による証明書交付　1,656件	コンビニ交付サービスの周知 町広報紙啓発（10月号お知らせ版） 住民票等各種証明書交付時にコンビニ交付サービス周知のチラシを配布 役場庁舎内設置の証明書交付機（キオスク端末）による証明書交付　849件（9月末時点）	コンビニ交付サービスの周知 町広報紙啓発 住民票等各種証明書交付時にコンビニ交付サービス周知のチラシを配布 役場庁舎内設置の証明書交付機（キオスク端末）による証明書交付

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
コンビニエンスストア等での発行件数	R1年度	1,421件	6,000件／年	6,000件／年	3,246件／年	6,000件／年	5,243件／年	6,000件／年	7,697件／年	6,000件／年	7,764件／年	6,000件／年	
	R2年度	1,895件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	◎	継続	◎	継続		

07・持続可能な行財政経営

3･開かれた町政の推進と発信力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
情報公開制度の運用 担当課 総務課	住民の知る権利を尊重し、情報公開制度を通じて、積極的な情報提供に努めるとともに、個人情報保護のため、個人情報の安全管理を徹底する。	個人情報保護に関する職員研修を実施した。 WEB受講（受講期間9月1日～12月28日）	改正個人情報保護法の全面施行に合わせ、斑鳩町個人情報保護条例等の改正を行った。	全職員を対象に、個人情報保護に関する職員研修を実施した。	個人情報保護に関する職員研修を実施する。	個人情報保護に関する職員研修を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
個人情報保護に関する職員研修の実施回数	R1年度	1回	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	0回／年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
	R2年度	1回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	×	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
行政情報の効果的な発信 担当課 総務課	住民や事業者等に対し、町行政への関心や理解を深めてもらうため、広報紙やホームページ、ソーシャルメディア等を活用して、行政運営の計画や方針、各種行政サービス等の行政情報を積極的に発信する。	町広報紙、町ホームページ、facebook等のソーシャルネットワークシステム等を用いて、町政情報を発信した。 新たにLINEによる町政情報の発信を行った。	町広報紙、町ホームページ、facebook等のソーシャルネットワークシステム等を用いて、町政情報を発信した。 町公式LINEアカウントからの町政情報等の全面的な配信を開始した。 住民等からの質問への迅速な対応や業務効率化をはかるため、AIチャットボットサービスを導入した。	町広報紙、町ホームページ、facebook等のソーシャルネットワークシステム等を用いて、町政情報を発信した。 町公式LINEアカウントで町政情報等の配信を行った。 AIチャットボットで住民等からの質問に回答した。	町広報紙、町ホームページ、facebook等のソーシャルネットワークシステム等を用いて、町政情報を発信する。 町公式LINEアカウントでの配信内容を充実させるため、必要な情報を必要とする人だけに届けるセグメント配信を導入する。 AIチャットボットで住民等からの質問に回答する。	町広報紙、町ホームページ、facebook等のソーシャルネットワークシステム等を用いて、町政情報を発信する。 町公式LINEアカウントで町政情報等を配信する。 AIチャットボットで住民等からの質問に回答する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
町ホームページアクセス件数	R1年度	328,191件	350,000件／年	350,000件／年	643,636件／年	350,000件／年	525,737件／年	350,000件／年	485,434件／年	350,000件／年	450,000件／年	350,000件／年	
	R2年度	495,332件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

O7・持続可能な行財政経営

3･開かれた町政の推進と発信力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
タウンプロモーションホームページの充実 【★】 担当課 政策財政課	転入・定住を促進するため、町ホームページ「いいまち斑鳩」において、斑鳩の魅力を広く発信する。	町ホームページのトップページデザイン更新にともない、「いいまち斑鳩」のトップページデザインも更新し、斑鳩の魅力を広く発信した。	町ホームページ「いいまち斑鳩」において、斑鳩の魅力を広く発信した。 東京圏から斑鳩町への移住に対する支援金情報を掲載。 問合せ件数：2件	町ホームページ「いいまち斑鳩」において、斑鳩の魅力を広く発信した。 東京圏から斑鳩町への移住に対する支援金情報に対する問合せ件数：4件	町ホームページ「いいまち斑鳩」において、斑鳩の魅力を広く発信する。 東京圏から斑鳩町への移住に対する支援金情報に対する問合せ件数：1件（9月末時点）	町ホームページ「いいまち斑鳩」において、斑鳩の魅力を広く発信する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
パブリックコメント制度の運用 担当課 総務課	各種計画の策定や事業の実施等について、住民と行政との協働を一層推進するため、斑鳩町パブリックコメント手続の実施に関する要綱に基づき、パブリックコメント制度の運用を行う。	各種計画の策定等にあたり、パブリックコメントを実施した。（実施件数：1件）	各種計画の策定等にあたり、パブリックコメントを実施した。（実施件数：1件）	各種計画の策定等にあたり、パブリックコメントを実施した。（実施件数：7件）	各種計画の策定等にあたり、パブリックコメントを実施する。	各種計画の策定等にあたり、パブリックコメントを実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども家庭総合支援拠点の設置 【★】 担当課 子育て支援課	コミュニティを基盤としたソーシャルワークの機能を担い、すべての子どもとその家庭および妊産婦等を対象として、その福祉に関し必要な支援に係る全般を行う。	子育ての不安を緩和し、地域の子育て支援を行った。また、特別な支援が必要な家庭に、専門的な支援を行うほか、地域で見守る「子育て支援体制」を推進した。				

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	R3支援拠点の設置	支援拠点の設置	支援拠点の設置								
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	完了								

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ひとり親家庭等への支援 担当課 子育て支援課	両親又は一方の親が死亡またはそれと同様の状態にある遺児の養育者に、遺児福祉年金を支給するとともに、ひとり親家庭等への支援策について、ホームページや子育てガイドブックを活用し、各種制度の周知を行う。	遺児福祉年金を支給するほか、県で作成するパンフレット等を活用し、ホームページや、子育て応援ブックによりひとり親家庭が利用できる各種制度の周知を行った。 遺児福祉年金受給者数 17人（児童数　32人）	遺児福祉年金を支給するほか、県で作成するパンフレット等を活用し、ホームページや、子育て応援ブックによりひとり親家庭が利用できる各種制度の周知を行った。 遺児福祉年金受給者数 17人（児童数　31人）	遺児福祉年金を支給するほか、県で作成するパンフレット等を活用し、ホームページや、子育て応援ブックによりひとり親家庭が利用できる各種制度の周知を行った。 遺児福祉年金受給者数 14人（児童数　25人）	遺児福祉年金を支給するほか、県で作成するパンフレット等を活用し、ホームページや、子育て応援ブックによりひとり親家庭が利用できる各種制度の周知を行う。	遺児福祉年金を支給するほか、県で作成するパンフレット等を活用し、ホームページや、子育て応援ブックによりひとり親家庭が利用できる各種制度の周知を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども家庭総合支援拠点の運営 【★】 担当課 子育て支援課	子育て世代包括支援センターや児童相談所等の関係機関と情報を共有し、実情の把握や相談対応等のソーシャルワークを行い、すべての子どもとその家庭および妊産婦等を対象に、必要な支援を行うとともに、要支援児童および要保護児童への支援強化をはかる。	・子育て総合相談窓口を設置し、保健師および公認心理師による相談を常時実施できる体制を整備した。 ・保育士や保健師が、家庭でできる親子のふれあい、遊び方などを紹介する子育てスキルアップ事業を実施した。 ・一層の支援強化をはかるため、支援対象児童等見守り強化事業を企画した。	・子育て相談窓口の設置（公認心理師の配置） 相談件数　延べ57件 ・子育てスキルアップ事業の実施　参加者　延べ43組 ・支援対象児童等見守り強化事業の実施 訪問回数　延べ55回 ・ヤングケアラーへの支援 6月支援にむけた検討会議の設置 12月支援マニュアルの作成 1月マニュアルによる運用開始	・子育て相談窓口の設置（公認心理師および精神保健福祉士の配置） 相談件数　延べ　136件 ・子育てスキルアップ事業の実施　参加者延べ70組 ・支援対象児童等見守り強化事業の実施 訪問回数　延べ81回 ・ヤングケアラーの把握、支援への取組みとして、多機関の職員をも参加する3回の検討会議を開催し、講師を招いての研修や情報交換を行った。	子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設立の意義や機能を維持したうえで組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センターの設置」に移行した。	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	見直し	―	完了		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
こども家庭センターの設置 【★】 担当課 子育て支援課	子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関（こども家庭センター）を設置し、妊娠届から妊産婦支援、子育てや子どもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメント等を担う。			こども家庭センター設置にむけ、専門職の配置や要綱制定等の準備を行った。	・こども家庭センターを設置し運営を開始した。 ・公認心理師の配置（週2日勤務） ・精神保健福祉士との連携（社会福祉法人萌との業務委託） ・子育て支援課と健康対策課による合同会議（月1回程度）の開催	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		子ども家庭相談センターの設置					―	―	こども家庭センターの設置	こども家庭センターの設置		
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
								―	継続	◎	完了		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
こども家庭センターの運営 【★】 【新規】 担当課 子育て支援課	子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関（こども家庭センター）の運営を行い、妊娠届から妊産婦支援、子育てや子どもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメント等を担う。				・こども家庭センターを設置し運営を開始した。 ・公認心理師の配置（週2日勤務） ・精神保健福祉士との連携（社会福祉法人萌との業務委託） ・子育て支援課と健康対策課による合同会議（月1回程度）の開催	・こども家庭センターの運営 ・公認心理師の配置（週4日勤務） ・精神保健福祉士との連携（社会福祉法人萌との業務委託） ・子育て支援課と健康対策課による合同会議（月1回程度）の開催

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
－	R1年度	－							－	－	－	
	R2年度											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
									－	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子育て世代包括支援センターの運営 【★】 担当課 健康対策課	子育て世代包括支援センターにおいて、包括的なサービス（母子保健・子育て支援）を、妊娠期から、子育て期にわたり、切れ目なく支援するためのマネジメントを行う。	妊産婦および乳幼児の健康の保持増進に関するワンストップ拠点として他機関との連携を行い、切れ目ない支援を実施した。 妊産婦から子育て期までの一元管理を行うため、システムを活用し、特定妊婦や要支援者への支援の充実をはかった。 また、支援が必要な乳幼児についても訪問や来所等で支援を行った。	妊産婦および乳幼児の健康の保持増進に関するワンストップ拠点として他機関との連携を行い、切れ目ない支援を実施した。 妊産婦から子育て期までの一元管理を行うため、システムを活用し、特定妊婦や要支援者への支援の充実をはかった。 また、支援が必要な乳幼児についても訪問や来所等で支援を行った。	妊産婦および乳幼児の健康の保持増進に関するワンストップ拠点として他機関との連携を行い、妊娠期から子育て期まで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援を行った。 また、一元管理システムを活用し、特定妊婦や支援を必要とする乳幼児および養育支援者への支援の充実をはかった。	子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの設立の意義や機能を維持したうえで組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」を設置し、妊産婦から子育て期までの支援の充実をはかる。	子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能を維持したうえで、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行い、妊産婦から子育て期までの支援の充実をはかる。令和6年度から設置しているこども家庭センターにて、本事業を実施する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
－	R1年度	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	R2年度	－										
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			－	継続	－	継続	－	見直し	－	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
母子保健推進活動の充実 担当課 健康対策課	保護者が孤立することなく育児が行えるよう、地域での母子保健を推進する役割を担う母子保健推進員と、保健センターが協働した取組みを推進する。	母子保健事業を母子保健推進員と協働しながら推進するとともに、母子保健推進員が主体的に活動できるように支援した。	母子保健事業を母子保健推進員と協働しながら推進するとともに、母子保健推進員が主体的に活動できるように支援した。	保健センターと協働しながら母子保健事業を担っている母子保健推進員が、主体的に活動できるように支援した。	保健センターと協働しながら母子保健推進員が、主体的に活動できるように支援する。	保健センターと協働しながら母子保健事業を担っている母子保健推進員が、主体的に活動できるように支援する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
母子保健推進員数（累計）	R1年度 16人	18人	14人	14人	14人	12人	16人	13人	16人	14人	18人	
	R2年度 16人											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
妊婦健康診査の実施 【★】 担当課 健康対策課	妊娠中の健康管理および胎児の健やかな成長をはかるため、15回目までの妊婦健康診査費用および非課税世帯の妊娠判定費用の助成を行う。また、歯周疾患は早産や低出生体重児の危険性が高まるため、妊婦の歯周疾患検診を行う。 単胎妊婦に比べて受診回数が多くなる多胎妊婦に対し、自己負担した費用への一部助成を行う。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行った。また多胎妊婦に対して、公費負担を行った。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努めた。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行った。また多胎妊婦に対して、公費負担を行った。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努めた。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行った。また、多胎妊婦に対して、公費負担を行った。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努めた。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行う。また多胎妊婦に対して、公費負担を行う。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努める。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行う。また多胎妊婦に対して、公費負担を行う。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努める。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①妊婦健康診査受診率 ②妊婦歯周疾患検診受診率	R1年度 ①100.0% ②36.5%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②35.4%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②41.1%	①100.0% ②42.0%	①100.0% ②31.6%	①100% ②42.0%	①100% ②32.2%	①100.0% ②40.0%	
	R2年度 ①100.0% ②40.6%											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	◎	継続	△	継続	△	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新生児訪問の実施 【★】 担当課 健康対策課	安心して子どもを生み育てられる環境づくりをすすめるため、生後2か月以内の乳児を助産師が訪問し、子育てに関する情報提供や育児相談を行い、育児不安の軽減をはかる。また、子育て世代包括支援センターからの継続した訪問体制を充実させ、育児不安の軽減をはかる。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズにあった保健指導を実施した。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、母親の精神的不安の軽減に努めた。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズにあった保健指導を実施した。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、母親の精神的不安の軽減に努めた。	伴走型相談支援の一環として、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズに合った保健指導を実施した。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、精神的不安の軽減に努めた。	伴走型相談支援の一環として、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズに合った保健指導を実施する。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、必要なサービスや支援を行い精神的不安の軽減に努める。	伴走型相談支援の一環として、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズに合った保健指導を実施する。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、必要なサービスや支援を行い精神的不安の軽減に努める。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
訪問率	R1年度 97.9%	100.0%	100.0%	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	R2年度 99.6%											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
乳幼児健診の実施 【★】 担当課 健康対策課	生後3･4か月児･9･10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児を対象に健診を行い、医療機関と連携をはかりながら、発育・発達状況の確認を行う。また、保護者の育児不安の軽減および育児力を高められるよう、適切な保健指導を行う。	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施した。	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施した。 令和4年度から、3歳児健診時に精度の高い屈折検査機器を導入し健診内容の充実をはかった。	乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施した。	乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施する。また、令和6年度から、1歳6か月児･3歳児健診については、西和医療センターの小児科医に依頼し集団健診を実施する。また、1か月児健診の助成および5歳児健診を実施し、出産後から就学前までの切れ目ない健康診査を実施する。	乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、1か月児健診から5歳児健診までの、出産後から就学前までの切れ目ない健康診査を実施する。また、令和7年度から、1か月児健診の助成額を増額し、経済的支援の充実をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
平均受診率	R1年度 97.0%	100.0%	98.0%	96.0%	98.0%	97.4%	98.0%	98.0%	99.0%	97.1％	100%	
	R2年度 96.6%											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
乳幼児相談の実施 【★】 担当課 健康対策課	育児不安の軽減をはかるため、保健センターで保健師や栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行う。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行った。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行った。	伴走型相談支援の一環として、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行った。	伴走型相談支援の一環として、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行う。	伴走型相談支援の一環として、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
乳幼児教室の実施 【★】 担当課 健康対策課	親の育児力を高められるよう、子どもの発達年齢に応じた各種教室を関係機関と連携をはかりながら開催する。また、臨床心理士を子育て教室に配置し、育てにくさを感じている保護者への支援を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止をはかるため、集団の教室は中止または縮小して、個別にて対応した。	親の育児力を高められるよう、子どもの発達年齢に応じた教室を関係機関と連携をはかりながら、実施した。 また、コロナ禍でも保護者が安心して参加できるよう、新型コロナウイルス感染症感染対策を徹底して教室を開催した。	保護者が安心して教室に参加できるよう、感染症対策に留意して教室を開催し、交流の場を提供した。発達年齢に応じた教室を開催することで、親の育児能力を高め育児不安の軽減をはかった。	発達年齢に応じた教室を開催することで、親の育児能力を高めるとともに保護者同士の交流を深め、育児不安の軽減をはかる。	発達年齢に応じた教室を開催することで、親の育児能力を高める。 また、父親の育児参加を促すとともに、保護者同士の交流を深め、育児不安の軽減や、子育て家族の孤立化の防止に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
両親学級の実施 【★】 担当課 健康対策課	妊娠・出産について理解を深め、親としての自覚を高められるよう、助産師・歯科衛生士などの専門性を生かした教室を実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、少人数での教室を開催した。 親が妊娠・出産について理解を深め、親としての自覚を高められる教室を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、少人数での教室を開催した。 親が妊娠・出産について理解を深め、親としての自覚を高められる教室を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、少人数での教室を開催するとともに、個別対応を実施した。 親が妊娠・出産・育児について理解を深めるとともに、安心して育児に取り組めるよう、内容の充実をはかった。	親が妊娠・出産・育児について理解を深めるとともに、安心して育児に取り組めるよう、内容の充実をはかる。 また、父親の育児参加を促すための内容を充実させる。	親が妊娠・出産・育児について理解を深めるとともに、安心して育児に取り組めるよう、内容の充実をはかる。 また、育児経験のある父親母親との交流の機会を設け、内容を充実させる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
未熟児訪問の実施 【★】 担当課 健康対策課	身体の発達が未熟なまま出生した乳児などは、疾病等にもかかりやすいため、未熟児とその保護者に対し訪問指導を行う。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行った。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行った。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行った。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行う。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
訪問率	R1年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	R2年度	100.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
一般不妊・不育治療費の助成 【★】 担当課 健康対策課	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかる。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかった。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかった。 令和4年度から、一般不妊・不育治療が保険適応となったため、助成対象となる治療を医療保険法適応外の治療に変更し、助成内容の改正を行った。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかった。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかる。	令和7年度から、市町村が実施する生殖補助医療にかかる費用助成に要する経費に対し、県が補助制度を創設することにともない、助成対象を拡大し、一般不妊・不育治療および生殖補助医療の費用助成を行う「不妊・不育治療費の助成」へ移行する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	見直し		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
育てにくさを感じる親に寄り添う支援の充実 【★】 担当課 健康対策課	情緒面や言語面における経過観察児に対しては、臨床心理士による相談など専門的な立場から子どもの発達状態を把握し、早い段階で適切な支援につなげ子どもの健やかな成長を促す。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行った。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかった。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行った。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促した。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行った。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促した。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行う。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促す。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行う。 また保育園・幼稚園、教育委員会、小学校と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促す。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新生児聴覚検査の実施 【★】 担当課 健康対策課	新生児の聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な支援を行うため、新生児の聴覚検査に要する費用の一部を助成する。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査に対する費用の一部助成を行った。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階で適切な支援を行った。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査に対する費用の一部助成を行った。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行った。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査を奈良県産婦人科医会と委託契約を行い実施した。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行った。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査を奈良県産婦人科医会と委託契約を行い実施する。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行う。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査を奈良県産婦人科医会と委託契約を行い実施する。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
検査実施率	R1年度	98.0%	100.0%	98.0%	99.5%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	R2年度	97.4%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
産後ケア事業の実施 【★】 担当課 健康対策課	出産後に支援が必要な母子を対象に、ショートステイやデイケアの利用を通じて母親の心身のケアや育児のサポート等を行うことにより、育児不安の軽減をはかり、安心して子育てができる支援体制を確保する。	産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ(訪問)型の産後ケア事業を行った。	産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ(訪問)型の産後ケア事業を行った。	伴走型相談支援と連動して、産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ(訪問)型の産後ケア事業を行った。	伴走型相談支援と連動して、産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ（訪問）型の産後ケア事業の充実をはかる。 また、利用料の減免を行い、利用しやすい体制を整える。	伴走型相談支援と連動して、産後ケア事業ガイドラインに基づき、産後ケアを必要とするすべての母親が安心して子育てができるよう、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ（訪問）型の産後ケア事業の充実をはかる。 また、利用料の減免を行い、利用しやすい体制を整える。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
産婦人科一次救急医療体制の運営 担当課 健康対策課	周産期医療体制の充実のため、体制運営にかかる負担金を支出する。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめた。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめた。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめた。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめる。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
産婦健康診査受診費用の助成 【★】 担当課 健康対策課	産後うつの予防や新生児への虐待予防のため、出産間もない時期の産婦に対する健康診査の一部費用を助成する。	産後うつの予防や新生児の虐待予防等をはかるため産婦健診の助成を行った。	産後うつの予防や新生児の虐待予防等をはかるため、産婦健診の助成を行った。また、健診結果をもとに関係機関に必要な連携をはかり、必要に応じて支援を行った。	産後うつの予防や新生児の虐待予防等をはかるため、産婦健診の助成を行った。また、健診結果をもとに関係機関と連携をはかり、必要に応じて支援を行った。	産後うつの予防や新生児の虐待予防等をはかるため、令和6年度から、県医師会、（社）県助産師会と集合契約を行うとともに、産婦健診の助成額を増額する。また、健診結果をもとに関係機関と連携をはかり、必要に応じて支援を行う。	産後うつの予防や新生児の虐待予防等をはかるため、県医師会、（社）県助産師会と集合契約を行うとともに、産婦健診の助成を行う。また、健診結果をもとに関係機関と連携をはかり、必要に応じて支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
出産・子育て応援給付金の給付 担当課 健康対策課	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ伴奏型の相談支援を充実し、実効性をより高めるための経済的支援を一体的に行う。		妊娠届出時の面接により、必要な情報提供や支援を行い、妊娠期からの切れ目ない支援を行うとともに令和4年4月1日以降に妊娠届出をした人、令和4年4月1日以降に産まれた児の養育者に子ども一人につき5万円を給付した。	伴走型相談支援として、妊娠届出時、妊娠8か月前後、新生児訪問時に面接を行い必要な情報提供や支援を行った。 また、経済的支援として妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対して経済的支援として、妊婦一人あたり5万円、子ども一人あたり5万円を給付した。	伴走型相談支援として、妊娠届出時、妊娠8か月前後、新生児訪問時に面接を行い必要な情報提供や支援を行う。 また、経済的支援として妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対して、妊婦一人あたり5万円、子ども一人あたり5万円を給付する。	妊婦に対して「妊婦支援給付金」を支給するため、支給を受けようとする人には認定を行い、妊婦に5万円、妊娠している子ども（流産・死産も含む）一人あたり5万円を支給する。また、妊婦およびその配偶者等に対し、面談等により情報提供や相談等を行う伴走型相談支援を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―			―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						―	継続	―	継続	―	見直し		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
マタニティ・子育てタクシー利用者への助成事業の実施 【★】 担当課 子育て支援課	妊婦又は乳児の保護者が、外出のために利用するタクシー料金の一部を助成する。	マタニティ・子育てタクシー利用料金助成事業に基づき、事業を実施した。 申請件数　16件	マタニティ・子育てタクシー利用料金助成事業に基づき、事業を実施した。 申請件数　34件 制度周知の課題については、保健センターと連携し、妊娠届出時に個別に制度説明を実施することにより対応。	マタニティ・子育てタクシー利用料金助成事業に基づき、事業を実施した。 申請件数　29件 子育て支援のさらなる充実をはかるため、助成内容の拡充を検討した。	マタニティ・子育てタクシー利用料金助成事業について、令和5年度検討内容を拡充して実施する。 （拡充内容） 対象範囲 　満1歳までから満3歳 助成額 　690円/回から700円/回 助成上限額 　6,900円から14,000円	マタニティ・子育てタクシー利用料金助成事業に基づき、事業を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼児２人同乗用自転車購入費の助成 担当課 子育て支援課	幼児２人同乗用自転車の普及を促進し、幼児等の安全確保と交通安全に対する意識の高揚をはかることを目的に、購入費の一部を助成する。	安全な自転車利用を促進するため、幼児2人同乗用自転車の購入者に対して費用の一部を助成した。 助成件数　24件	安全な自転車利用を促進するため、幼児2人同乗用自転車の購入者に対して費用の一部を助成した。 助成件数　21件	安全な自転車利用を促進するため、幼児2人同乗用自転車の購入者に対して費用の一部を助成した。 助成件数　19件	安全な自転車利用を促進するため、幼児2人同乗用自転車の購入者に対して費用の一部を助成する。	安全な自転車利用を促進するため、幼児2人同乗用自転車の購入者に対して費用の一部を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ブックスタートの実施 【★】 担当課 生涯学習課	親子のふれあいの機会充実をはかるため、図書館にてブックスタートを実施する。 ブックスタートに参加できなかった赤ちゃんと保護者に対しては、引き続きブックスタート絵本の後日配布を行う。	親子のふれあいの機会充実をはかるため、図書館にてブックスタートを実施した。 実施日前に、案内文の郵送を行い、事業周知に努めた。	親子のふれあいの機会充実をはかるため、図書館にてブックスタートを実施した。 また、実施日前に、案内文の郵送を行い、事業周知に努めた。 前年ブックスタートに参加できなかった赤ちゃんと保護者に対しては後日配布の機会がないため、郵送にて配布を行った。	親子のふれあいの機会充実をはかるため、図書館にてブックスタートを実施した。 また、実施日前に、案内文の郵送を行い、事業周知に努めた。 前年ブックスタートに参加できなかった赤ちゃんと保護者に対しては後日配布の機会がないため、郵送にて配布を行った。	親子のふれあいの機会充実をはかるため、図書館にてブックスタートを実施する。 前年ブックスタートに参加できなかった赤ちゃんと保護者に対しては、保健センター集団検診会場でのブックスタート絵本の後日配布を再開する。	親子のふれあいの機会充実をはかるため、図書館にてブックスタートを実施する。 前年ブックスタートに参加できなかった赤ちゃんと保護者に対しては、保健センター集団検診会場でのブックスタート絵本の後日配布と読み聞かせを継続する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①ブックスタート参加率 ②ブックスタート絵本配布率	R1年度	①30.7% ②78.0%	①55.0% ②85.0%	①40.0% ②81.0%	①54.9% ②対象者なし	①40.0% ②82.0%	①52.3% ②100.0%（郵送配布）	①45.0% ②83.0%	①48.0% ②100.0%（郵送配布）	①50.0% ②84.0%	①56.0% ②100.0%（転入者含）	①55.0% ②85.0%	
	R2年度	①– ②100%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

08・子育て環境の充実

1・妊娠期から子育て期への切れ目のない支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
産前産後ヘルパー事業の実施 【★】 担当課 子育て支援課	妊娠中や出産後、体調不良等により、家事や育児が困難で周りに頼れる人がおらず、支援を受けることができない家庭にホームヘルパーを派遣し、家事や育児を援助する。	産前又は産後の体調不良等により家事又は育児を行うことが困難な家庭に産前産後ヘルパーを派遣した。 延べ利用日数　9日	産前又は産後の体調不良等により家事又は育児を行うことが困難な家庭に産前産後ヘルパーを派遣した。 延べ利用日数　16日	産前又は産後の体調不良等により家事又は育児を行うことが困難な家庭に産前産後ヘルパーを派遣した。 延べ利用日数　52日	産前又は産後の体調不良等により家事又は育児を行うことが困難な家庭に産前産後ヘルパーを派遣する。 新たに事業者1社と業務委託契約を締結した。 また、ヤングケアラーへの支援等も鑑み、対象年齢を1歳から高校卒業までの拡大を検討する。	対象年齢を産前から18歳までに拡充し、産前又は産後の体調不良時だけではなく、妊娠期から子育て期の幅広い家庭への支援を行う中で、ヤングケアラーへの支援や虐待リスクの防止のため、子育て世帯訪問ヘルパーの派遣を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

2･多様な保育サービスと受け入れ体制の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
保育体制の充実 【★】 担当課 子育て支援課	多様な保育ニーズに対応し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりをすすめるため、通常保育のほか、延長保育や一時預かり、障害児保育などの保育サービスを提供する。また、あわ保育園において看護師を配置し、医療的ケア児の受け入れを行うなど、保育体制の充実に取り組む。	保育体制の充実をはかった。 【町立保育所入所者数】 （3月1日現在） 通常保育 たつた 123人、あわ 201人 延長保育 一時預かり事業 医療的ケア児の受入 作業療法士の派遣（年6回）	感染症対策のための、工事や備品の購入を行うとともに、保育の周辺業務や補助業務に係るICT等を活用した業務システムの導入により、保護者の利便性の向上をはかった。 【町立保育所入所者数】 （3月1日現在） 通常保育 たつた 123人、あわ 207人 延長保育 一時預かり事業 医療的ケア児の受入 作業療法士の派遣（年6回）	研修の参加や先進地の情報収集をしながら、保護者のニーズを把握するなかで、保育体制の充実をはかった。 【町立保育所入所者数】 （3月1日現在） 通常保育 たつた 125人、あわ 199人 延長保育 一時預かり事業 医療的ケア児の受入 作業療法士の派遣（年6回）	午睡用布団やおむつ持参による保護者負担を軽減するため、手ぶら登園（コットベットの導入、紙おむつのサブスクリプション）導入にむけた検討をすすめる。 【町立保育所入所者数】 （4月1日現在） 通常保育 たつた 111人、あわ 182人 延長保育 一時預かり事業 作業療法士の派遣（年6回）	研修の参加や先進地の情報収集をしながら、保護者のニーズを把握するなかで、保育体制の充実をはかる。 手ぶら登園の令和8年度開始にむけて準備をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
病児保育事業の実施 【★】 担当課 子育て支援課	西和5町および西和医療センターと連携し、病児保育室を運営する。	利用者負担の助成を行うほか、西和5町共同で病児保育事業を実施した。 利用件数　47件	利用者負担の助成を行うほか、西和5町共同で病児保育事業を実施した。 ※R4･5年度　事務局担当 利用件数　86件	利用者負担の助成を行うほか、西和5町共同で病児保育事業を実施した。 ※R4･5年度　事務局担当 利用件数　106件	利用者負担の助成を行うほか、西和5町共同で病児保育事業を実施する。	利用者負担の助成を行うほか、西和5町共同で病児保育事業を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

2･多様な保育サービスと受け入れ体制の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町立幼稚園預かり保育の実施 担当課 教委総務課	幼児の健やかな育成と保護者への子育て支援の充実をはかることを目的に、斑鳩町立幼稚園において預かり保育を実施する。	幼児の健やかな育成と保護者への子育て支援の充実をはかることを目的に、斑鳩町立幼稚園において預かり保育を実施した。	幼児の健やかな育成と保護者への子育て支援の充実をはかることを目的に、斑鳩町立幼稚園において預かり保育を実施した。	幼児の健やかな育成と保護者への子育て支援の充実をはかることを目的に、斑鳩町立幼稚園において預かり保育を実施した。	幼児の健やかな育成と保護者への子育て支援の充実をはかることを目的に、斑鳩町立幼稚園において預かり保育を実施する。	幼児の健やかな育成と保護者への子育て支援の充実をはかることを目的に、斑鳩町立幼稚園において預かり保育を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども・子育て支援事業計画の推進 担当課 子育て支援課	子どもの健やかな成長、発達を支え、住民の誰もが地域の子育てに参加できるまちづくりをすすめるため、「第2期子ども・子育て支援事業計画」（令和2～6年）を推進する。	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第2期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議した。 子ども・子育て会議の開催 進捗管理　1回	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第2期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議した。また、令和6年4月の開園にむけて整備を進めている認定こども園の定員設定に関する意見を聴取した。 子ども・子育て会議の開催 進捗管理　1回	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第2期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議する。計画期間が令和6年度末で終了するため、次期計画の策定にむけて、ニーズ調査を実施した。 子ども・子育て会議の開催 1回	次期計画の第3期子ども・子育て支援事業計画を策定する。 母子保健計画等の関連計画と同様に、こども計画も一体的に策定する。 子ども・子育て会議の開催 3回（予定） 子ども向けタウンミーティング 2回 子育てタウンミーティング　1回 パブリックコメント	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第3期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	第2期計画策定	R6計画の見直し	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

2･多様な保育サービスと受け入れ体制の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
私立保育所等の保育の実施 担当課 子育て支援課	多様な保育ニーズに対応し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりをすすめるため、町内の私立保育所に委託するほか、保護者の勤務の都合などにより、市町村の枠を越えて保育を行う広域入所を実施する。	町内の私立保育所および町外の保育所等に入所を委託した。 【町内私立保育所】 （3月1日現在） 斑鳩黎明保育園　235人 小規模保育所ほうりゅうじ　22人 【町外保育所等】 （3月1日現在）　31人	町内の私立保育所および町外の保育所等に入所を委託した。 【町内私立保育所】 （3月1日現在） 斑鳩黎明保育園　254人 小規模保育所ほうりゅうじ　22人 小規模保育所ほうりゅうじみなみ　20人 【町外保育所等】 （3月1日現在）　34人	町内の私立保育所および町外の保育所等に入所を委託した。 【町内私立保育所】 （3月1日現在） 斑鳩黎明保育園　234人 小規模保育所ほうりゅうじ　22人 小規模保育所ほうりゅうじみなみ　20人 【町外保育所等】 （3月1日現在）　37人	町内の私立保育所や私立認定こども園および町外の保育所等に入所を委託する。 【町内私立保育所】 （4月1日現在） 斑鳩黎明保育園　213人 小規模保育所ほうりゅうじみなみ　15人 レイモンド斑鳩こども園 （2.3号）85人（1号30人） 認定こども園法隆寺幼稚園 （2.3号）73人（1号115人） 【町外保育所等】 （4月1日現在）　21人	町内の私立保育所や私立認定こども園および町外の保育所等に入所を委託する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
民間保育所の支援 担当課 子育て支援課	町内の保育サービスの充実と待機児童の解消をはかるため、町内における民間保育所の運営を支援する。	民間保育所の運営支援により、延長保育、一時預かり、休日保育の充実をはかった。また、保育環境改善のため新型コロナウイルス感染症対策、業務効率のためのICT等を活用した業務システムの導入、保育士の処遇改善のための支援を行った。 また、待機児童解消の取組みとして、令和4年4月に開園の小規模保育所の開所支援を行った。	民間保育所の運営支援により、延長保育、一時預かり、休日保育等の充実をはかるほか、保育環境改善のため感染症対策への支援や保育士の処遇改善のための支援を行った。 ＜補助対象施設＞ ・斑鳩黎明保育園 ・小規模保育所ほうりゅうじ ・小規模保育所ほうりゅうじみなみ	民間保育所の運営支援により延長保育、一時預かり、休日保育等の充実をはかった。また、保育環境改善のため感染症対策への支援や物価高騰にともなう給食費の助成を実施した。 ＜補助対象施設＞ ・斑鳩黎明保育園 ・小規模保育所ほうりゅうじ ・小規模保育所ほうりゅうじみなみ	民間保育所の運営支援により延長保育、一時預かり、休日保育、障害児保育などの充実をはかる。また、保育環境改善のための補助金の活用等を検討する。 令和6年度から県補助金を活用して保育士の処遇改善を拡充する。 ＜補助対象施設＞ ・斑鳩黎明保育園 ・小規模保育所ほうりゅうじみなみ ・レイモンド斑鳩こども園 ・認定こども園法隆寺幼稚園	民間保育所の運営支援により延長保育、一時預かり、休日保育、障害児保育などの充実をはかる。また、保育環境改善のための補助金の活用等を検討する。 ＜補助対象施設＞ ・斑鳩黎明保育園 ・小規模保育所ほうりゅうじみなみ ・レイモンド斑鳩こども園 ・認定こども園法隆寺幼稚園

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

2･多様な保育サービスと受け入れ体制の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
魅力ある幼稚園教育の創造 担当課 教委総務課	生きる力の基礎を育成し、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。また、自立心を育て、人とかかわる力や周囲のさまざまな環境に好奇心や探究心を持って生活する力、言葉で表現する力や豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。	各園が園児の個性に応じた教育活動を展開した。 運動会、節分、七夕、クリスマス会等の特別活動を実施し、自ら活動に取り組み、力を合わせて仲良く行動できる子どもの育成に努めた。	各園が園児の個性に応じた教育活動を展開した。 運動会、節分、七夕、クリスマス会等の特別活動を実施し、自ら活動に取り組み、力を合わせて仲良く行動できる子どもの育成に努めた。 保育園や小学校との交流を行い、年齢や所属の異なる子どもたちと関わることで、コミュニケーション力の育成に努めた。	各園が園児の個性に応じた教育活動を展開した。 運動会、節分、七夕、クリスマス会等の特別活動を実施し、自ら活動に取り組み、力を合わせて仲良く行動できる子どもの育成に努めた。 保育園や小学校との交流を行い、年齢や所属の異なる子どもたちと関わることで、コミュニケーション力の育成に努めた。	各園が園児の個性に応じた教育活動を展開する。 運動会、節分、七夕、クリスマス会等の特別活動を実施し、自ら活動に取り組み、力を合わせて仲良く行動できる子どもの育成に努める。 保育園や小学校との交流を行い、年齢や所属の異なる子どもたちと関わることで、コミュニケーション力の育成に努める。	各園が園児の個性に応じた教育活動を展開する。 運動会、節分、七夕、クリスマス会等の特別活動を実施し、自ら活動に取り組み、力を合わせて仲良く行動できる子どもの育成に努める。 保育園や小学校との交流を行い、年齢や所属の異なる子どもたちと関わることで、コミュニケーション力の育成に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼保一元化の検討 担当課 子育て支援課	町立幼稚園を含めた今後の町全体の保育施設整備の方針について協議を行う中で、「認定こども園」の必要性についても検討を行う。	保育所での待機児童の発生および幼稚園の園児の減少にともない、就学前児童の教育・保育施設のあり方について検討し、斑鳩西幼稚園を公私連携幼保連携型認定こども園へ移行するための整備をすすめた。 当該年度では、整備に関する基本計画を策定し、設置運営事業者の募集を行うなかで、プロポーザルによる審査選考を行い、優先交渉権者となった社会福祉法人檸檬会と協定を締結した。	令和6年4月開園にむけて斑鳩西幼稚園の再構築による公私連携幼保連携型認定こども園の整備をすすめた。また、新たに法隆寺幼稚園の認定こども園への移行を踏まえ、その整備に関する協議をすすめた。 就学前児童の教育・保育施設のあり方について引き続き庁内での検討を行った。	令和6年4月開園にむけて幼保連携型認定こども園（2園）の整備をすすめた。 また、第3期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画策定にかかえるニーズ調査において保育需用等の確認を行った。	斑鳩西幼稚園を再構築したレイモンド斑鳩こども園と、法隆寺幼稚園の認定こども園への移行により、認定こども園2園が開園した。 幼稚園や保育園、認定こども園の利用状況と、それぞれのニーズの把握を継続しつつ、今後の就学前児童の教育・保育施設のあり方について引き続き検討をすすめる。	幼稚園や保育園、認定こども園の利用状況と、それぞれのニーズの把握を継続しつつ、今後の就学前児童の教育・保育施設のあり方について引き続き検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	-											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

2･多様な保育サービスと受け入れ体制の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼保交流事業の推進 担当課 子育て支援課	安心して子どもを産み育てられる子育て環境づくりをすすめるため、保育所と幼稚園、小学校との交流や地域への積極的な開放などについて検討を行う。	町立保育所の保育士と幼稚園の教諭が相互研修により、就学前教育について研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため実施できなかった。	子どもの成長にとって接続期のつなぎは重要な課題となっている中、義務教育における学びへの円滑な接続にむけて、斑鳩町「幼保こ小連携」推進会議を立ち上げ、「幼・保・こ・小連携推進プログラム」(仮称)の策定などについて協議を行った。	斑鳩町「幼保こ小連携」推進会議の中で、円滑な接続にむけて協議を行った。 また、小学校でスタートカリキュラム案、幼稚園、保育園でアプローチカリキュラム案を作成した。 会議開催日：7月24日	斑鳩町「幼保こ小連携」推進会議の中で、円滑な接続にむけて協議を行う。各カリキュラムの具現化のための、情報交換を行った。また。私立園についても、令和6年度から参加案内を行い、枠組みを拡大した。 会議開催日：8月9日	引き続き、斑鳩町「幼保こ小連携」推進会議の中で、円滑な接続にむけて協議を行う。各カリキュラムの具現化のための、教諭保育の交流を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
研修回数	R1年度	4人×3日	4人×3日／年	4人×3日／年	ー	4人×3日／年	4人×3日／年 小学校・幼稚園・保育園の担当者の協議の場の設置	小学校・幼稚園・保育園の担当者の協議の場の開催	小学校・幼稚園・保育園の担当者の協議の場の開催	小学校・幼稚園・保育園の担当者の協議の場の開催	小学校・幼稚園・保育園の担当者の協議の場の開催	小学校・幼稚園・保育園の担当者の協議の場の開催	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	◎	継続	ー	継続	ー	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
放課後児童対策の充実 担当課 生涯学習課	児童の健全育成と女性の社会進出、就労等を支援するため、町内小学校3校に学童保育室を設置し、保育を実施する。	町内小学校3校に学童保育室をおいて、保育を実施した。 入室数（5月1日現在） 斑鳩学童　152人 斑鳩西学童　59人 斑鳩東学童　97人	町内小学校3校に学童保育室をおいて、保育を実施した。 入室数（5月1日現在） 斑鳩学童　122人 斑鳩西学童　58人 斑鳩東学童　97人	町内小学校3校に学童保育室をおいて、保育を実施した。 入室数（5月1日現在） 斑鳩学童　155人 斑鳩西学童　70人 斑鳩東学童　94人	町内小学校3校に学童保育室をおいて、保育を実施する。 入室数（5月1日現在） 斑鳩学童　164人 斑鳩西学童　75人 斑鳩東学童　114人	町内小学校3校に学童保育室をおいて、保育を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
待機率	R1年度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	R2年度	0.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

08・子育て環境の充実

3･子育てしやすい環境の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域子育て支援センターの運営 【★】 担当課 子育て支援課	生き生きプラザ斑鳩に、子育て全般に関する支援を行う拠点を設置し、地域の子育て支援情報の提供を行うとともに、つどいの広場の運営、臨床心理士等による育児相談や子育て支援講座を開催し、子育て支援の輪を広げる。	つどいの広場 月～金曜日および 第4土曜日実施 子育て相談　月2回 子育て支援講座　月1回 ※年1回土曜日実施 出張つどいの広場 法隆寺幼稚園にて月2回実施 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施（利用制限、時間短縮等）したほか、感染症対策としてオンライン相談ができる環境整備を行った。	つどいの広場 月～金曜日および 第4土曜日実施 子育て相談　月2回 子育て支援講座　月1回 ※年1回土曜日実施 出張つどいの広場 法隆寺幼稚園にて月2回実施 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施（利用制限、時間短縮等）するほか、感染症対策としてオンライン相談業務の周知をはかった。	つどいの広場 月～金曜日および 第4土曜日実施 子育て相談　月2回 子育て支援講座　月1回 ※年1回土曜日実施 出張つどいの広場 法隆寺幼稚園にて月2回実施	つどいの広場 月～金曜日および 第4土曜日実施 子育て相談　月2回 子育て支援講座　月1回 ※年1回土曜日実施 出張つどいの広場は、法隆寺幼稚園の認定こども園にともない、園独自事業に移行	つどいの広場 月～金曜日および 第4土曜日実施 子育て相談　月2回 子育て支援講座　月1回 ※年1回土曜日実施 こども誰でも通園制度の実施を想定し、「ぷち保育室」（親子参加）を開始し、月1回開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①つどいの広場開設数 ②相談日数 ③講座回数	R1年度	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回	
	R2年度	①週5日（第4土曜日実施） ②月2回（第2･4水曜日） ③月1回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子育て短期支援事業の実施 担当課 子育て支援課	保護者が仕事や疾病・冠婚葬祭等により一時的に児童を養育できない場合に、児童福祉施設等で一定の期間、児童を養育保護する。	ショートステイ事業、トワイライト事業を実施した。 ショートステイ事業 利用日数　56日 トワイライト事業 利用なし	ショートステイ事業、トワイライト事業を実施した。 ショートステイ事業 利用日数　3日 トワイライト事業 利用なし	ショートステイ事業、トワイライト事業を実施した。 ショートステイ事業 利用日数　99日 トワイライトステイ事業 利用なし	ショートステイ事業、トワイライト事業を実施する。	ショートステイ事業、トワイライト事業を実施する。 また、利用者が事業利用中に所属機関（保幼こ小）に通学（園）ができるよう、事業所に対して送迎加算を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

3･子育てしやすい環境の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
通学路の安全確保に関する取組みの推進 【★】 担当課 教委総務課	関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保をはかる。		継続的でより効果的な通学路の安全対策の充実にむけた取組みを行うため、「斑鳩町通学路交通安全プログラム」を策定した。 また、新たに町長を中心とした「斑鳩町通学路安全推進会議」を設置し、通学路点検の重点課題、対策効果の検証、対策の改善・充実等について協議した。	「斑鳩町通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全を確保するため、関係機関が連携して通学路点検を実施した。 また、斑鳩町通学路安全推進会議を開催し、通学路点検結果に基づく対策案の検討、対策効果の検証について協議するとともに、協議結果をもとに危険箇所に対する対策を行った。	「斑鳩町通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全を確保するため、関係機関が連携して通学路点検を実施した。 また、斑鳩町通学路安全推進会議を開催し、通学路点検結果に基づく対策案の検討、対策効果の検証について協議するとともに、協議結果をもとに危険箇所の対策を行う。	「斑鳩町通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全を確保するため、関係機関が連携して通学路点検を実施する。 また、斑鳩町通学路安全推進会議を開催し、通学路点検結果に基づく対策案の検討、対策効果の検証について協議するとともに、協議結果をもとに危険箇所の対策を行う。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―			―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
					―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域における子育て支援の拠点づくり 担当課 子育て支援課	町立保育園を地域における新たな子育て支援拠点として位置付け、子育てをする保護者の地域におけるつながりの場や子育てに対する不安を解消できる場として活用する。	・家庭支援講座（中止） ・移動動物園　1回　10月8日 ・園庭解放（一部中止） たつた　第1・3　水曜・土曜 あわ　第2・4　水曜・土曜 ・子育て相談 ・お子さまランチ（中止） ・ほっこりサロン（一部中止）	・家庭支援講座（中止） ・移動動物園 ・園庭解放（一部中止） たつた　第1・3　水曜・土曜 あわ　第2・4　水曜・土曜 ・子育て相談 ・お子さまランチ（中止） ・ほっこりサロン（一部中止）	・移動動物園 ・園庭解放 たつた　第1・3　水曜・土曜 あわ　第2・4　水曜・土曜 ・子育て相談 ・おこさまランチ（再開） ・ほっこりサロン（両園再開）	開催予定の行事 ・移動動物園 ・園庭解放 たつた　第1・3　水曜・土曜 あわ　第2・4　水曜・土曜 ・子育て相談 ・おこさまランチ ・ほっこりサロン	開催予定の行事 ・移動動物園 ・園庭解放 たつた　第1・3　水曜・土曜 あわ　第2・4　水曜・土曜 ・子育て相談 ・おこさまランチ ・ほっこりサロン

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
実施回数（月数・2園）	R1年度 26回	24回／年	24回／年	18回／年	24回／年	19回／年	24回／年	29回／年	24回／年	24回／年	24回／年	
	R2年度 18回											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			△	継続	△	継続	◎	継続	○	継続		

08・子育て環境の充実

3･子育てしやすい環境の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼稚園機能の開放 担当課 教委総務課	幼稚園において、子育てなどに関するセミナー等への参加を呼びかけするなど、保護者の悩みごとを解消し、また、相談体制の充実をはかる。	幼稚園において、子育てなどに関するセミナー等への参加を呼びかけするなど、保護者の悩みごとを解消し、また、相談体制の充実をはかった。 また、入園後、スムーズに幼稚園に馴染むことができるよう未就園児を対象とした「さくらんぼのつどい」、「たんぽぽのつどい」を実施した。	幼稚園において、子どもたちの登降園時に、保護者がいつでも園に相談できる体制の充実をはかった。 また、入園後、スムーズに幼稚園に馴染むことができるよう未就園児を対象とした「さくらんぼのつどい」、「たんぽぽのつどい」を実施した。	幼稚園において、子どもたちの登降園時に、保護者がいつでも園に相談できる体制の充実をはかった。 また、入園後、スムーズに幼稚園に馴染むことができるよう未就園児を対象とした「さくらんぼのつどい」、「たんぽぽのつどい」を実施した。	幼稚園において、子どもたちの登降園時に、保護者がいつでも園に相談できる体制の充実をはかる。 また、入園後、スムーズに幼稚園に馴染むことができるよう未就園児を対象とした「さくらんぼのつどい」を実施するとともに、保育終了後の時間を活用して園庭開放事業を実施する。	幼稚園において、子どもたちの登降園時に、保護者がいつでも園に相談できる体制の充実をはかる。 また、入園後、スムーズに幼稚園に馴染むことができるよう未就園児を対象とした「さくらんぼのつどい」を実施するとともに、保育終了後の時間を活用して園庭開放事業を実施する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子育て支援ネットワークの整備 【★】 担当課 子育て支援課	子育てサポーターの養成および資質の向上をはかるなど、保育園･幼稚園･学校･家庭･地域･関係する行政機関等がそれぞれの役割と機能を発揮し、子育てサークル等の住民主体の子育て団体を支援するなど、地域ぐるみでの子育て支援にむけた子育て支援ネットワーク体制を整備する。	子育て支援講座を開催し、子育て支援の担い手の育成を行うとともに、子育てサポートクラブの支援を行った。（サポーター養成講座は2回開催予定であったが、新型コロナの影響で開催回数は1回） また、協働のまちづくり活動提案事業におけるテーマとして、住民グループによる子育て支援イベントなど、地域ぐるみで子育て支援が出来る仕組みについて検討し、提案した。	子育て支援講座を開催し、子育て支援の担い手の育成を行うとともに、つどいの広場管理委託業務を担う子育てサポートクラブの支援やファミリー・サポート・センター事業を実施した。 また、協働のまちづくり活動提案事業におけるテーマとして、住民グループによる子育て支援事業などを提案し、地域ぐるみで子育て支援が出来る仕組みについて検討し、子ども食堂への運営支援を行った。	子育て支援講座を開催し、地域の子育て支援の担い手の育成を行うとともに、つどいの広場管理委託業務を担う子育てサポートクラブの支援やファミリー・サポート・センター事業を実施した。	子育て支援講座を開催し、地域の子育て支援の担い手の育成を行うとともに、つどいの広場管理委託業務を担う子育てサポートクラブの支援やファミリー・サポート・センター事業を実施する。	子育て支援講座を開催し、地域の子育て支援の担い手の育成を行うとともに、つどいの広場管理委託業務を担う子育てサポートクラブの支援やファミリー・サポート・センター事業を実施する。 また、協働のまちづくり活動提案事業におけるテーマとして、住民グループによる子育て支援事業など、地域ぐるみで子育て支援が出来るしくみについて検討する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

3･子育てしやすい環境の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ファミリー・サポート・センター事業の実施 【★】 担当課 子育て支援課	子育ての手助けをして欲しい人（依頼会員）と、子育ての手伝いをしたい人（提供会員）とで、育児の相互活動を行う会員組織を運営する。 仕事と育児を両立し安心して働くことができる環境づくりをすすめ、家庭で子育てをしている人も、より豊かな子育てができるよう、地域のコミュニティで子育てを応援する。	ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 会員数 提供会員　62人 依頼会員　42人	ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 会員数 提供会員　59人 依頼会員　54人	ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 会員数 提供会員　63人 依頼会員　59人	ファミリー・サポート・センター事業を実施する。 会員数（見込） 提供会員　66人 依頼会員　60人	ファミリー・サポート・センター事業を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ファミリー・サポート・センター会員数（累計）	R1年度	54人	70人	62人	62人	64人	59人	64人	63人	66人	66人	70人	
	R2年度	60人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子育て支援サービスの効果的な発信 【★】 担当課 子育て支援課	子育てに関する事業・施策の内容、利用方法、実施主体が明記されたパンフレットやホームページなどを活用し、子育て・教育環境情報を発信する。	・窓口申請時の各種手続きパンフレットの配布 ・町広報紙、町HPの掲載内容の充実 ・斑鳩町子育て応援ブックの作成、配布 ・子育て応援アプリについては、5か年の利用検証の結果、令和4年3月末で終了	・窓口申請時の各種手続きパンフレットの配布 ・町広報紙、町HPの掲載内容の充実 ・斑鳩町子育て応援ブックの作成、配布 ・子育て応援アプリにかえて、LINEによる情報発信やAIチャットボットによる情報発信を行った。	・窓口申請時の各種手続きパンフレットの配布 ・町広報紙、町HPの掲載内容の充実 ・斑鳩町子育て応援ブックの作成、配布 ・LINEを活用した情報発信 ・事業の開催について町フェイスブックへの投稿を開始した。	・窓口申請時の各種手続きパンフレットの配布 ・町広報紙、町HPの掲載内容の充実 ・斑鳩町子育て応援ブックの作成、配布 ・LINEやフェイスブックを活用した情報発信	・窓口申請時の各種手続きパンフレットの配布 ・町広報紙、町HPの掲載内容の充実 ・斑鳩町子育て応援ブックの作成、配布 ・LINEやフェイスブックを活用した情報発信

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

08・子育て環境の充実

3･子育てしやすい環境の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
家庭教育講座の開催 担当課 生涯学習課	家庭教育の重要性を啓発するため、家庭教育講座を開催する。	家庭教育講座および家庭教育講演会の開催案内などを、町広報紙や町ホームページへ掲載するとともに、幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者へ文書配布を行い、家庭の教育力の向上をはかった。 ・年6回の家庭教育講座 内3回は人権教育推進協議会との共催 ・年1回の家庭教育講演会	家庭教育講座および家庭教育講演会の開催案内などを、町広報紙や町ホームページへ掲載するとともに、幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者へ文書配布を行い、家庭の教育力の向上をはかった。 ・年6回の家庭教育講座 うち3回は人権教育推進協議会との共催 ・年1回の家庭教育講演会	家庭教育講座および家庭教育講演会の開催案内などを、町広報紙や町ホームページへ掲載するとともに、幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者へ文書配布を行い、家庭の教育力の向上をはかった。 ・年6回の家庭教育講座 うち3回は人権教育推進協議会との共催 ・年1回の家庭教育講演会	家庭教育講座および家庭教育講演会の開催案内などを、町広報紙や町ホームページへ掲載するとともに、幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者へ文書配布を行い、家庭の教育力の向上をはかる。 ・年6回の家庭教育講座 うち3回は人権教育推進協議会との共催 ・年1回の家庭教育講演会	家庭教育講座および家庭教育講演会の開催案内などを、町広報紙や町ホームページへ掲載するとともに、幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者へ文書配布を行い、家庭の教の力の向上をはかる。 ・年6回の家庭教育講座 うち3回は人権教育推進協議会との共催 ・年1回の家庭教育講演会

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数	R1年度	249人	250人／年	250人／年	200人／年	250人／年	195人／年	250人／年	238人／年	250人／年	250人／年	250人／年	
	R2年度	250人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
家庭教育の啓発 担当課 生涯学習課	家庭の教育力の向上をはかるため、町広報紙などを活用し、意識の啓蒙をはかる。	家庭教育講座の開催 ・人権教育推進協議会との共催による講座　3講座 ・PTAとの共催による家庭教育講座　3学級 開催日　7月30日（金） 9月21日（火） 2月25日（金） ※7月30日（金）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ・家庭教育講演会　1回 実施予定日　11月29日（月）	家庭教育講座の開催 ・人権教育推進協議会との共催による講座　3講座 ・PTAとの共催による家庭教育講座　3学級 開催日　7月29日（金） 9月27日（火） 令和5年2月16日（木） ・家庭教育講演会　1回 11月15日（火）	家庭教育講座の開催 ・人権教育推進協議会との共催による講座　3講座 ・PTAとの共催による家庭教育講座　3学級 開催日　6月29日（木） 9月28日（木） 令和6年1月27日（土） ・家庭教育講演会　1回 11月7日（火）	家庭教育講座の開催 ・人権教育推進協議会との共催による講座　3講座 ・PTAとの共催による家庭教育講座　3学級 開催日　7月28日（日） 9月30日（月） 令和7年2月4日（火）予定 ・家庭教育講演会　1回 11月19日（火）予定	家庭教育講座の開催 ・人権教育推進協議会との共催による講座　3講座 ・PTAとの共催による家庭教育講座　3学級 開催日　7月予定 9月予定 令和8年2月　予定 ・家庭教育講演会　1回 11月予定

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

1・時代に応じた教育内容の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校学力の向上 担当課 教委総務課	学習指導要領に基づく教育課程の中で基礎的、基本的な知識や技能を習得させ、課題を解決するために、必要な思考力、判断力、表現力等を育む。全学年に少人数学級編制、少人数指導などきめ細やかな教育を行うことができる環境を整える。また、中学校ではキャリア教育などにより社会観、職業観を育成する。	【小学校】 ・小学生1年生と2年生を30人、3年生から6年生を35人を基準とした学級編制と小人数指導との選択制の導入を継続した。 ・町費により特別支援講師、図書館司書を配置した。 【中学校】 ・全ての学年を35人を基準とした学級編制と少人数との選択制の導入を継続した。 ・町費により図書館司書を配置した。	【小学校】 ・小学生1年生と2年生を30人、3年生から6年生を35人を基準とした学級編制と少人数指導との選択制の導入を継続した。 ・町費により特別支援講師、図書館司書を配置した。 【中学校】 ・全ての学年を35人を基準とした学級編制と少人数との選択制の導入を継続した。 ・町費により図書館司書を配置した。	【小学校】 ・小学生1年生と2年生を30人、3年生から6年生を35人を基準とした学級編制と少人数指導との選択制の導入を継続した。 ・町費により特別支援講師、図書館司書を配置した。 【中学校】 ・全ての学年を35人を基準とした学級編制と少人数との選択制の導入を継続した。 ・町費により、図書館司書を配置した。	【小学校】 ・小学生1年生と2年生を30人、3年生から6年生を35人を基準とした学級編制と少人数指導との選択制の導入を継続した。 ・町費により、特別支援講師、図書館司書を配置した。 【中学校】 ・全ての学年を35人を基準とした学級編制と少人数との選択制の導入を継続した。 ・町費により、図書館司書を配置した。	【小学校】 ・小学生1年生と2年生を30人、3年生から6年生を35人を基準とした学級編制と少人数指導との選択制の導入を継続する。 ・町費により、特別支援講師、図書館司書を配置する。 【中学校】 ・全ての学年を35人を基準とした学級編制と少人数との選択制の導入を継続する。 ・町費により、図書館司書を配置する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
将来の夢や希望を持っている児童、生徒の割合	R1年度	①小学生 87.9% ②中学生 71.1%	向上	向上	①小学生 78.8% ②中学生 70.1%	向上	①小学生 80.4% ②中学生 65.2%	向上	①小学生 78.4% ②中学生 69.5%	向上	向上	向上	
	R2年度	①小学生 80.4% ②中学生 67.4%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校食育の推進と体力の向上 担当課 教委総務課	地域学習や学校給食などを通じて食に関する知識を習得し、斑鳩町食育推進計画や各学校への栄養士の配置により、栄養士を中心に食育の推進をはかる。また、体育科、家庭科、町内フィールドワークや部活動、宿泊訓練などの学習活動、特別活動において基礎体力を養う。 また、中学校では官学連携協定にもとづき、体力向上促進事業を行う。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 ・官学連携事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかった。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 ・官学連携事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかった。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 ・官学連携事業は、教職員の資質向上を目的とした教育講演会と事業統合した。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかった。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかる。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかる。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

1・時代に応じた教育内容の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校規範意識の向上 担当課 教委総務課	学校教育活動の中で人間尊重の精神と生命への畏敬を生かし、また、貴重な文化遺産を活用しながら伝統や文化への尊重、郷土への愛着を育む。郷土「斑鳩」を尊び、愛する教育、心豊かにする道徳教育と、「いじめは人間として絶対ゆるさない」という意識を持たせる教育を推進する。	小中連携教育の推進 斑鳩部において郷土「斑鳩」を尊び愛する教育、心を豊かにする道徳教育を推進した。 「いじめ」の防止対策として、「人の痛みがわかる」「自分が嫌なことを人にはしない」という精神を根本に、「いじめは人間として絶対にゆるさない」という意識を持たせる教育を推進した。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）を策定した。	小中連携教育の推進 斑鳩部において郷土「斑鳩」を尊び愛する教育、心を豊かにする道徳教育を推進した。 「いじめの防止対策」として、「人の痛みがわかる」「自分が嫌なことを人にはしない」という精神を根本に、「いじめは人間として絶対にゆるさない」という意識を持たせる教育を推進した。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを開始した。	小中連携教育の推進 斑鳩部において郷土「斑鳩」を尊び愛する教育、心を豊かにする道徳教育を推進した。 「いじめの防止対策」として、「人の痛みがわかる」「自分が嫌なことを人にはしない」という精神を根本に、「いじめは人間として絶対にゆるさない」という意識を持たせる教育を推進した。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを推進した。	小中連携教育の推進 斑鳩部において郷土「斑鳩」を尊び愛する教育、心を豊かにする道徳教育を推進する。 「いじめの防止対策」として、「人の痛みがわかる」「自分が嫌なことを人にはしない」という精神を根本に、「いじめは人間として絶対にゆるさない」という意識を持たせる教育を推進する。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを推進する。	小中連携教育の推進 斑鳩部において郷土「斑鳩」を尊び愛する教育、心を豊かにする道徳教育を推進する。 「いじめの防止対策」として、「人の痛みがわかる」「自分が嫌なことを人にはしない」という精神を根本に、「いじめは人間として絶対にゆるさない」という意識を持たせる教育を推進する。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを推進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童、生徒の割合	R1年度	①小学生 96.4% ②中学生 95.6%	向上	向上	①小学生 96.7% ②中学生 97.6%	向上	①小学生 96.7% ②中学生 97.6%	向上	①小学生 96.4% ②中学生 97.4%	向上	向上	向上	
	R2年度	①小学生 98.9% ②中学生 99.1%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	△	継続	△	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国際化教育の推進 【★】 担当課 教委総務課	中学校2校に1名のALTを、小学校に1名ずつのALTを配置し、小中連携教育推進委員会英会話部による英語のコミュニケーション能力の育成をはかり、児童・生徒などの英語や異文化に対する興味、関心を高める。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかった。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかった。 小中学校において海外の学校とのオンライン学習を実施した。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかった。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかった。 CanDoリストにおける話すことについて実践を行った。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかった。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかった。 中学校において、外国人留学生を相手に英語で法隆寺を案内する「法隆寺案内学習」を実施した。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかる。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかる。 斑鳩南中学校において、台湾の中学生を受け入れ、生徒間交流を行う。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置する。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかる。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかる。 小中学校において海外の学校とのオンライン学習を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

1・時代に応じた教育内容の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校情報教育の推進 【★】 担当課 教委総務課	小・中学校において各教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、子どもたちのプログラミング的思考をはぐくみ、情報化に対応した人材の育成をはかる。また、情報機器については、既存機器の継続使用の可否を判断しながら、適宜更新するとともに、時代に即した機器整備を行う。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかった。 ・教員で構成される斑鳩町ICT教育推進連絡会議においてICT調査、研究を行った。 ・臨時休業等、非常時におけるオンライン授業を行った。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかった。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行った。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかった。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行った。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかる。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行う。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかる。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行う。 ・第2期GIGAスクール構想による児童・生徒の1人1台端末を更新する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
郷土愛を育む教育の充実 【★】 担当課 教委総務課	斑鳩町の歴史・文化・自然などを地域の子どもたちに引き継いでいくために、それらの学びを通じて、郷土愛を育む学習を推進する。	斑鳩町の歴史・文化・自然などを地域の子どもたちに引き継いでいくために、それらの学びを通じて、郷土愛を育む学習を推進する。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）を策定した。	斑鳩町の歴史・文化・自然などを地域の子どもたちに引き継いでいくために、それらの学びを通じて、郷土愛を育む学習を推進した。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを開始した。 法隆寺と連携のもと、各小学校第6学年が法隆寺見学を実施した。	斑鳩町の歴史・文化・自然などを地域の子どもたちに引き継いでいくために、それらの学びを通じて、郷土愛を育む学習を推進した。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを推進した。 法隆寺との連携のもと、各小学校第6学年が法隆寺見学を実施した。	斑鳩町の歴史・文化・自然などを地域の子どもたちに引き継いでいくために、それらの学びを通じて、郷土愛を育む学習を推進する。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを推進する。 法隆寺との連携のもと、各小学校第6学年が法隆寺見学を実施する。	斑鳩町の歴史・文化・自然などを地域の子どもたちに引き継いでいくために、それらの学びを通じて、郷土愛を育む学習を推進する。 また、聖徳太子の「和のこころ」を学ぶための教育プログラム（いかるが楽）の取組みを推進する。 法隆寺との連携のもと、各小学校第6学年が法隆寺見学を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

1・時代に応じた教育内容の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
日本伝統文化の学習 【★】 担当課 教委総務課	小学校において能、茶道、雅楽、和太鼓の日本伝統芸能の学習を実施し、伝統と文化を理解、尊重する心の育成をはかる。 世界遺産学習全国サミットに参加し、持続発展教育（ESD）の推進をはかる。	【斑鳩小学校】 「能」 3年生 「能クラブ」 4～6年生 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため回数縮小 【斑鳩西小学校】 「茶道学習」 4年生 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 【斑鳩東小学校】 「雅楽」 6年生 「和太鼓クラブ」 4～6年生 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	【斑鳩小学校】 「能」 3年生 「能クラブ」 4～6年生 【斑鳩西小学校】 「茶道学習」 4年生 【斑鳩東小学校】 「和太鼓クラブ」 4～6年生 斑鳩小学校において、世界遺産学習に係る学校間交流を実施	【斑鳩小学校】 「能」 3年生 「能クラブ」 4～6年生 【斑鳩西小学校】 「茶道学習」 4年生 【斑鳩東小学校】 「和太鼓クラブ」 4～6年生 世界遺産学習全国サミットに参加した。	【斑鳩小学校】 「能」 3年生 「能クラブ」 4～6年生 【斑鳩西小学校】 「茶道学習」 4年生 【斑鳩東小学校】 「和太鼓クラブ」 4～6年生 世界遺産学習全国シェアミーティングに参加する。 中学校において、岩手県平泉町の小中学生との世界遺産学習交流を実施した。	【斑鳩小学校】 「能」 3年生 「能クラブ」 4～6年生 【斑鳩西小学校】 「茶道学習」 4年生 【斑鳩東小学校】 「和太鼓クラブ」 4～6年生 世界遺産学習全国サミットに参加

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
特別活動の推進（学校行事・部活動） 【★】 担当課 教委総務課	児童、生徒一人ひとりが学級活動、児童・生徒会活動、クラブ活動、学校行事に積極的に参加することにより、個々の児童生徒の心身の調和のとれた発達と個性の伸長をはかり、自主性・社会性を伸ばすよう努める。	運動会、体育大会、文化活動、クラブ活動、児童会活動、校外活動などに対して助成を行い、特別活動の推進をはかった。	運動会、体育大会、文化活動、クラブ活動、児童会活動、校外活動などに対して助成を行い、特別活動の推進をはかった。	運動会、体育大会、文化活動、クラブ活動、児童会活動、校外活動などに対して助成を行い、特別活動の推進をはかった。	運動会、体育大会、文化活動、クラブ活動、児童会活動、校外活動などに対して助成を行い、特別活動の推進をはかる。	運動会、体育大会、文化活動、クラブ活動、児童会活動、校外活動などに対して助成を行い、特別活動の推進をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2・教育環境の整備・充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学校運営協議会の実施 【★】 担当課 生涯学習課	子どもたちが変化の激しい現在社会において、求められる資質や能力を育成するため、学校において地域社会と連携・協働した教育活動の充実を図ることを目的に学校運営協議会を設置する	学校運営協議会立上げにむけた、小・中学校、学校指導主事、社会教育指導員を含めた研修会を開催。 開催日：7月30日 準備委員会の立上げ 学校運営協議会規則等の作成	先進地への視察　山添村 令和4年11月17日 研修会の開催 令和5年2月13日 モデル校の指定の検討	学校運営協議会のモデル校の指定をすることから斑鳩小学校と斑鳩南中学校をモデル校として指定し、学校運営協議会の設置にむけた協議調整をすすめた。 関係例規の制定等をおこなった。	斑鳩小学校と斑鳩南中学校に学校運営協議会を設置した。 他の学校においても、学校運営協議会の設置にむけた取組みをすすめる。	全小中学校において、学校運営協議会を設置し運営する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校食育の推進と体力の向上 【再掲】 担当課 教委総務課	地域学習や学校給食などを通じて食に関する知識を習得し、斑鳩町食育推進計画や各学校への栄養士の配置により、栄養士を中心に食育の推進をはかる。また、体育科、家庭科、町内フィールドワークや部活動、宿泊訓練などの学習活動、特別活動において基礎体力を養う。 また、中学校では官学連携協定にもとづき、体力向上促進事業を行う。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 ・官学連携事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかった。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 ・官学連携事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかった。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 ・官学連携事業は、教職員の資質向上を目的とした教育講演会と事業統合した。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかった。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかる。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。	【小学校】・県費および町費栄養士を各学校へ配置。 【中学校】・町費栄養士を各学校へ配置。 【共通】 ・学習や給食等を通じて食に関する知識を習得し、栄養士が中心となり食育の推進をはかる。 ・学校給食地産地消促進事業補助金および給食補助金を交付。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2・教育環境の整備・充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校情報教育の推進 【再掲】 【★】 担当課 教委総務課	小・中学校において各教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、子どもたちのプログラミング的思考をはぐくみ、情報化に対応した人材の育成をはかる。また、情報機器については、既存機器の継続使用の可否を判断しながら、適宜更新するとともに、時代に即した機器整備を行う。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかった。 ・教員で構成される斑鳩町ICT教育推進連絡会議においてICT調査、研究を行った。 ・臨時休業等、非常時におけるオンライン授業を行った。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかった。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行った。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかった。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行った。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかる。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行う。	・教科等の授業や学習などにコンピュータ等を適切に活用し、情報活用の実践力を養うなど、情報化に対応した人材の育成をはかる。 ・タブレット端末の活用方法を多様化し、ICT教育の充実を行う。 ・第2期GIGAスクール構想による児童・生徒の1人1台端末を更新する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学校における住民力の活用 【★】 担当課 教委総務課	地域と協働した学校運営をすすめるため、学校安全ボランティア、米作り体験、茶の作法等について、地域住民の指導、協力を得て実施する。	・学校安全ボランティア ・米作り体験 ・お茶の作法 ・清掃活動　など 地域の住民の指導による児童生徒の知識や技能の向上に努めた。	・学校安全ボランティア ・お茶の作法 ・清掃活動　など 地域の住民の指導による児童生徒の知識や技能の向上に努めた。	・学校安全ボランティア ・米作り体験 ・お茶の作法 ・清掃活動　など 地域の住民の指導による児童生徒の知識や技能の向上に努めた。	・学校安全ボランティア ・米作り体験 ・お茶の作法 ・清掃活動　など 地域の住民の指導による児童生徒の知識や技能の向上に努める。	・学校安全ボランティア ・米作り体験 ・お茶の作法 ・清掃活動　など 地域の住民の指導による児童生徒の知識や技能の向上に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2・教育環境の整備・充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学習支援事業（スクールサポート事業） 【★】 担当課 教委総務課	教員OB等の地域の経験豊かな人材との協働により、その経験を児童生徒の学習支援に生かしてもらい、学力および学習意欲の向上並びに地域コミュニティの活性化をはかる。	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生）： 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生）： 週1回（水）英語、数学 利用者数 小学生　48人 中学生　15人 学習支援員 17人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学 利用者数 小学生　71人 中学生　20人 学習支援員 20人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学 利用者数 小学生　78人 中学生　24人 学習支援員 19人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学 利用者数（9月末時点） 小学生　67人 中学生　24人 学習支援員（9月末時点） 20人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学校支援地域本部事業の展開 【★】 担当課 生涯学習課	地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築をはかり、多様な形態の教員支援を可能とし、学校と地域が子どもと向き合う時間の拡充をはかる。	地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築をはかる。	地域全体で学校教育を支援するため、学校運営協議会との連携をはかり、学校と地域との連携体制の構築をはかった。	地域全体で学校教育を支援するため、学校運営協議会との連携をはかり、学校と地域との連携体制の構築をはかった。	地域全体で学校教育を支援するため、学校運営協議会との連携をはかり、学校と地域との連携体制の構築をはかる。 斑鳩小学校・斑鳩南中学校において学校運営協議会を設置し、学校支援地域本部との連携をはかる。	地域全体で学校教育を支援するため、学校運営協議会との連携をはかり、学校と地域との連携体制の構築をはかる。 全小・中学校に学校運営協議会を設置し、学校支援地域本部との連携をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2・教育環境の整備・充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携 担当課 教委総務課	小学校から中学校への入学が円滑に行うことができるよう、英会話教育、道徳教育、小中交流を柱に小中連携教育を実施する。また、小学校への円滑な入学のために、幼稚園と小学校との交流に保育園も交えた取組みを行う。	・英会話学習、道徳教育で郷土を愛する心を育み、生きる力を育てた。 ・小学6年生と中学1年生の小中交流や体験入学を実施し、移行期の学習や人間関係のつまずきを防止した。 ・幼小保交流により、小学生との運動会ごっこなどを行った。	・英会話学習、道徳教育で郷土を愛する心を育み、生きる力を育てた。 ・小学6年生と中学1年生の小中交流や体験入学を実施し、移行期の学習や人間関係のつまずきを防止した。 ・幼小保交流により、小学生による本の読み聞かせなどを行った。 ・「幼保こ小」連携推進会議を開催した（第1回：12月12日）。	・英会話学習、道徳教育で郷土を愛する心を育み、生きる力を育てた。 ・小学6年生と中学1年生の小中交流や体験入学を実施し、移行期の学習や人間関係のつまずきを防止した。 ・幼小保交流により、小学生による本の読み聞かせなどを行った。 ・小学校と保育所等の相互交流、相互研修を行った。 ・「幼保こ小」連携推進会議を開催した（第2回：7月24日、第3回：1月9日）。	・英会話学習、道徳教育で郷土を愛する心を育み、生きる力を育てる。 ・小学6年生と中学1年生の小中交流や体験入学を実施し、移行期の学習や人間関係のつまずきを防止する。 ・幼保こ小交流により、小学生による本の読み聞かせや、小学校と保育所等の相互交流、相互研修等を行う。 ・私立認定子ども園・保育園の参加のもと、「幼保こ小」連携推進会議を開催（第4回：8月9日）。	・英会話学習、道徳教育で郷土を愛する心を育み、生きる力を育てる。 ・小学6年生と中学1年生の小中交流や体験入学を実施し、移行期の学習や人間関係のつまずきを防止する。 ・幼保こ小交流により、小学生による本の読み聞かせなどを行う。 ・小学校と保育所等の相互交流、相互研修を行う。 ・「幼保こ小」連携推進会議を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学校施設の整備 担当課 教委総務課	非構造部材の耐震化に合わせ、学校施設の老朽化に対する大規模改修について検討を行い、斑鳩南中学校・幼稚園施設の照明器具をLED照明に更新し、消費電力の低減による環境に配慮した学校づくりの推進をはかる。	国庫補助の採択を受け、斑鳩南中学校校舎照明のLED化を実施した。 8月18日　入札 8月19日　着工 1月31日　竣工	・避難所対策として、トイレ洋式化（令和6年度までにトイレ洋式化を約80%とする計画を令和4年度に完了）、自動水栓、自動照明工事を実施した。 ・学校施設の老朽化に対する大規模改修、長寿命化改修について検討を行った。	・幼稚園、小・中学校（体育館）のLED化工事を行った。 ・学校施設の老朽化に対する大規模改修、長寿命化改修について検討を行った。	学校施設の老朽化に対する学校施設の適正規模・適正配置の検討状況に合わせ、大規模改修、長寿命化改修について検討を行う。	学校施設の老朽化に対する学校施設の適正規模・適正配置の検討状況に合わせ、大規模改修、長寿命化改修について検討を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2・教育環境の整備・充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校学校図書の整備 担当課 教委総務課	標準冊数の確保に努めながら、内容等が古い書籍については、リユース等を行うことにより、学校図書室の機能向上をはかり、児童の主体的・意欲的な学習活動・読書活動が行える環境整備をすすめる。また図書室の活用だけでなく、町立図書館からの貸し出しや、図書の読み聞かせなどによる図書活動の充実をはかる。	標準冊数の確保に努めながら、内容等が古い書籍については、リユース等を行い、学校図書室の機能向上をはかった。	標準冊数の確保に努めながら、内容等が古い書籍については、リユース等を行い、学校図書室の機能向上をはかった。	標準冊数の確保に努めながら、内容等が古い書籍については、リユース等を行い、学校図書室の機能向上をはかった。	標準冊数の確保に努めながら、内容等が古い書籍については、リユース等を行い、学校図書室の機能向上をはかる。	標準冊数の確保に努めながら、内容等が古い書籍については、リユース等を行い、学校図書室の機能向上をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学校施設の適正配置 担当課 教委総務課	児童生徒の減少や校舎等の老朽化等が今後一層すすむことから、学校施設が持つ多様な機能に留意しながら、より良い教育環境の整備と充実した教育の実現にむけた学校施設の適正配置の検討を行う。			学校施設整備等計画の策定にむけた基礎調査を行った。	検討委員会の立ち上げ、住民アンケート等を実施し、将来の学校施設の適正化のため、基本構想（素案）の策定にむけた検討をすすめる。	将来の学校施設の適正化のため、基本構想（素案）を策定する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―					―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
								―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2･教育環境の整備･充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
教職員研修の実施 担当課 教委総務課	生徒指導、授業研究、特別支援教育を重点に全体研修、各教科別研修により、実践的指導力を養成し、教職員の資質向上をはかる。	生徒指導、授業研究、特別支援教育を重点に全体研修、ICT研修、ハラスメント研修、各教科別研修により、実践的指導力の養成をはかった。	生徒指導、授業研究、特別支援教育を重点に全体研修、ICT研修、ハラスメント研修、各教科別研修により、実践的指導力の養成をはかった。	生徒指導、授業研究、特別支援教育を重点に全体研修、ICT研修、ハラスメント研修、各教科別研修により、実践的指導力の養成をはかった。	生徒指導、授業研究、特別支援教育を重点に全体研修、ICT研修、ハラスメント研修、各教科別研修により、実践的指導力の養成をはかる。	生徒指導、授業研究、特別支援教育を重点に全体研修、ICT研修、ハラスメント研修、各教科別研修により、実践的指導力の養成をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
教育機会の提供 担当課 教委総務課	夜間中学校の運営および町内の夜間中学校在籍者の就学に必用な経費に対し負担を行う。	奈良市立春日中学校 3名就学 西和自主夜間中学の運営経費について補助を行った。	奈良市立春日中学校 2名就学 西和自主夜間中学の運営経費について補助を行った。	奈良市立春日中学校 就学者なし 西和自主夜間中学の運営経費について補助を行った。	奈良市立春日中学校就学に必要な経費を負担する。 西和自主夜間中学の運営経費について補助を行う。	奈良市立春日中学校就学に必要な経費を負担する。 西和自主夜間中学の運営経費について補助を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2・教育環境の整備・充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
通級指導教室の実施 【★】 担当課 教委総務課	学習障害など、特別支援学級に入級を要しない程度の支援を有する児童がその特性にあわせた個別の指導を受けて、学習上、生活上の困難を改善するために通級指導教室を運営する。	斑鳩小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校に通級指導教室を開設した。また、斑鳩西小学校、斑鳩南中学校の児童生徒には、訪問による指導を行った。 小学校 ・通級による指導　31名 ・訪問による指導　7名 中学校 ・通級による指導　7名 ・訪問による指導　4名	斑鳩小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校に通級指導教室を開設した。また、斑鳩西小学校、斑鳩南中学校の児童生徒には、訪問による指導を行った。 小学校 ・通級による指導　39名 ・訪問による指導　9名 中学校 ・通級による指導　11名 ・訪問による指導　3名	斑鳩小学校、斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校に通級指導教室を開設している。また、斑鳩南中学校の生徒には、訪問による指導を行った。 小学校 ・通級による指導　73名 中学校 ・通級による指導　14名 ・訪問による指導　6名	斑鳩小学校、斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校に通級指導教室を開設している。また、斑鳩南中学校の生徒には、訪問による指導を行う。 （9月末現在） 小学校 ・通級による指導　66名 中学校 ・通級による指導　7名 ・訪問による指導　6名	斑鳩小学校、斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校に通級指導教室を開設している。また、斑鳩南中学校の生徒には、訪問による指導を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
特別支援教育環境の整備 担当課 教委総務課	特別支援学級に在籍する児童生徒の学習に必要な設備を整備する。	特別支援学級の教育に要する物品の整備を行った。 また、斑鳩小学校において、紫外線対策が必要な児童の入学にともない、関係教室や廊下に紫外線フィルム貼付工事を実施した。	特別支援学級の教育に要する物品の整備を行った。 また、斑鳩小学校において、紫外線対策が必要な児童の進級にともない、関係教室や廊下に紫外線フィルム貼付工事を実施した。	特別支援学級の教育に要する物品の整備を行った。 また、斑鳩小学校において、紫外線対策が必要な児童の進級にともない、関係教室や廊下に紫外線フィルム貼付工事を実施した。	特別支援学級の教育に要する物品の整備を行う。 また、斑鳩小学校において、紫外線対策が必要な児童の進級にともない、関係教室や廊下に紫外線フィルム貼付工事を実施する。	特別支援学級の教育に要する物品の整備を行う。 また、斑鳩小学校において、紫外線対策が必要な児童の進級にともない、関係教室や廊下に紫外線フィルム貼付工事を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2･教育環境の整備･充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼稚園特別支援教育の充実 担当課 教委総務課	特別支援を必要な園児がすこやかに明るく幼稚園教育が受けることができるよう、講師を配属するなどの方策を講じる。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
不登校対策の充実 【★】 担当課 教委総務課	学校に行きにくい児童生徒の悩みや不安の解消、心の居場所を提供するため、町施設を活用して児童生徒の状況に即した学習やグループ活動等を実施する。		令和5年度開室にむけた準備をすすめた。	「斑鳩町子どもと親のフリースペース くるむ」を開室した。（開室日：令和5年9月5日）継続して、学校を通じて、周知をはかった。	不登校または不登校傾向の児童生徒を対象とした「斑鳩町子どもと親のフリースペース くるむ」を運営する。 「アイ・キャッチ・プロジェクト」を推進し、不登校児童生徒に対する「初芽の一歩」として、「未然防止」「初期対応」の2つの柱で不登校対策をはかる。	不登校または不登校傾向の児童生徒を対象とした「斑鳩町子どもと親のフリースペース くるむ」を運営する。 「アイ・キャッチ・プロジェクト」を推進し、不登校児童生徒に対する「初芽の一歩」として、「未然防止」「初期対応」の2つの柱で不登校対策をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―			―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2･教育環境の整備･充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校特別支援教育の充実 【★】 担当課 教委総務課	特別支援教育の充実をはかるため、特別支援学級の運営にかかる講師の配置、教育設備の整備を行うほか、小学校では発達遅滞に不安を抱く保護者を支援するため、就学予定児の教育相談に努める。また、特別支援学級に在籍する児童、生徒の学用品費、校外活動費、給食費等について助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかる。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかった。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかった。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかった。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかる。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
就学指導の充実 担当課 教委総務課	保護者がそれぞれの子どもの特性や発達段階に応じて適切な教育環境を選択できるよう、教育支援委員会により特別な支援を必要とする幼児、児童および生徒に関する教育相談および教育についての指導並びにその後の一貫した支援等を行う。 「個別の教育支援計画」を作成し、さまざまな関係機関等との連携をはかりながら、乳幼児から学校卒業後まで、長期的に一貫した支援を行う。	教育支援委員会　2回 8月26日　書面開催 11月29日　開催 就学指導　17回 諮問者数　36人	教育支援委員会　2回 8月25日　開催 11月28日　開催 就学指導　18回 諮問者数　50人	教育支援委員会　2回 8月24日　開催 11月28日　開催 就学指導　18回 諮問者数　37人	教育支援委員会　2回（予定） 8月26日　開催予 11月28日　開催予定 就学指導　17回（予定） 諮問者数　31人（予定）	教育支援委員会　2回（予定）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2･教育環境の整備･充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
少人数学級編制および少人数指導の推進 【★】 担当課 教委総務課	国、県の学級編成基準と異なる少人数学級編制や、少人数での指導やティーム･ティーチングなど柔軟な少人数指導の運用により、教員が児童生徒一人ひとりに向かい合う時間を確保し、きめ細やかな学習が行える環境をつくる。	少人数学級編制のため、町費講師を配置した。 少人数指導との選択制を導入した。	少人数学級編制のため、町費講師を配置した。 少人数指導との選択制を導入した。	少人数学級編制のため、町費講師を配置した。 少人数指導との選択制を導入した。	少人数学級編制のため、町費講師を配置した。 少人数指導との選択制を導入した。	少人数学級編制のため、町費講師を配置する。 少人数指導との選択制を導入する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学校給食における自校方式の継続 【★】 担当課 教委総務課	適温給食を提供しやすい、できたての給食を提供できる、食物アレルギー対応しやすいなどのメリットがある自校方式を今後も継続する。	適温給食の提供や食物アレルギーへの対応等のため自校方式を継続した。 令和4年度～6年度までの学校給食調理洗浄業務委託の入札を実施した。	適温給食の提供や食物アレルギーへの対応等のため自校方式を継続した。 令和4年度～6年度までの学校給食調理洗浄業務委託契約額 斑小　50,323,000円 斑西小　39,385,500円 斑東小　42,768,000円 斑中　41,061,900円 斑南中　35,350,700円	適温給食の提供や食物アレルギーへの対応等のため自校方式を継続した。	適温給食の提供や食物アレルギーへの対応等のため自校方式を継続する。 令和7年度～9年度までの学校給食調理洗浄業務委託の入札を実施した。	適温給食の提供や食物アレルギーへの対応等のため自校方式を継続する。 令和7年度～9年度までの学校給食調理洗浄業務委託契約額 斑小　59,796,000円 西小　47,008,500円 東小　49,368,000円 斑中　45,969,000円 南中　45,012,000円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

2・教育環境の整備・充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼稚園給食の充実 担当課 教委総務課	幼稚園にて適温でできたての給食を提供するため、小学校の自校式学校給食調理施設の活用を検討する。	自校式学校給食調理を実施するにあたり、給食調理施設の改修、給食の配送や回収方法、園児専用の献立とアレルギー対応等の課題解消のため、調査、研究を行った。	小学校の自校式学校給食調理施設の活用について、検討をすすめた。	小学校の自校式学校給食調理施設の活用について、検討をすすめた。	小学校の自校式学校給食調理施設の活用について、検討をすすめる。	小学校の自校式学校給食調理施設の活用について、検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

3･青少年の健全育成

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
スクールカウンセラーの配置 担当課 教委総務課	スクールカウンセラーを町立学校に配置し、いじめや不登校、非行の問題や児童・生徒の心の問題に適切に対処する。また町費によるスクールカウンセラーを配置する。	県派遣事業において斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校、斑鳩南中学校、また、町費により斑鳩小学校を拠点校とした、スクールカウンセラーを配置した。	県派遣事業において斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校、斑鳩南中学校、また、町費により斑鳩小学校を拠点校とした、スクールカウンセラーを配置した。 なお、町費スクールカウンセラーの時間単価を見直した。（時間単価…R4:2,001円⇒R5:4,250円）	県派遣事業において、斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校、斑鳩南中学校、また、町費により斑鳩小学校を拠点校とした、スクールカウンセラーを配置した。	県派遣事業において、斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校、斑鳩南中学校、また、町費により斑鳩小学校を拠点校とした、スクールカウンセラーを配置した。	県派遣事業において、斑鳩西小学校、斑鳩東小学校、斑鳩中学校、斑鳩南中学校、また、町費により斑鳩小学校を拠点校とした、スクールカウンセラーを配置する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
（仮）子ども・若者育成支援ネットワーク化の検討 担当課 生涯学習課	「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、社会生活に支障をきたしている子ども・若者に対して、円滑に社会生活を営むことができるよう、福祉、保健・医療、教育、雇用等の各分野の支援機関のネットワーク化について、調査研究を行う。	県等の動向を見極めながら、組織化にむけて調査研究を行う。	県等の動向を見極めながら、組織化にむけてネットワーク構築にむけた役割分担の調整を行った。	県等の動向を見極めながら、組織化にむけてネットワーク構築にむけた役割分担の調整を行った。	県等の動向を見極めながら、組織化にむけてネットワーク構築にむけた役割分担の調整を行う。	県等の動向を見極めながら、組織化にむけてネットワーク構築にむけた役割分担の調整を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

3･青少年の健全育成

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
青少年育成のホリディ学園の開催 【★】 担当課 生涯学習課	青少年リーダーの育成と地域での活性化を促進し、次代を担う青少年の育成をはかるため、ホリディ学園を開催する。	年9回のホリディ学園を開催し、青少年の育成をはかった。 6月　開校式 7月　調理実習 8月　デイキャンプ（中止） 9月　理科おもしろ実験教室（延期） 10月　理科おもしろ実験教室 11月　馬見丘陵公園ハイキング 12月　陶芸体験教室 2月　歴史探検ツアー（中止） 3月　閉校式（中止）	年9回のホリディ学園を開催し、青少年の育成をはかった。 6月　開校式 7月　調理実習 8月　自然ふれあいデイキャンプ（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため延期、代替行事「理科おもしろ実験教室」） 9月　クラフト教室 10月　レクリエーション 11月　食育座学 12月　クラフト教室 2月　環境教室	年9回のホリディ学園を開催し、青少年の育成をはかった。 6月　開校式 7月　調理実習 8月　理科実験 9月　エコクッキング 11月　社会見学（JR法隆寺 12月　クリスマス工作 1月　絵本づくり 2月　不思議な理科実験 3月　閉校式	年9回のホリディ学園を開催し、青少年の育成をはかる。 6月　開校式 7月　８月の事前学習会 8月　平泉ひかりプロジェクト交流会 9月　ぶどう狩り 10月　防災マップづくり 11月　工作 12月　調理実習 2月　環境教室 3月　閉校式	年9回のホリディ学園を開催し、青少年の育成をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①開催回数 ②参加人数	R1年度	①7回 ②28人	①9回／年 ②40人／年	①9回／年 ②40人／年	①5回／年 ②25人／年	①9回／年 ②40人／年	①9回／年 ②29人／年	①9回／年 ②40人／年	①9回／年 ②15人／年	①9回／年 ②40人／年	①9回／年 ②10人／年	①9回／年 ②30人／年	
	R2年度	①6回 ②30人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
放課後子ども教室の運営 【★】 担当課 生涯学習課	放課後における地域の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保などを目的に、放課後子ども教室を各小学校において実施する。	外国語学習や授業時間の増加により、活動日としていた水曜日での実施が困難となったことから、新たに、小学校1～3年生を対象に、休日、学校長期休業等における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保などを目的に、ちびっ子ホリディ学園を実施した。 10月　開校式・サッカー 11月　レスリング 12月　野球	初年度の問題点等を解決した上で、小学校1～3年生を対象に、休日、学校長期休業等における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保などを目的に、ちびっ子ホリディ学園を実施した。 7月　合気道 8月　スライム教室 9月　バレーボール 10月　ダンス教室 11月　陶芸絵付け体験 12月　サッカー（中止） 1月　レスリング（変更） →書初め体験	小学校1～3年生を対象に、休日、学校長期休業等における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保などを目的に、ちびっ子ホリディ学園を実施した。 7月　レクリエーション 8月　夏休み」クッキング 9月　理科実験教室 11月　LEDおもちゃ教室 12月　サッカー（雨天：中止） 1月　レスリング体験 2月　春のステンドグラス作り 3月　鉄道教室	小学校1～3年生を対象に、休日、学校長期休業等における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保などを目的に、ちびっ子ホリディ学園を実施する。 7月　レクリエーション 8月　絵本づくり 9月　理科実験 10月　クッキング教室 11月　美術教室 12月　サッカー 2月　鉄道教室 3月　防災教室	小学校1～3年生を対象に、休日、学校長期休業等における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）の確保などを目的に、ちびっ子ホリディ学園を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

3･青少年の健全育成

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
青少年悩み事相談の実施 担当課 生涯学習課	青少年悩み事相談室を中央公民館内に設置し、いじめや不登校、少年非行の問題等、児童・生徒のあらゆる心の問題に対する相談体制を充実する。	青少年悩み事相談の実施 相談窓口開設　週3回 オンライン相談の実施にむけた整備 相談回数　68回	青少年悩み事相談の実施 相談窓口開設　週3回 オンライン相談の実施 相談回数　39回	青少年悩み事相談の実施 相談窓口開設　週3回 相談回数　41回	青少年悩み事相談の実施 相談窓口開設　週3回 相談回数　35件（9月末）	青少年悩み事相談の実施 相談窓口開設　週3回

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
相談窓口開設数	R1年度	週3回	週3回	週3回	週3回	週3回	週3回	週3回	週3回	週3回	週3回	週3回	
	R2年度	週3回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
心の教室相談員の配置 担当課 教委総務課	心の教室相談員を町立中学校に配し、生徒の心の悩みや不安、ストレスの解消をはかる。	斑鳩南中学校に心の教室相談員1名を配置した。	斑鳩南中学校に心の教室相談員1名を配置した。	斑鳩南中学校に心の教室相談員1名を配置した。	斑鳩南中学校に心の教室相談員1名を配置した。	斑鳩南中学校に心の教室相談員1名を配置する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

09・子どもの教育の充実

3･青少年の健全育成

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
野外活動センター利用の支援 担当課 生涯学習課	青少年の健全な育成を目的とする団体が野外活動施設を利用する際に、補助金を交付することにより、野外体験活動の推進をはかる。	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行った。 利用件数　1件 新型コロナウイルス感染症のため申請件数の減	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行った。 利用件数　1件 新型コロナウイルス感染症のため申請件数の減	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行った。 利用件数　3件	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行う。 利用件数　2件（9月末時点）	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
利用件数	R1年度	8件	8件／年	8件／年	1件／年	8件／年	1件／年	8件／年	3件／年	8件／年	3件／年	8件／年	
	R2年度	0件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
青少年健全育成の推進 担当課 生涯学習課	青少年の非行防止のため、巡回や啓発を通して健全育成にむけた環境づくりをすすめる。子ども・若者の健やかな育成、また円滑に社会生活を営むことができるようにするための支援を行う。	青少年健全育成の推進 強調月間啓発活動　2回 夏期巡回　4回 （1回大雨のため中止） 冬期巡回　1回 春期巡回　1回 県と合同立入巡回啓発指導 1回 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため参加者を縮小し実施	青少年健全育成の推進 強調月間啓発活動　2回 7/23　商工まつり 11/23　いかるがマルシェ 巡回補導 夏季巡回　5回 冬季巡回　1回 春季巡回　1回 県と合同立入巡回啓発指導 1回	青少年健全育成の推進 強調月間啓発活動　2回 7/22　商工まつり 1/9　小中学校へ配布 巡回補導 夏季巡回　5回 冬季巡回　1回 春季巡回　1回 県と合同立入巡回啓発指導 1回	青少年健全育成の推進 強調月間啓発活動　2回 7/27　商工まつり 12月末　小中学校へ配布予定 巡回補導 夏季巡回　5回 冬季巡回　1回 春季巡回　1回 県と合同立入巡回啓発指導 1回	青少年健全育成の推進 強調月間啓発活動　2回 （7月、11月） 巡回補導 夏季巡回　5回 冬季巡回　1回 春季巡回　1回 県と合同立入巡回啓発指導 1回

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
巡回、啓発回数	R1年度	8回	10回／年	10回／年	9回／年	10回／年	10回／年	10回／年	10回／年	10回／年	10回／年	10回／年	
	R2年度	10回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

１０・子どもを守るしくみの充実

1・子どもの権利の保障

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども家庭総合支援拠点の設置 【再掲】 【★】 担当課 子育て支援課	コミュニティを基盤としたソーシャルワークの機能を担い、すべての子どもとその家庭および妊産婦等を対象として、その福祉に関し必要な支援に係る全般を行う。	子育ての不安を緩和し、地域の子育て支援を行った。また、特別な支援が必要な家庭に、専門的な支援を行うほか、地域で見守る「子育て支援体制」を推進した。				

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	R3支援拠点の設置	支援拠点の設置	支援拠点の設置								
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	完了								

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども家庭総合支援拠点の運営 【再掲】 【★】 担当課 子育て支援課	子育て世代包括支援センターや児童相談所等の関係機関と情報を共有し、実情の把握や相談対応等のソーシャルワークを行い、すべての子どもとその家庭および妊産婦等を対象に、必要な支援を行うとともに、要支援児童および要保護児童への支援強化をはかる。	・子育て総合相談窓口を設置し、保健師および公認心理師による相談を常時実施できる体制を整備した。 ・保育士や保健師が、家庭でできる親子のふれあい、遊び方などを紹介する子育てスキルアップ事業を実施した。 ・一層の支援強化をはかるため、支援対象児童等見守り強化事業を企画した。	・子育て相談窓口の設置（公認心理師の配置） 相談件数　延べ57件 ・子育てスキルアップ事業の実施　参加者　延べ43組 ・支援対象児童等見守り強化事業の実施 訪問回数　延べ55回 ・ヤングケアラーへの支援 6月支援にむけた検討会議の設置 12月支援マニュアルの作成 1月マニュアルによる運用開始	・子育て相談窓口の設置（公認心理師および精神保健福祉士の配置） 相談件数　延べ　136件 ・子育てスキルアップ事業の実施　参加者延べ70組 ・支援対象児童等見守り強化事業の実施 訪問回数　延べ81回 ・ヤングケアラーの把握、支援への取組みとして、多機関の職員をも参加する3回の検討会議を開催し、講師を招いての研修や情報交換を行った。	子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設立の意義や機能を維持したうえで組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センターの設置」に移行した。	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	見直し	―	完了		

１０・子どもを守るしくみの充実

1・子どもの権利の保障

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
こども家庭センターの設置 【再掲】 【★】 担当課 子育て支援課	子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関（こども家庭センター）を設置し、妊娠届から妊産婦支援、子育てや子どもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメント等を担う。			こども家庭センター設置にむけ、専門職の配置や要綱制定等の準備を行った。	・こども家庭センターを設置し運営を開始した。 ・公認心理師の配置（週2日勤務） ・精神保健福祉士との連携（社会福祉法人萌との業務委託） ・子育て支援課と健康対策課による合同会議（月1回程度）の開催	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		子ども家庭相談センターの設置					―	―	こども家庭センターの設置	こども家庭センターの設置		
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
								―	継続	◎	完了		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
こども家庭センターの運営 【再掲】 【★】 【新規】 担当課 子育て支援課	子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関（こども家庭センター）の運営を行い、妊娠届から妊産婦支援、子育てや子どもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメント等を担う。				・こども家庭センターを設置し運営を開始した。 ・公認心理師の配置（週2日勤務） ・精神保健福祉士との連携（社会福祉法人萌との業務委託） ・子育て支援課と健康対策課による合同会議（月1回程度）の開催	・こども家庭センターの運営 ・公認心理師の配置（週4日勤務） ・精神保健福祉士との連携（社会福祉法人萌との業務委託） ・子育て支援課と健康対策課による合同会議（月1回程度）の開催

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
－	R1年度		―							―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
										―	継続		

１０・子どもを守るしくみの充実

1･子どもの権利の保障

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
児童虐待への対策 担当課 子育て支援課	要保護児童の適切な保護をはかるため、県中央こども家庭相談センター、中和福祉事務所、郡山保健所、西和警察署等、関係機関などで構成する要保護児童対策地域協議会において、その子どもに関する情報等を共有し、適切な連携の下で対応していく。	要保護児童対策地域協議会の開催。 また、国・県・市町村における児童家庭相談システムでの情報共有・情報連携にむけ整備をすすめた。 代表者会議　1回 実務者会議　3回	要保護児童対策地域協議会の開催。 また、国・県・市町村における児童家庭相談システムでの情報共有・情報連携にむけ整備をすすめた。 また、児童家庭相談システムについてシステム改修を行った。 代表者会議　1回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議） 実務者会議　3回	要保護児童対策地域協議会の開催。 また、国・県・市町村における児童家庭相談システムでの情報共有・情報連携を継続したほか、調整担当者が実務者会議開催前に、学校や関係機関等に訪問し、さらなる情報共有、連携強化を行った。 代表者会議　1回 実務者会議　3回	要保護児童対策地域協議会の開催。 また、国・県・市町村における児童家庭相談システムでの情報共有・情報連携を継続するほか、調整担当者が実務者会議開催前に、学校や関係機関等に出むき、さらなる情報共有、連携強化に努める。 代表者会議　1回 実務者会議　3回	要保護児童対策地域協議会の開催。 また、国・県・市町村における児童家庭相談システムでの情報共有・情報連携を継続するほか、調整担当者が実務者会議開催前に、学校や関係機関等に出むき、さらなる情報共有、連携強化に努める。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
支援対象児童等見守り強化の実施 担当課 子育て支援課	深刻な社会問題となっている児童虐待の発生の予防、早期発見には、孤立化する家庭が地域のなかでつながりを持ち、いつでもSOSを出せる環境づくりが必要であることから、こども家庭総合拠点において、要保護児童対策地域協議会が中核となり、地域の民間団体等を含めた地域の様々なネットワークを総動員し、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化をすすめる。	他市町村での先行事例を参考にして事業の企画と翌年度実施にむけた予算措置を行った。	斑鳩町社会福祉協議会に委託し事業を開始した。 子どもの安全確認、生活状況の把握、食事や物資の提供（フードドライブ事業の活用）を行ったほか、訪問家庭への必要な支援、情報提供を行った。 訪問回数　延べ55回	斑鳩町社会福祉協議会に委託して事業を実施し、見守りを実施した。 子どもの安全確認、生活状況の把握、食事や物資の提供（社協まごころドライブ事業の活用）を行ったほか、訪問家庭への必要な支援、情報提供を行った。 訪問回数　延べ81回	斑鳩町社会福祉協議会に委託して事業を実施し、見守りを継続する。 子どもの安全確認、生活状況の把握、食事や物資の提供（社協まごころドライブ事業の活用）を行ったほか、訪問家庭への必要な支援、情報提供を行う。	斑鳩町社会福祉協議会に委託して事業を実施し、見守りを継続する。 子どもの安全確認、生活状況の把握、食事や物資の提供（社協まごころドライブ事業の活用）を行ったほか、訪問家庭への必要な支援、情報提供を行う。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１０・子どもを守るしくみの充実

2･子どもの貧困対策

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学習支援事業（スクールサポート事業） 【再掲】 【★】 担当課 教委総務課	教員OB等の地域の経験豊かな人材との協働により、その経験を児童生徒の学習支援に生かしてもらい、学力および学習意欲の向上並びに地域コミュニティの活性化をはかる。	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生）： 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生）： 週1回（水）英語、数学 利用者数 小学生　48人 中学生　15人 学習支援員 17人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学 利用者数 小学生　71人 中学生　20人 学習支援員 20人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学 利用者数 小学生　78人 中学生　24人 学習支援員 19人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学 利用者数（9月末時点） 小学生　67人 中学生　24人 学習支援員（9月末時点） 20人	4月～利用者の申込、許可手続き 小学校（4～6年生） 週2回（火、木）国語、算数 中学校（1～3年生） 週1回（水）英語、数学

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども食堂の支援 担当課 子育て支援課	民間の子ども食堂の活動内容の周知啓発や活動支援を行うことにより、地域における子どもの居場所づくりを促進し、地域における見守り体制を強化する。	民間の子ども食堂と連携・協力し、子どもたちが、食を通じた団らんの中で、コミュニケーションをはかり、地域で安心して過ごすことのできる居場所づくりを支援する予定であったが、申請がなかった。	民間の子ども食堂と連携・協力し、子どもたちが、食を通じた団らんの中で、コミュニケーションをはかり、地域で安心して過ごすことのできる居場所づくりを支援する予定であったが、申請がなかった。	民間の子ども食堂と連携・協力し、子どもたちが、食を通じた団らんの中で、コミュニケーションをはかり、地域で安心して過ごすことのできる居場所づくりを支援した。なお、補助金について各団体に周知を行うも、申請がなかった。	民間の子ども食堂と連携・協力し、子どもたちが、食を通じた団らんの中で、コミュニケーションをはかり、地域で安心して過ごすことのできる居場所づくりを支援する。 現在、新たに立ち上げた子ども食堂について、申請の相談を受けている。	民間の子ども食堂と連携・協力し、子どもたちが、食を通じた団らんの中で、コミュニケーションをはかり、地域で安心して過ごすことのできる居場所づくりを支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１０・子どもを守るしくみの充実

2･子どもの貧困対策

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
保育所保育料の軽減 【★】 担当課 子育て支援課	幼児教育・保育の無償化により、3～5歳児および0～2歳児の住民税非課税世帯について保育料の無償化を実施する。また、0～2歳児の保育料についても保護者の経済的な負担を軽減するため国基準より軽減するとともに、同時在園等の3歳未満児の保育料負担を1/4に軽減する。	幼児教育・保育の無償化により、3～5歳児および0～2歳児の住民税非課税世帯について保育料の無償化を実施したほか、0～2歳児の保育料について国基準の80%に軽減した。 引き続き、同時在園等の3歳未満児の保育料負担を1/4に軽減した。	幼児教育・保育の無償化により、3～5歳児および0～2歳児の住民税非課税世帯について保育料の無償化を実施するほか、0～2歳児の保育料について国基準の80%に軽減した。 引き続き、同時在園等の3歳未満児の保育料負担を1/4に軽減した。	幼児教育・保育の無償化により、3～5歳児および0～2歳児の住民税非課税世帯について保育料の無償化を実施するほか、0～2歳児の保育料について国基準の80%に軽減した。 引き続き、同時在園等の3歳未満児の保育料負担を1/4に軽減した。	幼児教育・保育の無償化により、3～5歳児および0～2歳児の住民税非課税世帯について保育料の無償化を実施するほか、0～2歳児の保育料について国基準の80%に軽減する。 引き続き、同時在園等の3歳未満児の保育料負担を1/4に軽減する。 同時在園等の3歳児未満児の保育料負担について、子育て家庭の一層の支援と、近隣市町村の状況により見直しを検討する。	幼児教育・保育の無償化により、3～5歳児および0～2歳児の住民税非課税世帯について保育料の無償化を実施するほか、0～2歳児の保育料について国基準の80%に軽減する。 令和6年度での検討結果について、保育料への反映をおこなう。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼児教育・保育の無償化 【★】 担当課 教委総務課	子ども子育て支援制度に基づき、町立幼稚園・町立保育所並びに新制度未移行の私立幼稚園に対する保育料等（入園料含む）、預かり保育利用料等の無償化を実施する。	町立幼稚園、私立幼稚園（新制度未移行）への幼児教育無償化事業を実施した。	町立幼稚園、私立幼稚園（新制度未移行）への幼児教育無償化事業を実施した。	町立幼稚園、私立幼稚園（新制度未移行）への幼児教育無償化事業を実施した。	町立幼稚園、私立幼稚園（新制度移行・未移行）への幼児教育無償化事業を実施する。	町立幼稚園、私立幼稚園（新制度移行・未移行）への幼児教育無償化事業を実施する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１０・子どもを守るしくみの充実

2･子どもの貧困対策

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
多子世帯に対する学校給食費の軽減 【★】 担当課 教委総務課	小学校、中学校での多子世帯への給食費軽減に関する検討を継続する。 幼稚園の給食副食相当分にかかる補助＝補足給付を継続する。	学校給食費等補助事業を継続した。	学校給食費等補助事業を継続した。 物価高騰等に対応するため、1食あたりの給食補助金を、下記のとおり増額した。 ･小中学校　30円→50円 （R4.10月～R5.3月） ･幼稚園　30円→34円 （R4.11月～R5.3月） また、物価高騰等による保護者の経済的負担を軽減するため、令和4年7月から令和5年2月までの小中学校の給食費の保護者負担分を無償化した。	学校給食費等補助事業を継続した。 物価高騰等に対応するため、１食あたりの給食補助金を、本則30円から、下記のとおり増額した。 ･小中学校　50円 ･幼稚園　59円（9月まで） ･幼稚園　64円（10月から） また、物価高騰等による保護者の経済的負担を軽減するため、令和6年1月から令和6年3月までの小中学校の給食費の保護者負担分を無償化した。	学校給食費等補助事業を継続する。 物価高騰等に対応するため、小中学校および幼稚園における学校給食費に対し、引き続き補助金を増額し、保護者負担の軽減をはかる。 国・県の動向等を確認しながら給食費の無償化について検討する。	学校給食費等補助事業を継続する。 物価高騰等に対応するため、小中学校および幼稚園における学校給食費に対し、引き続き補助金を増額し、保護者負担の軽減をはかる。 国・県の動向等を確認しながら給食費の無償化について検討する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校要保護・準要保護児童・生徒の就学援助 【★】 担当課 教委総務課	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学用品費・給食費等について援助を行う。	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学用品費・給食費等について援助を行った。	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学用品費・給食費等について援助を行った。	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学用品費・給食費等について援助を行った。	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学用品費・給食費等について援助を行う。	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学用品費・給食費等について援助を行う。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１０・子どもを守るしくみの充実

2･子どもの貧困対策

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼稚園、保育園等教材費などの援助 担当課 子育て支援課	幼稚園、保育所などを利用する生活保護世帯等の方を対象に、各施設で実費徴収される費用(日用品・文房具・行事など)の一部を補助する。	幼稚園、保育所などを利用する生活保護世帯等の方を対象に、各施設で実費徴収される費用(日用品・文房具・行事など)の一部を補助する予定であったが申請がなかった。	幼稚園、保育所などを利用する生活保護世帯等の方を対象に、各施設で実費徴収される費用(日用品・文房具・行事など)の一部を補助を行った。 1件	幼稚園、保育所などを利用する生活保護世帯等の方を対象に、各施設で実費徴収される費用(日用品・文房具・行事など)の一部を補助した。 6件	幼稚園、保育所などを利用する生活保護世帯等の方を対象に、各施設で実費徴収される費用(日用品・文房具・行事など)の一部を補助する。	幼稚園、保育所などを利用する生活保護世帯等の方を対象に、各施設で実費徴収される費用(日用品・文房具・行事など)の一部を補助する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
母子保健推進活動の充実 【再掲】 担当課 健康対策課	保護者が孤立することなく育児が行えるよう、地域での母子保健を推進する役割を担う母子保健推進員と、保健センターが協働した取組みを推進する。	母子保健事業を母子保健推進員と協働しながら推進するとともに、母子保健推進員が主体的に活動できるように支援した。	母子保健事業を母子保健推進員と協働しながら推進するとともに、母子保健推進員が主体的に活動できるように支援した。	保健センターと協働しながら母子保健事業を担っている母子保健推進員が、主体的に活動できるように支援した。	保健センターと協働しながら母子保健事業を担っている母子保健推進員が、主体的に活動できるように支援する。	保健センターと協働しながら母子保健事業を担っている母子保健推進員が、主体的に活動できるように支援する。

指 標		実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
母子保健推進員数（累計）	R1年度	16人	18人	14人	14人	14人	12人	16人	13人	16人	14人	18人	
	R2年度	16人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
妊婦健康診査の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	妊娠中の健康管理および胎児の健やかな成長をはかるため、15回目までの妊婦健康診査費用および非課税世帯の妊娠判定費用の助成を行う。また、歯周疾患は早産や低出生体重児の危険性が高まるため、妊婦の歯周疾患検診を行う。 単胎妊婦に比べて受診回数が多くなる多胎妊婦に対し、自己負担した費用への一部助成を行う。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行った。また多胎妊婦に対して、公費負担を行った。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努めた。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行った。また多胎妊婦に対して、公費負担を行った。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努めた。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行った。また、多胎妊婦に対して、公費負担を行った。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努めた。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行う。また多胎妊婦に対して、公費負担を行う。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努める。	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減をはかるため、妊婦健診の15回目まで公費負担を行う。また多胎妊婦に対して、公費負担を行う。 妊婦の歯周疾患は、早産や低出生体重児の危険性が高まることから、妊婦歯周疾患検診の受診勧奨を行い、受診率の向上に努める。

指 標		実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①妊婦健康診査受診率 ②妊婦歯周疾患検診受診率	R1年度	①100.0% ②36.5%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②35.4%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②41.1%	①100.0% ②42.0%	①100.0% ②31.6%	①100% ②42.0%	①100% ②32.2%	①100.0% ②40.0%	
	R2年度	①100.0% ②40.6%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	◎	継続	△	継続	△	継続		

11・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新生児訪問の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	安心して子どもを生み育てられる環境づくりをすすめるため、生後2か月以内の乳児を助産師が訪問し、子育てに関する情報提供や育児相談を行い、育児不安の軽減をはかる。また、子育て世代包括支援センターからの継続した訪問体制を充実させ、育児不安の軽減をはかる。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズにあった保健指導を実施した。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、母親の精神的不安の軽減に努めた。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズにあった保健指導を実施した。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、母親の精神的不安の軽減に努めた。	伴走型相談支援の一環として、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズに合った保健指導を実施した。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、精神的不安の軽減に努めた。	伴走型相談支援の一環として、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズに合った保健指導を実施する。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、必要なサービスや支援を行い精神的不安の軽減に努める。	伴走型相談支援の一環として、生後2か月までの乳児に対し、助産師・保健師が訪問し、個別のニーズに合った保健指導を実施する。不安の高い両親に対しては、関係機関と連携しながら、必要なサービスや支援を行い精神的不安の軽減に努める。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
訪問率	R1年度 97.9%	100.0%	100.0%	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	R2年度 99.6%											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
乳幼児健診の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	生後3･4か月児・9･10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児を対象に健診を行い、医療機関と連携をはかりながら、発育・発達状況の確認を行う。また、保護者の育児不安の軽減および育児力を高められるよう、適切な保健指導を行う。	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施した。	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施した。 令和4年度から、3歳児健診時に精度の高い屈折検査機器を導入し健診内容の充実をはかった。	乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施した。	乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、乳幼児健診を実施する。また、令和6年度から、1歳6か月児・3歳児健診については、西和医療センターの小児科医に依頼し集団健診を実施する。また、1か月児健診の助成および5歳児健診を実施し、出産後から就学前までの切れ目ない健康診査を実施する。	乳幼児の異常の早期発見と子どもの健やかな成長発達を促すため、1か月児健診から5歳児健診までの、出産後から就学前までの切れ目ない健康診査を実施する。また、令和7年度から、1か月児健診の助成額を増額し、経済的支援の充実をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
平均受診率	R1年度 97.0%	100.0%	98.0%	96.0%	98.0%	97.4%	98.0%	98.0%	99.0%	97.1%	100%	
	R2年度 96.6%											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
乳幼児相談の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	育児不安の軽減をはかるため、保健センターで保健師や栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行う。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行った。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行った。	伴走型相談支援の一環として、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行った。	伴走型相談支援の一環として、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行う。	伴走型相談支援の一環として、保健師や助産師、栄養士が子どもの発達・子育て等に関する相談を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
両親学級の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	妊娠・出産について理解を深め、親としての自覚を高められるよう、助産師・歯科衛生士などの専門性を生かした教室を実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、少人数での教室を開催した。 親が妊娠・出産について理解を深め、親としての自覚を高められる教室を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、少人数での教室を開催した。 親が妊娠・出産について理解を深め、親としての自覚を高められる教室を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、少人数での教室を開催するとともに、個別対応を実施した。 親が妊娠・出産・育児について理解を深めるとともに、安心して育児に取り組めるよう、内容の充実をはかった。	親が妊娠・出産・育児について理解を深めるとともに、安心して育児に取り組めるよう、内容の充実をはかる。 また、父親の育児参加を促すための内容を充実させる。	親が妊娠・出産・育児について理解を深めるとともに、安心して育児に取り組めるよう、内容の充実をはかる。 また、育児経験のある父親母親との交流の機会を設け、内容を充実させる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

11・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
未熟児訪問の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	身体の発達が未熟なまま出生した乳児などは、疾病等にもかかりやすいため、未熟児とその保護者に対し訪問指導を行う。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行った。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行った。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行った。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行う。	医療機関との連携をはかりながら、身体が未熟なまま出生した乳児に対して訪問指導を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
訪問率	R1年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	R2年度	100.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
一般不妊・不育治療費の助成 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかる。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかった。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかった。 令和4年度から、一般不妊・不育治療が保険適応となったため、助成対象となる治療を医療保険法適応外の治療に変更し、助成内容の改正を行った。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかった。	一般不妊治療や不育治療に係る治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減をはかる。	令和7年度から、市町村が実施する生殖補助医療にかかる費用助成に要する経費に対し、県が補助制度を創設することにともない、助成対象を拡大し、一般不妊・不育治療および生殖補助医療の費用助成を行う「不妊・不育治療費の助成」へ移行する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	見直し		

11・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
育てにくさを感じる親に寄り添う支援の充実 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	情緒面や言語面における経過観察児に対しては、臨床心理士による相談など専門的な立場から子どもの発達状態を把握し、早い段階で適切な支援につなげ子どもの健やかな成長を促す。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行った。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかった。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行った。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促した。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行った。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促した。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行う。 また保育園・幼稚園と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促す。	臨床心理士による相談など専門的な立場から、子どもの発達状態を把握し、親子への適切な支援を行う。 また保育園・幼稚園、教育委員会、小学校と連携し、不安を感じる保護者が適切な時期に相談を受けられるよう調整をはかることで、親の育児負担の軽減および児の健やかな発達を促す。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新生児聴覚検査の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	新生児の聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な支援を行うため、新生児の聴覚検査に要する費用の一部を助成する。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査に対する費用の一部助成を行った。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階で適切な支援を行った。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査に対する費用の一部助成を行った。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行った。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査を奈良県産婦人科医会と委託契約を行い実施した。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行った。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査を奈良県産婦人科医会と委託契約を行い実施する。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行う。	聴覚障害の早期発見のため、新生児の聴覚検査を奈良県産婦人科医会と委託契約を行い実施する。また、障害が発見された場合は、できるだけ、早い段階から専門機関につなぎ、適切な支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
検査実施率	R1年度	98.0%	100.0%	98.0%	99.5%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	R2年度	97.4%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

11・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
産後ケア事業の実施 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	出産後に支援が必要な母子を対象に、ショートステイやデイケアの利用を通じて母親の心身のケアや育児のサポート等を行うことにより、育児不安の軽減をはかり、安心して子育てができる支援体制を確保する。	産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ(訪問)型の産後ケア事業を行った。	産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ(訪問)型の産後ケア事業を行った。	伴走型相談支援と連動して、産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ(訪問)型の産後ケア事業を行った。	伴走型相談支援と連動して、産後も安心して子育てができるよう、産後、サポートを受けられない産婦に対して、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ（訪問）型の産後ケア事業の充実をはかる。 また、利用料の減免を行い、利用しやすい体制を整える。	伴走型相談支援と連動して、産後ケア事業ガイドラインに基づき、産後ケアを必要とするすべての母親が安心して子育てができるよう、宿泊型、デイケア型、アウトリーチ（訪問）型の産後ケア事業の充実をはかる。 また、利用料の減免を行い、利用しやすい体制を整える。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健康増進計画の推進 【★】 担当課 健康対策課	住民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことで、住民の健康寿命を延ばすことや生活の質の向上をはかることを目的に関係課と連携をはかりながら、健康増進計画改訂版および健康寿命延伸計画に基づき、より効果的な保健事業を展開する。また、第2期健康増進計画の期間が令和4年度で終了することから、令和4年度に最終評価を行い次期計画を策定し、それに基づき事業を実施する。	第2期健康増進計画改訂版および健康寿命延伸計画に基づき、庁内の関係課と連携をはかりながら、より効果的な保健事業を展開した。 町商工会と連携して会報送付時に会員へ啓発チラシを配布した。 「健康日本21計画」の実施期間が令和5年度まで延長となり、国との整合性をはかるため「第2期健康増進計画」についても実施期間を延長する。	第2期健康増進計画改訂版および健康寿命延伸計画に基づき、庁内の関係課と連携をはかりながら、より効果的な保健事業を展開した。 また、第2期健康増進計画の最終評価を行うため、令和4年度は健康づくりに関するアンケート調査を実施した。	庁内の関係課と連携をはかりながら、より効果的な保健事業を展開した。 アンケート調査結果を基に、現計画の取組の評価を実施し、国や県との整合性をはかりながら第3期健康増進計画（健康寿命延伸計画を含む）を策定した。	第3期健康増進計画に基づき、国から提案されたアクションプランなどを参考に、生活習慣病発症および重症化予防やライフステージの特性に応じた健康づくりの推進を、庁内の関係課と連携をはかりながら、効果的な保健事業を展開する。	第3期健康増進計画に基づき、国から提案されたアクションプランなどを参考に、生活習慣病発症および重症化予防やライフステージの特性に応じた健康づくりの推進を、庁内の関係課と連携をはかりながら、効果的な保健事業を展開する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

11・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
食育推進計画の推進 担当課 健康対策課	第2期斑鳩町食育推進計画に基づき、各年代に応じた事業を展開し、食べることの大切さや楽しさを伝えながら食育を推進する。また、同計画の期間が令和4年度で終了することから、令和4年度に最終評価を行い次期計画を策定し、それに基づき事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意しながら、第2期食育推進計画に基づき、各年代に応じた事業を展開し、チラシの配布など食育の推進をはかった。 また、同時期に計画策定を行っている第2期康増進計画が、国との整合性をはかるため実施期間を延長することにともない食育推進計画についても延長した。	新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意しながら、第2期食育推進計画に基づき、各年代に応じた事業を展開し、食育の推進をはかった。 また、第2期食育推進計画の最終評価を行うため、令和4年度は健康づくりに関するアンケート調査を実施した。	各年代に応じた事業を展開し、食育の推進をはかった。 また、令和4年度のアンケート調査結果をもとに現計画の最終評価を実施し、国や県と整合性をはかりながら第3期食育推進計画を策定した。	第3期食育推進計画に基づき、関係機関と連携をはかり、各年代に応じた事業を展開し、食育の推進をはかる。	第3期食育推進計画に基づき、関係機関と連携をはかり、各年代に応じた事業を展開し、食育の推進をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健康マイレージの実施 担当課 健康対策課	一人ひとりが健康に関心を持ち、継続的に健康づくりに取り組めるよう、町の主催する保健・福祉・スポーツの分野の横断的な取組みに参加した人や、自主的に健康づくりを行った人に景品等と交換できるポイントを付与し健康づくりを推進する。	より多くの住民が積極的に健康づくりに取り組めるよう、対象事業の見直しを行うとともに、交換賞品に斑鳩ブランドも取り入れ、充実させた。	より多くの住民が積極的に健康づくりに取り組めるよう、対象事業の変更や、参加ポイントを増やしたり、また交換賞品の内容も充実させ、さらなる健康づくりに取り組めるよう周知・啓発した。	より多くの住民が積極的に健康づくりに取り組めるよう、対象事業や交換賞品の内容を充実させ、さらなる健康づくりに取り組めるよう周知・啓発した。	より多くの住民が積極的に健康づくりに取り組めるよう、商品交換ポイントを25から20ポイントに変更する。また、マイレージについてのアンケート調査を実施し、対象事業や交換賞品の内容等について検討する。	より多くの住民が積極的に健康づくりに取り組めるよう、マイレージについて、前年度のアンケート結果をふまえ、対象事業や交換賞品の内容等について検討する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
応募人数	R1年度 669人	700人／年	700人／年	570人／年	700人／年	587人／年	700人／年	704人／年	700人／年	800人／年	700人／年	
	R2年度 565人		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生活習慣病予防教室の充実 【★】 担当課 健康対策課	生活習慣病の発症・重症化を予防するために、健康増進計画に基づき、運動・栄養を中心とした健康づくり教室を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大により、運動教室等を個人で取り組みやすい教室内容に変更する等、住民が主体的に健康づくりに取り組める教室を実施した。	運動教室等を住民が取り組みやすい教室内容に変更する等、自主的に健康づくりに取り組めるようにした。また、教室の内容を充実させ、生活習慣病の改善が行えるよう指導した。	住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、運動教室では、歩行能力測定を取り入れる等、教室内容を充実し実施した。	住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、運動教室では運動普及ボランティアとの協働で体力測定を実施し、減塩教室では試食を取り入れる等内容を充実し、教室を実施する。	住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、幼児健診やがん検診受診の際に生活習慣病予防についての健康教育を実施する等内容を充実し、教室を実施する。

指 標		実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数	R1年度	1,262人	1,000人／年	1,000人／年	470人／年	1,000人／年	553人／年	1,000人／年	629人／年	1,000人／年	700人／年	1000人／年	
	R2年度	437人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
骨髄移植ドナー支援事業 担当課 健康対策課	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄又は末梢血幹細胞を提供した人の経済的負担を軽減するため、助成金を交付する。	骨髄移植ドナー支援事業を町広報紙や町ホームページ、日本骨髄バンクのホームページに掲載し、周知啓発を行った。	骨髄移植ドナー支援事業を町広報紙や町ホームページ、日本骨髄バンクのホームページ等に掲載し、周知啓発を行った。また、献血時に血液センターと協働し、周知啓発を行った。	骨髄移植ドナー支援事業を町広報紙や町ホームページ、日本骨髄バンクのホームページ等に掲載し、周知啓発を行った。また、献血時に血液センターと協働し、周知啓発を行った。	骨髄移植ドナー支援事業を町広報紙や町ホームページ、日本骨髄バンクのホームページ等に掲載し、周知啓発を行う。また、献血時に血液センターと協働し、周知啓発を行う。	骨髄移植ドナー支援事業を町広報紙や町ホームページ、日本骨髄バンクのホームページ等に掲載し、周知啓発を行う。また、献血時に血液センターと協働し、周知啓発を行う。

指 標		実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新型コロナウイルス感染症予防接種の実施 【★】 担当課 健康対策課	予防接種法に基づき、臨時接種として新型コロナウイルスワクチン接種を行い、死亡者や重症者の発生をできる限りへらし、新型コロナウイルスの蔓延を防止するため、ワクチン接種を実施する。	国の方針に基づき、円滑にワクチン接種を行えるよう、関係機関との調整を行いながら、接種を実施した。	国の方針に基づき、円滑にワクチン接種を行えるよう、関係機関との調整を行いながら、接種を実施した。	国の方針に基づき、円滑にワクチン接種を行えるよう、関係機関との調整を行いながら、接種を実施した。 新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種は令和5年度末で終了となり、令和6年度から新型コロナウイルス感染症はB類疾病に位置づけられ、定期接種として実施することとなった。		

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―				
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	廃止				

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
がん患者用医療用補整具等購入支援事業 担当課 健康対策課	がん患者の心理的および経済的な負担を軽減するとともに、がん患者の治療並びに就労および社会参加等の両立を支援し、療養生活の質の向上をはかるため、医療用補整具等の購入に要する費用の一部を助成する。			令和5年度から、がん患者の心理的および経済的な負担を軽減し、療養生活の質の向上をはかるため、医療用補整具等の購入に要する費用の一部を助成した。がん患者医療用補整具等購入支援事業をがん診療連携拠点病院等および斑鳩町がん検診実施医療機関に情報を提供するとともに、町広報紙や町ホームページ等に掲載し、周知啓発を行った。	がん患者の心理的および経済的な負担を軽減し、療養生活の質の向上をはかるため、医療用補整具等の購入に要する費用の一部を助成する。がん患者用医療用補整具等購入支援事業を町広報紙や町ホームページ等に掲載し、周知啓発を行う。	がん患者の心理的および経済的な負担を軽減し、療養生活の質の向上を図るため、、医療用補整具等の購入に要する費用の一部を助成する。がん患者医療用補整具等購入支援事業を町広報誌や町ホームページ等に掲載し、周知啓発を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―					―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
								―	継続	―	継続		

１１・健康づくり

1･健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健康づくり活動の充実 担当課 健康対策課	地域の健康問題について学び、一人ひとりが主体性をもって健康づくりに取り組むとともに、保健センターと協働して地域の健康づくりをすすめるため、健康づくり推進員活動を推進する。	新型コロナ感染症に留意し、地域の健康づくりを保健センターを中心に活動しているボランティアと協働しながら推進するとともに、ボランティアが主体的に活動できるよう支援した。 養成講座を実施し、新たな健康づくり推進員を養成した。	新型コロナ感染症に留意し、地域の健康づくりを保健センターを中心に活動しているボランティアと協働しながら推進するとともに、ボランティアが主体的に活動できるよう支援した。	地域の健康づくりを保健センターを中心に活動しているボランティアと協働しながら推進するとともに、ボランティアが主体的に活動できるよう支援した。 養成講座を実施し、新たな健康づくり推進員の養成に努めた。	地域の健康づくりを保健センターを中心に活動しているボランティアと協働しながら推進するとともに、ボランティアが主体的に活動できるよう支援する。	地域の健康づくりを保健センターを中心に活動しているボランティアと協働しながら推進するとともに、ボランティアが主体的に活動できるよう支援する。 養成講座を実施し、新たな健康づくり推進員の養成に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
登録人数（累計）	R1年度	58人	70人	60人	48人	60人	43人	60人	48人	60人	48人	70人	
	R2年度	51人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
特定健康診査・特定保健指導の実施 【★】 担当課 健康対策課	生活習慣病を進行させるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防を目的とする特定健康診査を実施する。また、健診の結果に基づき、特定保健指導を行い、生活習慣の改善を支援するとともに、生活習慣病の重症未受診者に対しては、保健指導の実施や適切な受診勧奨を行う。働き世代に対して、保健指導の利用機会を増やすためICT等を利用した保健指導を導入する。	がん検診と同時に集団健診を年4回実施し、受診者には生活習慣を見直すための結果説明会を実施した。 働き世代に向けて、ICTを利用した保健指導を実施した。 また、糖尿病性腎症重症化予防を医療機関と連携し、受診状況の確認や保健指導を行った。	がん検診と同時に集団健診を年4回実施し、受診者には、生活習慣を見直すための結果説明会を実施した。 働き世代に向けて、ICTを利用した保健指導を実施した。 糖尿病性腎症重症化予防を医療機関と連携し、受診状況の確認や保健指導を実施した。	がん検診と同時に集団健診を年4回実施し、受診者には、生活習慣を見直すための結果説明会を実施した。 面談方式またはICTを利用した保健指導を委託し、生活習慣の改善をはかった。 糖尿病性腎症重症化予防を医療機関と連携し、受診状況の確認や保健指導を実施した。	がん検診と同時に集団健診を年3回実施し、受診者には、生活習慣を見直すための結果説明会を実施する。 面談方式またはICTを利用した保健指導を委託し、生活習慣の改善をはかる。 糖尿病性腎症重症化予防を医療機関と連携し、受診状況の確認や保健指導を実施する。	がん検診と同時に集団健診を年3回実施し、受診者には、生活習慣を見直すための結果説明会を実施する。 面談方式またはICTを利用した保健指導を委託し、生活習慣の改善をはかる。 糖尿病性腎症重症化予防を医療機関と連携し、受診状況の確認や保健指導を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①特定健康診査受診率 ②保健指導率	R1年度	①36.4% ②20.8%	①50.0% ②40.0%	①40.0% ②40.0%	①33.9% ②25.2%	①40.0% ②40.0%	①35.2% ②22.9%	①40.0% ②40.0%	①34.6% ②34.6%	①50.0% ②40.0%	①38.0% ②38.0%	①50.0% ②40.0%	
	R2年度	①29.9% ②26.7%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	△	継続		

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健康相談の実施 担当課 健康対策課	住民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導・助言を行うため、健康相談を実施する。	電話や来所の機会を通じて、住民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、個々のニーズに合った支援を行った。	電話や来所の機会を通じて、住民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、個々のニーズに合った支援を行った。	電話や来所の機会を通じて、住民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、個々のニーズに合った支援を行った。	電話や来所の機会を通じて、住民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、個々のニーズに合った支援を行う。	電話や来所の機会を通じて、住民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、個々のニーズに合った支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
訪問指導の実施 担当課 健康対策課	生活の場における個々の状況に応じた効果的な相談・指導ができるよう、訪問指導を行い、健康的な生活を送ることができるよう指導する。	必要に応じて、家庭訪問し、個々の状況に合わせた指導を行った。	必要に応じて、家庭訪問し、個々の状況に合わせた指導を行った。	必要に応じて、家庭訪問し、個々の状況に合わせた指導を行った。	必要に応じて、家庭訪問し、個々の状況に合わせた指導を行う。	必要に応じて、家庭訪問し、個々の状況に合わせた指導を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
訪問指導件数	R1年度	25件	15件／年	15件／年	11件／年	15件／年	20件／年	15件／年	6件／年	15件／年	15件／年	15件／年	
	R2年度	13件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	◎	継続	×	継続	○	継続		

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
各種がん検診の実施 【★】 担当課 健康対策課	疾病の早期発見・早期治療のため各種がん検診（胃がん・子宮がん・乳がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん）を実施する。 また、環境省からの受託事業として、既存の肺がん検診を利用して、石綿読影の精度に係る調査事業（令和2年度～6年度）を5年間実施する。	集団検診では3密を避けるため、問診票を事前に郵送するなど、感染対策をとりながら実施した。 前年度受診者および未受診者に対して、がん検診の受診勧奨を行った。 石綿読影の精度にかかる調査（受託）事業を実施した。	集団検診では3密を避けるため、問診票を事前に郵送するなど、感染対策をとりながら実施した。 前年度受診者および未受診者に対して、がん検診の受診勧奨を実施した。 石綿読影の精度にかかる調査（受託）事業を実施した。	集団検診では3密を避けるため、問診票を事前に郵送するなど、感染対策をとりながら実施した。 前年度受診者および未受診者、前年度転入の未受診者に対して、がん検診の受診勧奨を実施した。 石綿読影の精度にかかる調査（受託）事業を実施した。	集団検診では3密を避けるため、問診票を事前に郵送するなど、感染対策をとりながら実施する。 前年度受診者および未受診者、前年度転入の未受診者に対して、がん検診の受診勧奨、再勧奨を実施する。 令和2年度から5年間実施してきた石綿読影の精度にかかる調査（受託）事業を、環境省からの受託事業として令和7年度以降も引き続き実施する。	受診率向上をめざして、引き続き前年度受診者および未受診者、前年度転入の未受診者に対して、がん検診の受診勧奨、再勧奨を実施する。 石綿読影の精度にかかる調査（受託）事業を、令和7年度以降も引き続き実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
胃・子宮・乳・肺・大腸がん検診受診率（40～69歳、ただし胃：50～69歳、子宮：20～69歳）	R1年度	13.8%	15.0%	15.0%	12.3%	15.0%	12.1%	15.0%	13.0%	15.0%	13.0%	15.0%	
	R2年度	11.6%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
肝炎ウイルス検診の実施 担当課 健康対策課	肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及するとともに、肝炎による健康障害を回避し、症状の軽減、進行の遅延を目的に肝炎ウイルス検診を実施する。	40・45・50・55・60・65歳の節目の未受診者を対象に個人通知を行った。また、特定健康診査の集団検診と同時実施することで受診率の向上に努めた。	40・45・50・55・60・65歳の節目の未受診者を対象に個人通知を行った。また、特定健康診査の集団検診と同時実施することで受診率の向上に努めた。	40・45・50・55・60・65歳の節目の未受診者を対象に個人通知を行う。また、特定健康診査の集団健診と同時実施することで受診率の向上に努めた。	40・45・50・55・60・65歳の節目の未受診者を対象に個人通知を行う。また、特定健康診査の集団健診と同時実施することで受診率の向上に努める。	40・45・50・55・60・65歳の節目の未受診者を対象に個人通知を行う。また、特定健康診査の集団検診と同時実施することで受診率の向上に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
肝炎ウイルス検診受診率	R1年度	10.4%	11.0%	11.0%	9.2%	11.0%	11.7%	11.0%	9.2%	11.0%	11.0%	11.0%	
	R2年度	13.5%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	◎	継続	○	継続	○	継続		

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
脳ドック健診受診費用の助成 【★】 担当課 健康対策課	頭部疾患の予防および早期発見など健康保持増進をはかるため、健診に係る費用の2分の1（上限15,000円）を助成する。	頭部疾患の予防および早期発見など健康の保持増進をはかるため、健診に係る費用の2分の1（上限15,000円）を助成した。 健診結果により、必要な相談・指導を行った。	頭部疾患の予防および早期発見など健康の保持増進をはかるため、健診に係る費用の2分の1（上限15,000円）を助成した。 健診結果により、必要な相談・指導を行った。	頭部疾患の予防および早期発見など健康の保持増進をはかるため、健診に係る費用の2分の1（上限15,000円）を助成した。 健診結果により、必要な相談・指導を行った。	頭部疾患の予防および早期発見など健康の保持増進をはかるため、健診に係る費用の2分の1（上限15,000円）を助成する。 健診結果により、必要な相談・指導を行う。	頭部疾患の予防および早期発見など健康の保持増進をはかるため、健診に係る費用の2分の1（上限15,000円）を助成する。 健診結果により、必要な相談・指導を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
助成者数	R1年度	145人	150人／年	150人／年	132人／年	150人／年	133人／年	150人／年	140人／年	150人／年	150人／年	150人／年	
	R2年度	84人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
歯周疾患検診の実施 【★】 担当課 健康対策課	歯周疾患の早期発見・治療および口腔衛生の意識の向上をはかることを目的に実施する。	がん検診の結果通知に、歯周疾患検診の啓発ちらしを同封する等し、受診率の向上に努めた。	がん検診の結果通知に、歯周疾患検診の啓発ちらしを同封する等し、受診率の向上に努めた。	がん検診の結果通知に、歯周疾患検診の啓発ちらしを同封する等し、受診率の向上に努めた。	がん検診の結果通知に、歯周疾患検診の啓発ちらしを同封する等し、受診率の向上に努める。 若年層の歯・口腔の健康の保持・増進をはかるため、対象年齢を40歳未満に拡大し、令和6年度から「20歳」と「30歳」を対象に加えて実施する。	がん検診の結果通知に、歯周疾患検診の啓発ちらしを同封する等し、受診率の向上に努める。 引き続き「20歳・30歳」の若年層の歯・口腔の健康の保持・増進に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
歯周疾患検診受診率（全人口対象）	R1年度	2.6%	4.0%	3.0%	2.8%	3.0%	3.2%	3.5%	3.3%	3.5%	3.5%	4.0%	
	R2年度	2.6%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

11・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
感染症法定予防接種の実施 担当課 健康対策課	乳幼児については、感染予防のため四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）、麻しん風しん混合、日本脳炎、BCG等、高齢者については重症化予防のため、インフルエンザ等の予防接種を実施する。	予防接種の対象者に接種勧奨を行い、接種率の向上に努めた。特に、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種については、ワクチン効果や副反応についての正しい情報を理解したうえで、定期接種として接種できるという事を中学1年生から高校1年生までの女子に対して、個人通知を行い情報提供した。	予防接種の対象者に接種勧奨を行い、接種率の向上に努めた。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種については、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した人を対象に令和7年3月31日までの間、キャッチアップ接種を行った。（平成9年4月2日～平成18年4月1日生）	予防接種の対象者に接種勧奨を行い、接種率の向上に努めた。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種については、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した人を対象に令和7年3月31日までの間、キャッチアップ接種を行った。（平成9年4月2日～平成19年4月1日生）	予防接種の対象者に接種勧奨を行い、接種率の向上に努める。令和6年度から五種混合予防接種および新型コロナウイルス感染症予防接種が定期接種となる。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種については、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した人を対象に令和6年度までキャッチアップ接種を行う。	予防接種の対象者に接種勧奨を行い、接種率の向上に努める。 また、予防接種の正しい知識の普及に努め、適切な時期に接種し感染症の予防に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①麻しん風しん接種率 ②四種混合接種率（※令和6年度から五種混合へ移行）	R1年度	①95.4% ②97.3%	①98.0% ②99.0%	①98.0% ②99.0%	①93.4% ②96.9%	①98.0% ②99.0%	①92.8% ②95.7%	①98.0% ②99.0%	①94.9% ②98.9%	①98.0% ②99.0%	①97.6% ②98.0%	①98.0% ②99.0%	
	R2年度	①97.2% ②98.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
任意予防接種費用の助成 【★】 担当課 健康対策課	乳幼児B型肝炎ワクチン、水痘ワクチン、おたふくかぜワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン、成人風しんワクチンの接種費用を助成する。	おたふくかぜワクチン、乳幼児B型ワクチン，水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン、成人風しんクチンの接種費用を助成した。	おたふくかぜワクチン、乳幼児B型ワクチン，水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン、成人風しんワクチンの接種費用を助成した。令和4年度からヒトパピローマウイルス感染症予防接種の定期接種を令和4年3月31日までの間に、自費で接種した人の接種費用を助成した。また、骨髄移植により接種済みの定期接種の抗体を失った人の再接種費用を助成した。	おたふくかぜワクチン、乳幼児B型ワクチン，水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン、成人風しんワクチン、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種、骨髄移植等による任意接種費用を助成した。 また令和5年度から重症化しやすい子どもと妊婦に対してインフルエンザワクチンの接種費用を助成した。	おたふくかぜワクチン、乳幼児B型ワクチン、水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン、成人風しんワクチン、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種、骨髄移植等による任意接種、子ども・妊婦インフルエンザワクチンの接種費用を助成する。成人風しんワクチン、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種は令和6年度で終了。	おたふくかぜワクチン、乳幼児B型ワクチン、水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン、長期療養や骨髄移植等による任意接種、子ども・妊婦インフルエンザワクチンの接種費用を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

11・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
人間ドック健診受診費用の助成 担当課 国保医療課	国民健康保険の40歳以上の被保険者を対象に、疾病予防および早期発見等健康の保持増進をはかるため、人間ドック健診に要する費用の一部を助成する。	40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック健診の費用を助成。 申込者数　110人 助成人数　99人	40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック健診の費用を助成。 予定人数　120人 助成人数　102人	40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック健診の費用を助成。 予定人数　120人 助成人数　97人	40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック健診の費用を助成。 予定人数　120人 申込人数　109人（9月末時点）	40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック健診の費用を助成。 予定人数　120人

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
骨粗しょう症予防事業 【★】 【新規】 担当課 健康対策課	骨粗しょう症は骨折等の基礎疾患となり高齢者の進展によりその増加が予想されることから早期に骨量減少者を発見し、骨粗しょう症を予防することを目的に骨密度測定および骨粗しょう症検診を実施する。					集団で骨密度測定を実施する。また、令和7年度から40・45・50・55・60・65・70歳の節目年齢の女性を対象に、町内医療機関において、DXA法による骨量測定を実施し、早期予防および治療につなげ、女性の健康づくりの強化をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
骨粗しょう症検診受診率	R1年度		15%									15%	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応

１１・健康づくり

1・健康づくり活動の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自殺対策計画の推進 【★】 担当課 健康対策課	自殺の危険性の高い人を早期に発見し、適切な支援ができるよう町職員だけでなく、住民を対象にしたゲートキーパー研修を開催する。また、精神保健福祉士による「こころの健康相談」やメンタルヘルスチェック「こころの体温計」を実施し、こころの健康づくりを実施する。また、自殺対策計画の期間が令和5年度で終了することかr、あ令和5年度に最終評価を行い、次期計画を策定し、それに基づき実施する。	斑鳩町自殺対策計画に基づき、精神保健福祉士による「こころの健康相談」を（月1回）実施した。 町職員に対してゲートキーパー研修を実施したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教職員を対象としたゲートキーパー研修は中止した。	斑鳩町自殺対策計画に基づき、精神保健福祉士による「こころの健康相談」を（月1回）実施した。 町職員に対してゲートキーパー研修を実施したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教職員を対象としたゲートキーパー研修は中止した。	斑鳩町自殺対策計画に基づき、精神保健福祉士による「こころの健康相談」を実施した。町職員および教育委員会と協働し教職員に対してゲートキーパー研修を実施した。 現計画の最終評価を行い国や県と整合性をはかりながら、第2期自殺対策推進計画を策定した。	第2期斑鳩町自殺対策計画に基づき、事業を推進する。 各課と連携し、精神保健福祉士による心の健康相談の啓発を行うとともに、相談回数を月2回に増やし、充実をはかる。 町職員および民生委員に対してゲートキーパー研修を実施する。	第2期斑鳩町自殺対策計画に基づき、事業を推進する。 各課と連携し、精神保健福祉士によるこころの健康相談（月2回）の啓発を行い実施する。 町職員およびボランティアを含む住民に対してゲートキーパー研修を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

11・健康づくり

2・保健・福祉・医療の連携と充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
産婦人科一次救急医療体制の運営 【再掲】 担当課 健康対策課	周産期医療体制の充実のため、体制運営にかかる負担金を支出する。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめた。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめた。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめた。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめる。	県とともに、産婦人科の一次医療救急体制の整備をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健康管理システム体制の整備 担当課 健康対策課	乳幼児から高齢者まで、個々の健診結果等の情報を一元化し、住民の健康管理を総合的に行う。	幼児から高齢者まで、個々の健診結果等の情報を一元化し、住民の健康管理を総合的に行った。 健康管理システム内のがん検診、予防接種（ロタウイルス・新型インフルエンザ）等について、マイナンバー制度を整備した。	乳幼児から高齢者まで、個々の健診結果等の情報を一元化し、住民の健康管理を総合的に行った。 健康管理システムのOSバージョンアップにともなうサーバーの更新を行った。	乳幼児から高齢者まで、個々の健診結果等の情報を一元化し、住民の健康管理を総合的に行った。	乳幼児から高齢者まで、個々の健診結果等の情報を一元化し、住民の健康管理を総合的に行う。 自治体システム標準化実現のため、システム構築、データ移行を行う。	乳幼児から高齢者まで、個々の健診結果等の情報を一元化し、住民の健康管理を総合的に行う。 自治体システム標準化実現のため、システム構築、データ移行を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１１・健康づくり

2･保健･福祉･医療の連携と充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
専門職との連携 担当課 健康対策課	医師、管理栄養士、精神保健福祉士、心理相談員、助産師、歯科衛生士などの専門職と連携をはかりながら、保健事業をすすめる。	医師、管理栄養士、精神保健福祉士、心理相談員、助産師、歯科衛生士などの専門職と連携をはかりながら、保健事業をすすめた。	医師、管理栄養士、精神保健福祉士、心理相談員、助産師、歯科衛生士などの専門職と連携をはかりながら、保健事業をすすめた。	医師、管理栄養士、精神保健福祉士、心理相談員、助産師、歯科衛生士などの専門職と連携をはかりながら、保健事業をすすめた。	医師、管理栄養士、精神保健福祉士、心理相談員、助産師、歯科衛生士などの専門職と連携をはかりながら、保健事業をすすめる。	医師、管理栄養士、精神保健福祉士、心理相談員、助産師、歯科衛生士などの専門職と連携をはかりながら、保健事業をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
食育推進協議会の活動支援 担当課 健康対策課	斑鳩町食育推進計画に基づき、食育活動を展開し、住民への食生活改善の啓発を行っている食育推進員に指導・助言を行い支援する。	第2期食育推進計画に基づき、食育活動を展開し、住民への食生活改善の啓発を行っている食育推進員に指導・助言を行い支援した。	第2期食育推進計画に基づき、食育活動を展開し、住民への食生活改善の啓発を行っている食育推進員に指導・助言を行い支援した。	第2期食育推進計画に基づき、食育活動を展開し、住民への食生活改善の啓発を行っている食育推進員に指導・助言を行い支援した。	第3期食育推進計画に基づき、食育活動を展開し、住民への食生活改善の啓発を行っている食育推進員に指導・助言する。	第3期食育推進計画に基づき、食育活動を展開し、住民への食生活改善の啓発を行っている食育推進員に指導・助言する。また養成講座を実施し、新たな食育推進員の養成に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
登録人数（累計）	R1年度	38人	45人	40人	34人	40人	26人	40人	27人	45人	27人	45人	
	R2年度	35人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

11・健康づくり

2・保健・福祉・医療の連携と充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健康づくり推進協議会の開催 担当課 健康対策課	関係機関との連携を強化しながら、健康づくりに関する施策の総合的な推進をはかるため、健康づくり推進協議会を開催する。	総合的な健康づくり対策の円滑な実施にむけ、各計画に基づき取り組んでいる保健事業についての意見や助言を伺うため、健康づくり推進協議会を年1回開催した。（新型コロナウイルス感染症予防の為、書面開催）	第2期健康増進計画および第2期食育推進計画の最終評価を行うための健康づくりに関するアンケートの調査および保健事業についての意見や助言を伺うため、健康づくり推進協議会を年2回開催した。	第3期健康増進計画および第3期食育推進計画の策定にむけて意見や助言を伺うため、健康づくり推進協議会を年2回開催した。	総合的な健康づくり対策の円滑な実施にむけ、各計画に基づき取り組んでいる保健事業についての意見や助言を伺うため、健康づくり推進協議会を年1回開催する。	総合的な健康づくり対策の円滑な実施にむけ、各計画に基づき取り組んでいる保健事業についての意見や助言を伺うため、健康づくり推進協議会を年1回開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 担当課 国保医療課	奈良県後期高齢者医療広域連合の広域計画に基づいた事業の委託を受け、国保データベース（KDBシステム）を活用し、専門職を配置することにより、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に行う。	高齢者の実態調査を行った。また、地域包括支援センターと健康対策課の専門職による連携・役割分担により、健康状態不明者へのアプローチを実施し、またフレイル予防のため、健康教室等での指導啓発を行った。	高齢者の実態調査結果を基に、地域包括支援センターと健康対策課の専門職による連携・役割分担により、未受診者へのアプローチを実施し、またフレイル予防等のため、健康教室等での指導啓発を行った。	高齢者の実態調査結果を基に、地域包括支援センターと健康対策課の専門職による連携・役割分担により、未受診者へのアプローチを実施し、またフレイル予防等のため、健康教室等での指導啓発を行った。	高齢者の実態調査結果を基に、地域包括支援センターと健康対策課の専門職による連携・役割分担により、未受診者へのアプローチを実施し、またフレイル予防等のため、健康教室等での指導啓発を行う。	高齢者の実態調査結果を基に、地域包括支援センターと健康対策課の専門職による連携・役割分担により、未受診者へのアプローチを実施し、またフレイル予防等のため、健康教室等での指導啓発を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

11・健康づくり

2・保健・福祉・医療の連携と充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
王寺周辺広域休日応急診療施設組合との連携 担当課 健康対策課	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかる。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかった。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかった。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかった。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかる。 令和6年11月から、窓口受付に加えオンラインでの順番受付を開始。	三室休日応急診療所や近隣市町村の医療機関と連携し、休日応急診療体制の充実をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域包括ケアシステムの構築 【再掲】 【★】 担当課 福祉課	高齢者の尊厳と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で自分らしいくらしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援の地域包括ケアシステムの構築を推進する。	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめた。	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめた。 ・町薬剤師会交流会　1回 ・西和メディケアフォーラム会議（ケアマネジメント部会含む）　9回 ・生駒郡地域ケア会議　3回	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめた。 ・西和メディケアフォーラム会議　2回/ケアマネジメント部会 6回 ・生駒郡地域ケア会議　2回/多職種勉強会　2回	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめる。 ・西和メディケアフォーラム会議（ケアマネジメント部会含む） ・生駒郡地域ケア会議・多職種勉強会	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援等地域包括ケアシステムの構築を進めていく。 ・西和メディケアフォーラム会議(ケアマネジメント部会を含む) ・生駒郡地域ケア会議・多職種勉強会

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

1・高齢者の生きがいづくりの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
シルバー人材センターの支援 担当課 福祉課	高齢者の豊かな経験と技術を生かすとともに働く機会の充実や活動の場づくりを促進するため、シルバー人材センターの活動に対し助成を行う。	シルバー人材センターの活動に対して助成を行った。また、軽度生活援助事業などをシルバー人材センターに委託し、高齢者の就労機会の拡大をはかった。	シルバー人材センターの活動に対して助成を行った。また、軽度生活援助事業などをシルバー人材センターに委託し、高齢者の就労機会の拡大をはかった。	シルバー人材センターの活動に対して助成を行った。また、軽度生活援助事業などをシルバー人材センターに委託し、高齢者の就労機会の拡大をはかった。	シルバー人材センターの活動に対して助成を行う。また、軽度生活援助事業などをシルバー人材センターに委託し、高齢者の就労機会の拡大をはかる。	シルバー人材センターの活動に対して助成を行う。また、軽度生活援助事業などをシルバー人材センターに委託し、高齢者の就労機会の拡大をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
シルバー人材センター会員数	R1年度	251人	280人／年	280人／年	233人／年	280人／年	225人／年	280人／年	230人／年	280人／年	250人／年	280人／年	
	R2年度	235人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
敬老会の開催 担当課 福祉課	多年にわたり社会に尽くされた高齢者を敬愛し、長寿を祝うための敬老会を高齢者のニーズに対応した形で開催する。また、米寿の高齢者と結婚50年夫婦に対し記念品を、百歳を迎える高齢者には祝金を贈呈する。	記念品贈呈式の実施 新型コロナウイルス感染防止の観点から敬老会の開催を中止し、記念品贈呈式を実施。 実施日　9月17日（金） 実施場所 斑鳩町地下大会議室 対象者　米寿　144人 結婚50年夫婦　48組 参加者　米寿　8人 結婚50年夫婦　4組 百歳祝金　14人	敬老会の開催 開催日　9月17日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール 参加対象者　7,468人 百歳祝金　7人 米寿記念品　156人 結婚50年記念品　53組	敬老会の開催 開催日　9月16日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール 参加対象者　7,459人 百歳祝金　7人 米寿記念品　185人 結婚50年記念品　54組	敬老会の開催 開催日　9月14日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール 参加対象者　7,487人 百歳祝金　6人 米寿記念品　207人 結婚50年記念品　32組	敬老会の開催 開催日　9月13日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加率	R1年度	8.9%	10.0%	―	―	10.0%	4.0%	10.0%	4.0%	10.0%	4.6%	10.0%	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

1・高齢者の生きがいづくりの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
高齢者優待券の交付 担当課 福祉課	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付する。また、高齢者外出支援タクシー基本料金助成券を交付する。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付した。 ICOCAカードについて、今年度から、従来のカード交換方式からチャージ方式に変更した。 また、引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付した。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付した。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付した。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付した。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付した。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付する。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付する。 ICOCA選択者に交付しているいきいきの里入館券（500円分）について、すこやか斑鳩・スポーツセンタートレーニング機器にも利用できる共通利用券として交付する。	高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進・自立を支援するため、70歳以上の方全員を対象に高齢者優待券を交付する。 引き続き高齢者外出支援タクシー基本料金助成券も交付する。 他事業と調整しながら、タクシー券の利用方法について検討していく。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
交付率	R1年度	76.6%	75.0%	75.0%	75.4%	75.0%	76.8%	75.0%	79.4%	75.0%	79.0%	75.0%	
	R2年度	73.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老人憩の家の活用 担当課 福祉課	地域における高齢者の教養の向上、レクリエーションなどのための場として、「老人憩の家」を町内2箇所に設置し、60歳以上の方の心身の健康の増進をはかる。	施設の感染症防止対策、修理を行いながら、維持管理に努め、憩の家の円滑な運営を行った。	施設の感染症防止対策、修理を行いながら、維持管理に努め、憩の家の円滑な運営を行った。	引き続き施設の感染症防止対策、修理を行いながら、維持管理に努め、憩の家の円滑な運営を行った。 新型コロナウイルスの5類感染症への移行にともない、令和5年5月8日から大広間等の使用を再開した。	引き続き施設の感染症防止対策、修理を行いながら、維持管理に努め、憩の家の円滑な運営を行う。 また、斑鳩町地球温暖化対策実行計画に基づき、照明設備のLED化改修工事を行う。	引き続き施設の感染症防止対策、修理を行いながら、維持管理に努め、憩の家の円滑な運営を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
利用者数	R1年度	26,641人	26,000人／年	26,000人／年	21,714人／年	26,000人／年	22,212人／年	26,000人／年	23,028人／年	26,000人／年	23,000人／年	26,000人／年	
	R2年度	16,910人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

1・高齢者の生きがいづくりの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自動車誤発進防止装置設置費の助成 担当課 福祉課	高齢者の移動手段の確保や生活意欲の維持および交通事故時の被害軽減のため、後付けで自動車の誤発進防止装置を設置する人を対象に、その費用の一部を助成する。	対象装置に係る購入費および設置に要する費用の合計額の2分の1（上限3万円）を助成した。 助成件数：2件	対象装置に係る購入費および設置に要する費用の合計額の2分の1（上限3万円）を助成した。	対象装置に係る購入費および設置に要する費用の合計額の2分の1（上限3万円）を助成を予定していたが、申請がなかった。 助成件数：0件	対象装置に係る購入費および設置に要する費用の合計額の2分の1（上限3万円）を助成する。 助成件数：7件 （9月末時点）	対象装置に係る購入費および設置に要する費用の合計額の2分の1（上限3万円）を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
高齢者補聴器購入費の助成 担当課 福祉課	高齢者の社会参加及び地域交流を支援するため、聴力機能の低下により日常生活を営むのに支障がある高齢者に対し、補聴器購入費用の一部を助成する。		補聴器1台の購入に要する費用の2分の1（上限2万円）を助成した。 12件　234,700円	補聴器1台の購入に要する費用の2分の1（上限2万円）を助成した。 10件　200,000円	補聴器1台の購入に要する費用の2分の1（上限2万円）を助成する。 申請14件　決定13件 （9月末時点）	補聴器1台の購入に要する費用の2分の1（上限2万円）を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―			―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						―	継続	―	継続	―	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

1･高齢者の生きがいづくりの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生き生きプラザ斑鳩の活用 担当課 福祉課	すべての高齢者を対象に、生き生きプラザ斑鳩を拠点とし介護予防や認知症予防等の知識の普及･啓発を目的に健康教育や講演会等を実施し、高齢者の健康の保持増進をはかる。	運動機能向上教室 月1回　4コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年12回 認知症予防教室 介護予防リーダー･サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 月2回 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室 介護予防リーダー･サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 年24回　2コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室　24回　2コース 介護予防リーダー･サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 年24回　2コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室　24回　2コース 介護予防リーダー･サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 年24回　2コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室　24回　2コース 介護予防リーダー･サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
開催事業数	R1年度	9事業	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	
	R2年度	10事業											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公民館教室･教養講座の開催 【再掲】 担当課 生涯学習課	生きがいづくりや知識･技術の習得をはかるための生涯学習の機会づくりとして、各公民館において教室･教養講座等を開催する。	公民館教室(18教室) 中央公民館　12教室 東公民館　4教室 西公民館　2教室 生涯学習講座（9講座） 文学講座　7講座 6月8日、7月13日、8月10日 9月14日、10月12日、11月9日 12月14日 生活･経済講座　2講座 10月15日、11月30日	公民館教室(21教室) 中央公民館　16教室 東公民館　2教室 西公民館　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月14日、7月12日、8月9日 9月13日、10月11日、11月8日 12月13日 生活･経済講座　2講座 10月29日、2月18日	公民館教室(25教室) 中央公民館　21教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月13日、7月11日、8月8日 9月12日、10月10日、11月14日、12月12日 生活･経済講座　2講座 6月23日、10月28日	公民館教室(27教室) 中央公民館　23教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活･経済講座　3講座	公民館教室(27教室) 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活･経済講座　2講座

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
満足度	R1年度	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	78.5%	100.0%	83.4%	100.0%	90.0%	100.0%	
	R2年度	100.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護保険事業計画および高齢者福祉計画の見直し 担当課 福祉課	総合的な高齢者福祉施策を展開していくため、介護保険事業計画および高齢者福祉計画を3年ごとに見直しする。	第8期事業計画期間（令和3～5年度）の進捗管理を行った。	第8期事業計画期間（令和3～令和5年度）の進捗管理を行った。 また、給付実績の分析（要介護認定状況、在宅・施設別給付状況等）を行った。	第8期事業計画期間（令和3～令和5年度）の進捗管理を行った。 また、給付実績の分析（要介護認定状況、在宅・施設別給付状況等）を行った。 第9期事業計画を策定した。 計画期間　令和6～8年度	第9期事業計画期間（令和6～令和8年度）の進捗管理を行う。 また、給付実績の分析（要介護認定状況、在宅・施設別給付状況等）を行う。	第9期事業計画期間（令和6～令和8年度）の進捗管理を行う。 また、給付実績の分析（要介護認定状況、在宅・施設別給付状況等）を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	進捗管理	R5計画の見直し	進捗管理	進捗管理	進捗管理	進捗管理	アンケート実施、第9期事業計画（R6～R8）の策定	アンケート実施、第9期事業計画（R6～R8）の策定	進捗管理	進捗管理	進捗管理	
	R2年度	第８期事業計画（R3～R5）の策定											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護保険・高齢者福祉ガイドブックの作成 担当課 福祉課	高齢者福祉ガイドブックの作成を行い、住民に対し介護保険制度、高齢者福祉サービスの周知を行う。	・第8期用の高齢者福祉ガイドブックを作成し、住民に対し介護保険制度、高齢者福祉サービスの周知に努めた。 ・窓口相談時等に第8期事業計画用のパンフレットの配布、町広報紙等により、介護保険制度および高齢者サービスの周知に努めた。 ・65歳到達時や保険料決定通知書の送付に合わせて、パンフレットを同封し制度の周知をはかった。	・窓口相談時等に第8期事業計画用のパンフレットの配布、町広報紙等により、介護保険制度および高齢者サービスの周知に努めた。 ・65歳到達時や保険料決定通知書の送付に合わせて、パンフレットを同封し制度の周知をはかった。	・窓口相談時等に第8期用のガイドブックの配布、町広報紙等により、介護保険制度および高齢者サービスの周知に努めた。 ・65歳到達時や保険料決定通知書の送付に合わせて、パンフレットを同封し制度の周知をはかった。	・第9期用の高齢者福祉ガイドブックを作成し、住民に対し介護保険制度、高齢者福祉サービスの周知に努める。 ・町広報紙等により、介護保険制度および高齢者サービスの周知に努める。 ・65歳到達時や保険料決定通知書の送付に合わせて、パンフレットを同封し制度の周知をはかる。	・窓口相談時等に第9期事用のガイドブックの配布、町広報紙等により、介護保険制度および高齢者サービスの周知に努める。 ・65歳到達時や保険料決定通知書の送付に合わせて、パンフレットを同封し制度の周知をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	窓口パンフレットや65歳到達用パンフレットの配布	R3・R6更新	高齢者福祉ガイドブック、窓口用パンフレットや65歳到達用、保険料決定用のパンフレットの作成配布	高齢者福祉ガイドブック、窓口用パンフレットや65歳到達用、保険料決定用のパンフレットの作成配布	窓口用パンフレットや65歳到達用、保険料決定用のパンフレットの作成配布	窓口用パンフレットや65歳到達用、保険料決定用のパンフレットの作成配布	高齢者福祉ガイドブックの配布、65歳到達用パンフレットの作成配布	高齢者福祉ガイドブック、65歳到達用パンフレットの配布、保険料決定用のパンフレットの作成配布	高齢者福祉ガイドブック、65歳到達用・保険料決定用のパンフレットの作成配布	高齢者福祉ガイドブック、65歳到達用・保険料決定用のパンフレットの作成配布	高齢者福祉ガイドブックの配布、65歳到達用・保険料決定用のパンフレットの作成配布	
	R2年度	窓口用パンフレットや65歳到達用パンフレットの作成配布											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
高齢者の生活支援サービスの実施 担当課 福祉課	ひとり暮らし高齢者等の生活支援、自立支援を行うため、各種サービスを提供する。	ひとり暮らしの高齢者等の生活支援、自立支援を行った。 ・愛の訪問サービス 6,547本　65人 ・軽度生活援助 813時間　49人 ・訪問理美容サービス 28回　17人 ・日常生活用具の給付・貸与 1人	ひとり暮らしの高齢者等の生活支援、自立支援を行った。 ・愛の訪問サービス 6,061本　63人 ・軽度生活援助 908時間　49人 ・訪問理美容サービス 28回　18人 ・日常生活用具の給付・貸与 1人	ひとり暮らしの高齢者等の生活支援、自立支援を行った。 ・愛の訪問サービス 5,673本　62人 ・軽度生活援助 882時間　52人 ・訪問理美容サービス 22回　13人 ・日常生活用具の給付・貸与 2人	ひとり暮らしの高齢者等の生活支援、自立支援を行う。 ・愛の訪問サービス 2,731本　59人 ・軽度生活援助 436時間　35人 ・訪問理美容サービス 14回　9人 ・日常生活用具の給付・貸与 0人 （9月末時点）	ひとり暮らしの高齢者等の生活支援、自立支援を行う。 ・愛の訪問サービス ・軽度生活援助 ・訪問理美容サービス ・日常生活用具の給付・貸与

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
利用者数	R1年度	135人	150人／年	150人／年	132人／年	150人／年	131人／年	150人／年	129人／年	150人／年	120人／年	150人／年	
	R2年度	142人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
家族介護支援事業の実施 担当課 福祉課	家族介護者の身体的・精神的・経済的負担の軽減をはかるため、家族介護教室の開催など家族介護を支援する。	家族介護教室の開催や介護用品の支給、慰労金の支給等家族介護を支援した。 家族介護教室　6回　55人 家族介護用品の支給　44人 家族介護慰労金の支給　1人 徘徊高齢者家族支援サービス　8人	家族介護教室の開催や介護用品の支給、慰労金の支給等家族介護を支援した。 家族介護教室　6回　43人 介護用品の支給　32人 家族介護慰労金の支給　0人 徘徊高齢者家族支援サービス　11人	家族介護教室の開催や介護用品の支給、慰労金の支給等家族介護を支援した。 家族介護教室　6回　75人 介護用品の支給　40人 家族介護慰労金の支給　0人 徘徊高齢者家族支援サービス　11人	家族介護教室の開催や介護用品の支給、慰労金の支給等家族介護を支援する。 家族介護教室　6回　75人 介護用品の支給　34人 家族介護慰労金の支給　0人 徘徊高齢者家族支援サービス　11人 （9月末時点）	家族介護教室の開催や介護用品の支給、慰労金の支給等家族介護を支援する。 家族介護教室 介護用品の支給 家族介護慰労金の支給 徘徊高齢者家族支援サービス

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
利用者数	R1年度	93人	110人／年	110人／年	107人／年	110人／年	86人／年	110人／年	126人／年	110人／年	120人／年	110人／年	
	R2年度	129人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	◎	継続	○	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
配食サービスの実施 担当課 福祉課	ひとり暮らしの高齢者等で、身体的理由により自ら調理することが困難で、自立支援の観点からサービス利用をすることが適当であると認められる人に対し、栄養改善と安否確認を目的として、定期的に配食サービスを実施する。	見守り等の支援が必要な65歳以上の高齢者が地域において自立した生活を継続できるよう、配食サービスを実施した。	見守り等の支援が必要な65歳以上の高齢者が地域において自立した生活を継続できるよう、配食サービスを実施した。	見守り等の支援が必要な65歳以上の高齢者が地域において自立した生活を継続できるよう、配食サービスを実施した。	見守り等の支援が必要な65歳以上の高齢者が地域において自立した生活を継続できるよう、配食サービスを実施する。	見守り等の支援が必要な65歳以上の高齢者が地域において自立した生活を継続できるよう、配食サービスを実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
実利用者数	R1年度	114人	80人／年	80人／年	75人／年	80人／年	65人／年	80人／年	70人／年	80人／年	67人／年	80人／年	
	R2年度	65人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
緊急通報装置の設置推進 担当課 福祉課	ひとり暮らし高齢者等で日常の安否の確認をする必要がある人に対し、急病の早期発見や不慮の事故や災害発生時等の緊急時の対応を迅速にはかるため、緊急時に近隣の協力者に通報する装置を対象者の自宅に設置し、緊急時の円滑な援助・救助体制を整備する。	高齢者の安全を確保するため、緊急時の円滑な救助体制を整備するため緊急通報装置を設置した。	高齢者の安全を確保するため、緊急時の円滑な救助体制を整備するため緊急通報装置を設置した。	高齢者の安全を確保するため、緊急通報装置を貸与し、家庭内における事故等への対応体制を整備した。	高齢者の安全を確保するため、緊急通報装置を貸与し、家庭内における事故等への対応体制を整備する。	高齢者の安全を確保するため、緊急通報装置を貸与し、家庭内における事故等への対応体制を整備する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
設置世帯数（累計）	R1年度	180世帯	210世帯	180世帯	182世帯	190世帯	200世帯	205世帯	200世帯	210世帯	184世帯	210世帯	
	R2年度	174世帯											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

2・地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
寝たきり老人介護手当の支給 担当課 福祉課	要介護4・5の認定を受けている高齢者を常時家庭で介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減をはかるため、介護手当を支給する。	介護手当支給者数　79人 支給月数　560月	介護手当支給者数　75人 支給月数　544月	介護手当支給者数　85人 支給月数　604月	介護手当支給見込数　80人 見込月数　620月 支給人数　67人 支給月数　306月 （9月末時点）	介護手当支給見込数　80人 見込月数　620月

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
養護老人ホームへの入所措置 担当課 福祉課	環境上の理由および経済的理由により、居宅において養護をうけることが困難な高齢者の養護老人ホームへの入所を行う。	養護老人ホーム入所者数　4人 （退所1人、新規入所1人）	養護老人ホーム入所者数　3人	養護老人ホーム入所者数　3人	養護老人ホーム入所者数　2人 （9月末時点）	養護老人ホーム入所者数　2人

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

2・地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老人福祉施設三室園組合との連携 担当課 福祉課	老人福祉施設三室園組合との連携により、特に高度な高齢者福祉サービスを支える養護老人ホームや特別養護老人ホームの施設機能サービスの提供を行う。	施設運営に必要な負担金を負担した。	施設運営に必要な負担金を負担した。	施設運営に必要な負担金を負担した。	施設運営に必要な負担金を負担する。	施設運営に必要な負担金を負担する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
低所得者利用者負担の対策 担当課 福祉課	社会福祉法人等が低所得者に対し介護保険サービスにかかる利用者負担額の軽減制度にかかる助成事業を実施した場合、当該法人に対して、軽減に要した費用の一部を助成する。	社会福祉法人の福祉サービス利用料の助成を予定していたが、対象法人がなかった。	社会福祉法人の福祉サービス利用料の助成を予定していたが、対象法人がなかった。	社会福祉法人の福祉サービス利用料の助成を予定していたが、対象法人がなかった。	社会福祉法人の福祉サービス利用料の助成	社会福祉法人の福祉サービス利用料の助成

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

2・地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護給付費用適正化事業の実施 担当課 福祉課	介護給付の適正化をはかることで、利用者に対して適切な介護給付サービスを確保するとともに、不適切な給付の防止につなげるため、県が策定した「介護給付適正化計画」に基づいて、介護給付費通知などの介護給付適正化事業に取り組む。	介護給付費通知を送付した。 要介護認定の適正化を実施した。 住宅改修の点検・福祉用具・貸与調査を実施した。 縦覧点検・医療情報の突合を実施した。 ケアプランチェックを実施した。 より効果的なケアプランの点検を行うため、給付適正化支援システムの活用および運営支援の内容を見直した。	介護給付費通知を送付した。 要介護認定の適正化を実施した。 住宅改修の点検・福祉用具・貸与調査を実施した。 縦覧点検・医療情報の突合を実施した。 ケアプランチェックを実施した。 より効果的なケアプランの点検を行うため、給付適正化支援システムの活用および運営支援の内容を見直した。	介護給付費通知を送付した。 要介護認定の適正化を実施した。 住宅改修の点検・福祉用具・貸与調査を実施した。 縦覧点検・医療情報の突合を実施した。 ケアプランチェックを実施した。 より効果的なケアプランの点検を行うため、給付適正化支援システムの活用および運営支援の内容を見直した。	第9期介護保険事業計画に基づき、国が示す給付適正化事業（要介護認定の適正化、ケアプランの点検、医療情報との突合・縦覧点検）等の事業を実施する。	第9期介護保険事業計画に基づき、国が示す給付適正化事業（要介護認定の適正化、ケアプランの点検、医療情報との突合・縦覧点検）等の事業を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
外出が困難な高齢者等への住民票等の宅配サービス 【★】 担当課 住民課	一人で外出することが困難な高齢者等への支援として、住民票の写し等証明書を自宅等まで宅配する。	事業周知 町広報紙啓発 （6月号お知らせ版） 利用実績　0件	事業周知 町広報紙啓発 （6月号お知らせ版） 利用実績　0件 地域包括支援センターにチラシを設置し、対象者に案内を行った。	事業周知 町広報紙啓発（7月号） 利用実績　0件 地域包括支援センターにチラシを設置し、対象者に案内を行う。	事業周知 町広報紙啓発 （6月号お知らせ版） 利用実績　3件（9月末時点） 地域包括支援センターにチラシを設置し、対象者に案内を行う。	事業周知 町広報紙啓発 地域包括支援センターにチラシを設置し、対象者に案内を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

2・地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
認知症施策総合推進事業の推進 【★】 担当課 福祉課	高齢者が認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援体制の充実をはかる。	認知症ケアパスの周知 認知症初期集中支援チームの活動の充実 認知症キャラバンメイト連絡協議会活動の推進 認知症カフェの実施 QRコード活用見守り事業の実施 チームオレンジの活動支援 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催	認知症ケアパスの周知 認知症初期集中支援チームの活動の充実 認知症キャラバンメイト連絡協議会活動の推進 認知症カフェの実施 QRコード活用見守り事業の実施 チームオレンジの活動の支援 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催	認知症ケアパスの周知 認知症初期集中支援チームの活動の充実 認知症キャラバンメイト連絡協議会活動の推進 認知症カフェの実施 QRコード活用身守り事業の実施 チームオレンジの活動の支援 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催	認知症ケアパスの周知 認知症初期集中支援チームの活動の充実 認知症キャラバンメイト連絡協議会活動の推進 認知症カフェの実施 QRコード活用身守り事業の実施 チームオレンジの活動の支援 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催	認知症ケアパスの周知 認知症初期集中支援チームの活動の充実 認知症キャラバンメイト連絡協議会活動の推進 認知症カフェの実施 QRコード活用身守り事業の実施 チームオレンジの活動の支援 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域福祉計画の推進 担当課 福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画・障害者福祉計画などの各計画と連携し、地域福祉の推進に関する事項を定めた地域福祉計画の進捗管理を行うなかで、地域福祉に関する施策を総合的・計画的にすすめる。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行った。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行った。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行った。 また、第2期斑鳩町地域福祉計画を策定した。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行う。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
高齢者通いの場（居場所）づくりの推進 担当課 福祉課	高齢者が気軽に参加できる通いの場（居場所）において、介護予防事業を実施し、地域における支え合いの環境づくりおよび見守り体制の整備を推進する。	小地域福祉会や介護予防活動団体等と連携し、地域の活動を支援するとともに地域においてともに支え合う地域づくりを推進する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な活動が実施できなかった。	小地域福祉会や介護予防活動団体等と連携し、地域の活動を支援するとともに地域においてともに支え合う地域づくりを推進する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な活動が実施できなかった。	小地域福祉会や介護予防活動団体等と連携し、地域の活動を支援するとともに地域においてともに支え合う地域づくりを推進した。 また、介護予防活動支援事業については今年度末までとなっている為、R6年度以降の継続について検討した。	小地域福祉会や介護予防活動団体等と連携し、地域の活動を支援するとともに地域においてともに支え合う地域づくりを推進する。	小地域福祉会や介護予防活動団体などと連携し、地域の活動を支援するとともに地域においてともに支え合う地域づくりを推進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
介護予防事業を定期的に開催する通いの場の数（累計）	R1年度	14団体	30団体	20団体	20団体	25団体	23団体	25団体	25団体	30団体	28団体	30団体	
	R2年度	14団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老人クラブ活動の支援 担当課 福祉課	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行う。	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行った。 ・適正クラブ（50人以上） 3クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 16クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行った。 ・適正クラブ（50人以上） 3クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 10クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行った。 ・適正クラブ（50人以上） 2クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 9クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行う。 ・適正クラブ（50人以上） 1クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 9クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
老人クラブ会員数	R1年度	1,328人	1,200人／年	1,200人／年	1,005人／年	1,200人／年	819人／年	1,200人／年	685人／年	1,200人／年	641人／年	1,200人／年	
	R2年度	1,160人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
民生児童委員活動の支援 担当課 福祉課	地域ぐるみでの福祉活動を推進するため、社会福祉の増進を目的とする民生児童委員活動に対し、民生児童委員および民生児童委員協議会へその活動費を県補助金を基準として助成する。	町民生児童委員協議会補助 267,400円 民生児童委員活動助成 2,769,200円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 0円 群民生児童委員連合会会費 47,000円 県民生児童委員連合会会費 263,200円	町民生児童委員協議会補助 289,300円 民生児童委員活動助成 2,649,200円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 0円 群民生児童委員連合会会費 47,000円 県民生児童委員連合会会費 310,200円 民生委員児童委員一斉改選 任期：R4.12.1～R7.11.30 定数47人中41名委嘱	町民生児童委員協議会補助 289,300円 民生児童委員活動助成 2,468,200円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 159,092円 群民生児童委員連合会会費 47,000円 県民生児童委員連合会会費 310,200円	町民生児童委員協議会補助 289,300円 民生児童委員活動助成 2,829,400円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 714,000円 群民生児童委員連合会会費 94,000円 県民生児童委員連合会会費 310,200円	民生委員児童委員一斉改選 任期：R7.12.1～R10.11.30 定数47人

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護予防・日常生活支援総合事業の実施 【★】 担当課 福祉課	要支援者等に対する効果的・効率的支援に加え、地域での支え合いの体制整備等を推進する。	住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、要支援者等に対する効果的・効率的な支援を行った。	住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、要支援者等に対する効果的・効率的な支援を行った。	住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、要支援者等に対する効果的・効率的な支援を行った。	住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、要支援者等に対する効果的・効率的な支援を行う。	自立した日常生活の支援を実施することにより、ひとりひとりの生きがいや自己実現のための取組みを支援し、住み慣れた地域で生きがいのある生活や活動的な人生が継続できるよう、要支援者等に対する効果的・効率的な支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

2・地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
在宅医療・介護連携の推進 担当課 福祉課	安心して在宅療養が受けられるよう普及啓発に取り組むとともに、入院による急性期の治療から、リハビリテーションを含めた退院後の在宅療養への円滑な移行を行うため、医療と介護の連携のしくみを構築し、在宅医療の充実に努める。	医療と介護の連携のしくみを構築し在宅医療の充実をはかった。	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、「いつまでも歩ける未来のために　～伸ばそう健康寿命～」をテーマに講演会を行った。	安心して在宅療養が受けられるよう「人生会議（ACP）」についての講演会を開催した。	安心して在宅療養が受けられるよう引き続き「人生会議（ACP）」について講演会等を開催し周知啓発に努める。	安心して在宅療養が受けられるよう「人生会議(ACP)」について講演会等を開催し周知啓発に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生活支援体制整備事業の推進 担当課 福祉課	多様な生活支援サービスを利用できたり、社会参加できるような地域づくりの支援体制の充実・強化をはかるため、協議体やワーキングチーム会議において、地域ニーズの把握や地域資源の発掘、地域課題の検討を行い、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援体制を整備する。	社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、ボランティア等の担い手や支援者のネットワーク化など体制整備を行うとともに社会資源の開発を行った。	社会福祉協議会に生活支援コーディネーターの配置と就労支援コーディネーターの配置を検討した。また、ボランティア等の担い手や支援者のネットワーク化など体制整備を行うとともに社会資源の開発を行った。	社会福祉協議会に生活支援コーディネーターの配置と就労支援コーディネーターの配置を検討した。また、ボランティア等の担い手や支援者のネットワーク化など体制整備を行うとともに社会資源の開発を行い、把握した社会資源を集約し、WEBサイトに一般公開することにより社会資源の有効活用と地域での暮らしを支援した。	社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、ボランティア等の担い手や支援者のネットワーク化など体制整備を行うとともに社会資源の開発を行い、周知をはかる。 また、R6年度実施の高齢者実態把握調査において、外出支援についての調査も追加し、今後の事業を検討する。	社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、ボランティア等の担い手や支援者のネットワーク化など体制整備を行うとともに社会資源の開発を行い、周知をはかる。 また、R6年度実施の外出支援についての調査結果もふまえて、今後の事業を検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

12・高齢者の福祉・介護の充実

2・地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域包括ケアシステムの構築 【★】 担当課 福祉課	高齢者の尊厳と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で自分らしいくらしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援の地域包括ケアシステムの構築を推進する。	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめた。	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめた。 ・町薬剤師会交流会　1回 ・西和メディケアフォーラム会議（ケアマネジメント部会含む）　9回 ・生駒郡地域ケア会議　3回	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめた。 ・西和メディケアフォーラム会議　2回/ケアマネジメント部会 6回 ・生駒郡地域ケア会議　2回/多職種勉強会　2回	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、地域支援事業の一層の推進を行い、地域包括ケアシステムの構築をすすめる。 ・西和メディケアフォーラム会議（ケアマネジメント部会含む） ・生駒郡地域ケア会議・多職種勉強会	住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援等地域包括ケアシステムの構築を進めていく。 ・西和メディケアフォーラム会議(ケアマネジメント部会を含む) ・生駒郡地域ケア会議・多職種勉強会

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護予防普及啓発事業 担当課 福祉課	すべての高齢者を対象に、介護予防の知識の普及・啓発を目的に健康教育や講演会等を実施するとともに、地域における団体等と連携しながら健康の保持増進をはかる。	運動器機能向上教室 年89回　1,232人 栄養改善教室 年5回　40人 口腔機能向上教室 年5回　61人 認知症予防教室 年78回　928人 介護予防教室 年36回　394人 介護予防講演会 年1回　19人	運動器機能向上教室 年96回　1,723人 栄養改善教室 年6回　35人 口腔機能向上教室 年8回　113人 認知症予防教室 年40回　883人 介護予防教室 年36回　393人 介護予防講演会 年1回　28人	運動器機能向上教室 年96回　2,084人 栄養改善教室 年6回　38人 口腔機能向上教室 年8回　172人 認知症予防教室 年39回　918人 介護予防教室 年36回　408人 介護予防講演会 年1回　39人	運動器機能向上教室 年96回　2,100人 栄養改善教室 年6回　40人 口腔機能向上教室 年8回　180人 認知症予防教室 年40回　1000人 介護予防教室 年36回　450人 介護予防講演会 年1回　40人 （9月末時点）	運動器機能向上教室 栄養改善教室 口腔機能向上教室 認知症予防教室 介護予防教室 介護予防講演会

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加者数	R1年度	4,894人	5,000人／年	5,000人／年	2674人／年	5,000人／年	3,175人／年	5,000人／年	3,659人／年	5,000人／年	4,000人／年	5,000人／年	
	R2年度	3,169人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	○	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
社会福祉協議会との連携 担当課 福祉課	民生委員活動の支援、小地域福祉会や各種ボランティア団体の支援、生活福祉資金の貸付などの社会福祉事業を実施する社会福祉協議会との連携により、誰もが温かいふれあいの中で、自立した生活がおくれるよう、地域ぐるみでの福祉活動をすすめるため、社会福祉協議会に対し補助金を交付する。	斑鳩町社会福祉協議会に36,500千円の補助を行った。	斑鳩町社会福祉協議会に29,295千円の補助を行った。	斑鳩町社会福祉協議会に29,137千円の補助を行った。	斑鳩町社会福祉協議会に30,127千円の補助を行う。	斑鳩町社会福祉協議会に補助を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域包括支援センターの運営 担当課 福祉課	高齢者に対する総合的な支援やケアマネジャーへの支援、並びに要支援者や事業対象者に対するケアマネジメントなど、地域に根ざした保健・医療・福祉・介護の向上をはかる拠点として地域包括支援センターを運営する。	・総合相談支援業務 ・要支援者、総合事業対象者に対するケアマネジメント ・ケアマネジャーへの支援 ・権利擁護業務 ・多職種連携し高齢者の在宅を支援するネットワーク構築 ・認知症支援総合事業 ・在宅医療・介護連携事業 等	・総合相談支援業務 ・要支援、総合事業対象者に対するケアマネジメント ・ケアマネジャーへの支援 ・権利擁護業務 ・多職種連携し高齢者の在宅を支援するネットワーク構築 ・認知症支援総合事業 ・在宅医療・介護連携事業 等	・総合相談支援業務 ・要支援、総合事業対象者に対するケアマネジメント ・ケアマネジャーへの支援 ・権利擁護業務 ・多職種連携し高齢者の在宅を支援するネットワーク構築 ・認知症支援総合事業 ・在宅医療・介護連携事業 等	・総合相談支援業務 ・要支援、総合事業対象者に対するケアマネジメント ・ケアマネジャーへの支援 ・権利擁護業務 ・多職種連携し高齢者の在宅を支援するネットワーク構築 ・認知症支援総合事業 ・在宅医療・介護連携事業 等	・総合相談支援業務 ・要支援、総合事業対象者に対するケアマネジメント ・ケアマネジャーへの支援 ・権利擁護業務 ・多職種連携し高齢者の在宅を支援するネットワークの構築 ・認知症支援総合事業 ・在宅医療・介護連携事業等

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
相談件数	R1年度	712件	1,000件／年	1,000件／年	758件／年	1,000件／年	955件／年	1,000件／年	943件／年	1,000件／年	1,000件／年	1,000件／年	
	R2年度	707件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護保険の給付 担当課 福祉課	介護保険事業の保険給付を実施するとともに事業の円滑な推進をはかる。	【実績値】 居宅系サービス（1,169,132千円）地域密着型サービス（206,252千円）施設サービス（731,625千円）高額介護、高額医療合算（63,470千円）特定入所者介護サービス（39,863千円） 特別給付費（992千円） その他（2,915千円） 合計2,214,249千円	【実績値】 居宅系サービス（1,197854千円）地域密着型サービス（195,472千円）施設サービス（705,690千円）高額介護、高額医療合算（59,038千円）特定入所者介護サービス（32,799千円） 特別給付費（963千円） その他（1,737千円） 合計2,193,553千円	【実績値】 居宅系サービス（1,287,519千円）地域密着型サービス（222,795千円）施設サービス（714,753千円）高額介護、高額医療合算（60,653千円）特定入所者介護サービス（32,281千円） 特別給付費（828千円） その他（3,111千円） 合計2,321,940千円	【計画値】 居宅系サービス（1,389,271千円）地域密着型サービス（258,033千円）施設サービス（719,557千円）高額介護、高額医療合算（64,054千円）特定入所者介護サービス（42,150千円） 特別給付費（1,035千円） その他（3,039千円） 合計2,477,139千円	【計画値】 居宅系サービス（1,418,342千円）地域密着型サービス（265,121千円）施設サービス（720,468千円）高額介護、高額医療合算（65,250千円）特定入所者介護サービス（42,937千円） 特別給付費（1,053千円） その他（3,092千円） 合計2,516,263千円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護関係資格取得費の支援 【★】 担当課 福祉課	介護職員の技術の向上および介護施設等における長期就労を支援し、質の高い介護サービスの継続的な提供をはかるため、介護職員養成研修の受講料および教材費の助成を行う。	介護施設に就労しておらず、すでに介護職員養成研修の申し込みを完了し、かつ研修終了後3か月継続して就労している者に助成を行うとともに助成の周知を行った。	介護施設に就労しておらず、すでに介護職員養成研修の申し込みを完了し、かつ研修終了後3か月継続して就労している者に助成を行うとともに助成の周知を行った。	介護施設に就労しておらず、すでに介護職員養成研修に申し込みを完了し、かつ研修終了後3か月継続して就労している者に助成を行うとともに助成の周知を行った。	介護施設に就労しておらず、すでに介護職員養成研修に申し込みを完了し、かつ研修終了後3か月継続して就労している者に助成を行うとともに助成の周知を行う。	介護施設に就労しておらず、すでに介護職員養成研修に申し込みを完了し、かつ研修終了後3か月継続して就労している者に助成を行うとともに助成の周知を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
助成件数	R1年度	―	3件／年	3件／年	0件／年	3件／年	0件／年	3件／年	0件／年	3件／年	1件／年	3件／年	
	R2年度	1件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

１２・高齢者の福祉・介護の充実

2･地域包括ケアシステムの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
介護予防リーダーの養成 担当課 福祉課	地域における住民主体の介護予防活動の育成･支援を行うため介護予防事業のリーダー養成講座を実施し、介護予防リーダーの育成と活動の支援を行う。	地域で介護予防活動育成･支援に必要な知識と活動について学び介護予防を推進するリーダーを養成した。	地域で介護予防活動育成･支援に必要な知識と活動について学び介護予防を推進するリーダーを養成した。	地域で介護予防活動育成･支援に必要な知識と活動について学び介護予防を推進するリーダーを養成した。	地域で介護予防活動を広めていくにあたり、必要な知識と活動について学び介護予防を推進するリーダーを養成する。	地域で介護予防活動を広めていくにあたり、必要な知識と活動について学び介護予防を推進するリーダーを養成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
養成人数	R1年度	11人	20人／年	20人／年	4人／年	20人／年	11人／年	20人／年	8人／年	20人／年	15人／年	20人／年	
	R2年度	16人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	△	継続	×	継続	△	継続		

13・障害者福祉の充実

1・地域共生社会の実現にむけた取組みの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者福祉計画・障害福祉計画の推進 担当課 福祉課	本町に住むあらゆる人がふれあい、支えあいながら安心して地域の中でともにくらし、自分らしく自立した生活ができる社会の実現をめざすため、「斑鳩町障害者福祉計画」および「斑鳩町障害福祉計画」を策定し、障害者施策を総合的、計画的にすすめる。また、令和5年度に斑鳩町障害者福祉計画・第6期斑鳩町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画を見直す。	第6期斑鳩町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗管理を行った。 推進協議会の開催　1回	第6期斑鳩町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗管理を行った。 推進協議会の開催　1回 第7期斑鳩町障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の策定にむけて、給付状況の分析を行うとともに、制度改正等の情報収集を行った。	第6期斑鳩町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗管理を行った。 推進協議会の開催　3回 また、第7期斑鳩町障害福祉計画・第3期障害児福祉計画を策定した。	第7期斑鳩町障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の進捗管理を行う。	第7期斑鳩町障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の進捗管理を行う。 第8期斑鳩町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の策定にむけて、給付状況の分析を行うとともに、制度改正等の情報収集を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	R5計画の見直し	―	―	―	―	計画の見直し	計画の見直し	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	○	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
各種障害者福祉団体の活動支援 担当課 福祉課	障害者の社会参加の促進・支援をはかるため、各種障害者福祉団体の活動に対し助成を行う。	各種障害者福祉団体に補助金を交付した。 斑鳩町身体障害者福祉協会 195,000円 斑鳩町手をつなぐ育成会 0円 斑鳩町聴覚障害者協会 41,000円	各種障害者福祉団体に補助金を交付した。 斑鳩町身体障害者福祉協会 195,000円 斑鳩町手をつなぐ育成会 0円 斑鳩町聴覚障害者協会 41,000円	各種障害者福祉団体に補助金を交付した。 斑鳩町身体障害者福祉協会 195,000円 斑鳩町手をつなぐ育成会 0円 斑鳩町聴覚障害者協会 41,000円	各種障害者福祉団体に補助金を交付する。 斑鳩町身体障害者福祉協会 195,000円 斑鳩町手をつなぐ育成会 49,000円 斑鳩町聴覚障害者協会 41,000円	各種障害者福祉団体に補助金を交付する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
助成団体数	R1年度	4団体	4団体／年	4団体／年	2団体／年	4団体／年	2団体／年	4団体／年	2団体／年	4団体／年	3団体／年	4団体／年	
	R2年度	4団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

13・障害者福祉の充実

1・地域共生社会の実現にむけた取組みの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自動車運転免許の取得・改造の支援 担当課 福祉課	自動車によって社会参加が見込まれる身体障害者に対し、自動車運転免許取得および自動車改造にかかる経費の一部を助成する。	自動車運転免許取得、自動車の改造に要した経費の一部の助成を予定していたが申請がなかった。	自動車運転免許取得、自動車の改造に要した経費の一部を助成を予定していたが申請がなかった。	自動車運転免許取得、自動車の改造に要した経費の一部を助成し、社会参加を促進した。 自動車改造　申請件数　1件 自動車運転免許取得 申請件数　0件	自動車運転免許取得、自動車の改造に要した経費の一部を助成し、社会参加を促進する。 自動車改造　申請件数　0件 自動車運転免許取得 申請件数　0件 （9月末時点）	自動車運転免許取得、自動車の改造に要した経費の一部を助成し、社会参加を促進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
重度身体障害者の移動支援 担当課 福祉課	外出の機会の少ない、常時車椅子を使用している重度身体障害者の社会参加を促進するため、移動支援としてリフト付乗用車を運行する。	重度身体障害者の社会参加を促進するため、移動支援としてリフト付乗用車を運行した。 移動支援利用回数　4回 実利用人数　1人	重度身体障害者の社会参加を促進するため、移動支援としてリフト付乗用車を運行した。 移動支援利用回数　1回 実利用人数　1人	重度身体障害者の社会参加を促進するため、移動支援としてリフト付乗用車を運行した。 移動支援利用回数　3回 実利用人数　1人	重度身体障害者の社会参加を促進するため、移動支援としてリフト付乗用車を運行する。 移動支援利用回数　1回 実利用人数　1人 （9月末時点）	重度身体障害者の社会参加を促進するため、移動支援としてリフト付乗用車を運行する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１３・障害者福祉の充実

1・地域共生社会の実現にむけた取組みの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
手話通訳者の設置・派遣 担当課 福祉課	聴覚・言語障害者の社会参加の促進をはかるため、役場および生き生きプラザ斑鳩窓口への手話通訳者の設置や町主催の講演会、官公庁、学校、医療機関などへの手話通訳者の派遣を実施する。	手話通訳者をフルタイム会計年度任用職員として役場に1名、パートタイム会計年度任用職員として生き生きプラザ斑鳩に1名（週3回）設置した。	手話通訳者をフルタイム会計年度任用職員として役場に1名、パートタイム会計年度任用職員として生き生きプラザ斑鳩に1名（週3回）設置した。	手話通訳者をフルタイム会計年度任用職員として役場に1名、パートタイム会計年度任用職員として生き生きプラザ斑鳩に1名（週3回）設置した。	手話通訳者をフルタイム会計年度任用職員として役場に1名、パートタイム会計年度任用職員として生き生きプラザ斑鳩に1名（週3回）設置する。	手話通訳者をフルタイム会計年度任用職員として役場に1名、パートタイム会計年度任用職員として生き生きプラザ斑鳩に1名（週3回）設置する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
設置者数および登録者の合計数	R1年度	9人	10人／年	10人／年	9人／年	10人／年	9人／年	10人／年	9人／年	10人／年	9人／年	10人／年	
	R2年度	9人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
手話奉仕員養成事業 担当課 福祉課	手話奉仕員を養成し、手話を広め、聴覚障害・言語障害者に対してのバリアフリー化をはかる。	手話奉仕員養成講座の開催 入門課程修了者　7名	手話奉仕員養成講座を開催 基礎課程修了者　4名 入門課程終了者　14名	手話奉仕員養成講座の開催 基礎課程修了者　9名 入門課程修了者　9名	手話奉仕員養成講座の開催	手話奉仕員養成講座の開催

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
講座修了者	R1年度	17人	7人／年	7人／年	7人／年	7人／年	18人／年	7人／年	18人／年	7人／年	7人／年	7人／年	
	R2年度	7人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

１３・障害者福祉の充実

1・地域共生社会の実現にむけた取組みの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
聴こえのサポーター養成講座の実施 担当課 福祉課	中途失聴者や聴覚障害者への理解を深め、そのコミュニケーション支援のひとつである要約筆記を体験することにより、要約筆記者養成講座の受講にむけた関心を高める。	聴こえのサポーター養成講座について、受講希望者が少なく講座が開催できなかった。	聴こえのサポーター養成講座を開催した。 受講者　5名	聴こえのサポーター養成講座について、受講希望者が少なく講座が開催できなかった。	聴こえのサポーター養成講座を開催する。	聴こえのサポーター養成講座を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
受講者数	R1年度	11人	5人／年	5人／年	0人／年	5人／年	5人／年	5人／年	0人／年	5人／年	5人／年	5人／年	
	R2年度	5人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	◎	継続	×	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
リフト付バスの運行 担当課 福祉課	障害者や高齢者を主とする団体を対象に、社会参加の促進や地域福祉の充実を目的にリフト付バスを運行する。	社会参加の促進や地域福祉の充実を目的にリフト付バスを運行した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用制限を行っている。 利用回数：　36回 利用人数：　408人	社会参加の促進や地域福祉の充実を目的にリフト付バスを運行した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用制限を行った。 利用回数：78回 利用人数：945人	社会参加の促進や地域福祉の充実を目的にリフト付バスを運行した。 利用回数：138回 利用人数：2,014人	社会参加の促進や地域福祉の充実を目的にリフト付バスを運行する。 利用回数：63回 利用人数：969人 （9月末時点）	社会参加の促進や地域福祉の充実を目的にリフト付バスを運行する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
利用者数	R1年度	2,376人	3,700人／年	3,700人／年	408人／年	3,700人／年	945人／年	3,700人／年	2,014人／年	3,700人／年	2,000人／年	3,700人／年	
	R2年度	198人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	△	継続	△	継続		

１３・障害者福祉の充実

1・地域共生社会の実現にむけた取組みの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者の移動支援（個別・グループ支援型） 担当課 福祉課	社会生活上不可欠な外出および余暇活動等の外出の際の移動を支援する。	社会生活上不可欠な外出および余暇活動等の外出の際の移動を支援した。 利用者数：93人 利用件数：674件	社会生活上不可欠な外出および余暇活動等の外出の際の移動を支援した。 利用者数：97人 利用件数：704件	社会生活上不可欠な外出および余暇活動等の外出の際の移動を支援した。 利用者数：84人 利用件数：623件	社会生活上不可欠な外出および余暇活動等の外出の際の移動を支援する。 利用者数：86人 利用件数：371件 （9月末時点）	社会生活上不可欠な外出および余暇活動等の外出の際の移動を支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者に対する合理的配慮等の普及啓発 担当課 福祉課	正当な理由なく障害を利用として差別することを禁止する「不当な差別的取扱い」の禁止や、障害者への「合理的配慮」の提供について、普及啓発に努める。	障害者に対する合理的配慮等について、周知啓発を行った。	障害者に対する合理的配慮等について、周知啓発を行った。	障害者に対する合理的配慮等について、周知啓発を行った。	障害者に対する合理的配慮等について、周知啓発を行う。	障害者に対する合理的配慮等について、周知啓発を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１３・障害者福祉の充実

1・地域共生社会の実現にむけた取組みの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者の就労支援 担当課 福祉課	障害者優先調達推進法に基づく調達方針を策定し、障害福祉事業所からの調達をすすめる。また、西和7町障害者等支援協議会等での広域的な連携をすすめ、事業所への活動機会の提供や庁内での職場体験を実施する。	障害者優先調達推進法に基づく調達推進方針の策定（5月策定・公表）	障害者優先調達推進法に基づく調達推進方針の策定（5月策定・公表） 特別支援学校の職場体験 各課に対し、来年度予算要求において、障害者就労施設等からの物品等の調達を依頼。	障害者優先調達推進法に基づく調達推進方針の策定（5月策定・公表） 調達実績：3,639,752円 特別支援学校の職場体験 庁内推進委員会を開催し、各課への障害者就労施設等からの物品等の調達を依頼した。	障害者優先調達推進法に基づく調達推進方針の策定（5月策定・公表） 特別支援学校の職場体験 庁内推進委員会を開催し、各課への障害者就労施設等からの物品等の調達を依頼する。	障害者優先調達推進法に基づく調達推進方針の策定（5月策定・公表） 特別支援学校の職場体験 庁内推進委員会を開催し、各課への障害者就労施設等からの物品等の調達を依頼する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域活動支援センターの機能強化 担当課 福祉課	地域活動支援センターに通う障害者などに、地域の実情に応じて創作的活動または生産活動の機会を提供し、社会との交流を促進するための支援を行う。	地域活動支援センターに通う障害者等に地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動に機会の提供および社会との交流の促進等を支援した。 【町内】 まーぶる　4人 【町外】 ふらっと　5人	地域活動支援センターに通う障害者等に地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動に機会の提供および社会との交流の促進等を支援した。 【町内】 まーぶる　4人 【町外】 ふらっと　4人 Com.きらめき　1人 ichinino　1人	地域活動支援センターに通う障害者等に地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動に機会の提供および社会との交流の促進等を支援した。 【町内】 まーぶる　4人 【町外】 ふらっと　6人 Com.きらめき　1人 ichinino　1人	地域活動支援センターに通う障害者等に地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動に機会の提供および社会との交流の促進等を支援する。 【町内】 まーぶる　4人 【町外】 ふらっと　4人 Com.きらめき　1人 ichinino　1人 （9月末時点）	地域活動支援センターに通う障害者等に地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動に機会の提供および社会との交流の促進等を支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

1・地域共生社会の実現にむけた取組みの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
成年後見制度の利用支援 担当課 福祉課	自己の判断による財産管理や契約等が困難な人のうち、親族の援助や資力が見込まれない人について、町長が本人または親族にかわって成年後見等開始審判の申立てを行い、その費用を負担する。	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行った。 町長申立て:0人 審判請求費用助成:0人 成年後見等報酬助成:1名	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行った。 町長申立:1人 審査請求費用助成:0人 成年後見等報酬助成:0人	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を予定していたが、申請がなかった。 町長申立　0人 審査請求費用助成　0人 成年後見等報酬助成　0人	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行う。 町長申立　0人 審査請求費用助成　0人 成年後見等報酬助成　0人 （9月末時点）	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
権利擁護にかかる相談支援体制の確立 担当課 福祉課	高齢者や障害者に対して、斑鳩町社会福祉協議会と連携し、成年後見人制度や地域福祉権利擁護事業などの周知や相談支援体制を整える。	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援した。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援した。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援した。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援する。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援する。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

2･障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
在宅心身障害者（児）福祉サービスの提供 担当課 福祉課	在宅心身障害者（児）の社会参加の促進と自立支援をはかるため、重度心身障害者等福祉年金の支給、福祉タクシーの助成など、社会的生活能力の向上およびその社会活動に必要な援助を町単独事業として提供する。	重度身体障害者福祉年金 支給月　6月･12月 支給延月数　5,603月 福祉タクシーの助成 助成件数　1,296枚	重度身体障害者福祉年金 支給月　6月･12月 支給延月数　5,795月 福祉タクシーの助成 助成件数　1,164枚	重度身体障害者福祉年金 支給月　6月･12月 支給延月数　5,824月 福祉タクシーの助成 助成件数　1,136枚	重度身体障害者福祉年金 支給月　6月･12月 支給延月数　5,853月 福祉タクシーの助成 助成件数　624枚 （9月末時点）	重度身体障害者福祉年金 支給月　6月･12月 福祉タクシーの助成

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者福祉ガイドブックの作成 担当課 福祉課	身体・療育・精神の3障害別ガイドブックの周知および制度改正などにともなう更新を随時行う。	手帳交付時等に窓口で交付した。 制度改正に応じて迅速に校正を行った。	手帳交付時等に窓口で交付した。 制度改正に応じて迅速に校正を行った。	手帳交付時等に窓口で交付した。 制度改正に応じて迅速に校正を行った。	手帳交付時等に窓口で交付する。 制度改正に応じて迅速に校正を行う。	手帳交付時等に窓口で交付する。 制度改正に応じて迅速に校正を行う。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

2･障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者介護給付・訓練等給付費の支給 担当課 福祉課	障害者総合支援法に基づき、サービスの利用が地域生活への移行に結びつくよう、障害者の住まいの場（居宅や施設）における介護サービスや、日中における機能訓練、就労支援などのサービスを実施する。	サービスにかかる費用を支給した。 サービス利用者　509人 【内訳】 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・療養介護・生活介護・短期入所・施設入所支援・グループホーム・自立訓練（機能）・自立訓練（生活）・就労移行支援・就労継続支援・地域定着支援・地域移行支援・自立生活援助、就労定着支援、計画相談支援	サービスにかかる費用を支給した。 サービス利用者　554人 【内訳】 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・療養介護・生活介護・短期入所・施設入所支援・グループホーム・自立訓練（機能）・自立訓練（生活）・就労移行支援・就労継続支援・地域定着支援・地域移行支援・自立生活援助、就労定着支援、計画相談支援	サービスにかかる費用を支給した。 サービス利用者　617人 【内訳】 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・療養介護・生活介護・短期入所・施設入所支援・グループホーム・自立訓練（機能）・自立訓練（生活）・就労移行支援・就労継続支援・地域定着支援・地域移行支援・自立生活援助、就労定着支援、計画相談支援	サービスにかかる費用を支給する。 サービス利用者　552人 （9月末時点） 【内訳】 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・療養介護・生活介護・短期入所・施設入所支援・グループホーム・自立訓練（機能）・自立訓練（生活）・就労移行支援・就労継続支援・地域定着支援・地域移行支援・自立生活援助、就労定着支援、計画相談支援	サービスにかかる費用を支給する。 【内訳】 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・療養介護・生活介護・短期入所・施設入所支援・グループホーム・自立訓練（機能）・自立訓練（生活）・就労移行支援・就労継続支援・地域定着支援・地域移行支援・自立生活援助、就労定着支援、計画相談支援

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
更生医療費の給付 担当課 福祉課	18歳以上の身体障害者で、手術等により障害の程度を軽減、除去するための医療費および障害の進行を防ぐための医療費を一部給付する。	18歳以上の身体障害者で、手術等により障害の程度を軽減、除去するための医療費および障がいの進行を防ぐための医療費を一部給付した。 給付決定人数　85人	18歳以上の身体障害者で、手術等により障害の程度を軽減、除去するための医療費および障がいの進行を防ぐための医療費を一部給付した。 給付決定人数　83人	18歳以上の身体障害者で、手術等により障害の程度を軽減、除去するための医療費および障がいの進行を防ぐための医療費を一部給付した。 給付決定人数　75人	18歳以上の身体障害者で、手術等により障害の程度を軽減、除去するための医療費および障がいの進行を防ぐための医療費を一部給付する。 給付決定人数　53人 （9月末時点）	18歳以上の身体障害者で、手術等により障害の程度を軽減、除去するための医療費および障がいの進行を防ぐための医療費を一部給付する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１３・障害者福祉の充実

2･障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
身体障害者（児）補装具の交付および修理 担当課 福祉課	身体障害者（児）の生活支援をはかるため、身体の失われた部位や障害のある部位を補い、日常生活を容易にするための補装具の交付・修理を行う。	補装具の交付・修理費用を助成した。 給付件数　47件 交付　30件 修理　17件	補装具の交付・修理費用を助成した。 給付件数　67件 交付　42件 修理　25件	補装具の交付・修理費用を助成した。 給付件数　49件 交付　30件 修理　19件	補装具の交付・修理費用を助成する。 給付件数　31件 交付　20件 修理　11件 （9月末時点）	補装具の交付・修理費用を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
重度障害者（児）日常生活用具の給付 担当課 福祉課	在宅の重度障害者（児）の生活支援をはかるため、日常生活上の不便さを軽減するための用具等の給付を行う。	日常生活上の不便さを軽減するための用具等の購入費用を助成した。 給付件数　343件	日常生活上の不便さを軽減するための用具等の購入費用を助成した。 給付件数　364件	日常生活上の不便さを軽減するための用具等の購入費用を助成した。 給付件数　367件	日常生活上の不便さを軽減するための用具等の購入費用を助成する。 給付件数　227件 （9月末時点）	日常生活上の不便さを軽減するための用具等の購入費用を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

2･障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者移動入浴サービスの実施 担当課 福祉課	家庭での入浴が困難な寝たきりの重度心身障害者（児）の介護者の身体的負担の軽減等をはかるため、訪問入浴サービスを実施する。	入浴サービスの機会を提供することにより、日常生活を助長し、心身機能の維持向上等をはかるため、訪問移動入浴サービスを実施した。 利用件数　150件	入浴サービスの機会を提供することにより、日常生活を助長し、心身機能の維持向上等をはかるため、訪問移動入浴サービスを実施した。 利用件数　86件	入浴サービスの機会を提供することにより、日常生活を助長し、心身機能の維持向上等をはかるため、訪問移動入浴サービスを実施した。 利用件数　100件	入浴サービスの機会を提供することにより、日常生活を助長し、心身機能の維持向上等をはかるため、訪問移動入浴サービスを実施する。 利用件数　52件 （9月末時点）	入浴サービスの機会を提供することにより、日常生活を助長し、心身機能の維持向上等をはかるため、訪問移動入浴サービスを実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
日中一時支援事業の実施 担当課 福祉課	障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援および日常介護している家族の一時的な負担軽減をはかる。	障害者の日中における活動の場を確保し、日常介護している家族の一時的な負担軽減等のため、日中一時支援事業を実施した。 利用者数　7人	障害者の日中における活動の場を確保し、日常介護している家族の一時的な負担軽減等のため、日中一時支援事業を実施した。 利用者数　7人	障害者の日中における活動の場を確保し、日常介護している家族の一時的な負担軽減等のため、日中一時支援事業を実施した。 利用者数　9人	障害者の日中における活動の場を確保し、日常介護している家族の一時的な負担軽減等のため、日中一時支援事業を実施する。 利用者数　5人 （9月末時点）	障害者の日中における活動の場を確保し、日常介護している家族の一時的な負担軽減等のため、日中一時支援事業を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

2・障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
更生訓練費の支給 担当課 福祉課	自立訓練事業や就労移行支援事業を利用している障害者に対して、「訓練のための経費」と「通所のための経費」を支給する。	更生訓練費を支給し、社会復帰の促進をはかる予定をしていた。 支給者実数　0人	更生訓練費を支給し、社会復帰の促進をはかった。 支給者実数　1人	更生訓練費を支給し、社会復帰の促進を予定していたが利用者がなかった。 支給者実数　0人	更生訓練費を支給し、社会復帰の促進をはかる。 支給者実数　0人 （9月末時点）	更生訓練費を支給し、社会復帰の促進をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
育成医療費の給付 担当課 福祉課	18歳以下の身体障害児またはそれに相当する児童に対し、障害または疾患に対する治療等の医療費を一部給付する。	18歳未満の身体障害者に対して、手術等によって障害の程度を軽減・除去するための医療費および障害の進行を防ぐための医療費を助成した。 給付決定人数　6人	18歳未満の身体障害者に対して、手術等によって障害の程度を軽減・除去するための医療費および障害の進行を防ぐための医療費を助成した。 給付決定人数　9人	18歳未満の身体障害者に対して、手術等によって障害の程度を軽減・除去するための医療費および障害の進行を防ぐための医療費を助成した。 給付決定人数　8人	18歳未満の身体障害者に対して、手術等によって障害の程度を軽減・除去するための医療費および障害の進行を防ぐための医療費を助成する。 給付決定人数　5人 （9月末時点）	18歳未満の身体障害者に対して、手術等によって障害の程度を軽減・除去するための医療費および障害の進行を防ぐための医療費を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

2･障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
福祉ホームの利用支援 担当課 福祉課	家庭環境、住宅事情等により、生活することが困難な障害者に対し、低額の料金で居室等を提供するとともに、日常生活の援助を行う、福祉ホームの入所に対する助成を行う。	環境や住宅事情等の理由により、生活することが困難な障害者（児）に対し、低額な費用で居室その他の設備を利用できるよう、必要な費用の一部助成を予定していたが対象者がいなかった。	環境や住宅事情等の理由により、生活することが困難な障害者（児）に対し、低額な費用で居室その他の設備を利用できるよう、必要な費用の一部を助成を予定していたが対象者がいなかった。	環境や住宅事情等の理由により、生活することが困難な障害者（児）に対し、低額な費用で居室その他の設備を利用できるよう、必要な費用の一部を助成を予定していたが対象者がいなかった。	環境や住宅事情等の理由により、生活することが困難な障害者（児）に対し、低額な費用で居室その他の設備を利用できるよう、必要な費用の一部を助成する。	環境や住宅事情等の理由により、生活することが困難な障害者（児）に対し、低額な費用で居室その他の設備を利用できるよう、必要な費用の一部を助成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
重度身体障害者コミュニケーションの支援 担当課 福祉課	家族が不在時の入院時において、重度の身体障害によりコミュニケーションが困難な利用者について、病院にヘルパー派遣を行う。	家族が不在時の入院時において、重度の身体障害によりコミュニケーションが困難な利用者について、病院へのヘルパー派遣を予定していたが申請がなかった。	家族が不在時の入院時において、重度の身体障害によりコミュニケーションが困難な利用者について、病院にヘルパー派遣を予定していたが申請がなかった。	家族が不在時の入院時において、重度の身体障害によりコミュニケーションが困難な利用者について、病院にヘルパー派遣を予定していたが申請がなかった。	家族が不在時の入院時において、重度の身体障害によりコミュニケーションが困難な利用者について、病院にヘルパー派遣を行う。	家族が不在時の入院時において、重度の身体障害によりコミュニケーションが困難な利用者について、病院にヘルパー派遣を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

2・障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域生活支援拠点機能の整備 担当課 福祉課	「安心して暮らせる地域づくり」を理念とし、関係機関の相互の連携をより強化し、地域の福祉力向上に努めながら、障害者等の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えたサービス提供体制を構築することを目的し、西和7町障害者等支援協議会において、地域生活支援拠点機能の整備を行う。	西和7町障害者等支援協議会において、地域生活支援拠点機能の整備について、意見交換を行った。	西和7町障害者等支援協議会において、地域生活支援拠点機能の整備にむけて、事業所等と令和5年実施にむけて事業の検討を行った。	西和7町障害者等支援協議会において、地域生活支援拠点機能の整備に向けて事業所等と事業の検討を行った。	西和7町障害者等支援協議会において、地域生活支援拠点機能の整備を行う。	西和7町障害者等支援協議会において、地域生活支援拠点機能の整備を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	-											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
相談支援事業の実施 担当課 福祉課	障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供および助言、その他障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整を行う。	障害者（児）本人、または、その保護者や介護を行う人からの相談に応じ、障害者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業を実施した。 身体・知的：861件 （社）在友会 NPO法人ななつぼし 精神：840件 （社）萌	障害者（児）本人、または、その保護者や介護を行う人からの相談に応じ、障害者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業を実施した。 身体・知的：61件 （社）在友会 精神：480件 （社）萌	障害者（児）本人、または、その保護者や介護を行う人からの相談に応じ、障害者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業を実施した。 身体・知的：79件 （社）在友会 精神：594件 （社）萌	障害者（児）本人、または、その保護者や介護を行う人からの相談に応じ、障害者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業を実施する。 身体・知的：76件 （社）在友会 精神：250件 （社）萌 （9月末時点）	障害者（児）本人、または、その保護者や介護を行う人からの相談に応じ、障害者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業を実施する。 身体・知的 （社）在友会 精神 （社）萌

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１３・障害者福祉の充実

2･障害福祉サービスの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害者相談員の配置 担当課 福祉課	障害者にとって身近な相談相手となる障害者相談員を配置する。	障害者にとって身近な相談相手となる障害者相談員を配置した。 身体障害者相談員　3人 知的障害者相談員　1人 委嘱期間 令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	障害者にとって身近な相談相手となる障害者相談員を配置した。 身体障害者相談員　3人 知的障害者相談員　1人 委嘱期間 令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	障害者にとって身近な相談相手となる障害者相談員を配置した。 身体障害者相談員　3人 知的障害者相談員　1人 委嘱期間 令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	障害者にとって身近な相談相手となる障害者相談員を配置する。 身体障害者相談員　2人 知的障害者相談員　1人 委嘱期間 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	障害者にとって身近な相談相手となる障害者相談員を配置する。 身体障害者相談員　2人 知的障害者相談員　1人 委嘱期間 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
委嘱者数	R1年度	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	委嘱者数　3人 （身体　2人） （知的　1人）	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）	
	R2年度	委嘱者数　4人 （身体　3人） （知的　1人）											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

13・障害者福祉の充実

3･障害のある子どもへの支援の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
幼稚園特別支援教育の充実 【再掲】 担当課 教委総務課	特別支援を必要な園児がすこやかに明るく幼稚園教育が受けることができるよう、講師を配属するなどの方策を講じる。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置した。	特別支援を要する園児への対応として、講師を配置する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校特別支援教育の充実 【再掲】 【★】 担当課 教委総務課	特別支援教育の充実をはかるため、特別支援学級の運営にかかる講師の配置、教育設備の整備を行うほか、小学校では発達遅滞に不安を抱く保護者を支援するため、就学予定児の教育相談に努める。また、特別支援学級に在籍する児童、生徒の学用品費、校外活動費、給食費等について助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかる。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかった。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかった。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかった。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかる。	特別支援就学奨励費を助成し、その保護者の経済的負担の軽減をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

13・障害者福祉の充実

3･障害のある子どもへの支援の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
療育教室の開催 担当課 福祉課	言語･運動機能等の未発達児が集団活動を通して、子ども同士の生活に慣れながら、機能の向上、調和的発達を促すため、療育教室を開催する。	心身の発達等について心配のある幼児を対象に、遊びを通して身体の発育、知的活動、情緒の安定、社会生活などの調和的発達を促すために療育教室を開催した。 参加人数　23人	心身の発達等について心配のある幼児を対象に、遊びを通して身体の発育、知的活動、情緒の安定、社会生活などの調和的発達を促すために療育教室を開催した。 参加人数　25人	心身の発達等について心配のある幼児を対象に、遊びを通して身体の発育、知的活動、情緒の安定、社会生活などの調和的発達を促すために療育教室を開催した。 参加人数　23人	心身の発達等について心配のある幼児を対象に、遊びを通して身体の発育、知的活動、情緒の安定、社会生活などの調和的発達を促すために療育教室を開催する。 参加人数　22人 （9月末時点）	心身の発達等について心配のある幼児を対象に、遊びを通して身体の発育、知的活動、情緒の安定、社会生活などの調和的発達を促すために療育教室を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
就学前相談の充実 担当課 教委総務課	小学校の入学を控え、幼児の発達の遅れなどに不安を抱く保護者の精神的負担を軽減するため、郡内の教育委員会が連携をとり、就学予定児教育相談を実施する。	就学予定児教育相談を実施した。 7月26日 中央公民館にて開催 相談件数　28件	就学予定児教育相談を実施した。 7月25日 中央公民館にて開催 相談件数　28件	就学予定児教育相談を実施した。 7月25日 中央公民館にて開催 相談件数　24件	就学予定児教育相談を実施した。 7月22日 中央公民館にて開催 相談件数　33件	就学予定児教育相談を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１３・障害者福祉の充実

3･障害のある子どもへの支援の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ペアレントトレーニングの実施 【★】 担当課 福祉課	障害や発達の遅れのある児童の保護者を対象に、専門的な知識を有する講師から、子どもの行動理論や具体的な対応のしかたを伝え、家庭での児童への関わり方を通じて、児童の健やかな発達を促す。	新型コロナウィルス感染症対策のため、1クール（6回）で開催した。 10月から全6回で開催 参加者　2名	ペアレントトレーニングを開催した。 第1クール 5月から全6回で開催 参加者　5名 第2クール 10月から全6回で開催 参加者　0名	ペアレントトレーニングを開催した。 第1クール 5月から全6回で開催 参加者　6名 第2クール 10月から全6回で開催 参加者　5名	ペアレントトレーニングを開催する。 第1クール 5月から全6回で開催 参加者　2名 第2クール 10月から全6回で開催 参加者　2名予定 （9月末時点）	ペアレントトレーニングを開催する。 第1クール 5月から全6回で開催 第2クール 10月から全6回で開催

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数	R1年度	8組	16組／年	8組／年	2組／年	16組／年	5組／年	16組／年	10組／年	16組／年	4組／年	16組／年	
	R2年度	8組											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	△	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
障害児福祉サービス費の支給 担当課 福祉課	施設に通所する障害児について、日常生活における基本的な動作の指導、知識技術の付与、集団生活の適応訓練を実施する。	施設に通所する障害児に対して日常生活における基本的な動作の指導、知識技術の付与、集団生活への適応訓練の利用にかかる費用を支給した。 利用者数　319人 【内訳】 児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 障害児相談支援	施設に通所する障害児に対して日常生活における基本的な動作の指導、知識技術の付与、集団生活への適応訓練の利用にかかる費用を支給した。 利用者数　355人 【内訳】 児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 障害児相談支援	施設に通所する障害児に対して日常生活における基本的な動作の指導、知識技術の付与、集団生活への適応訓練の利用にかかる費用を支給した。 利用者数　365人 【内訳】 児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 障害児相談支援	施設に通所する障害児に対して日常生活における基本的な動作の指導、知識技術の付与、集団生活への適応訓練の利用にかかる費用を支給する。 利用者数　350人（9月末時点） 【内訳】 児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 障害児相談支援	施設に通所する障害児に対して日常生活における基本的な動作の指導、知識技術の付与、集団生活への適応訓練の利用にかかる費用を支給する。 【内訳】 児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 障害児相談支援

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

1・国民健康保険の運営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
健康増進計画の推進 【再掲】 【★】 担当課 健康対策課	住民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことで、住民の健康寿命を延ばすことや生活の質の向上をはかることを目的に関係課と連携をはかりながら、健康増進計画改訂版および健康寿命延伸計画に基づき、より効果的な保健事業を展開する。また、第2期健康増進計画の期間が令和4年度で終了することから、令和4年度に最終評価を行い次期計画を策定し、それに基づき事業を実施する。	第2期健康増進計画改訂版および健康寿命延伸計画に基づき、庁内の関係課と連携をはかりながら、より効果的な保健事業を展開した。 町商工会と連携して会報送付時に会員へ啓発チラシを配布した。 「健康日本21計画」の実施期間が令和5年度まで延長となり、国との整合性をはかるため「第2期健康増進計画」についても実施期間を延長する。	第2期健康増進計画改訂版および健康寿命延伸計画に基づき、庁内の関係課と連携をはかりながら、より効果的な保健事業を展開した。 アンケート調査結果を基に、現計画の取組の評価を実施し、国や県との整合性をはかりながら第3期健康増進計画（健康寿命延伸計画を含む）を策定した。	庁内の関係課と連携をはかりながら、より効果的な保健事業を展開した。 アンケート調査結果を基に、現計画の取組の評価を実施し、国や県との整合性をはかりながら第3期健康増進計画（健康寿命延伸計画を含む）を策定した。	第3期健康増進計画に基づき、国から提案されたアクションプランなどを参考に、生活習慣病発症および重症化予防やライフステージの特性に応じた健康づくりの推進を、庁内の関係課と連携をはかりながら、効果的な保健事業を展開する。	第3期健康増進計画に基づき、国から提案されたアクションプランなどを参考に、生活習慣病発症および重症化予防やライフステージの特性に応じた健康づくりの推進を、庁内の関係課と連携をはかりながら、効果的な保健事業を展開する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国民健康保険医療費の適正化 担当課 国保医療課	医療費の適正化にむけて、本町国保の状況を分析し、県や保健部門との連携をはかりながら、特定健康診査をはじめ、被保険者への情報提供および啓発、医療の効率かつ適正な利用などの取組みをすすめる。	被保険者に適正な受診を促すため、国保事務センターによる共同事業とともに、次の取組みを行った。 共同事業（医療費通知、ジェネリック差額通知等） 特定保健指導の実施 ジェネリックシールの配布（保険証送付時等） 町広報紙や町ホームページ等による周知	被保険者に適正な受診を促すため、国保事務センターによる共同事業とともに、次の取組みを行った。 共同事業（医療費通知、ジェネリック差額通知等） 特定保健指導の実施 ジェネリックシールの配布（保険証送付時等） 町広報紙や町ホームページ等による周知	被保険者に適正な受診を促すため、国保事務センターによる共同事業とともに、次の取組みを行った。 共同事業（医療費通知、ジェネリック差額通知等） 特定保健指導の実施 ジェネリックシールの配布（保険証送付時等） 町広報紙や町ホームページ等による周知	被保険者に適正な受診を促すため、国保事務センターによる共同事業とともに、次の取組みを行う。 共同事業（医療費通知、ジェネリック差額通知等） 特定保健指導の実施 ジェネリックシールの配布（保険証送付時等） 町広報紙や町ホームページ等による周知	被保険者に適正な受診を促すため、国保事務センターによる共同事業とともに、次の取組みを行う。 共同事業（医療費通知、ジェネリック差額通知等） 特定保健指導の実施 ジェネリックシールの配布（保険証送付時等） 町広報紙や町ホームページ等による周知

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
特定保健指導率	R1年度	20.8%	60.0%	40.0%	25.0%	40.0%	22.9%	40.0%	28.0%	40.0%	30.0%	40.0%	
	R2年度	26.7%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

1・国民健康保険の運営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国民健康保険事業の健全な事業運営 担当課 国保医療課	国民健康保険事業の安定的な運営をはかるため、医療費適正化への取組みおよび収納対策の強化に努める。また、令和6年度の県内保険税統一化にむけて、適正な税率の設定を行う。	（歳入） 国保税　536,477千円 県費　2,137,371千円 国庫　1,096千円 その他　241,299千円 計　2,916,243千円 （歳出） 保険給付　1,996,550千円 納付金　792,922千円 保健事業　20,398千円 その他　173,094千円 計　2,982,964千円 （収支）　△66,721千円	（歳入） 国保税　506,948千円 県費　2,137,521千円 その他　237,678千円 計　2,882,147千円 （歳出） 保険給付　1,997,660千円 納付金　803,751千円 保健事業　20,653千円 その他　111,508千円 計　2,933,572千円 （収支）　△51,425千円	（歳入） 国保税　505,255千円 県費　2,132,721千円 その他　219,578千円 計　2,857,554千円 （歳出） 保険給付　1,995,761千円 納付金　793,543千円 保健事業　19,139千円 その他　90,062千円 計　2,898,505千円 （収支）　△40,951千円	（歳入） 国保税　484,698千円 県費　2,063,391千円 その他　232,811千円 計　2,780,900千円 （歳出） 保険給付　2,035,058千円 納付金　652,171千円 保健事業　22,000千円 その他　71,671千円 計　2,780,900千円 （収支）　0千円	（歳入） 国保税　487,601千円 県費　2,061,960千円 その他　211,490千円 計　2,761,051千円 （歳出） 保険給付　2,034,095千円 納付金　641,496千円 保健事業　22,062千円 その他　63,398千円 計　2,761,051千円 （収支）　0千円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	累積赤字の削減	
	R2年度	累積赤字の削減											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国民健康保険広域化の検討 担当課 国保医療課	国民健康保険の県単位化に伴い、令和6年度の保険税率統一化にむけた取組みをすすめる。	令和6年度の保険税率統一化にむけて、本町における税率改定に係る事務を適切にすすめた。	令和6年度の保険税率統一化にむけて、本町における税率改定に係る事務を適切にすすめた。	令和6年度の保険税率統一化にむけて、本町における税率改定に係る事務を適切にすすめた。	奈良県下で統一される保険税率に改定を行った。	奈良県で統一されている保険料率への改定など、適正に事務をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	取組みの推進	R6保険税率統一化	取組みの推進	取組みの推進	取組みの推進	取組みの推進	取組みの推進	取組みの推進	統一保険税率の維持	統一保険税率の維持	統一保険税率の維持	
	R2年度	取組みの推進											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

1・国民健康保険の運営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国民健康保険税の収納率の向上 担当課 国保医療課	公平公正な収納事務を行うとともに、滞納政策については、預金調査や滞納処分等を適切に行う。また、口座振替の推進、コンビニ納付、スマートフォンによる納付等を活用し、収納率の向上をめざす。	①短期被保険者証を活用した納税指導 ②支払困難者に対する適正な分割納付の提案 ③高額滞納者や分割納付不履行者への催告、法的措置の実施 ④国保財政の町広報紙等への情報発信 ⑤夜間等の納税相談、徴収 ⑥コールセンターの架電・SMSによる早期納付の促進 ⑦ペイジー等による納付の外、スマホ収納を開始する。	①短期被保険者証を活用した納税指導 ②支払困難者に対する適正な分割納付の提案 ③高額滞納者や分割納付不履行者への催告、法的措置の実施 ④国保財政の町広報紙等への情報発信 ⑤夜間等の納税相談、徴収 ⑥コールセンターの架電・SMSによる早期納付の促進 ⑦ペイジー、スマホ収納等の実施	①短期被保険者証を活用した納税指導 ②支払困難者に対する適正な分割納付の提案 ③高額滞納者や分割納付不履行者への催告、法的措置の実施 ④国保財政の町広報紙等への情報発信 ⑤夜間等の納税相談、徴収 ⑥コールセンターの架電による早期納付の促進 ⑦ペイジー、スマホ収納等の実施	①短期被保険者証を活用した納税指導 ②支払困難者に対する適正な分割納付の提案 ③高額滞納者や分割納付不履行者への催告、法的措置の実施 ④国保財政の町広報紙等への情報発信 ⑤夜間等の納税相談、徴収 ⑥コールセンターの架電による早期納付の促進 ⑦ペイジー、スマホ収納等の実施	①資格確認書を活用した納税指導 ②支払困難者に対する適正な分割納付の提案 ③高額滞納者や分割納付不履行者への催告、法的措置の実施 ④国保財政の町広報紙等への情報発信 ⑤夜間等の納税相談、徴収 ⑥コールセンターの架電による早期納付の促進 ⑦ペイジー、スマホ収納等の実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①現年課税分収納率 ②滞納繰越分収納率	R1年度	①97.0% ②21.0%	①97.5% ②21.0%	①97.5% ②22.0%	①97.7% ②17.9%	①98.0% ②20.0%	①98.0% ②16.9%	①98.2% ②18.0%	①96.7% ②17.9%	①97.5% ②18.0%	①97.5% ②18.0%	①98.0% ②19.0%	
	R2年度	①97.5% ②21.8%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
後期高齢者医療制度の充実 担当課 国保医療課	後期高齢者医療制度に関する周知・広報に努める。また、保険料の収納率の向上をはかり、安定的なサービスを提供する。	後期高齢者医療制度の被保険者の利便性や収納率の向上をはかった。 ①新たな自己負担割合（2割）の導入に向けた準備 ②パンフレット、町広報紙等を活用した制度の周知 ③滞納者への納付相談・徴収	後期高齢者医療制度の被保険者の利便性や収納率の向上をはかった。 ①新たな自己負担割合（2割）の10月導入開始への対応。 ②パンフレット、町広報紙等を活用した制度の周知 ③滞納者への納付相談・徴収	後期高齢者医療制度の被保険者の利便性や収納率の向上をはかった。 ①パンフレット、町広報紙等を活用した制度の周知 ②滞納者への納付相談・徴収	後期高齢者医療制度の被保険者の利便性や収納率の向上をはかる。 ①パンフレット、町広報紙等を活用した制度の周知 ②滞納者への納付相談・徴収	後期高齢者医療制度の被保険者の利便性や収納率の向上をはかる。 ①パンフレット、町広報紙等を活用した制度の周知 ②滞納者への納付相談・徴収

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①現年課税分収納率 ②滞納繰越分収納率	R1年度	①99.8% ②35.2%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②40.0%	①99.9% ②85.3%	①100.0% ②40.0%	①99.8% ②35.3%	①100.0% ②40.0%	①99.9% ②29.7%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②40.0%	①100.0% ②40.0%	
	R2年度	①99.6% ②75.2%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

１４・安定した社会保障制度の運営

1・国民健康保険の運営

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども・子育て支援金制度の創設 【新規】 担当課 国保医療課	子ども・子育て支援制度は、社会連帯の理念を基盤に、子どもや子育て世帯を、全世代、全経済主体が支える新しい仕組みとして、社会保険制度において保険料の一部として支援金を徴収する。				子ども・子育て支援金制度の情報を収集する。	令和8年度から子ども・子育て支援金が保険税で徴収されるため、国保税システムの改修を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―							―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
										―	継続		

１４・安定した社会保障制度の運営

2･福祉医療の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども医療費の助成 【★】 担当課 国保医療課	中学生までの子どもを対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。 令和5年度から高校生までの子どもへ対象を拡大し、保険診療のうち、自己負担分を助成する。	中学生までの子どもを対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　3,549人 助成件数　48,995件 助成金額　95,453千円	中学生までの子どもを対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　3,598人 助成件数　49,766件 助成金額　98,561千円	18歳までの子どもを対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　4,370人 助成件数　64,834件 助成金額　136,502千円 内）中学校卒業生 対象者　729人 助成件数　6,055件 助成金額　13,724千円	18歳までの子どもを対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。県内での受診については、8月診療分から全市町村で現物給付となり、所得制限が廃止された。 対象者　4,320人 助成件数　67,000件 助成金額　137,200千円	18歳までの子どもを対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。 対象者　4,320人 助成件数　67,000件 助成金額　136,200千円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老人医療費の助成 担当課 国保医療課	65歳以上70歳未満で市町村民税所得割非課税の世帯に属する人を対象に、保険診療の自己負担分のうち、後期高齢者医療の一部負担金を除く額の一部を助成する。	65歳以上70歳未満で市町村民税所得割非課税の世帯に属する人を対象に、保険診療の自己負担のうち、後期高齢者医療の一部負担金を除く額の一部を助成した。 対象者　17人 助成件数　386件 助成額　328千円	65歳以上70歳未満で市町村民税所得割非課税の世帯に属する人を対象に、保険診療の自己負担のうち、後期高齢者医療の一部負担金を除く額の一部を助成した。 対象者　21人 助成件数　475件 助成額　486千円	65歳以上70歳未満で市町村民税所得割非課税の世帯に属する人を対象に、保険診療の自己負担のうち、後期高齢者医療の一部負担金を除く額の一部を助成した。 対象者　24人 助成件数　602件 助成額　489千円	65歳以上70歳未満で市町村民税所得割非課税の世帯に属する人を対象に、保険診療の自己負担のうち、後期高齢者医療の一部負担金を除く額の一部を助成する。 対象者　24人 助成件数　560件 助成額　500千円	65歳以上70歳未満で市町村民税所得割非課税の世帯に属する人を対象に、保険診療の自己負担のうち、後期高齢者医療の一部負担金を除く額の一部を助成する。 対象者　24人 助成件数　660件 助成額　600千円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１４・安定した社会保障制度の運営

2･福祉医療の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ひとり親家庭等医療費の助成 【★】 担当課 国保医療課	一定所得額未満の児童を養育する配偶者のない父・母とその児童を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。	一定所得額未満の児童を養育する配偶者のない父・母とその児童を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　433人 助成件数　4,960件 助成額　11,738千円	一定所得額未満の児童を養育する配偶者のない父・母とその児童を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　413人 助成件数　5,051件 助成額　11,720千円	一定所得額未満の児童を養育する配偶者のない父・母とその児童を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　374人 助成件数　5,297件 助成額　12,018千円	一定所得額未満の児童を養育する配偶者のない父・母とその児童を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。 対象者　370人 助成件数　5,500件 助成額　12,100千円	一定所得額未満の児童を養育する配偶者のない父・母とその児童を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。 対象者　390人 助成件数　5,500件 助成額　12,100千円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
心身障害者医療費の助成 担当課 国保医療課	一定所得額未満の75歳未満で身体障害者手帳（1～3級）または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち自己負担分を助成する。	一定所得額未満の75歳未満で身体障害者手帳（1～3級）または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した 対象者　302人 助成件数　7,535件 助成額　35,248千円	一定所得額未満の75歳未満で身体障害者手帳（1～3級）または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　297人 助成件数　7,388件 助成額　30,678千円	一定所得額未満の75歳未満で身体障害者手帳（1～3級）または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成した。 対象者　280人 助成件数　7,588件 助成額　32,864千円	一定所得額未満の75歳未満で身体障害者手帳（1～3級）または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。 対象者　280人 助成件数　7,600件 助成額　34,000千円	一定所得額未満の75歳未満で身体障害者手帳（1～3級）または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、自己負担分を助成する。 対象者　270人 助成件数　7,800件 助成額　35,000千円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

2･福祉医療の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込)	令和7年度(計画)
重度心身障害老人等医療費の助成 担当課 国保医療課	一定所得額未満の後期高齢者医療保険の被保険者で、身体障害者手帳(1～3級)または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、自己負担金分を助成する。	一定所得額未満の後期高齢者医療の被保険者で、身体障害者手帳(1～3級)または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、後期高齢者医療の一部負担金分を助成した。 対象者　295人 助成件数　10,383件 助成額　22,173千円	一定所得額未満の後期高齢者医療の被保険者で、身体障害者手帳(1～3級)または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、後期高齢者医療の一部負担金分を助成した。 対象者　305人 助成件数　10,681件 助成額　23,806千円	一定所得額未満の後期高齢者医療の被保険者で、身体障害者手帳(1～3級)または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、後期高齢者医療の一部負担金分を助成した。 対象者　284人 助成件数　10,323件 助成額　23,198千円	一定所得額未満の後期高齢者医療の被保険者で、身体障害者手帳(1～3級)または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、後期高齢者医療の一部負担金分を助成する。 対象者　300人 助成件数　11,000件 助成額　23,000千円	一定所得額未満の後期高齢者医療の被保険者で、身体障害者手帳(1～3級)または療育手帳を持っている人を対象に、保険診療のうち、後期高齢者医療の一部負担金分を助成する。 対象者　270人 助成件数　10,500件 助成額　23,700千円

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込)	令和7年度(計画)
精神障害者医療費の助成 担当課 国保医療課	自立支援医療(精神通院)の適用を受けた人を対象に、通院医療費の自己負担分を、精神障害者手帳の1･2級所持者を対象に、保険診療のうち、自己負担分をそれぞれ助成する。	国民健康保険、後期高齢者医療および一定所得額未満の社会保険被扶養者で、自立支援医療(精神通院)の適用を受けた人を対象に、通院医療費の自己負担分を、精神障害者手帳の1･2級所持者について、精神通院以外の入･通院に係る自己負担分をそれぞれ助成した。 対象者　172人 助成件数　4,874件 助成額　18,349千円	国民健康保険、後期高齢者医療および一定所得額未満の社会保険被扶養者で、自立支援医療(精神通院)の適用を受けた人を対象に、通院医療費の自己負担分を、精神障害者手帳の1･2級所持者について、精神通院以外の入･通院に係る自己負担分をそれぞれ助成した。 対象者　228人 助成件数　5,166件 助成額　17,159千円	国民健康保険、後期高齢者医療および一定所得額未満の社会保険被扶養者で、自立支援医療(精神通院)の適用を受けた人を対象に、通院医療費の自己負担分を、精神障害者手帳の1･2級所持者について、精神通院以外の入･通院に係る自己負担分をそれぞれ助成した。 対象者　240人 助成件数　6,133件 助成額　20,169千円	国民健康保険、後期高齢者医療および一定所得額未満の社会保険被扶養者で、自立支援医療(精神通院)の適用を受けた人を対象に、通院医療費の自己負担分を、精神障害者手帳の1･2級所持者について、精神通院以外の入･通院に係る自己負担分をそれぞれ助成する。 対象者　270人 助成件数　6,500件 助成額　20,300千円	国民健康保険、後期高齢者医療および一定所得額未満の社会保険被扶養者で、自立支援医療(精神通院)の適用を受けた人を対象に、通院医療費の自己負担分を、精神障害者手帳の1･2級所持者について、精神通院以外の入･通院に係る自己負担分をそれぞれ助成する。 対象者　270人 助成件数　7,400件 助成額　23,000千円

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

2･福祉医療の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
未熟児養育医療費の給付 【★】 担当課 国保医療課	身体の発達が未熟なまま生まれ、入院を必要とする幼児が指定養育医療機関において入院治療を受ける場合に治療に要する医療費のうち自己負担分を除いた医療費について公費により負担する。	身体の発達が未熟なまま生まれ、入院を必要とする幼児が指定養育医療機関において入院治療を受ける場合に治療に要する医療費のうち自己負担分を除いた医療費について公費により負担した。 対象者　13人 助成件数　17件 助成額　1,737千円	身体の発達が未熟なまま生まれ、入院を必要とする幼児が指定養育医療機関において入院治療を受ける場合に治療に要する医療費のうち自己負担分を除いた医療費について公費により負担した。 対象者　7人 助成件数　17件 助成額　1,699千円	身体の発達が未熟なまま生まれ、入院を必要とする幼児が指定養育医療機関において入院治療を受ける場合に、治療に要する医療費のうち自己負担分を除いた医療費について公費により負担した。 対象者　12人 助成件数　20件 助成額　2,327千円	身体の発達が未熟なまま生まれ、入院を必要とする幼児が指定養育医療機関において入院治療を受ける場合に、治療に要する医療費のうち自己負担分を除いた医療費について公費により負担する。 対象者　10人 助成件数　32件 助成額　3,533千円	身体の発達が未熟なまま生まれ、入院を必要とする幼児が指定養育医療機関において入院治療を受ける場合に、治療に要する医療費のうち自己負担分を除いた医療費について公費により負担する。 対象者　10人 助成件数　20件 助成額　2,400千円

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

3･国民年金制度の普及促進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国民年金制度の普及・啓発 担当課 国保医療課	国が行う事務のうち、法定受託事務として、第1号被保険者の資格関係届、保険料免除申請、学生納付特例申請、年金裁定請求などの手続きや相談を行う。また、パンフレットや町広報紙等により納付の促進、免除申請等の周知をはかる。	国が行う事務のうち、第1号被保険者の資格関係届、保険料免除申請、学生納付特例申請、年金裁定請求などの手続きや窓口相談について、法定受託事務として窓口事務を行う。また、パンフレットを窓口に配置し、町広報紙等により納付の促進、免除申請の周知をはかった。	国が行う事務のうち、第1号被保険者の資格関係届、保険料免除申請、学生納付特例申請、年金裁定請求などの手続きや窓口相談について、法定受託事務として窓口事務を行う。また、パンフレットを窓口に配置し、町広報紙等により納付の促進、免除申請の周知をはかった。	国が行う事務のうち、第1号被保険者の資格関係届、保険料免除申請、学生納付特例申請、年金裁定請求などの手続きや窓口相談について、法定受託事務として窓口事務を行う。また、パンフレットを窓口に配置し、町広報紙等により納付の促進、免除申請の周知をはかった。	国が行う事務のうち、第1号被保険者の資格関係届、保険料免除申請、学生納付特例申請、年金裁定請求などの手続きや窓口相談について、法定受託事務として窓口事務を行う。また、パンフレットを窓口に配置し、町広報紙等により納付の促進、免除申請の周知をはかる。	国が行う事務のうち、第1号被保険者の資格関係届、保険料免除申請、学生納付特例申請、年金裁定請求などの手続きや窓口相談について、法定受託事務として窓口事務を行う。また、パンフレットを窓口に配置し、町広報紙等により納付の促進、免除申請の周知をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

4･生活困窮世帯への支援の充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生活困窮世帯に対する相談の実施 担当課 福祉課	生活困窮世帯に対する相談を実施し、生活保護法や生活困窮者自立支援法等に基づいた支援への連携を行う。	生活保護世帯数　178世帯 生活困窮者自立支援法によりサポートセンターや、社会福祉協議会による貸付といった他制度の周知も合わせて行った。	生活困窮者自立支援法によりサポートセンターや、社会福祉協議会による貸付といった他制度の周知も合わせて行った。	生活困窮者自立支援法によりサポートセンターや、社会福祉協議会による貸付といった他制度の周知も合わせて行った。	生活困窮者自立支援法によりサポートセンターや、社会福祉協議会による貸付といった他制度の周知も合わせて行う。	生活困窮者自立支援法によりサポートセンターや、社会福祉協議会による貸付といった他制度の周知も合わせて行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１４・安定した社会保障制度の運営

5・互いに支え合えるネットワークの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域福祉計画の推進 【再掲】 担当課 福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画・障害者福祉計画などの各計画と連携し、地域福祉の推進に関する事項を定めた地域福祉計画の進捗管理を行うなかで、地域福祉に関する施策を総合的・計画的にすすめる。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行った。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行った。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行った。 また、第2期斑鳩町地域福祉計画を策定した。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行う。	斑鳩町地域福祉計画の進捗管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
民生児童委員活動の支援 【再掲】 担当課 福祉課	地域ぐるみでの福祉活動を推進するため、社会福祉の増進を目的とする民生児童委員活動に対し、民生児童委員および民生児童委員協議会へその活動費を県補助金を基準として助成する。	町民生児童委員協議会補助 267,400円 民生児童委員活動助成 2,769,200円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 0円 群民生児童委員連合会会費 47,000円 県民生児童委員連合会会費 263,200円	町民生児童委員協議会補助 289,300円 民生児童委員活動助成 2,649,200円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 0円 群民生児童委員連合会会費 47,000円 県民生児童委員連合会会費 310,200円 民生委員児童委員一斉改選 任期：R4.12.1～R7.11.30 定数47人中41名委嘱	町民生児童委員協議会補助 289,300円 民生児童委員活動助成 2,468,200円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 159,092円 群民生児童委員連合会会費 47,000円 県民生児童委員連合会会費 310,200円	町民生児童委員協議会補助 289,300円 民生児童委員活動助成 2,829,400円 （年60,200円/人） 民生児童委員研修費助成 714,000円 群民生児童委員連合会会費 94,000円 県民生児童委員連合会会費 310,200円	民生委員児童委員一斉改選 任期：R7.12.1～R10.11.30 定数47人

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１４・安定した社会保障制度の運営

5･互いに支え合えるネットワークの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
社会福祉協議会との連携 【再掲】 担当課 福祉課	民生委員活動の支援、小地域福祉会や各種ボランティア団体の支援、生活福祉資金の貸付などの社会福祉事業を実施する社会福祉協議会との連携により、誰もが温かいふれあいの中で、自立した生活がおくれるよう、地域ぐるみでの福祉活動をすすめるため、社会福祉協議会に対し補助金を交付する。	斑鳩町社会福祉協議会に36,500千円の補助を行った。	斑鳩町社会福祉協議会に29,295千円の補助を行った。	斑鳩町社会福祉協議会に29,137千円の補助を行った。	斑鳩町社会福祉協議会に30,127千円の補助を行う。	斑鳩町社会福祉協議会に補助を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
包括的支援体制の構築 担当課 福祉課	制度や分野の縦割りの解消にむけた推進体制の構築をすすめるため、社会福祉協議会内にCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、制度の狭間にいる人に必要なサービスへつなぐための包括的支援体制を構築する。	社会福祉協議会内にCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、制度の狭間にいる人に必要なサービスへつなぐための包括的支援体制の構築をはかった。	社会福祉協議会内にCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、制度の狭間にいる人に必要なサービスへつなぐための包括的支援体制の構築をはかった。	社会福祉協議会内にCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、制度の狭間にいる人に必要なサービスへつなぐための包括的支援体制の構築をはかった。	社会福祉協議会内にCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、制度の狭間にいる人に必要なサービスへつなぐための包括的支援体制の構築をはかる。	社会福祉協議会内にCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、制度の狭間にいる人に必要なサービスへつなぐための包括的支援体制の構築をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

14・安定した社会保障制度の運営

5・互いに支え合えるネットワークの構築

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民の福祉活動への支援 【再掲】 担当課 福祉課	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行う。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただく。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整える。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催する。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行った。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただいた。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整えた。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催した。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行った。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただいた。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整えた。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催した。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行った。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただいた。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整えた。 手話奉仕員養成講座を社会福祉協議会に委託して開催した。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行う。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただく。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整える。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催する。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行う。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただく。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整える。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

15・生涯学習・生涯スポーツの推進

1・生涯にわたって学べる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公民館教室・教養講座の開催 担当課 生涯学習課	生きがいづくりや知識・技術の習得をはかるための生涯学習の機会づくりとして、各公民館において教室・教養講座等を開催する。	公民館教室(18教室) 中央公民館　12教室 東公民館　4教室 西公民館　2教室 生涯学習講座（9講座） 文学講座　7講座 6月8日、7月13日、8月10日 9月14日、10月12日、11月9日 12月14日 生活・経済講座　2講座 10月15日、11月30日	公民館教室(21教室) 中央公民館　16教室 東公民館　2教室 西公民館　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月14日、7月12日、8月9日 9月13日、10月11日、11月8日 12月13日 生活・経済講座　2講座 10月29日、2月18日	公民館教室(25教室) 中央公民館　21教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月13日、7月11日、8月8日 9月12日、10月10日、11月14日、12月12日 生活・経済講座　2講座 6月23日、10月28日	公民館教室(27教室) 中央公民館　23教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活・経済講座　3講座	公民館教室(27教室) 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活・経済講座　2講座

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
満足度	R1年度	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	78.5%	100.0%	83.4%	100.0%	90.0%	100.0%	
	R2年度	100.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公民館まつりの開催 担当課 生涯学習課	公民館教室生の1年間の教室での成果の発表機会づくりとともに教室生相互の交流を深めるため、公民館まつりを開催する。	公民館まつりを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	公民館祭りを開催した。 令和5年3月 12日及び17日～19日	公民館まつりを開催した。 令和6年3月 10日及び15日～17日	公民館まつりを開催する。 令和7年3月 9日及び14日～16日	公民館まつりを開催する。 令和８年3月

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数	R1年度	ー	3,250人／年	3,250人／年	ー	3,250人／年	2,600人／年	3,250人／年	2,886人／年	3,250人／年	3,000人／年	3,250人／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

１５・生涯学習・生涯スポーツの推進

1・生涯にわたって学べる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生涯学習推進活動に対する支援 担当課 生涯学習課	地区住民の学習の機会と学習意欲・連帯意識の向上をはかるとともに、地域力の醸成を推進するため、自治会で実施する生涯学習活動に対し支援を行う。	自治会で実施される生涯学習活動に対し支援を行う。試行的に補助要件を緩和して実施。 補助申請数（9月20日時点） 8自治会　252,000円	自治会が支援を受けやすいように補助要件の緩和も検討し、自治会で実施される生涯学習活動に対し支援を行った。 補助申請数 10自治会　270,000円 補助金決定 8自治会　216,000円 2自治会は、活動縮小のため辞退	自治会が支援を受けやすいように補助要件の緩和も検討し、自治会で実施される生涯学習活動に対し支援を行った。 補助申請数 9自治会　252,000円 補助金決定 7自治会　180,000円 補助金制度をより活用しやすいように補助要件を改正した。	自治会で実施される生涯学習活動に対し支援を行う。 補助申請数（9月末時点） 9自治会　336,000円 1事業　2自治会 2事業　4自治会 3事業　3自治会	自治会で実施される生涯学習活動に対し支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
活動自治会数	R1年度	15自治会	19自治会	19自治会	8自治会	19自治会	8自治会	19自治会	7自治会	19自治会	9自治会	19自治会	
	R2年度	10自治会											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
社会教育指導員の配置 担当課 生涯学習課	社会教育の振興および社会教育を推進する指導層の充実をはかるため、社会教育指導員を公民館等に配置する。	社会教育指導員を配置した。 公民館　4人 中央体育館　1人	社会教育指導員を配置した。 公民館　4人 中央体育館　1人	社会教育指導員を配置した。 公民館　4人 中央体育館　1人	社会教育指導員を配置する。 公民館　3人 中央体育館　1人	社会教育指導員を配置する。 公民館　4人 中央体育館　1人

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
配置人数	R1年度	5人	5人／年	5人／年	4人／年	5人／年	5人／年	5人／年	5人／年	5人／年	4人／年	5人／年	
	R2年度	5人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

１５・生涯学習・生涯スポーツの推進

1・生涯にわたって学べる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
社会教育委員会議の運営 担当課 生涯学習課	社会教育行政に広く地域の意見などを反映し、教育委員会の諮問機関として設置される社会教育委員会議を円滑に運営する。	社会教育委員会議を開催した。 第1回　10月7日 第2回　3月23日	社会教育委員会議を開催した。 第1回　5月10日 第2回　3月23日	社会教育委員会議を開催した。 第1回　12月22日 第2回　 3月22日	社会教育委員会議を開催する。 第1回　12月予定 第2回　 2月末予定	社会教育委員会議を開催する。 第1回　9月頃予定 第2回　2月末予定

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
委員会開催数	R1年度	2回	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	
	R2年度	2回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生涯学習推進計画の推進 担当課 生涯学習課	ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化、高度情報化、国際化などの時代潮流に対応した生涯学習を推進するため、生涯学習推進計画の進捗管理と定期的な見直しを行う。	令和2年度に策定した生涯学習推進計画の進捗を管理した。	令和2年度に策定した生涯学習推進計画の進捗を管理した。	令和2年度に策定した生涯学習推進計画の進捗を管理した。	令和2年度に策定した生涯学習推進計画の進捗を管理し、必要に応じて見直しを行う。	令和2年度に策定した生涯学習推進計画の進捗を管理し、後期の推進計画を作成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１５・生涯学習・生涯スポーツの推進

1・生涯にわたって学べる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
図書館ボランティアの充実と活用 担当課 生涯学習課	読書活動に関わるボランティアが技能を高めるための講座を開催し、町立図書館、学校図書館等で活動する図書ボランティアの充実をはかる。 また、これらのボランティアを図書館事業に積極的に活用していく。	コロナ禍でボランティアが参加可能な図書館行事の開催が少なくなっている中ではあるが、読書活動に関わるボランティアの技能を高めるための講座を開催し、町立図書館で活動する図書ボランティアの充実をはかった。 ボランティア数55人	コロナ禍でボランティアが参加可能な図書館行事の開催が少なくなっている中ではあるが、読書活動に関わるボランティアの技能を高めるための講座を開催し、町立図書館で活動する図書ボランティアの充実をはかった。 ボランティア数58人	読書活動に関わるボランティアの技能を高めるための講座を開催し、町立図書館で活動する図書ボランティアの充実をはかるだけでなく、学校図書館を調査し、ボランティア、学校担当者、図書館で読書支援のあり方に関する意見交換を行った。 ボランティア数58人	読書活動に関わるボランティアの技能を高めるための講座を開催し、町立図書館で活動する図書ボランティアの充実をはかる。 また、これらのボランティアが図書館事業に積極的に参加できるように努める。 ボランティア数62人	読書活動に関わるボランティアの技能を高めるための講座を開催し、町立図書館で活動する図書ボランティアの充実をはかる。 また、これらのボランティアが図書館事業に積極的に参加できるように努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ボランティア参加行事回数	R1年度	46回	65回／年	65回／年	3回／年	65回／年	20回／年	65回／年	42回／年	65回／年	50回／年	65回／年	
	R2年度	0回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
図書館サービスの充実 担当課 生涯学習課	くらしに役立つ図書館サービスの充実をはかり、住民の課題解決に対応したレファレンス（調査相談）や講座、行事を行うとともに、ICTを活用して情報を提供する機能を持った図書館をめざす。また、読書活動の推進において、学校など関係機関との連携をすすめる。	・図書館ホームページや町広報紙を活用し、図書館の情報発信を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら各種行事を実施した。 ・学校、園からの調べ学習に対応し、関係機関との連携をすすめた。 ・町内幼稚園・保育園に通園する5歳児を対象に町立図書館に招待し、絵本の読み聞かせ・本の貸出を行った。	・図書館ホームページや町広報紙を活用し、図書館の利用の拡大と情報発信を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら各種行事を開催した。 ・町内幼稚園・保育園の5歳児を対象に町立図書館に招待し、絵本の読み聞かせ・本の貸出を行った。 ・利用者自身で本の自動（セルフ）貸出が行えるシステムの整備を行った。	・図書館ホームページや町広報紙を活用し、図書館の利用の拡大と情報発信を行った。 ・幼稚園、保育園、小中学校等と連携し、子どもたちの読書の推進をはかった。 ・図書館資料の貸出対象を町内在住・在学・在勤者に変更し、町民がサービスを受けやすい環境を整備した。 ・図書館利用に係る利便性の向上をはかるため運営時間の見直し検討を行った。	・図書館ホームページや町広報媒体を活用し、図書館の利用の拡大と情報発信を行う。 ・図書館システムの更新を行い、機能を充実し、サービスの向上と利用促進をはかる。 ・幼稚園、保育園、小中学校等と連携し、子どもたちの読書の推進をはかる。 ・日曜日の業務開始時間を変更し、図書館利用に係る利便性の向上をはかる。	・図書館ホームページや町広報媒体を活用し、図書館の利用の拡大と情報発信を行う。 ・「斑鳩町子ども読書活動推進計画2030」を策定し、家庭・地域・学校で子どもが本に親しむ環境づくりをすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
貸出冊数	R1年度	295,676冊	360,000冊／年	360,000冊／年	218,881冊／年	360,000冊／年	213,286冊／年	360,000冊／年	216,430冊／年	360,000冊／年	202,000冊／年	360,000冊／年	
	R2年度	156,374冊											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

１５・生涯学習・生涯スポーツの推進

1・生涯にわたって学べる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町立図書館蔵書の充実 【★】 担当課 生涯学習課	住民ニーズに沿った資料の提供ができるよう、町立図書館、公民館図書室の蔵書を充実させる。	・住民ニーズに沿った資料の提供ができるよう、蔵書の充実をはかった。	・住民ニーズに沿った資料の提供ができるよう、蔵書の充実をはかった。 ・利用の多いジャンル（小説、文庫本）の購入を促進した。 ・公民館図書室の出版年の古い本の除籍をすすめ、新刊書が目立つような本棚作りに取り組んだ。	・住民ニーズに沿った資料の提供ができるよう、蔵書の充実をはかった。 ・調査・研究に役立つ蔵書の更新・補強をすすめた。 ・子どもの読書活動を推進するため、児童書の充実に努めた。	・住民ニーズに沿った資料の提供ができるよう、蔵書の充実をはかる。 ・出版年の古い本の除籍をすすめ、蔵書の新鮮化をはかる。	・住民ニーズに沿った資料の提供ができるよう、蔵書の充実をはかる。 ・季節やテーマに応じた図書展示を積極的に行い、利用者の新たな分野への関心を高めるとともに、資料の利用活性化をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
図書館蔵書数（累計）	R1年度	172,376冊	177,000冊	173,000冊	175,078冊	176,000冊	175,871冊	176,000冊	174,766冊	176,000冊	175,000冊	177,000冊	
	R2年度	172,496冊											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
電子図書館サービスの充実 担当課 生涯学習課	自宅のパソコンやタブレット・スマートフォンを使って電子書籍を利用できる電子図書館サービスの普及・充実をはかる。	・自宅のパソコンやタブレット・スマートフォンを使って電子書籍を利用できる電子図書館サービスの普及・充実をはかった。 ・3月末をもって、雑誌記事サービスが終了した。	・自宅のパソコンやタブレット・スマートフォンを使って電子書籍を利用できる電子図書館サービスの普及・充実をはかった。 ・住民からのリクエストをもとに新刊の出版について販売元に要望した。 ・電子図書館に関する広報記事の充実をはかった。 ・新たに電子雑誌の読み放題サービス（DLマガジン）を開始した。	・自宅のパソコンやタブレット・スマートフォンを使って電子書籍を利用できる電子図書館サービスの充実をはかった。 ・サービス普及のための講座「スマホでもっと図書館を使いこなそう！」を開催した。 ・住民からのリクエストを募集し、選書内容に反映させ、電子書籍の充実をはかった。 ・電子雑誌の読み放題サービス（DLマガジン）利用の定着をはかった。	・自宅のパソコンやタブレット・スマートフォンを使って電子書籍を利用できる電子図書館サービスの充実をはかる。 ・引き続きサービス普及のための講座を開催する。 ・住民からのリクエストを募集し、選書内容に反映させる。 ・引き続き電子雑誌の読み放題サービス（DLマガジン）利用の定着をはかる。	・自宅のパソコンやタブレット・スマートフォンを使って電子書籍を利用できる電子図書館サービスの充実をはかる。 ・引き続きサービス普及のための講座を開催する。 ・住民からのリクエストを募集し、選書内容に反映させる。 ・引き続き電子雑誌の読み放題サービス（DLマガジン）利用の定着をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①電子書籍数（累計） ②電子書籍貸出数（冊／年）	R1年度	①8,566冊 ②4,256冊	①14,000冊 ②5,250冊／年	①10,000冊 ②4,650冊／年	①10,000冊 ②4,759冊／年	①11,000冊 ②4,800冊／年	①9,167冊 ②7,298冊／年 （うち電子書籍4,912冊、電子雑誌2,386冊）	①12,000冊 ②5，250冊／年	①9,253冊 ②6,633冊／年 （うち電子書籍4,611冊、電子雑誌2,022冊）	①13,000冊 ②5,250冊／年	①9,148冊 ②6,612冊／年 （うち電子書籍4，548冊、電子雑誌2,064冊）	①14,000冊 ②5,250冊／年	
	R2年度	①9,169冊 ②5,324冊											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	△	継続	△	継続		

15・生涯学習・生涯スポーツの推進

2・生涯スポーツの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生涯スポーツ振興計画の策定 担当課 生涯学習課	誰もが楽しみながら、体力づくりや健康づくりができるスポーツプログラムの提供など、生涯スポーツの推進をはかるための「生涯スポーツ振興計画」を策定する。	「（仮）斑鳩町生涯スポーツ振興計画」について各種会議で意見を徴収する計画だったが、会議は開催しなかった。	「（仮）斑鳩町生涯スポーツ振興計画」について、議論する計画であったが、県内および県外市町村の状況等引き続き調査研究していくこととした。	引き続き、県内および県外市町村の状況等を調査研究を続けた。	引き続き、県内および県外市町村の状況等を調査研究する。	引き続き、県内および県外市町村の状況等を調査研究する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
進捗状況	R1年度	素案検討	素案作成	素案の意見徴収	ー	素案の議論	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	
	R2年度	素案の議論											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	×	継続	ー	継続	ー	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
総合型地域スポーツクラブの支援と連携 担当課 生涯学習課	生涯スポーツ教室を開催している総合型地域スポーツクラブに対して、オブザーバー的な立場として支援を行うとともに、連携をはかり、町の生涯スポーツの振興をはかる。	総合型地域スポーツクラブ「元気クラブいかるが」との連携をはかった。 イベントの開催 ・教室　44教室 ・イベント　20イベント	総合型地域スポーツクラブ「元気クラブいかるが」との連携をはかった。 イベントの開催 ・教室　45教室 ・イベント　7イベント	総合型地域スポーツクラブ「元気クラブいかるが」との連携をはかった。 イベントの開催 ・教室　38教室 ・イベント　21イベント	総合型地域スポーツクラブ「元気クラブいかるが」との連携をはかる。 イベントの開催 ・教室　38教室 ・イベント　21イベント	総合型地域スポーツクラブ「元気クラブいかるが」との連携をはかる。 イベントの開催 ・教室　38教室 ・イベント　21イベント

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
町民1人当たりの年間スポーツ施設利用回数	R1年度	ー	7.7回／年	7.7回／年	7.2回／年	7.7回／年	6.8回／年	7.7回／年	6.3回／年	7.7回／年	7.7回／年	7.7回／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

１５・生涯学習・生涯スポーツの推進

2･生涯スポーツの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
体育協会の支援と連携 担当課 生涯学習課	昭和34年の設立以来、本町におけるスポーツの振興、住民の健康維持･体力の向上、また競技スポーツの推進を目的に活動している体育協会に対する支援を行うとともに、連携することにより、町の生涯スポーツの振興をはかる。	スポーツ協会に対する支援を行うとともに、連携により、町の生涯スポーツの振興をはかった。 スポーツ協会による各種競技大会を11大会開催した。	スポーツ協会に対する支援を行うとともに、連携により、町の生涯スポーツの振興をはかった。 スポーツ協会による各種大会を21大会開催した。	スポーツ協会に対する支援を行うとともに、連携により、町の生涯スポーツの振興をはかった。 スポーツ協会による各種大会を26大会開催した。	スポーツ協会に対する支援を行うとともに、連携により、町の生涯スポーツの振興をはかる。 スポーツ協会主催の各種大会を30大会開催する。	スポーツ協会に対する支援を行うとともに、連携により、町の生涯スポーツの振興をはかる。 スポーツ協会主催の各種大会を30大会開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
町民1人当たりの年間スポーツ施設利用回数	R1年度	ー	7.7回／年	7.7回／年	7.2回／年	7.7回／年	6.8回／年	7.7回／年	6.3回／年	7.7回／年	6.3回／年	7.7回／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
スポーツ推進委員会の運営 担当課 生涯学習課	スポーツ基本法第32条第1項の規定に基づくスポーツ推進委員会の運営を円滑に行うことにより、社会体育の振興をはかる。	スポーツ推進委員会において、「（仮）斑鳩町スポーツ振興計画」の素案について、意見を徴収し、集約する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催しなかった。 県スポーツ推進委員協議会（書面開催）の内容を各委員へ通知した。	スポーツ推進委員会を6月、3月に開催した。 委員会において「仮斑鳩町スポーツ振興計画」素案を議論する計画であったが、県内及び県外市町村の調査状況等確認することとした。 6月24日　第1回スポーツ推進員会を開催（社会体育事業について議論）した。 3月20日　第2回スポーツ推進員会を開催（社会体育事業について議論）した。	スポーツ推進委員会を6月、3月に開催した。 6月23日　第1回スポーツ推進委員会を開催（社会体育事業及びスポーツ推進委員会事業について議論）した。 3月26日　第2回スポーツ推進員会を開催（社会体育事業及びスポーツ推進委員会事業について議論）した。	スポーツ推進委員会を6月、3月に開催する。 6月27日　第1回スポーツ推進委員会を開催（社会体育事業及びスポーツ推進委員会事業について議論）した。 3月　第2回スポーツ推進委員会を開催予定	スポーツ推進委員会を6月、3月に開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
委員会開催数	R1年度	ー	2回／年	2回／年	ー	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

１５・生涯学習・生涯スポーツの推進

2･生涯スポーツの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
スポーツ大会参加に対する支援 担当課 生涯学習課	各種大会に参加される選手に対し、大会での活躍を期待するとともに、選手に対し、激励を兼ね、助成金の支援を行うことにより、社会体育の振興をはかる。	スポーツの推進をはかるため、スポーツ大会参加に対する支援を行う。 郡民体育大会　0人 県民体育大会　0人 国民体育大会　0人 以上の大会については、新型コロナウイルス感染症のため、中止となった。 各種競技全国大会　5人（1団体）	スポーツの推進をはかるため、スポーツ大会参加に対する支援を行った。 郡民体育大会　156人 県民体育大会　113人 国民スポーツ大会　2人 各種競技全国大会　24人	スポーツの推進をはかるため、スポーツ大会参加に対する支援を行った。 郡民体育大会　165人 県民体育大会　103人 国民スポーツ大会　3人 各種競技全国大会　25人	スポーツの推進をはかるため、スポーツ大会参加に対する支援を行う。 郡民体育大会　180人 県民体育大会　120人 国民スポーツ大会　5人 各種競技全国大会　25人	スポーツの推進をはかるため、スポーツ大会参加に対する支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
大会出場者数	R1年度	334人	350人／年	350人／年	25人／年	350人／年	295人／年	350人／年	296人／年	350人／年	330人／年	350人／年	
	R2年度	1人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催 担当課 生涯学習課	令和13年度に奈良県で開催予定の第85回国民スポーツ大会、第30回全国障害者スポーツ大会について、奈良県と連携し、競技大会を開催することで、スポーツの持続的な振興、スポーツや健康づくりの関心の向上をはかる。	日本スポーツ協会において、本大会の実施競技が決定される。 競技開催地選定のため、県が実施するヒアリング・予備調査を受け、競技会場地を検討した。	競技開催地選定のため、県が実施するヒアリング・予備調査を受け、競技会場地を検討し、会場意向調査等を提出した。奈良県よる会場地第1次選定案は未完成となった。	8月31日開催の第3回総会において、競技会場地選定第1次案が承認。第1次選定案では、未決定のため、県および競技団体と開催競技の協議を実施し、競技会開催意向等（第2次）調査表を提出した。 また、奈良県フェンシング協会と会場地の確認を行った。 8月　第3回総会 10月　第3回市町村連絡会議 12月　第2次意向等調査回答	第2次競技会場地選定案（フェンシング競技）について、内諾書交付。第4回常任委員会にて承認され、斑鳩町開催種目は、フェンシング競技が正式決定した。引き続き、県準備室、競技団体と開催に向けた準備をすすめる。 7月　総務企画専門委員会 8月　常任委員会 10月　市町村等連絡会議 11月　3者担当者会議	中央競技団体の正規視察（令和7年度中）にむけた資料作成や視察準備をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１５・生涯学習・生涯スポーツの推進

2･生涯スポーツの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町外プール利用の支援 担当課 生涯学習課	町民の体力増強および健康増進をはかり、水泳振興と福祉の向上に寄与するため、町外プールの利用に対し、利用料金の一部を助成する。			奈良県営プール（まほろば健康パークファミリープール・第2浄化センターファミリープール）および三郷町ウォーターパーク利用者に対して、利用料金の一部を助成した。 利用料金 大人350円、小人100円 交付枚数 県営プール　3,855枚 三郷町プール　1,925枚 助成内容の拡大にむけて検討を行った。	奈良県営プール（まほろば健康パークファミリープール、第2浄化センターファミリープール）の利用料金の一部を助成する。 子育て支援のため、大人１枚に対して小人3人まで無料とする。 利用料金 大人350円、小人100円 交付枚数 県営プール　5,118枚	奈良県営プール（まほろば健康パークファミリープール、第2浄化センターファミリープール）の利用料金の一部を助成する。引き続き、子育て支援のため、大人1枚に対して小人3人までを無料とする。 利用料金 大人350円、小人100円

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
町外プール利用人数	R1年度	県営プール 5,400人／年 三郷町プール 2,500人／年					県営プール 5,400人／年 三郷町プール 2,500人／年	県営プール 3,475人／年 三郷町プール 1,847人／年	県営プール 5,400人／年 三郷町プール 2,500人／年	県営プール 4,044人／年 三郷町プール 利用対象外	県営プール 5,400人／年	
	R2年度											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
							○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
中央体育館あそびの広場の開催 【新規】 担当課 生涯学習課	中央体育館において、毎月第3日曜日の無料開放日に、「あそびの広場」を開催し、子どもたちの体力づくりや子育て世代の交流の場を創出する。				毎月第3日曜日の中央体育館無料開放日に「あそびの広場」を開催する実施計画を作成する。	毎月第3日曜日の中央体育館無料開放日に「あそびの広場」を開催する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加者数	R1年度	600人／年							―	―	600人／年	
	R2年度											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
									―	継続		

15・生涯学習・生涯スポーツの推進

2・生涯スポーツの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
マラソン大会の開催 担当課 生涯学習課	住民の健康・体力づくりを推進し、スポーツへの関心を深めるため「いかるがの里・法隆寺マラソン」「斑鳩三塔健康走ろう会」を開催する。	昨年度開催を延期した第50回いかるがの里・法隆寺マラソンを令和4年2月11日に開催する計画であったが、第50回いかるがの里・法隆寺マラソン、第44回斑鳩三塔健康走ろう会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった また、今大会を一区切りとし、新たなマラソン大会の開催を進めていく。	新たなマラソン大会を開催するために、準備期間として、開催を1年見送った。 以下の内容について、検討する期間とした。 ・マラソン大会名称 ・看板作成 ・コース作成 ・警備計画 ・運営委託 ・コース上住民の同意形成 三塔健康走ろう会代替事業として、いかるが溜池ふれあいファミリージョギングを開催した。	新たなマラソン大会として、第1回いかるがの里聖徳太子マラソンを開催した。 スポーツ振興くじ助成事業を活用した。 〇マラソンの部 令和6年2月11日 ハーフ・10kmコース 〇ファンランの部 令和5年10月9日 3km・6kmコース	第2回いかるがの里聖徳太子マラソン「マラソンの部」「ファンランの部」を開催する。 スポーツ振興くじ助成事業を活用する。 〇マラソンの部 令和7年2月9日 ハーフ・10kmコース 〇ファンランの部 令和6年10月14日 3km・6kmコース	第3回いかるがの里 聖徳太子マラソン「マラソンの部」「ファンランの部」を開催する。 スポーツ振興くじ助成事業を活用する。 〇マラソンの部 令和8年2月8日 ハーフ・10kmコース 〇ファンランの部 令和7年10月13日 3km・6kmコース

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数 ①マラソン ②三塔 （②はR5年度からファンランに変更）	R1年度 ①1,450人 ②1,116人	①2,000人／年 ②1,500人／年	①2,000人／年 ②1,500人／年	①－ ②－	①2,000人／年 ②1,500人／年	①－ ②－	①2,000人／年 ②1,500人／年	①1,106人／年 ②284人／年	①2,000人／年 ②1,500人／年	①2,000人／年 ②456人／年	①2,000人 ②500人／年	
	R2年度 ①0人 ②0人											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	△	継続	〇	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩町とゆかりのある市町とのスポーツ交流の推進 担当課 生涯学習課	友好都市に加え、さまざまな協定を締結している他市町との住民交流を深めるため、スポーツを通した交流事業を実施する。他市町とスポーツ交流を行い、将来を担う子どもたちの交流、親睦をはかる。	①上富田スポーツ交流 ②飯島町スポーツ交流 ③朝来市スポーツ交流（ たたらぎダム湖マラソン） ④姫路市スポーツ交流（姫路城マラソン） ①～③については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止。 ④については、参加にむけて協議した結果、市民優先の大会につき、外部町の参加枠設定が難しいとの結果となり断念。	①上富田スポーツ交流 サッカー交流 8月6日・7日開催 斑鳩FCドリームチップス ②飯島町スポーツ交流 少年野球・少女バレー交流 開催中止 ③朝来市スポーツ交流 たたらぎダム湖マラソン参加 開催中止 ④伊賀市スポーツ交流 伊賀上野シティマラソン参加 11月29日（日）開催	①上富田スポーツ交流 サッカー交流 8月5日・6日開催 斑鳩FCドリームチップス 少年野球交流 8月19日開催 紀州くちくまのマラソン参加 2月4日（日）開催 ②飯島町スポーツ交流 少年野球・少女バレー交流 開催中止 ③伊賀市スポーツ交流 伊賀上野シティマラソン参加 11月26日（日）開催	①上富田スポーツ交流 サッカー交流 8月3日・4日開催 斑鳩FCドリームチップス 少年野球交流 1月来町予定 ②小田原スポーツ交流 小田原尊徳マラソン 3月9日開催予定	①上富田スポーツ交流 スポ少サッカー交流 8月初旬開催予定 スポ少少年野球交流 開催日未定 スポ少バレーボール交流 開催日未定 ②小田原スポーツ交流 小田原尊徳マラソン 3月上旬開催予定

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
交流自治体	R1年度 ―	5自治体／年	5自治体／年	―	5自治体／年	2自治体／年	5自治体／年	2自治体／年	5自治体／年	2自治体／年	2自治体／年	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

15・生涯学習・生涯スポーツの推進

2・生涯スポーツの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
スポーツ人材バンクの充実 担当課 生涯学習課	生涯スポーツの振興をはかるための推進体制の整備として、指導者や活動を支える人材の育成・確保を行うためのスポーツ人材バンクを創設し、制度化することで、指導者の技術、知識をより広めていく。	元気クラブいかるがと連携し、人材発掘をすすめる。 登録スポーツクラブ等スポーツに関わる団体やスポーツ推進委員の活用など幅広く人材を確保し、活用できるよう制度創設にむけ、先進地の事例等の調査をすすめた。	元気クラブいかるがと連携し、人材発掘をすすめた。 登録スポーツクラブ等スポーツに関わる団体やスポーツ推進委員の活用など幅広く人材を確保し、活用できるよう制度創設にむけ、先進地の事例等の調査を引き続き実施した。	元気クラブいかるがと連携し、人材発掘をすすめた。 登録スポーツクラブ等スポーツに関わる団体やスポーツ推進委員の活用など幅広く人材を確保し、活用できるよう制度創設にむけ、先進地の事例等の調査を引き続き実施した。	元気クラブいかるがと連携し、人材発掘を進める。 登録スポーツクラブ等スポーツに関わる団体やスポーツ推進委員の活用など幅広く人材を確保し、活用できるよう制度創設にむけ、先進地の事例等の調査を引き続き実施する。	元気クラブいかるがと連携し、人材発掘を進める。 登録スポーツクラブ等スポーツに関わる団体やスポーツ推進委員の活用など幅広く人材を確保し、活用できるよう制度創設にむけ、先進地の事例等の調査を引き続き実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	制度創設	制度創設案調査	制度創設案調査	制度創設案調査	制度創設案調査	制度調節案調査	制度創設案調査	制度創設案調査	制度創設案調査	制度創設案調査	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
学校体育施設の開放 担当課 生涯学習課	生涯スポーツの振興をはかるため、身近なスポーツ拠点として学校体育施設の活用をはかる。	身近なスポーツ拠点として学校体育施設の活用をはかった。 施設の利用枠を半期ごととし、調整会議を年2回開催する。	身近なスポーツ拠点として学校体育施設の活用をはかった。 施設の利用枠を1年間に見直した。	身近なスポーツ拠点として学校体育施設の活用をはかった。	身近なスポーツ拠点として学校体育施設の活用をはかる。 熱中症対策および施設の利用促進をはかるため、体育館のエアコン使用料の見直しを検討する。	身近なスポーツ拠点として学校体育施設の活用をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
利用回数	R1年度	1,765回	2,000回／年	2,000回／年	2,165回／年	2,000回／年	2,232回／年	2,000回／年	2,042回／年	2,000回／年	2,000回／年	2,000回／年	
	R2年度	1,600回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

15・生涯学習・生涯スポーツの推進

2・生涯スポーツの推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
中央体育館空調設備の整備 担当課 生涯学習課	生涯スポーツの拠点施設として、中央体育館に空調設備を設置し、施設・設備の充実をはかる。		中央体育館アリーナ・サブアリーナ・武道場について、設置する空調設備方式を比較検討し、複写式パネルエアコンの設置を採用する方針を決定した。	中央体育館アリーナ・サブアリーナ・武道場の空調設備設置工事のための設計を行った。	中央体育館アリーナ・サブアリーナ・武道場に空調設備設置工事を実施する。 中央体育館空調設備利用料金について、令和7年度にむけて、利用料金の設定を行うとともに、中央体育館利用区分等の見直しを行う。	中央体育館アリーナ・サブアリーナ・武道場の空調設備運用を開始する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―			―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
						―	継続	―	継続	―	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自主防災組織等の設立の促進と活動支援 【再掲】 【★】 担当課 安全安心課	地域における自主防災体制を確立するとともに、地域防災力の向上にむけ、自主防災組織の活動を支援する。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行った。 ・斑鳩町協働のまちづくり活動提案事業のテーマとして、「地域防災向上サポート事業」を募集テーマとして需要の有無を検討したが、応募がなかった。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行った。 ・自主防災組織に、11月23日の校区別防災訓練に参加してもらった。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行った。 ・自主防災連絡会の設立および活動を支援し、自主防災組織の団体間での連携強化をはかった。 ・自主防災連絡会に対し、11月11日の校区別防災訓練に参加を促した。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行う。 ・自主防災連絡会の自主的な活動を支援し、自主防災組織の団体間での連携強化をはかる。 ・自主防災連絡会に対し、11月10日の校区別防災訓練に参加を促す。	・自主防災組織未結成団体に対し、出前講座の実施や防災訓練の見学を通じ、設立にむけた支援を行う。 ・自主防災連絡会の自主的な活動を支援し、自主防災組織の団体間での連携強化をはかる。 ・自主防災連絡会に対し、校区別防災訓練に参加を促す。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
自主防災組織結成数（累計）	R1年度 28団体 R2年度 30団体	40団体	31団体	31団体	32団体	30団体	31団体	30団体	31団体	37団体	40団体	
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			△	継続	△	継続	△	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民の環境保全活動への支援 【再掲】 担当課 環境対策課	環境保全分野で活動するNPO・ボランティアの活動を支援する。また、自然を回復する取組みについても支援を行うとともに、衛生害虫の駆除に対する支援を行う。	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・親子環境教室（ソーラーランタン教室） ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩の開催 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：29件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩2022の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：28件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ2023斑鳩の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：30件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。 補助件数：14件 （9月末時点）	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ― R2年度 1団体	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
敬老会の開催 【再掲】 担当課 福祉課	多年にわたり社会に尽くされた高齢者を敬愛し、長寿を祝うための敬老会を高齢者のニーズに対応した形で開催する。また、米寿の高齢者と結婚50年夫婦に対し記念品を、百歳を迎える高齢者には祝金を贈呈する。	記念品贈呈式の実施 新型コロナウイルス感染防止の観点から敬老会の開催を中止し、記念品贈呈式を実施。 実施日　9月17日（金） 実施場所 斑鳩町地下大会議室 対象者　米寿　144人 結婚50年夫婦　48組 参加者　米寿　8人 結婚50年夫婦　4組 百歳祝金　14人	敬老会の開催 開催日　9月17日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール 参加対象者　7,468人 百歳祝金　7人 米寿記念品　156人 結婚50年記念品　53組	敬老会の開催 開催日　9月16日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール 参加対象者　7,459人 百歳祝金　7人 米寿記念品　185人 結婚50年記念品　54組	敬老会の開催 開催日　9月14日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール 参加対象者　7,487人 百歳祝金　6人 米寿記念品　207人 結婚50年記念品　32組	敬老会の開催 開催日　9月13日（土） 開催場所　いかるがホール大ホール

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加率	R1年度 8.9%	10.0%	―	―	10.0%	4.0%	10.0%	4.0%	10.0%	4.6%	10.0%	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生き生きプラザ斑鳩の活用 【再掲】 担当課 福祉課	すべての高齢者を対象に、生き生きプラザ斑鳩を拠点とし介護予防や認知症予防等の知識の普及・啓発を目的に健康教育や講演会等を実施し、高齢者の健康の保持増進をはかる。	運動機能向上教室 月1回　4コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年12回 認知症予防教室 介護予防リーダー・サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 月2回 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室 介護予防リーダー・サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 年24回　2コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室　24回　2コース 介護予防リーダー・サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 年24回　2コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室　24回　2コース 介護予防リーダー・サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回	運動機能向上教室 年24回　2コース 3か月（12回）集中　4コース 栄養改善教室　年6回 口腔機能向上教室　年8回 認知症予防教室　24回　2コース 介護予防リーダー・サポーター養成講座 介護予防講演会等 地域包括支援センター相談 認知症カフェ　月1回 いきいき百歳体操　週1回

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
開催事業数	R1年度 9事業	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	10事業／年	
	R2年度 10事業											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
老人クラブ活動の支援 【再掲】 担当課 福祉課	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行う。	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行った。 ・適正クラブ（50人以上） 3クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 16クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行った。 ・適正クラブ（50人以上） 3クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 10クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行った。 ・適正クラブ（50人以上） 2クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 9クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行う。 ・適正クラブ（50人以上） 1クラブ ・小規模適正クラブ（30人以上50人未満） 9クラブ	高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動を積極的かつ自主的に行っている老人クラブ活動に対して、助成を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
老人クラブ会員数	R1年度	1,328人	1,200人／年	1,200人／年	1,005人／年	1,200人／年	819人／年	1,200人／年	685人／年	1,200人／年	641人／年	1,200人／年	
	R2年度	1,160人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩町とゆかりのある市町とのスポーツ交流の推進 【再掲】 担当課 生涯学習課	友好都市に加え、さまざまな協定を締結している他市町との住民交流を深めるため、スポーツを通した交流事業を実施する。他市町とスポーツ交流を行い、将来を担う子どもたちの交流、親睦をはかる。	①上富田スポーツ交流 ②飯島町スポーツ交流 ③朝来市スポーツ交流（ たたらぎダム湖マラソン） ④姫路市スポーツ交流（姫路城マラソン） ①～③については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止。 ④については、参加にむけて協議した結果、市民優先の大会につき、外部町の参加枠設定が難しいとの結果となり断念。	①上富田スポーツ交流 サッカー交流 8月6日・7日開催 斑鳩FCドリームチップス ②飯島町スポーツ交流 少年野球・少女バレー交流 開催中止 ③朝来市スポーツ交流 たたらぎダム湖マラソン参加 開催中止 ④伊賀市スポーツ交流 伊賀上野シティマラソン参加 11月29日（日）開催	①上富田スポーツ交流 サッカー交流 8月5日・6日開催 斑鳩FCドリームチップス 少年野球交流 8月19日開催 紀州くちくまのマラソン参加 2月4日（日）開催 ②飯島町スポーツ交流 少年野球・少女バレー交流 開催中止 ③伊賀市スポーツ交流 伊賀上野シティマラソン参加 11月26日（日）開催	①上富田スポーツ交流 サッカー交流 8月3日・4日開催 斑鳩FCドリームチップス 少年野球交流 1月来町予定 ②小田原スポーツ交流 小田原尊徳マラソン 3月9日開催予定	①上富田スポーツ交流 スポ少サッカー交流 8月初旬開催予定 スポ少少年野球交流 開催日未定 スポ少バレーボール交流 開催日未定 ②小田原スポーツ交流 小田原尊徳マラソン 3月上旬開催予定

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
交流自治体	R1年度	―	5自治体／年	5自治体／年	―	5自治体／年	2自治体／年	5自治体／年	2自治体／年	5自治体／年	2自治体／年	2自治体／年	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
自治会の活性化 担当課 総務課	住民と行政との協働のまちづくりを推進するため、自治会連合会への支援および自治会への助成を継続して実施し、住民のコミュニティ活動を支援する。また、広報等を通じて自治会加入促進をはかるためのPRを行う。	自治会および自治会連合会への助成の実施等を通じて、住民のコミュニティ活動を支援した。コロナ禍の中、昨年度に引き続き、手指消毒液等感染症対策物品の配布や、書面決議による自治会総会の運営支援等を行った。 町広報紙等を通じて自治会加入のPRを行った。 自治会加入啓発チラシの活用について、自治会連合会総会資料等で周知した。	自治会および自治会連合会への助成の実施等を通じて、住民のコミュニティ活動を支援した。 町広報紙等を通じて自治会加入のPRを行った。 自治会加入啓発チラシの活用について、自治会連合会総会資料等で周知した。	自治会および自治会連合会への助成の実施等を通じて、住民のコミュニティ活動を支援した。 町広報紙等を通じて自治会加入のPRを行った。 自治会加入啓発チラシの活用について、自治会連合会総会資料等で周知した。	自治会および自治会連合会への助成の実施等を通じて、住民のコミュニティ活動を支援する。 町広報紙等を通じて自治会加入のPRを行う。 自治会加入啓発チラシの活用について、自治会連合会総会資料等で周知する。	自治会および自治会連合会への助成の実施等を通じて、住民のコミュニティ活動を支援する。 町広報紙等を通じて自治会加入のPRを行う。 自治会加入啓発チラシの活用について、自治会連合会総会資料等で周知する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
自治会加入率	R1年度	69.8%	70.0%	70.0%	67.4%	70.0%	65.6%	70.0%	63.6%	70.0%	63.6%	70.0%	
	R2年度	68.3%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民の福祉活動への支援 担当課 福祉課	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行う。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただく。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整える。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催する。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行った。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただいた。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整えた。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催した。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行った。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただいた。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整えた。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催した。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行った。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただいた。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整えた。 手話奉仕員養成講座を社会福祉協議会に委託して開催した。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行う。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただく。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整える。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催する。	社会福祉協議会を通してボランティアの活動の助成を行う。 療育教室において退室した父母を中心にボランティアで協力いただく。 介護予防教室においてもボランティアが活動しやすい環境を整える。 手話奉仕員養成講座および要約筆記者体験講座を社会福祉協議会に委託して開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域集会所施設整備等の支援 【★】 担当課 総務課	地域住民の福祉の増進と地域コミュニティの育成をはかるため、自治会等が行う地域集会所の整備に対し、地域集会所施設整備費等補助金を交付する。	自治会等が行う地域集会所の整備に対し、地域集会所施設整備費等補助金を交付した。	自治会等が行う地域集会所の整備に対し、地域集会所施設整備費等補助金を交付した。	自治会等が行う地域集会所の整備に対し、地域集会所施設整備費等補助金を交付した。	自治会等が行う地域集会所の整備に対し、地域集会所施設整備費等補助金を交付する。 現行の斑鳩町地域集会所施設整備費等補助金交付要綱の一部見直しについて検討する。	自治会等が行う地域集会所の整備に対し、地域集会所施設整備費等補助金を交付する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
成人式の開催 担当課 生涯学習課	成人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青少年を祝い励ますため成人式を開催する。	成人式の開催 開催日　令和4年1月10日 対象人数　237人	二十歳のつどいの開催 開催日　令和5年1月9日 対象人数　約250人 民法改正にともない、令和4年4月より、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、対象者ならびにその家族への影響を考慮し、「成人式」から「二十歳のつどい」に名称を変更し、当該年度に20歳になる者を対象に実施した。	二十歳のつどいの開催 開催日　令和6年1月8日 対象人数　278人 参加者数　217人	二十歳のつどいの開催 開催日　令和7年1月13日 対象人数　274人 （9月末時点）	二十歳のつどいの開催 開催日　令和8年1月12日（予定）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加率	R1年度	77.9%	80.0%	80.0%	79.2%	80.0%	75.9%	80.0%	78.1%	80.0%	80.0%	80.0%	
	R2年度	80.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
友好都市交流の推進 担当課 都市創生課	住民が郷土愛と誇りをもち、斑鳩の良さを再認識できる機会とするため、友好都市提携各町が主催する物産展の出展をはじめとした交流活動を促進する。	例年開催されている、長野県飯島町、兵庫県太子町、大阪府太子町での物産イベントは新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。 令和4年度に迎える「太子ゆかりの地友好都市提携」締結25周年にむけ、記念事業の実施等について、協議・調整を行った。	9月3日「太子ゆかりの地友好都市提携」締結25周年事業（兵庫県太子町） 11月3日 太子あすかふるさとまつり（兵庫県太子町） 11月13日 ふれあいTAISHI2022（大阪府太子町） 11月19日 いいちゃん産業まつり（長野県飯島町）	11月3日 太子あすかふるさとまつり（兵庫県太子町） 11月11日 いいちゃん産業まつり（長野県飯島町） 姫路お城まつり（兵庫県姫路市） 11月12日 ふれあいTAISHI2023（大阪府太子町）	11月3日 太子あすかふるさとまつり（兵庫県太子町） 11月10日 ふれあいTAISHI2024（大阪府太子町） 11月16日 いいちゃん産業まつり（長野県飯島町）	11月 太子あすかふるさとまつり（兵庫県太子町） ふれあいTAISHI2025（大阪府太子町） いいちゃん産業まつり（長野県飯島町） 姫路お城まつり（兵庫県姫路市）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
地域交流館建設計画の推進 担当課 総務課	地域住民による多種多様なコミュニティ活動を支援し、住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、広域的な自治会を対象とした地域交流館建設計画を推進する。	龍田西地区において、自治会からの整備要望に基づき、事業計画地の土地所有者への説明を行った。	龍田西地区において、事業計画地の用地買収および建物の設計を行った。	龍田西地区において、地域交流館整備工事を行った。	龍田西地区において、地域交流館整備工事が完了し、供用を開始した。	

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
地域交流館の新規建設箇所数（累計）	R1年度	0箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所		
	R2年度	0箇所											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	◎	完了		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ふれあい交流センターいきいきの里の活用 担当課 福祉課	住民の健康づくりやふれあいの場づくりをすすめるため、多世代間の交流拠点としてふれあい交流センターいきいきの里の充実を行う。	利用者実績 入館者数　20,6880人 娯楽室利用者　0人 小広間利用者　0人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入浴のみ、町内利用のみに利用制限を行っている。	利用者実績 入館者数　19,715人 娯楽室利用者　0人 小広間利用者　0人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入浴のみ、町内利用のみに利用制限を行った。 空調換気設備更新工事を行い指定避難所における新型コロナウィルス感染症対策として、空調循環等の機能向上をはかった。	施設の修理等を行いながら、維持管理に努め、いきいきの里の円滑な運営を行った。また、斑鳩町地球温暖化対策実行計画に基づき、照明設備のLED化改修工事を行った。 利用実績 入館者数　25,846人 娯楽室利用者　0人 小広間利用者　71人 令和5年5月9日(火曜日)から町外在住者の利用も再開した。	施設修理等を行いながら、維持管理に努め、いきいきの里の円滑な運営を行う。 利用実績 入館者数　12,104人 娯楽室利用者　0人 小広間利用者　15人 （9月末時点）	施設修理等を行いながら、維持管理に努め、いきいきの里の円滑な運営を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
入館者（娯楽室、小広間は除く）	R1年度	31,612人	35,000人／年	35,000人／年	20,688人／年	35,000人／年	19,715人／年	35,000人／年	25,846人／年	35,000人／年	24,000人／年	35,000人／年	
	R2年度	13,000人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
行政出前講座の実施 担当課 総務課	住民参加のまちづくりを促進するため、町職員が地域に出向き、行政出前講座を実施する。	行政出前講座を実施した。	行政出前講座を実施した。	行政出前講座を実施した。	行政出前講座を実施する。	行政出前講座を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
行政出前講座の実施回数	R1年度	29回	40回／年	40回／年	9回／年	40回／年	10回／年	40回／年	14回／年	40回／年	20回／年	40回／年	
	R2年度	8回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	△	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
参加と協働のまちづくりの推進 【再掲】 【★】 担当課 政策財政課	斑鳩町協働のまちづくり条例および斑鳩町協働のまちづくり指針に基づき、住民活動センターの運営や活動提案制度の充実など、住民と行政の協働をすすめる。	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施 （1事業）	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施 （2事業）	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施 （2事業）	・住民活動センターの運営 ・開設時間等の変更 【受付時間変更前】 午前9時～正午、午後1時～4時 【受付時間変更後】 午前10時～正午、午後1時～3時 ・住民活動提案事業の実施（3事業） ・令和7年度事業募集にむけた活動提案事業補助要綱の改正	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
法隆寺iセンターの充実 【再掲】 担当課 都市創生課	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の強化をはかるため、法隆寺iセンターの設備や機能等の充実にむけ、引き続き奈良県と協議をすすめる。また、法隆寺iセンターの観光情報発信拠点として、新たな情報発信コンテンツの充実をはかる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめた。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、奈良県により、法隆寺iセンターのエレベーターの更新を行った。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、奈良県により、法隆寺iセンターの観光案内カウンターの更新を行った。	・民間活力を施設運営、観光振興に活用し、持続可能な観光地づくりを推進するため、法隆寺iセンターの指定管理者について、公募型プロポーザル方式により業者選定を行う。 ・奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめる。また、法隆寺iセンターの情報発信コンテンツの充実をはかるため、指定管理者と新たな取り組みについて協議、検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
観光客の利用者数	R1年度	86,366人	72,500人／年	72,500人／年	43,876人／年	72,500人／年	66,712人／年	72,500人／年	76,260人／年	72,500人／年	70,000人／年	72,500人／年	
	R2年度	34,909人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

１６・住民活動と協働の推進

1・住民活動の推進によるコミュニティの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩町文化振興センターの充実 【再掲】 担当課 都市創生課	文化・芸術活動の拠点施設として、斑鳩町文化振興センター（いかるがホール）の施設・設備の充実をはかる。	・大ホールの舞台諸幕類の更新を行った。 ・空調設備更新（2階研修室・和室・楽屋等）を行った。 ・トイレ洋式化・感染症対策等の改修を行った。	・小ホールの音響設備の更新を行った。	・小ホールの照明設備の取替を行った。 ・いかるがホール照明設備のLED化を行った。	・小ホールの床改修を行う。 ・いかるがホール照明設備のLED化を行う。（大ホールホワイエ、バックヤード）	・空調機器の修繕を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
施設稼働率	R1年度	66.4%	80.0%	80.0%	32.8%	80.0%	37.9%	80.0%	40.4%	80%	50%	80%	
	R2年度	27.7%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	△	継続	△	継続		

１６・住民活動と協働の推進

2･多様な主体との協働

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
参加と協働のまちづくりの推進 【★】 担当課 政策財政課	斑鳩町協働のまちづくり条例および斑鳩町協働のまちづくり指針に基づき、住民活動センターの運営や活動提案制度の充実など、住民と行政の協働をすすめる。	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施 （1事業）	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施 （2事業）	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施 （2事業）	･住民活動センターの運営 ･開設時間等の変更 【受付時間変更前】 午前9時～正午、午後1時～4時 【受付時間変更後】 午前10時～正午、午後1時～3時 ･住民活動提案事業の実施（3事業） ･令和7年度事業募集にむけた活動提案事業補助要綱の改正	住民活動センターの運営 住民活動提案事業の実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公民連携（官民連携）の推進 担当課 政策財政課	多様化する地域の課題や町民ニーズに対応するため、民間事業者と積極的に協働し、公民連携（官民連携）による質の高い公共サービスの創出に努める。	多様化する公共サービスへのニーズに対応するため、公民連携による質の高い公共サービスの創出を検討した。	「斑鳩町と日本郵便（株）との包括連携に関する協定」締結（7月19日）	NPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」締結（6月21日） 「斑鳩町とNara Great Buddhersとの連携協力に関する協定」締結（7月4日） （株）MSTアシストと「災害時における緊急通行妨害車両等の排除業務に関する協定」提結（9月22日） 大和信用金庫と「脱炭素社会に向けた取組みにかかる連携協定」締結（2月27日）	多様化する公共サービスへのニーズに対応するため、公民連携による質の高い公共サービスの創出を検討する。	多様化する公共サービスへのニーズに対応するため、公民連携による質の高い公共サービスの創出を検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１６・住民活動と協働の推進

2･多様な主体との協働

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
官学連携の推進 担当課 政策財政課	官学連携により、豊かな知的資源や人的資源を幅広い分野で生かす取組みを推進する。	魅力あるまちづくりをすすめるため、官学連携による豊かな知的資源や人的資源を幅広い分野で生かすことを検討した。	魅力あるまちづくりをすすめるため、官学連携による豊かな知的資源や人的資源を幅広い分野で生かすことを検討した。	魅力あるまちづくりをすすめるため、官学連携による豊かな知的資源や人的資源を幅広い分野で生かすことを検討した。	魅力あるまちづくりをすすめるため、官学連携による豊かな知的資源や人的資源を幅広い分野で生かすことを検討する。	魅力あるまちづくりをすすめるため、官学連携による豊かな知的資源や人的資源を幅広い分野で生かすことを検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

17・男女共同参画社会の推進

1・男女共同参画の意識形成

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
男女共同参画推進計画の推進 担当課 政策財政課	第3次男女共同参画推進計画を推進し、「女と男がともに輝いて暮らせる男女共同参画のまちづくり」をめざす。男女共同参画推進委員会を開催し、実施計画の進捗管理等を行う。また、令和6年度に住民アンケート調査を実施し、令和7年度に第4次男女共同参画推進計画を策定する。	第3次斑鳩町男女共同参画推進計画実施計画の進捗管理を行った。 2月8日～21日（書面開催）	第3次斑鳩町男女共同参画推進計画実施計画の進捗管理を行った。 開催日：2月24日	男女共同参画推進委員会を開催し、第3次男女共同参画推進計画実施計画の進捗管理を行った。 開催日：2月22日	男女共同参画推進委員会を開催し、第4次男女共同参画推進計画策定にむけたアンケート調査の内容を審議した。 開催日：8月5日 第4次男女共同参画推進計画策定にむけたアンケート調査を実施する。	男女共同参画推進委員会を開催し、第4次男女共同参画推進計画を策定する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
委員会開催回数	R1年度	1回	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	5回／年	
	R2年度	1回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
男女共同参画の啓発 【★】 担当課 政策財政課	男女がお互いの人権を尊重し、その個性や能力を社会のあらゆる場面で発揮できるよう、男女双方の意識改革を促すための啓発活動を行い、さらにワーク・ライフ・バランスの推進をはかる。	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 女性のための就業セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　図書館） 【企業への啓発】 商工会等窓口設置依頼 【その他】 女性活躍推進セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 女性活躍推進セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 女性活躍推進セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 啓発リーフレットの作成

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
啓発活動回数 ①町広報紙 ②その他	R1年度	①2回 ②5回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ③4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	
	R2年度	①2回 ②4回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	見直し		

17・男女共同参画社会の推進

1・男女共同参画の意識形成

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
婦人会に対する支援 担当課 生涯学習課	男女共同参画社会の推進および婦人団体活動の発展のため、婦人会に対する支援を行う。	婦人会に対する支援を行った。 補助金交付　241千円 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動縮小	婦人会に対する支援を行った。 補助金交付　341千円	婦人会に対する支援を行った。 補助金交付　341千円	婦人会に対する支援を行う。 補助金交付　341千円	婦人会に対する支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
女性のエンパワーメント活動の支援 担当課 政策財政課	男女共同参画社会推進住民グループが実施する男女共同参画社会づくりセミナーに、エンパワーメント補助金の交付と広報活動の支援を行う。	男女共同参画社会推進住民グループが実施する男女共同参画社会づくりセミナーに、エンパワーメント補助金の交付と広報活動の支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、セミナーが開催されなかった。	男女共同参画社会推進住民グループが実施する男女共同参画社会づくりセミナーに、エンパワーメント補助金の交付と広報活動の支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、セミナーが開催されなかった。	女性のエンパワーメント活動の支援を行う予定であったが、支援をしてきた住民グループが解散したため、実績なし。	男女共同参画社会づくりセミナーを開催する住民グループがあれば、活動の支援を行う。	男女共同参画社会づくりセミナーを開催する住民グループがあれば、活動の支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加者数	R1年度	367人	500人／年	500人／年	―	500人／年	―	500人／年	―	500人／年	―	500人／年	
	R2年度	-											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

17・男女共同参画社会の推進

2･女性活躍の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子ども・子育て支援事業計画の推進 【再掲】 担当課 子育て支援課	子どもの健やかな成長、発達を支え、住民の誰もが地域の子育てに参加できるまちづくりをすすめるため、「第2期子ども・子育て支援事業計画」（令和2～6年）を推進する。	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第2期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議した。 子ども・子育て会議の開催 進捗管理　1回	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第2期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議した。また、令和6年4月の開園にむけて整備を進めている認定こども園の定員設定に関する意見を聴取した。 子ども・子育て会議の開催 進捗管理　1回	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第2期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議する。計画期間が令和6年度末で終了するため、次期計画の策定にむけて、ニーズ調査を実施した。 子ども・子育て会議の開催 1回	次期計画の第3期子ども・子育て支援事業計画を策定する。 母子保健計画等の関連計画と同様に、こども計画も一体的に策定する。 子ども・子育て会議の開催 3回（予定） 子ども向けタウンミーティング 2回 子育てタウンミーティング　1回 パブリックコメント	子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、第3期斑鳩町子ども・子育て支援事業計画「教育・保育の量の見込・確保の内容等」計画値の見直しおよび対応策について審議する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	第2期計画策定	R6計画の見直し	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
男女共同参画の啓発 【再掲】 【★】 担当課 政策財政課	男女がお互いの人権を尊重し、その個性や能力を社会のあらゆる場面で発揮できるよう、男女双方の意識改革を促すための啓発活動を行い、さらにワーク・ライフ・バランスの推進をはかる。	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 女性のための就業セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　図書館） 【企業への啓発】 商工会等窓口設置依頼 【その他】 女性活躍推進セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 女性活躍推進セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 女性活躍推進セミナー	【町広報紙による啓発】 年2回掲載 【パネル・図書展示】 男女共同参画啓発 （6月　生き生きプラザ斑鳩、図書館） 女性に対する暴力防止啓発 （11月　生き生きプラザ斑鳩・図書館） 【企業への啓発】 商工会等へ窓口設置依頼 【その他】 啓発リーフレットの作成

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
啓発活動回数 ①町広報紙 ②その他	R1年度	①2回 ②5回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ③4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	①2回 ②4回	
	R2年度	①2回 ②4回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	見直し		

17・男女共同参画社会の推進

2･女性活躍の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
子育て女性等就業･起業の支援 【★】 担当課 政策財政課	結婚･出産･子育て等で、いったんは仕事から離れた子育て女性等に対し、就職に必要なスキルを身に付け、再就職を支援するスキルアップセミナーや、子育てと仕事の両立や自己実現のために自ら起業する積極的な母親を対象に、起業･経営セミナーなどを開催する。	女性に対する就業支援セミナー等を開催する。 開催予定日 11月8日、15日、22日、29日 フォローアップ 2月14日 ポストコロナにむけて、就業･起業だけでなく、女性があらゆる場面で活躍できるきっかけづくりのセミナーを、令和4年度から男女共同参画の啓発事業として実施する。				

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
セミナー受講者の就業者数	R1年度 7人	5人／年	5人／年	3人／年								
	R2年度 7人											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			△	完了								

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
女性総合相談の実施 担当課 政策財政課	暴力や虐待など、女性に対するさまざまな人権侵害に対して適切な助言が行えるよう、女性問題に関する専門の総合相談窓口を設置する。	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施した。 令和3年度からオンライン相談へ移行。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：8人 延べ人数：20人	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施した。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：3人 延べ人数：3人	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施した。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：2人 延べ人数：2人	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施する。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：3人 延べ人数：6人（9月末時点）	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施する。 相談員　フェミニストカウンセラー

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
相談窓口開設数	R1年度 12回	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	
	R2年度 11回											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

1・人権の擁護と啓発の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
成年後見制度の利用支援 【再掲】 担当課 福祉課	自己の判断による財産管理や契約等が困難な人のうち、親族の援助や資力が見込まれない人について、町長が本人または親族にかわって成年後見等開始審判の申立てを行い、その費用を負担する。	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行った。 町長申立て:0人 審判請求費用助成:0人 成年後見等報酬助成:1名	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行った。 町長申立:1人 審査請求費用助成:0人 成年後見等報酬助成:0人	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を予定していたが、申請がなかった。 町長申立　0人 審査請求費用助成　0人 成年後見等報酬助成　0人	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行う。 町長申立　0人 審査請求費用助成　0人 成年後見等報酬助成　0人 （9月末時点）	町長申立てに関する支援、開始審判の請求に係る費用の助成、成年後見人等に対する報酬の助成を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
権利擁護にかかる相談支援体制の確立 【再掲】 担当課 福祉課	高齢者や障害者に対して、斑鳩町社会福祉協議会と連携し、成年後見人制度や地域福祉権利擁護事業などの周知や相談支援体制を整える。	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援した。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援した。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援した。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援する。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）	社会福祉協議会において権利擁護に関する相談を行う。権利擁護支援センターななつぼしの運営を支援する。（法人後見センターの運営・西和広域6町の共同実施）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

1・人権の擁護と啓発の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
女性総合相談の実施 【再掲】 担当課 政策財政課	暴力や虐待など、女性に対するさまざまな人権侵害に対して適切な助言が行えるよう、女性問題に関する専門の総合相談窓口を設置する。	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施した。 令和3年度からオンライン相談へ移行。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：8人 延べ人数：20人	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施した。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：3人 延べ人数：3人	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施した。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：2人 延べ人数：2人	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施する。 相談員　フェミニストカウンセラー 相談実人数：3人 延べ人数：6人（9月末時点）	カウンセラーによる、女性のあらゆる悩みに関する相談を実施する。 相談員　フェミニストカウンセラー

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
相談窓口開設数	R1年度	12回	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	
	R2年度	11回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
小・中学校人権教育の推進 担当課 教委総務課	特別な教科「道徳」の授業をとおして、児童、生徒の人権問題についての理解と認識を深め、心豊かな人間性を育み、集団や社会とのかかわりについての教育に努める。また、いじめ問題の対策として、命の大切さ、人の痛みがわかる人権教育を推進する。	特別の教科「道徳」による人権教育の推進をはかった。 いじめ問題の対策として、「命の大切さ」、「人の痛みがわかる」人権教育を推進した。	特別の教科「道徳」による人権教育の推進をはかる。 いじめ問題の対策として、「命の大切さ」、「人の痛みがわかる」人権教育を推進した。	特別の教科「道徳」による人権教育の推進をはかった。 いじめ問題の対策として、「命の大切さ」、「人の痛みがわかる」人権教育を推進した。	特別の教科「道徳」による人権教育の推進をはかる。 いじめ問題の対策として、「命の大切さ」、「人の痛みがわかる」人権教育を推進する。	特別の教科「道徳」による人権教育の推進をはかる。 いじめ問題の対策として、「命の大切さ」、「人の痛みがわかる」人権教育を推進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

1・人権の擁護と啓発の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
人権問題職員研修の実施 担当課 住民課	町職員の人権問題に対する資質の向上および人権教育の推進をはかり、人権問題に対して町全体で取り組むための職員研修を実施する。	各種研修等への職員参加 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため 「人権を確かめあう日」一斉集会　中止 差別をなくす町民集会　中止 啓発連協学習会　1人 啓発連協定例学習会　5人	各種研修等への職員参加 「人権を確かめあう日」一斉集会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 差別をなくす町民集会（7月12日開催）　33人 啓発連協学習会　1人 啓発連協定例学習会　7人	各種研修等への職員参加 「人権を確かめあう日」一斉集会は、統一地方選挙のため開催せず 差別をなくす町民集会　23人 啓発連協学習会　1人 啓発連協定例学習会　9人	各種研修等への職員参加 「人権を確かめ合う日」一斉集会　4月11日　16人 差別をなくす町民集会（7月11日開催）　30人 啓発連協学習会　1人 啓発連協定例学習会　9人	各種研修等への職員参加 「人権を確かめ合う日」一斉集会 差別をなくす町民集会 啓発連協学習会 啓発連協定例学習会

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
職員参加数	R1年度	48人	60人／年	60人／年	6人／年	60人／年	41人／年	60人／年	35人／年	60人／年	56人／年	60人／年	
	R2年度	3人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	△	継続	△	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
人権教育の推進 担当課 生涯学習課	人権教育の推進のため「人権教育セミナー」を年6回開催する。	人権教育の推進のため「人権教育セミナー」を年6回開催した。 新型コロナウイルス感染防止対策を行い、参加者を縮小しながら開催した。	人権教育の推進のため「人権教育セミナー」を年6回開催した 第73回全国人権・同和教育研究大会（奈良県大会） 11月26・27日に参加した。	人権教育の推進のため「人権教育セミナー」を年6回開催した。	人権教育の推進のため「人権教育セミナー」を年6回開催する。	人権教育の推進のため「人権教育セミナー」を年6回開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数	R1年度	727人	820人／年	820人／年	564人／年	820人／年	530人／年	820人／年	576人／年	820人／年	620人／年	620人／年	
	R2年度	533人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

1・人権の擁護と啓発の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
パートナーシップ宣誓制度の導入 担当課 住民課	町民一人ひとりが互いの価値観や個性の違いを認め合い、すべての人の人権が尊重され、多様性が認められる共生社会の実現を目指すために、パートナーシップ宣誓制度を導入する。		パートナーシップ宣誓制度の導入にむけての調査研究および制度の策定 関係課との調整	令和5年4月からパートナーシップ宣誓制度を導入した。		

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―			―	―	―	―				
	R2年度											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
					―	継続	―	完了				

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
パートナーシップ宣誓制度の実施 担当課 住民課	町民一人ひとりが互いの価値観や個性の違いを認め合い、すべての人の人権が尊重され、多様性が認められる共生社会の実現を目指すために、パートナーシップ宣誓制度を実施する。			・令和5年4月1日からパートナシップ宣誓制度を導入 ・差別をなくす町民集会（7月11日開催）として講演会を開催　題目：「パートナーシップ宣誓制度について～制度を利用したカップル～」 講師：特定非営利活動法人カラフルブランケッツ理事長 井上 ひとみ 氏 ・ 副理事長 瓜本 淳子 氏 参加者　78名 ・周知啓発チラシ作成　500部 ・宣誓件数　0件	・町広報紙等による周知啓発講演会の開催等、定期的・継続的な啓発イベントの実施を検討 ・他の自治体と連携をはかるため、令和6年11月1日から、パートナーシップ制度自治体間連携ネットワークに加入し、当事者の自治体間における住所異動にともなう手続きの簡素化・負担軽減等をはかる。 ・宣誓件数　0件（9月末時点）	・町広報紙等による周知啓発講演会の開催等、定期的・継続的な啓発イベントの実施を検討 ・パートナーシップ制度自治体間連携の充実・周知をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―					―	―	―	―	―	
	R2年度											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
							―	継続	―	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

1・人権の擁護と啓発の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
人権問題の啓発 担当課 住民課	人権思想の普及、人権意識の高揚をはかるため、差別をなくす町民集会や人権講演会の開催、啓発物品の配付などの街頭啓発を行う。また、インターネット等による中傷や、ヘイトスピーチなど新たな人権侵害も生じていることから、社会情勢に応じた啓発に取り組む。	啓発イベントの実施 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため「人権を確かめあう日」一斉集会と差別をなくす町民集会を中止 ・人権講演会（12月14日） 参加者　104人 街頭啓発等の実施 ・街頭啓発（年2回）は中止したが、町内公共施設に啓発物品を配布 ・広報啓発（年12回）	啓発イベントの実施 ・「人権を確かめあう日」一斉集会　中止 ・差別をなくす町民集会（7月12日）　参加者　112人 ・人権講演会（12月16日）参加者　81名 街頭啓発等の実施 ・街頭啓発（年2回）7月は中止し、町内公共施設に啓発物品を配布、12月は産業まつり会場にて実施 ・広報啓発（年12回）	啓発イベントの実施 ・「人権を確かめあう日」一斉集会　統一地方選挙のため中止 ・差別をなくす町民集会（7月11日）参加者　78名 ・人権講演会（12月8日）　参加者　89名 街頭啓発の実施 ・街頭啓発（年2回） ・広報啓発（年12回）	啓発イベントの実施 ・「人権を確かめあう日」県内一斉集会（生駒郡・4月11日三郷町で開催）参加者 28人（全体178人） ・差別をなくす町民集会（7月11日）　参加者　87人 ・人権講演会（12月13日開催予定） 街頭啓発の実施 ・街頭啓発（年2回） ・広報啓発（年12回）	啓発イベントの実施 ・「人権を確かめ合う日」一斉集会（生駒郡・4月11日予定・斑鳩町で開催） ・差別をなくす町民集会（7月11日予定） ・人権講演会 街頭啓発の実施 ・街頭啓発（年2回） ・広報啓発（年12回）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
啓発回数 ①イベント ②街頭啓発等	R1年度	①2回 ②14回	①3回 ②14回	①3回 ②14回	①1回 ②14回	①3回 ②14回	①2回 ②14回	①2回 ②14回	①2回 ②14回	①3回 ②14回	①3回 ②14回	①3回 ②14回	
	R2年度	①1回 ②14回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民相談等の実施 担当課 住民課	住民が抱えている諸問題に対し、問題解決への助言を行うため、専門家による無料法律相談・行政相談・人権相談を実施する。	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　179件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　80件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　0件 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン相談用のタブレット端末を導入	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　191件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　24件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　3件	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　184件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　5件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　2件	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　122件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　8件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　1件 （9月末時点）	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
相談窓口開設数	R1年度	59回	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	
	R2年度	55回											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

2･非核平和の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
平和展の開催 担当課 生涯学習課	住民一人ひとりが平和の尊さを改めて考える機会として、町立図書館で関連資料の展示を行う。	平和展の開催 ･開催期間　8月1日～30日 ･開催場所　町立図書館 ･内容　　平和をテーマにした図書資料の展示	平和展の開催 ･開催期間　8月1日～31日 ･開催場所　町立図書館 ･内容　　平和をテーマにした図書資料の展示	平和展の開催 ･開催期間　8月2日～31日 ･開催場所　町立図書館 ･内容　　平和をテーマにした図書資料の展示	平和展の開催 ･開催期間　8月1日～31日 ･開催場所　町立図書館 ･内容　　平和をテーマにした図書資料の展示	平和展の開催 ･開催期間　8月1日～31日 ･開催場所　町立図書館 ･内容　　平和をテーマにした図書資料の展示

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

3･多文化共生の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
国際化教育の推進 【再掲】 【★】 担当課 教委総務課	中学校2校に1名のALTを、小学校に1名ずつのALTを配置し、小中連携教育推進委員会英会話部による英語のコミュニケーション能力の育成をはかり、児童・生徒などの英語や異文化に対する興味、関心を高める。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかった。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかった。 小中学校において海外の学校とのオンライン学習を実施した。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかった。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかった。 CanDoリストにおける話すことについて実践を行った。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかった。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかった。 中学校において、外国人留学生を相手に英語で法隆寺を案内する「法隆寺案内学習」を実施した。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置した。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかる。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかる。 斑鳩南中学校において、台湾の中学生を受け入れ、生徒間交流を行う。	ALTを小学校に3名、中学校に1名配置する。 小中連携教育の推進、英会話部において英語によるコミュニケーション能力の育成をはかる。 小学校英語教科化が実施されたことにより、英会話部において授業用教材の作成、また教員の指導スキルの向上をはかる。 小中学校において海外の学校とのオンライン学習を実施する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民相談等の実施 【再掲】 担当課 住民課	住民が抱えている諸問題に対し、問題解決への助言を行うため、専門家による無料法律相談・行政相談・人権相談を実施する。	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　179件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　80件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　0件 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン相談用のタブレット端末を導入	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　191件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　24件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　3件	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　184件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　5件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　2件	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 相談件数　122件 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 相談件数　8件 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施 相談件数　1件 （9月末時点）	無料法律相談　毎月3回 第2・第3・第4火曜日に実施 行政相談　毎月1回 第1火曜日に実施 人権相談　毎月1回 第2水曜日に実施

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
相談窓口開設数	R1年度 59回	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	60回／年	
	R2年度 55回											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

１８・人権・平和社会・多文化共生

3･多文化共生の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ホームページの多言語化 担当課 総務課	町内在住の外国人の方への行政サービス等の情報提供の充実をはかるため、ホームページに掲載している情報を多言語化して提供する。	町ホームページ情報を、英語、韓国語、中国語の3か国語表記により提供した。	町ホームページ情報を、英語、韓国語、中国語の3か国語表記により提供した。	町ホームページ情報を、英語、韓国語、中国語の3か国語表記により提供した。	町ホームページ情報を、英語、韓国語、中国語の3か国語表記により提供する。	町ホームページ情報を、英語、韓国語、中国語の3か国語表記により提供する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

1・地域ぐるみの観光ブランド力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
総合的な観光推進体制の戦略的な展開・推進 【★】 担当課 都市創生課	「斑鳩町観光推進連絡調整会議」および「斑鳩町観光戦略実務者会議」による戦略的な事業創出をはかり、総合的かつ計画的に観光施策をすすめる。 引き続き、文化庁の地域文化財総合活用推進事業を推進する。	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかった。 地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光プロモーションの強化と観光パンフレットの充実をはかった。 ・新光三越百貨店（台湾）への出展 ・海外むけサイトへのPR記事の掲載 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（韓国語）の作成	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかった。 地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光パンフレットの充実をはかった。 ・東京・斑鳩リレーセミナーの開催 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（中国語（繁体字））の作成 ・巻物型パンフレット（フランス語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字））の増刷	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかった。 令和5年11月27日 斑鳩町観光推進連絡調整会議　開催	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかる。 令和6年11月22日 斑鳩町観光推進連絡調整会議　開催予定	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
観光協会への支援 担当課 都市創生課	観光拠点施設として、変化する多様な観光客のニーズに応える受入環境や機能の充実をはかることに加え、さらなる観光客誘致事業の推進にむけ、観光協会へ支援を行う。	観光拠点施設として、さらなる機能の充実をはかるため、観光協会を支援した。	観光拠点施設として、さらなる機能の充実をはかるため、観光協会を支援した。	観光拠点施設として、さらなる機能の充実をはかるため、観光協会を支援した。	観光拠点施設として、さらなる機能の充実をはかるため、観光協会を支援する。	指定管理者公募後の観光協会の役割を協議・検討し、その活動に応じた支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

1・地域ぐるみの観光ブランド力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
民間団体主体の観光イベントの開催支援 【★】 担当課 都市創生課	民間団体主体の観光イベントの開催支援を行うとともに、新たな民間主体の観光・商工振興イベントを創出する。	・商工会が主催の「法隆寺駅ライテイング」を支援した。 ・地域活性化に資する新たなイベントの実施および民間事業者の発掘にむけて手法等の検討をすすめた。	・商工会が主催の「いかるがマルシェ」および「法隆寺駅ライテイング」を支援した。 ・地域活性化に資する新たなイベントの実施および民間事業者の発掘にむけて手法等の検討をすすめた。	・商工会が主催の「いかるがマルシェ」および「法隆寺駅ライテイング」を支援した。 ・地域活性化に資する新たなイベントの実施および民間事業者の発掘にむけて手法等の検討をすすめた。	・商工会が主催の「いかるがマルシェ」および「法隆寺駅ライテイング」を支援する。 ・奈良商工会議所や奈良県、JR西日本等が計画している「奈良SLOW＆LOOP」事業を支援する。 ・地域活性化に資する新たなイベントの実施および民間事業者の発掘にむけて手法等の検討をすすめる。	・商工会が主催の「いかるがマルシェ」および「法隆寺駅ライテイング」を支援する。 ・奈良商工会議所や奈良県、JR西日本等が計画している「奈良SLOW＆LOOP」事業を支援する。 ・地域活性化に資する新たなイベントの実施および民間事業者の発掘にむけて手法等の検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
歴史まちづくり計画の推進 担当課 都市創生課	「文化財行政」と「まちづくり行政」が連携した、歴史まちづくりを実現するため、実施管理計画を着実かつ円滑にすすめる。また、電柱類の景観改善や、歴史的風致形成建造物等の指定を行うなど、歴史・観光まちづくりへの活用をはかる。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・第2期計画作成にむけた説明会の参加した。 ・第2期計画を作成することを決定した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催した。 ・第2期計画を作成した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかる。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催する。 ・第2期計画の一部の事業の主体が変更になることから、「計画の軽微な変更」の手続きを行う。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかる。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

1・地域ぐるみの観光ブランド力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
歴史街道散策ルートの充実 【★】 担当課 都市創生課	訪れる人の安全で快適な移動を確保するため、観光案内サイン配置計画に基づくサインの設置をすすめる。	観光案内サイン設置計画に基づくサインの設置を行った。 ・岡本ポケットパーク	観光案内サイン設置計画に基づくサインの設置を行った。 ・中宮寺跡史跡公園	観光案内サイン設置計画に基づくサインの設置をすすめた。 ・上宮遺跡公園	観光案内サイン設置計画に基づくサインの設置をすすめる。 ・中宮寺前交差点北側公共空地	観光案内サイン設置計画に基づくサインの設置をすすめる。また、既存サインの維持管理を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新たな観光パンフレット外国語版の作成 【★】 担当課 都市創生課	観光パンフレットの継続的な多言語化に加え、さまざまな観光パンフレットの記載内容、配架方法等の調査・研究をすすめる。	地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光パンフレットの充実をはかった。 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（韓国語）	地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光パンフレットの充実をはかった。 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（中国語（繁体字））	観光パンフレットの充実について、検討を行った。	観光パンフレットの充実について、検討を行う。	指定管理者と協議・調整を行い、観光パンフレットの充実をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
外国語パンフレットの種類（累計）	R1年度	8種類	16種類	16種類	13種類	16種類	14種類	16種類	14種類	16種類	14種類	16種類	
	R2年度	12種類											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

19・観光まちづくりの推進

1・地域ぐるみの観光ブランド力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
奈良市・斑鳩町連携による観光誘客 【★】 担当課 都市創生課	両市町でターゲットとマーケットを共有し、観光イベントや商談会等に、世界遺産を利活用した観光プロモーションを展開する。	・新型コロナウイルス感染症の影響から、今後の国内外からの誘客をはかるため、両市町が連携してデジタルプロモーション等を行った。	・新型コロナウイルス感染症の影響から、今後の国内外からの誘客をはかるため、両市町が連携してデジタルプロモーション等を行った。	・国内外からの観光誘客をはかるため、両市町の連携による誘客手法について、検討を行った。	・国内外からの観光誘客をはかるため、両市町の連携による誘客手法について、検討を行う。	・国内外からの観光誘客をはかるため、両市町の連携による誘客手法について、検討を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
周辺観光地や友好都市、各種交流都市等との広域観光連携の促進 【★】 担当課 都市創生課	周辺の観光地や友好都市、各種交流都市などとの連携を強化し、観光事業の広域化とネットワーク化をはかる。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかった。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町の1市5町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」を立ち上げ、観光商品の造成等を行った。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）への賛助会員に登録した。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかった。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町の1市5町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめた。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行った。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかった。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町の1市5町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめた。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行った。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかる。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町に河合町、上牧町、広陵町を加えた1市8町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめる。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行う。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかる。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町、河合町、上牧町、広陵町の1市8町による「WEST NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめる。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

1・地域ぐるみの観光ブランド力の強化

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
回遊型まちなか観光の推進 【再掲】 【★】 担当課 都市創生課	まちあるき拠点の整備支援を行うとともに、体験型観光プログラムの拡充や民間事業者の誘致など総合的かつ戦略的なまちあるき観光を推進する。また、法起寺や法輪寺などを含めた回遊性の向上と奈良市内との交通アクセス等について、県とも連携し強化をはかる。	・斑鳩町創業支援補助金制度を創設した。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成を行った。 ・奈良県とのまちづくり基本協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめた。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成を行った。 ・奈良県とのまちづくり基本協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめた。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめた。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめる。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめる。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめる。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体や指定管理者との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩ブランドの商品開発・販売促進 【再掲】 【★】 担当課 都市創生課	活力ある地元商業の確立をめざし、斑鳩ブランドの商品数を増やすとともに、取扱店舗の増加、PR方法の新たな手法の調査・研究をすすめる。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめた。 ・WEST　NARA広域観光推進協議会における新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめた。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめた。 ・「WEST　NARA特産品コンテスト」を行い、新商品の発掘及び販売促進にむけた出口戦略に関する協議をすすめた。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめた。 ・「WEST　NARA特産品」との連携をはかり、新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめた。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめる。 ・「WEST　NARA特産品」との連携をはかり、新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめる。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめる。 ・「WEST　NARA特産品」との連携をはかり、新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
商品化できた特産品数（累計）	R1年度	33商品	50商品	50商品	23商品	50商品	31商品	50商品	31商品	50商品	35商品	50商品	
	R2年度	25商品											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

19・観光まちづくりの推進

2・観光コンテンツの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
周辺観光地や友好都市、各種交流都市等との広域観光連携の促進 【再掲】 【★】 担当課 都市創生課	周辺の観光地や友好都市、各種交流都市などとの連携を強化し、観光事業の広域化とネットワーク化をはかる。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかった。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町の1市5町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」を立ち上げ、観光商品の造成等を行った。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）への賛助会員に登録した。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかった。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町の1市5町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめた。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行った。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかった。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町の1市5町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめた。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行った。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかる。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町に河合町、上牧町、広陵町を加えた1市8町による「WEST　NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめる。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行う。	・奈良市や友好都市、金融機関と連携して、観光・イベント等の周知をはかる。 ・横断的広域観光の推進のため、生駒郡、大和郡山市、王寺町、河合町、上牧町、広陵町の1市8町による「WEST NARA広域観光推進協議会」でさまざまな施策をすすめる。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
体験型観光プログラムの拡充・販売促進 【★】 担当課 都市創生課	観光地域づくり法人（地域DMO）である斑鳩産業株式会社と連携し、既存の体験型観光プログラムのブラッシュアップを行うとともに、メニューの増設をすすめる。 また、商工会および観光協会と連携し、モニターツアーや観光商談会を通じて、積極的かつ幅広なPR活動を行う。	・地域DMOをはじめ、商工会と民間事業者との連携により、新たな体験型プログラムの造成およびPRを行った。	・地域DMOをはじめ、商工会と民間事業者との連携により、新たな体験型プログラムの造成およびPRを行った。	・地域DMOをはじめ、商工会と民間事業者との連携により、新たな体験型プログラムの造成およびPRを行った。 ・観光再始動事業（観光庁所管）を活用し、主に訪日外国人観光客むけの体験コンテンツ、イベント等の造成、販売、プロモーションを行った。	・地域DMOをはじめ、商工会と民間事業者との連携により、新たな体験型プログラムの造成およびPRを行う。 ・法隆寺iセンター等の指定管理者に選定について、施設管理と観光振興を指定管理業務として公募にて業者募集を行った。	・地域DMOや指定管理者をはじめ、商工会と民間事業者との連携により、新たな体験型プログラムの造成およびPRを行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

2・観光コンテンツの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
歴史、文化を生かした体験交流の充実や旅行商品の企画・造成・販売促進 【★】 担当課 都市創生課	斑鳩町の歴史・文化を生かした体験型プログラムの拡充と旅行商品の造成をすすめ、地域経済の活性化をはかる。 さらには、官学連携大学とさまざまな分野で連携・協力をすすめる。	・地域DMOをはじめ、産・民・学・官による連携により、新たな旅行商品や体験型プログラムの造成およびPRを行った。	地域DMOをはじめ、産・民・学・官による連携により、新たな旅行商品や体験型プログラムの造成およびPRを行った。	地域DMOをはじめ、産・民・学・官による連携により、新たな旅行商品や体験型プログラムの造成およびPRを行った。 また、観光再始動事業（観光庁所管）を活用し、主に訪日外国人観光客むけの体験コンテンツ、イベント等の造成から販路開拓を通し、インバウンド促進の方向性について検証した。	地域DMOをはじめ、産・民・学・官による連携により、新たな旅行商品や体験型プログラムの造成およびPRを行う。	地域DMOや指定管理者をはじめ、産・民・学・官による連携により、新たな旅行商品や体験型プログラムの造成およびPRを行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
宿泊施設の利用促進 【★】 担当課 都市創生課	新たに開業する宿泊施設の利用率を高め、観光客により長く滞在してもらえるように、観光客の誘致・送客を活発化させる観光コンテンツの充実をはかるとともに、「夜と朝のまちあるき観光」の創出をすすめる。	・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめた。 ・「WEST　NARA広域観光推進協議会」による自治体間の送客につながる旅行商品の造成を行った。	・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめた。 ・「WEST　NARA広域観光推進協議会」による自治体間の送客につながる旅行商品の造成を行った。	・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめた。 ・「WEST　NARA広域観光推進協議会」による自治体間の送客につながる旅行商品の造成を行った。	・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・「WEST　NARA広域観光推進協議会」による自治体間の送客につながる旅行商品の造成を行う。	・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・「WEST　NARA広域観光推進協議会」による自治体間の送客につながる旅行商品の造成を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

2・観光コンテンツの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
観光集客拠点の整備支援 【★】 担当課 都市創生課	民間事業者によるまちあるき拠点の整備を支援するとともに、民間事業者が参入しやすい環境・制度設計の整備内容について、調査・研究をすすめる。	成功している先進地の手法や制度について、調査・研究をすすめた。	成功している先進地の手法や制度について、調査・研究をすすめた。	成功している先進地の手法や制度について、調査・研究をすすめた。	・生駒郡4町でシェアサイクリングの導入に向けた協議、調整を行う。 ・成功している先進地の手法や制度について、調査・研究をすすめる。	成功している先進地の手法や制度について、調査・研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩ビュースポットの選定 【★】 担当課 都市創生課	観光部門、文化財活用部門等とも連携しながら、斑鳩の里の眺望が楽しめる斑鳩ビュースポットを選定し、観光マップへ掲載する等の活用をはかる。	ビュースポット候補地を検討、選定した。	ビュースポット候補地の調査およびビュースポットの活用方法を検討し、基本構想を作成した。	ビュースポット候補地における基本構想に基づく基本計画を作成した。	ビュースポット候補地における基本計画に基づく整備手法の検討、地元調整を行う。	ビュースポット候補地における基本計画に基づく整備手法の検討、地元調整を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	ビュースポットの選定および活用	候補地の検討および選定	候補地の検討および選定	活用方法の検討	現地調査および活用方法の検討、基本構想の作成	基本構想に基づく基本計画の作成	基本構想に基づく基本計画の作成	地元の意向確認の実施	地元の意向確認の実施	地元の意向確認の実施	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

19・観光まちづくりの推進

2・観光コンテンツの充実

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
回遊型まちなか観光の推進 【★】 担当課 都市創生課	まちあるき拠点の整備支援を行うとともに、体験型観光プログラムの拡充や民間事業者の誘致など総合的かつ戦略的なまちあるき観光を推進する。また、法起寺や法輪寺などを含めた回遊性の向上と奈良市内との交通アクセス等について、県とも連携し強化をはかる。	・斑鳩町創業支援補助金制度を創設した。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成を行った。 ・奈良県とのまちづくり基本協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめた。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成を行った。 ・奈良県とのまちづくり基本協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめた。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめた。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめた。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめる。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめる。	・斑鳩町創業支援補助金制度の活用をすすめる。 ・地域DMOをはじめとする様々な観光関連団体や指定管理者との協議・調整を行い、滞在時間の長期化につながる観光コンテンツの企画・造成をすすめる。 ・奈良県とのまちづくり連携協定において、周遊施策の拡充にむけて交通事業者との連携をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

3・発信力の充実による誘客

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
総合的な観光推進体制の戦略的な展開・推進 【再掲】 【★】 担当課 都市創生課	「斑鳩町観光推進連絡調整会議」および「斑鳩町観光戦略実務者会議」による戦略的な事業創出をはかり、総合的かつ計画的に観光施策をすすめる。 引き続き、文化庁の地域文化財総合活用推進事業を推進する。	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかった。 地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光プロモーションの強化と観光パンフレットの充実をはかった。 ・新光三越百貨店（台湾）への出展 ・海外むけサイトへのPR記事の掲載 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（韓国語）の作成	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかった。 地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光パンフレットの充実をはかった。 ・東京・斑鳩リレーセミナーの開催 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（中国語（繁体字））の作成 ・巻物型パンフレット（フランス語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字））の増刷	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかった。 令和5年11月27日 斑鳩町観光推進連絡調整会議　開催	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかる。 令和6年11月22日 斑鳩町観光推進連絡調整会議　開催予定	観光関連団体との協議・調整を行い、特性ある観光施策の立案・推進をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
旅マエ・旅ナカ・旅アトの戦略的プロモーションの実施 【★】 担当課 都市創生課	観光地域づくり法人（地域DMO）等と連携し、SNSなどの時代に即した新しい情報発信方法等の検討・整備を行う。 また、インバウンド対策として、デジタルプロモーション等の幅広い展開をすすめる。	・地域DMOと連携し、観光客のニーズに応え、満足度のある情報発信方法を検討した。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）への賛助会員に登録した。	・地域DMOと連携し、観光客のニーズに応え、満足度のある情報発信方法を検討した。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行った。	・地域DMOと連携し、観光客のニーズに応え、満足度のある情報発信方法を検討した。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行った。	・インターネットを活用した広告を試行的に実施する。 ・地域DMOと連携し、観光客のニーズに応え、満足度のある情報発信方法を検討する。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行う。	・インターネット広告効果検証を行う。 ・地域DMOと連携し、観光客のニーズに応え、満足度のある情報発信方法を検討する。 ・インバウンドへのプロモーション施策として、JNTO（日本政府観光局）と連携し、デジタルプロモーションを行う。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 ―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度 ―											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

19・観光まちづくりの推進

3･発信力の充実による誘客

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
外国人用ホームページの充実 【★】 担当課 都市創生課	外国人用ホームページを時流に沿った内容更新等の充実に加え、町のフェイスブック、観光協会のインスタグラムも積極的に連動・展開していく。	JNTO（日本政府観光局）や先進地の手法や内容について、調査・研究をすすめた。	JNTO（日本政府観光局）や先進地の手法や内容について、調査・研究をすすめた。	JNTO（日本政府観光局）や先進地の手法や内容について、調査・研究をすすめた。	JNTO（日本政府観光局）や先進地の手法や内容について、調査・研究をすすめる。	JNTO（日本政府観光局）や先進地の手法や内容について、調査・研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
聖徳太子1400年御遠忌を契機とした計画的なイベントの企画立案 【★】 担当課 都市創生課	聖徳太子1400年御遠忌を契機とした各種取組の効果検証に加え、新たな「聖徳太子ゆかりの地・斑鳩町」のPRをするための各種取組みの調査・研究をすすめる。	・法隆寺中門前で、金剛流による能楽公演を開催した。 ・「和のあかり」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄを開催した。 ・奈良県聖徳太子ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ推進協議会による新たな施策の連携を行った。	・「和のあかりと未来へのひかり」を開催した。 ・聖徳太子ゆかりの自治体等と連携をはかり、様々な事業展開を行った。 （2022年度：聖徳太子生誕1450年）	・「和のあかりと未来へのひかり」を開催した。 ・聖徳太子ゆかりの自治体等と連携をはかり、様々な事業展開をはかった。 （2023年度：法隆寺地域の仏教建造物の世界文化遺産登録30周年） ・「第10回世界遺産サミット」と同時開催し、デジタルアート演出や中門、五重塔、参道松林のライトアップを実施した。	・聖徳太子ゆかりの自治体等と連携をはかり、様々な事業展開をはかる。	・聖徳太子ゆかりの自治体等と連携をはかり、様々な事業展開をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	見直し	―	見直し	―	見直し	―	見直し		

１９・観光まちづくりの推進

3･発信力の充実による誘客

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
法隆寺iセンターの充実 担当課 都市創生課	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の強化をはかるため、法隆寺iセンターの設備や機能等の充実にむけ、引き続き奈良県と協議をすすめる。また、法隆寺iセンターの観光情報発信拠点として、新たな情報発信コンテンツの充実をはかる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめた。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、奈良県により、法隆寺iセンターのエレベーターの更新を行った。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、奈良県により、法隆寺iセンターの観光案内カウンターの更新を行った。	・民間活力を施設運営、観光振興に活用し、持続可能な観光地づくりを推進するため、法隆寺iセンターの指定管理者について、公募型プロポーザル方式により業者選定を行う。 ・奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめる。また、法隆寺iセンターの情報発信コンテンツの充実をはかるため、指定管理者と新たな取り組みについて協議、検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
観光客の利用者数	R1年度	86,366人	72,500人／年	72,500人／年	43,876人／年	72,500人／年	66,712人／年	72,500人／年	76,260人／年	72,500人／年	70,000人／年	72,500人／年	
	R2年度	34,909人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ウォークイベントの開催 【★】 担当課 都市創生課	聖徳太子ゆかりのまちを巡るウォークイベントを実施し、滞在・宿泊型の観光形態につなげ、経済効果への波及をはかるとともに、地域住民による、地域の魅力の再発見および地域の活性化をめざす。また、斑鳩町観光協会や観光ボランティアの会と連携し、町内外のコースを設定したウォークイベントを開催する。	・聖徳太子の里ツーデーウォークは、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携した「聖徳太子1400年御遠忌」ウォークを開催した。 ・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。 ・教育委員会、観光協会などにより、「世界遺産登録30周年記念プレイベント」講演会＆ウォークを開催した。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催した。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催した。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめる。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催する。	指定管理者等と、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめる。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
延べ参加者数	R1年度	1,474人	2,000人／年	2,000人／年	25人／年	2,000人／年	170人／年	2,000人／年	118人／年	2,000人／年	200人／年	2,000人／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

19・観光まちづくりの推進

3･発信力の充実による誘客

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新たな観光パンフレットの作成 【★】 担当課 都市創生課	文化庁の地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光協会・商工会と連携し、斑鳩町内の観光施設紹介、イベント・店舗等の観光に関連する情報だけでなく、観光客のニーズに即した内容の多言語観光パンフレット等の充実をはかる。	地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光パンフレットの充実をはかる。 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（韓国語） 観光協会などと連携し、先進地などの事例について、調査・研究をすすめた。	地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用して、観光パンフレットの充実をはかった。 ・奈良・斑鳩里めぐりMAP（中国語（繁体字）） 観光協会などと連携し、先進地などの事例について、調査・研究をすすめた。	観光協会などと連携し、先進地などの事例について、調査・研究をすすめた。	観光パンフレットの充実をはかる。 観光協会などと連携し、先進地などの事例について、調査・研究をすすめる。	観光パンフレットの充実をはかる。 指定管理者などと連携し、先進地などの事例について、調査・研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
民間団体と連携した「木の文化」の情報発信 【★】 担当課 都市創生課	歴史街道推進協議会との連携に加え、鵤工舎との連携を検討しながら、「木の文化」をより幅広に発信できる新たな機会を創出する。	2023年の法隆寺地域の仏教建造物の世界文化遺産登録30周年にむけて、歴史街道推進協議会や鵤工舎などと連携した、セミナーを開催した。 2月26日 東京・斑鳩リレーセミナー（斑鳩会場） 3月26日 東京・斑鳩リレーセミナー（小田原会場）	2023年の法隆寺地域の仏教建造物の世界文化遺産登録30周年にむけて、歴史街道推進協議会や鵤工舎などと連携した、セミナーを開催した。	2023年の法隆寺地域の仏教建造物の世界文化遺産登録30周年を迎え、歴史街道推進協議会や鵤工舎などと連携した、セミナーやパネル展示などの普及啓発をすすめた。 9月30日、10月１日 世界遺産登録30周年記念イベント「温故知新　日本の建築～その強さと歴史～」 12月16日 「斑鳩で木の匠になろう」	歴史街道推進協議会や鵤工舎などと連携した、セミナーやパネル展示などの検討を行う。	歴史街道推進協議会や鵤工舎などと連携した、セミナーやパネル展示などの検討を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

１９・観光まちづくりの推進

3･発信力の充実による誘客

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
観光ボランティアガイドの育成 担当課 都市創生課	観光協会とともに、観光客の受け入れ体制の充実をはかるため、斑鳩の里観光ボランティアの会および斑鳩アイセスSGGの活動を支援する。	観光客のおもてなし体制を充実させるため、観光ボランティアの会、斑鳩アイセスSGGの活動を支援している斑鳩町観光協会に補助を行った。	観光客のおもてなし体制を充実させるため、観光ボランティアの会、斑鳩アイセスSGGの活動を支援している斑鳩町観光協会に補助を行った。	観光客のおもてなし体制を充実させるため、観光ボランティアの会、斑鳩アイセスSGGの活動を支援している斑鳩町観光協会に補助を行った。	観光客のおもてなし体制を充実させるため、観光ボランティアの会、斑鳩アイセスSGGの活動を支援している斑鳩町観光協会に補助を行う。	観光客のおもてなし体制を充実させるため、観光ボランティアの会、斑鳩アイセスSGGの活動を指定管理者を通じて支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
観光ボランティア登録数	R1年度	103人	130人／年	130人／年	79人／年	130人／年	96人／年	130人／年	91人／年	130人／年	90人／年	130人／年	
	R2年度	89人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

20・商工業の振興

1・活力ある商工業の振興

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
まちづくりの推進 【再掲】 担当課 都市創生課	開発行為や建築行為に対し、都市計画法、建築基準法、町開発指導要綱等に基づく行政指導を行うことにより、良好な都市環境の形成と秩序あるまちづくりの実現をはかる。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。 また、立地適正化計画の策定に着手する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩ブランドの商品開発・販売促進 【★】 担当課 都市創生課	活力ある地元商業の確立をめざし、斑鳩ブランドの商品数を増やすとともに、取扱店舗の増加、PR方法の新たな手法の調査・研究をすすめる。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめた。 ・WEST　NARA広域観光推進協議会における新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめた。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめた。 ・「WEST　NARA特産品コンテスト」を行い、新商品の発掘及び販売促進にむけた出口戦略に関する協議をすすめた。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめた。 ・「WEST　NARA特産品」との連携をはかり、新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめた。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめる。 ・「WEST　NARA特産品」との連携をはかり、新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめる。	・商工会と連携し、町外イベントやデジタルプロモーションなどによるPR・販売をすすめる。 ・「WEST　NARA特産品」との連携をはかり、新たな枠組みや出口戦略に関する協議をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
商品化できた特産品数（累計）	R1年度	33商品	50商品	50商品	23商品	50商品	31商品	50商品	31商品	50商品	35商品	50商品	
	R2年度	25商品											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

20・商工業の振興

1・活力ある商工業の振興

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ふるさと納税のお礼の品を活用した地域特産品のPR 【★】 担当課 政策財政課	町外在住者からのふるさと納税に対するお礼の品で、地域の特産品を贈ることにより、その良さをPRし、販路開拓をすすめる。	町内事業者に対してふるさと納税制度の周知をはかり、積極的な活用を促した。既存商品に加え、新商品や体験型のお礼の品など、幅広い提案を随時募集した。 また、ふるさと納税のチラシや町ホームページ、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載を通して、お礼の品をPRした。 送付人数：1,172人	お礼の品の幅広い提案を随時募集するとともに、ふるさと納税のチラシや町ホームページ、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載を通して、お礼の品をPRした。 また、新たにJALのポータルサイトを導入した。 さらに、ふるさと納税システムを導入するとともに、事務の一部委託化を行った。	町内事業者に対してふるさと納税制度の周知をはかり、積極的な活用を促した。既存商品に加え、新商品や体験型のお礼の品など、幅広い提案を随時募集した。 また、ふるさと納税のチラシや町ホームページ、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載を通して、お礼の品をPRした。 送付人数：699人	町内事業者に対してふるさと納税制度の周知をはかり、積極的な活用を促す。既存商品に加え、新商品や体験型のお礼の品など、幅広い提案を随時募集する。 また、ふるさと納税のチラシや町ホームページ、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載を通して、お礼の品をPRする。	町内事業者に対してふるさと納税制度の周知をはかり、積極的な活用を促す。既存商品に加え、新商品や体験型のお礼の品など、幅広い提案を随時募集する。 また、ふるさと納税のチラシや町ホームページ、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載を通して、お礼の品をPRする。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
お礼の品の送付数	R1年度	1,229人	お礼の品の送付数の増加	お礼の品の送付数の増加	お礼の品の送付数の減少	お礼の品の送付数の増加	お礼の品の送付数の減少	お礼の品の送付数の増加	お礼の品の送付数の増加	お礼の品の送付数の増加	お礼の品の送付数の減少	お礼の品の送付数の増加	
	R2年度	1,523人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	×	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
商店街の活性化 担当課 都市創生課	商業実態調査の結果や商店街主催によるイベントの効果をふまえ、既存商店街の活性化にむけた戦略的かつ効果的な施策を検討する。	奈良県とのまちづくり基本協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめた。	奈良県とのまちづくり基本協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめた。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめた。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

20・商工業の振興

1・活力ある商工業の振興

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
商業の振興 担当課 都市創生課	商工会運営への継続的支援に加え、農業と観光と商業の連携した新たな商業振興策を検討する。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行った。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行った。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行った。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行った。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行った。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行った。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行う。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行う。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行う。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
民間事業所の持続可能な経営モデルの構築 【★】 担当課 都市創生課	産官金学の連携をすすめ、民間事業所の新規創業をしやすい環境づくりと支援を行う。	・商工会などと連携し、新規創業に選ばれやすい制度設計や環境整備について、調査・研究をすすめた。 ・斑鳩町創業支援補助金制度を創設し、新規創業者の支援を行った（3件）。	・商工会などと連携し、新規創業に選ばれやすい制度設計や環境整備について、調査・研究をすすめた。 ・斑鳩町創業支援補助金制度を活用し、新規創業者の支援を行った。（2件） ・令和5年度以降の新たな創業支援事業補助金制度の創設を行った。	・商工会などと連携し、新規創業に選ばれやすい制度設計や環境整備について、調査・研究をすすめた。 ・斑鳩町創業支援補助金制度を活用し、新規創業者の支援を行った。（3件）	・商工会などと連携し、新規創業に選ばれやすい制度設計や環境整備について、調査・研究をすすめる。 ・創業支援事業補助金制度を活用し、新規創業者の発掘をすすめる。（3件）	・商工会などと連携し、新規創業に選ばれやすい制度設計や環境整備について、調査・研究をすすめる。 ・創業支援事業補助金制度を活用し、新規創業者の発掘をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

20・商工業の振興

1・活力ある商工業の振興

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
中小企業の創業・成長支援 【★】 担当課 都市創生課	関係機関との連携を強化し、債務保証料について補給を行い、経営の安定化に努める。また、事業者の設備導入等の支援、創業環境の整備と持続可能な経営をめざし、国や県の支援策の情報収集を行い、創業支援事業計画に基づき、創業者の発掘・支援をすすめる。	・中小企業の経営の安定化をはかるため、債務保証料を補給した。 ・商工会と連携し、各種支援制度などの情報を幅広く周知した。	・中小企業の経営の安定化をはかるため、債務保証料を補給した。 ・商工会と連携し、各種支援制度などの情報を幅広く周知した。	・中小企業の経営の安定化をはかるため、債務保証料を補給した。 ・商工会と連携し、各種支援制度などの情報を幅広く周知した。	・中小企業の経営の安定化をはかるため、債務保証料を補給する。 ・商工会と連携し、各種支援制度などの情報を幅広く周知する。	・中小企業の経営の安定化をはかるため、債務保証料を補給する。 ・商工会と連携し、各種支援制度などの情報を幅広く周知する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
共同化・協業化の支援 【★】 担当課 都市創生課	商工会、斑鳩ブランド創造協議会と連携し、斑鳩町の特産品の開発や町内事業所とのマッチングをすすめる。	・商工会と連携し、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発に努めた。 ・斑鳩ブランド創造協議会において、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発を行った。 ※2021年認定品数：23品目	・商工会と連携し、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発に努めた。 ・斑鳩ブランド創造協議会において、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発を行った（令和4年度：新規商品9品目認定の内、連携して開発されたもの3件）。 ※2023年認定品数：31品目	・商工会と連携し、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発に努めた。 ・斑鳩ブランド創造協議会において、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発を行った。	・商工会と連携し、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発に努める。 ・斑鳩ブランド創造協議会において、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発を行う。	・商工会と連携し、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発に努める。 ・斑鳩ブランド創造協議会において、生産者や製造業者との連携をはかり、新たな商品開発を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
商品数（累計）	R1年度	2件	5件	5件	2件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	
	R2年度	2件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

20・商工業の振興

1・活力ある商工業の振興

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
商工業者への情報提供の充実 担当課 都市創生課	商工会との連携をはじめとした、創業支援事業計画に基づき、各種支援制度などの情報を提供することにより、町内企業の経営を支援する。	創業支援事業計画に基づき、各種支援制度の情報収集を行い、商工会を中心に、積極的な情報提供を働きかけた。	創業支援事業計画に基づき、各種支援制度の情報収集を行い、商工会を中心に、積極的な情報提供を働きかけた。	創業支援事業計画に基づき、各種支援制度の情報収集を行い、商工会を中心に、積極的な情報提供を働きかけた。	創業支援事業計画に基づき、各種支援制度の情報収集を行い、商工会を中心に、積極的な情報提供を働きかける。	創業支援事業計画に基づき、各種支援制度の情報収集を行い、商工会を中心に、積極的な情報提供を働きかける。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩の里・農と食の活性化プロジェクトの推進 【再掲】 【★】 担当課 建設農林課	斑鳩の里・農と食の活性化プロジェクト推進委員会において、地域特産農作物などの開発、調査研究を行い、関係機関と連携して食育の推進をはかるイベントを行う。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈する。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催する。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈する。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	イベント等の検討 苗づくり講習会開催	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	
	R2年度	イベント等の検討 苗づくり講習会の開催											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

20・商工業の振興

2・新産業の創出、起業支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
まちづくりの推進 【再掲】 担当課 都市創生課	開発行為や建築行為に対し、都市計画法、建築基準法、町開発指導要綱等に基づく行政指導を行うことにより、良好な都市環境の形成と秩序あるまちづくりの実現をはかる。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。 また、立地適正化計画の策定に着手する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
商店街の活性化 【再掲】 担当課 都市創生課	商業実態調査の結果や商店街主催によるイベントの効果をふまえ、既存商店街の活性化にむけた戦略的かつ効果的な施策を検討する。	奈良県とのまちづくり基本協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめた。	奈良県とのまちづくり基本協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめた。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめた。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、商工会や商店街などと連携し、商店街の活性化にむけた具体的な事業の協議・調整をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

20・商工業の振興

2･新産業の創出、起業支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
商業の振興 【再掲】 担当課 都市創生課	商工会運営への継続的支援に加え、農業と観光と商業の連携した新たな商業振興策を検討する。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行った。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行った。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行った。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行った。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行った。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行った。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行う。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行う。	・商工振興団体である商工会に引き続き、財政支援を行う。 ・商工会と連携し、各種産業間の連携方法について、検討を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
創業支援センターの運営 【★】 担当課 都市創生課	創業を希望する人への経営計画の作成支援や空き店舗等での創業促進、テレワーク支援など、ワンストップで行う創業支援の拠点「斑鳩町創業支援センターふらっぴん♪」の機能充実をはかる。	・「斑鳩町創業支援センターふらっぴん♪」の適正な管理運営をはかった。 ・商工会や社会福祉法人萌と連携し、先進地事例などの調査・研究をすすめた。	・「斑鳩町創業支援センターふらっぴん♪」の適正な管理運営をはかった。 ・商工会や社会福祉法人萌と連携し、先進地事例などの調査・研究をすすめた。	・「斑鳩町創業支援センターふらっぴん♪」の適正な管理運営をはかった。 ・商工会や社会福祉法人萌と連携し、先進地事例などの調査・研究をすすめた。	・「斑鳩町創業支援センターふらっぴん♪」の適正な管理運営を行う。 ・商工会や社会福祉法人萌と連携し、先進地事例などの調査・研究をすすめる。	・「斑鳩町創業支援センターふらっぴん♪」の適正な管理運営を行う。 ・商工会や社会福祉法人萌と連携し、先進地事例などの調査・研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

20・商工業の振興

2・新産業の創出、起業支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
空き店舗の活用 【★】 担当課 都市創生課	産官金学の連携により、民間事業所と空き家や空き店舗等とのマッチングを行う。また、空き家への転入や空き店舗の活用にむけて、先進地等の事例や動向を注視し、調査・研究を行う。	・商工会や金融機関等と連携し、空家や古民家の活用にむけた先進地などの調査・研究を行った。 ・創業支援事業補助金を活用した創業支援を行った。（3件中、空き店舗活用3件）	・商工会や金融機関等と連携し、空家や古民家の活用にむけた先進地などの調査・研究を行った。 ・創業支援事業補助金を活用した創業支援を行った。（2件中、空き店舗活用1件）	・商工会や金融機関等と連携し、空家や古民家の活用にむけた先進地などの調査・研究を行った。 ・創業支援事業補助金制度を活用し、創業支援を行った。（3件中、空き店舗活用2件）	・商工会や金融機関等と連携し、空家や古民家の活用にむけた先進地などの調査・研究を行う。 ・創業支援事業補助金制度を活用し、創業支援を行う。	・商工会や金融機関等と連携し、空家や古民家の活用にむけた先進地などの調査・研究を行う。 ・創業支援事業補助金制度を活用し、創業支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
空き店舗解消数（累計）	R1年度	12件	30件	16件	16件	19件	17件	22件	19件	25件	21件	30件	
	R2年度	13件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新しい事業主への育成支援 【★】 担当課 都市創生課	国や県の支援策の情報収集を行い、先進地事例の動向を注視しながら、創業支援事業計画に基づき、創業者の発掘・支援をすすめる。	・商工会および金融機関等と連携し、古民家を活用した店舗誘致を行った。 ・町内での起業や地元就労を促進するため、ふらっぴん♪の活用をすすめた。 ・創業希望者に対して、創業支援相談を商工会に委託し実施した。 ・斑鳩町創業支援補助金制度を創設した。	・商工会および金融機関等と連携し、古民家を活用した店舗誘致を行った。 ・町内での起業や地元就労を促進するため、ふらっぴん♪の活用をすすめた。 ・創業希望者に対して、創業支援相談を商工会に委託し実施した。 ・斑鳩町創業支援補助金制度を活用した。	・商工会および金融機関等と連携し、古民家を活用した店舗誘致を行った。 ・町内での起業や地元就労を促進するため、ふらっぴん♪の活用をすすめた。 ・創業希望者に対して、創業支援相談を商工会に委託し実施した。 ・新たな創業支援事業補助金制度を創設した。	・商工会および金融機関等と連携し、古民家を活用した店舗誘致を行う。 ・町内での起業や地元就労を促進するため、ふらっぴん♪の活用をすすめる。 ・創業希望者に対して、創業支援相談を商工会に委託し実施する。 ・新たな創業支援事業補助金制度を活用する。	・商工会および金融機関等と連携し、古民家を活用した店舗誘致を行う。 ・町内での起業や地元就労を促進するため、ふらっぴん♪の活用をすすめる。 ・創業希望者に対して、創業支援相談を商工会に委託し実施する。 ・新たな創業支援事業補助金制度を検討する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
行政機関の補助金を活用した起業者数（累計）	R1年度	13件	30件	17件	17件	20件	19件	23件	22件	26件	25件	30件	
	R2年度	14件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

20・商工業の振興

2・新産業の創出、起業支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
事業者の設備導入等の支援 【★】 担当課 都市創生課	町内での創業予定者が創業・参入しやすい条件について、他自治体の事例等を参考にし、支援内容・支援方法等について、調査・研究をすすめる。	幅広い業種業態が参入しやすい創業環境の整備について、先進地等の調査・研究をすすめた。	幅広い業種業態が参入しやすい創業環境の整備について、先進地等の調査・研究をすすめた。	幅広い業種業態が参入しやすい創業環境の整備について、先進地等の調査・研究をすすめた。	幅広い業種業態が参入しやすい創業環境の整備について、先進地等の調査・研究をすすめる。	幅広い業種業態が参入しやすい創業環境の整備について、先進地等の調査・研究をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

21・農業の活性化

1・生産基盤の整備促進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
農道の整備 担当課 建設農林課	農業土地基盤の総合的・計画的な整備をすすめるため農道を整備する。	関係団体からの要望があった箇所については地元施工で整備を実施した。	関係団体からの要望があった箇所については地元施工で整備を実施した。	関係団体からの要望を取りまとめた。	関係団体からの要望を取りまとめる。 大字三井、大字高安地内の農道整備をすすめる。	関係団体からの要望を取りまとめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	整備にむけた推進											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
農業水利施設の整備 担当課 建設農林課	農業土地基盤の総合的・計画的な整備をすすめるため、農業水利施設を整備する。	地元からの農業水利施設の整備や補修要望の取りまとめを行った。	竜田川の峨瀬と三室の井堰について、老朽化にともなう補修を実施した。 また、三室井堰について、ゴム体に破損が発生したことから応急修繕を実施した。	三室井堰について、必要な修繕や更新を含めて総合的な判断をするため、国庫補助による機能診断を実施するとともに、取水の障害となる部分の応急修繕を実施した。 また、阿波水利組合の管理する三代川井堰について、土地改良施設維持管理適正化事業により更新工事を実施した。	三室井堰について、機能診断の結果に基づき、更新工事にむけた詳細設計を実施する。 また、峨瀬井堰について、必要な修繕や更新を含めて総合的な判断をするため、国庫補助による機能診断を実施する。 なお、令和6年度実施分より、国等の補助金の交付対象となる防災重点ため池の改修工事や1級河川に設置された井堰の改修工事について、町負担額を5%増額する。	三室井堰について、井堰の改修工事を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	整備にむけた推進											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

21・農業の活性化

1・生産基盤の整備促進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ため池の整備 担当課 建設農林課	農業土地基盤の総合的・計画的な整備をすすめるため、特定農業用ため池の耐震性を調査し、耐震性が確保されていないため池について整備を行う。	桜池について、県営事業による耐震化工事として外法の地盤改良を施工した。 また、耐震性調査の結果、耐震性が確保されていない慶花池の改修工事に必要な事業計画書の作成・工法検討業務を実施した。 また、防災重点ため池10か所のため池パトロールを実施した。	桜池について、引き続き県営事業による耐震化工事として外法の一部と内法の地盤改良を実施した。 また、防災重点ため池9か所のため池パトロールを実施した。 また、国の方針により、耐震性調査の前に、劣化状況評価を防災重点ため池16か所で実施した。	桜池について、引き続き県営事業による耐震化工事として内法面の改修を実施した。 また、防災重点ため池2か所の耐震性調査を実施した。	桜池について、引き続き県営事業による耐震化工事として内法面の改修を実施し、耐震化工事を完了する。 また、防災重点ため池2か所の耐震性調査を実施するとともに、防災重点ため池7か所の豪雨耐性評価を実施する。	防災重点ため池2か所の耐震性調査を実施するとともに、防災重点ため池1か所の豪雨耐性評価を実施する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
特定農業用ため池の耐震調査箇所数	R1年度 5箇所	19箇所	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所	9箇所	9箇所	11箇所	11箇所	13箇所	
	R2年度 整備にむけた調査											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
有害鳥獣の駆除 担当課 建設農林課	有害鳥獣による農作物への被害防止のため、猟友会の協力を得て有害鳥獣の駆除を行う。	猟友会の協力を得てカラス・猪・アライグマの駆除を実施した。 猪対策として、国庫補助事業を活用し、東里地区に侵入防護柵を設置するとともに、町単独の補助要綱に基づき、農業者等が行う電気柵等の設置事業に対して支援をし、斑鳩町鳥獣被害対策実施隊の活動の強化をはかった。	猟友会の協力を得てカラス・猪・アライグマの駆除を実施した。 猪対策として、国庫補助事業を活用し、東里地区に侵入防護柵を設置するとともに、町単独の補助要綱に基づき、農業者等が行う電気柵等の設置事業に対して支援をし、斑鳩町鳥獣被害対策実施隊の活動の強化をはかった。	猟友会に業務委託し、カラス・猪・アライグマの駆除をすすめるが、猟友会との協議により、銃による定期的なカラス駆除は取りやめ、不定期での実施と銃以外での駆除をすすめた。 また、猪対策として、町単独の補助要綱に基づき、農業者等が行う電気柵等の設置事業に対して支援をし、斑鳩町鳥獣被害対策実施隊の活動の強化をはかった。	猟友会に業務委託し、カラス・猪・アライグマの駆除を実施する。 また、猪対策として、町単独の補助要綱に基づき、農業者等が行う電気柵等の設置事業に対して支援をし、斑鳩町鳥獣被害対策実施隊の活動の強化をはかる。	猟友会に業務委託し、カラス・猪・アライグマの駆除を実施する。 また、猪対策として、町単独の補助要綱に基づき、農業者等が行う電気柵等の設置事業に対して支援をし、斑鳩町鳥獣被害対策実施隊の活動の強化をはかる。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
出役延べ人数	R1年度 218人	220人／年	220人／年	163人／年	220人／年	170人／年	ー	ー	220人／年	136人／年	220人／年	
	R2年度 215人											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			△	継続	△	継続	ー	継続	△	継続		

21・農業の活性化

1・生産基盤の整備促進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
農地基本台帳の整備 担当課 建設農林課	農地・農家台帳の電算システムである農地台帳公開システムについて、毎年度データ突合処理を行い、保守点検を含めたデータの更新を実施する。	農業委員会で管理している農地台帳公開システムのデータ更新作業を業者に委託していたが、国の台帳システムに移行したことから、職員にて更新を実施した。	農業委員会で管理している国の農地台帳公開システムのデータ更新作業を実施した。	農業委員会で管理している国の農地台帳公開システムのデータ更新作業を実施した。	農業委員会で管理している国の農地台帳公開システムのデータ更新作業を実施する。	農業委員会で管理している国の農地台帳公開システムのデータ更新作業を実施する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
データ更新回数	R1年度 1回	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	
	R2年度 1回											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
環境保全向上活動等への支援 担当課 建設農林課	農地や農業用施設などを農家と非農家が一体となり地域の資源として維持管理を行い、施設等の長寿命化の強化をはかる。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区と新たに加入する新家地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかった。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかる。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかった。 また、新たに目安地区についても実施した。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区・目安地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかる。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区・目安地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかる。 なお、三井地区・幸前地区において、いかるが溜池地区から独立し、活動を開始する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
活動団体数（累計）	R1年度 4団体	6団体	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体	6団体	6団体	6団体	6団体	
	R2年度 4団体											
			進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

21・農業の活性化

1・生産基盤の整備促進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
農地流動化の推進 【★】 担当課 建設農林課	安定した農業経営を維持するため、農地中間管理機構などを利用し農地の流動化に努める。	安定した農業経営を維持するため、農地中間管理機構などを利用しながら農地の流動化に努めた。	安定した農業経営を維持するため、農地中間管理機構などを利用しながら農地の流動化に努めた。	安定した農業経営を維持するため、農地中間管理機構などを利用しながら農地の流動化に努めた。	安定した農業経営を維持するため、農地中間管理機構などを利用しながら農地の流動化に努める。	安定した農業経営を維持するため、農地中間管理機構などを利用しながら農地の流動化に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
新規流動化面積（累計）	R1年度	6.07ha	11.40ha	10.00ha	10.07ha	11.25ha	11.23ha	11.30ha	9.23ha	11.35ha	11.23ha	11.40ha	
	R2年度	8.37ha											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	△	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
農作業受委託システムの推進 【★】 担当課 建設農林課	高齢農家をはじめとする農業者の連帯を強め、農業経営を維持するため、農家・農協・行政の連携による集落営農や農作業受委託システムなど相互扶助体制の確立に努める。	農業者が高齢化する中、地域で地域の農業を守るための集落営農組織設立の推進を行った。 5団体：東里、稲葉車瀬、五丁北、神南、高安	農業者が高齢化する中、地域で地域の農業を守るための集落営農組織設立の推進を行った。 5団体：東里、稲葉車瀬、五丁北、神南、高安	農業者が高齢化する中、地域で地域の農業を守るための集落営農組織設立の推進を行った。 6団体：東里、稲葉車瀬、五丁北、神南、高安、目安	農業者が高齢化する中、地域で地域の農業を守るための集落営農組織設立の推進を行う。 6団体：東里、稲葉車瀬、五丁北、神南、高安、目安	農業者が高齢化する中、地域で地域の農業を守るための集落営農組織設立の推進を行う。 6団体：東里、稲葉車瀬、五丁北、神南、高安、目安

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
受委託組織数（累計）	R1年度	5団体	6団体	6団体	5団体	6団体	5団体	6団体	6団体	6団体	6団体	6団体	
	R2年度	5団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	◎	継続	◎	継続		

21・農業の活性化

1・生産基盤の整備促進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
特産農産物の流通促進 担当課 建設農林課	現在の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）の直売所情報を、町ホームページやSNSを通じて情報発信し、PR活動に取り組む。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を、町ホームページやSNSを通じて情報発信するための検討をすすめた。	協働のまちづくり活動提案事業団体が、町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報パンフレットを作製し、ホームページを通じて情報発信を行う取組みを支援した。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を作製した住民活動団体と協働で、町ホームページやSNSを通じて情報発信に取り組んだ。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を作製した住民活動団体と協働で、町ホームページやSNSを通じて情報発信に取り組む。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を作製した住民活動団体と協働で、町ホームページやSNSを通じて情報発信に取り組む。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	
	R2年度	PR活動の推進											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新たな特産品の商品化 【★】 担当課 建設農林課	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、JA、県と連携しながら商品化をはかる。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかった。 観光協会の協力により、黒米を使った黒米酢と黒米酒を商品化できた。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかった。 観光協会の協力により、黒米を使ったレストランメニューの提供や黒米菓子を商品化された企業に黒米を販売した。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかった。 観光協会の協力により、黒米を使った商品を作製する企業に黒米を販売した。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかる。 観光協会の協力により、黒米を使った商品を作製する企業に黒米を販売する。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかる。 観光協会の協力により、黒米を使った商品を作製する企業に黒米を販売する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
新規特産品商品化数	R1年度	―	1品目	1品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	
	R2年度	2品目											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

21・農業の活性化

1・生産基盤の整備促進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
若手後継者の育成 【★】 担当課 建設農林課	若手後継者の育成など担い手の確保にむけ、認定農業者制度や農業次世代人材投資事業の普及や定着に努める。	若手後継者の育成など担い手の確保にむけ、関係機関と連携しながら、認定農業者制度や農業次世代人材投資事業の普及に努めた。	若手後継者の育成など担い手の確保にむけ、関係機関と連携しながら、認定農業者制度や農業次世代人材投資事業の普及に努めた。	若手後継者の育成など担い手の確保にむけ、関係機関と連携しながら、認定農業者制度や農業次世代人材投資事業の普及に努めた。	若手後継者の育成など担い手の確保にむけ、関係機関と連携しながら、認定農業者制度や農業次世代人材投資事業の普及に努める。	若手後継者の育成など担い手の確保にむけ、関係機関と連携しながら、認定農業者制度や農業次世代人材投資事業の普及に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
認定農業者数（累計）	R1年度	7人	10人	10人	8人	10人	7人	8人	10人	10人	10人	10人	
	R2年度	8人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	◎	継続	◎	継続		

21・農業の活性化

2･地産地消の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
特産農産物の流通促進 【再掲】 担当課 建設農林課	現在の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）の直売所情報を、町ホームページやSNSを通じて情報発信し、PR活動に取り組む。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を、町ホームページやSNSを通じて情報発信するための検討をすすめた。	協働のまちづくり活動提案事業団体が、町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報パンフレットを作製し、ホームページを通じて情報発信を行う取組みを支援した。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を作製した住民活動団体と協働で、町ホームページやSNSを通じて情報発信に取り組んだ。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を作製した住民活動団体と協働で、町ホームページやSNSを通じて情報発信に取り組む。	町の特産農産物（梨・ぶどう・苺など）を含んだ直売所情報を作製した住民活動団体と協働で、町ホームページやSNSを通じて情報発信に取り組む。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	
	R2年度	PR活動の推進											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
新たな特産品の商品化 【再掲】 【★】 担当課 建設農林課	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、JA、県と連携しながら商品化をはかる。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかった。 観光協会の協力により、黒米を使った黒米酢と黒米酒を商品化できた。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかった。 観光協会の協力により、黒米を使ったレストランメニューの提供や黒米菓子を商品化された企業に黒米を販売した。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかった。 観光協会の協力により、黒米を使った商品を作製する企業に黒米を販売した。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかる。 観光協会の協力により、黒米を使った商品を作製する企業に黒米を販売する。	新たな農産物特産品を商品化するため、農産物の掘り起こしを実施し、生産者、観光協会、JA、県などと連携しながら商品化をはかる。 観光協会の協力により、黒米を使った商品を作製する企業に黒米を販売する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
新規特産品商品化数	R1年度	―	1品目	1品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	2品目	
	R2年度	2品目											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

21・農業の活性化

2･地産地消の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
産業まつりの開催 担当課 建設農林課	消費者と生産者の交流を深め、住民が地元産業への関心を高める機会づくりとするため、産業まつりを開催する。	新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、産業まつり2021は中止し、農産物品評会及び式典を実施した。	産業まつりを開催し、模擬店や農産物品評会を通じて、住民の地元産業への理解・関心を深めるよう努めた。	産業まつりを斑鳩の里文化芸術祭と合同で開催し、住民の農業への理解・関心を深めるよう努めた。	産業まつりを斑鳩の里文化芸術祭と合同で開催し、住民の農業への理解・関心を深めるよう努める。 荒天予報のため、午後3時の終了時刻を午後1時に前倒しした。	産業まつりを斑鳩の里文化芸術祭と合同で開催し、住民の農業への理解・関心を深めるよう努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数	R1年度	2,500人	3,000人／年	ー	ー	3,000人／年	2,000人／年	3,000人／年	2,500人／年	3,000人／年	1,500人／年	3,000人／年	
	R2年度	0人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	△	継続	○	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
農産物直売所の推進 【★】 担当課 建設農林課	観光や商業と連携し、農と食の交流拠点を整備する。また、町ホームページやSNSを通じて農産物直売所情報を発信し、PR活動に取り組む。	JA富郷の朝市、めぐみの郷の2箇所の直売所が営業している。 特産品である菜の花油、黒米等の販売店舗を広げられないか検討した。	JA富郷の朝市、めぐみの郷の2箇所の直売所が営業している。 特産品である菜の花油、黒米等の販売について、観光協会での販売や姉妹都市の祭事での販売に取り組んだ。	JA富郷の朝市、めぐみの郷の2箇所の直売所が営業している。 特産品である菜の花油、黒米等の販売について、観光協会での販売や姉妹都市の祭事での販売に取り組んだ。	JA富郷の朝市、めぐみの郷の2箇所の直売所が営業している。 特産品である菜の花油、黒米等の販売について、観光協会での販売や姉妹都市の祭事での販売に取り組む。	JA富郷の朝市、めぐみの郷の2箇所の直売所が営業している。 特産品である菜の花油、黒米等の販売について、斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業にて整備が予定されているマルシェへの出品に関する協議をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
直売所の設置箇所数（累計）	R1年度	3箇所	4箇所	3箇所	2箇所	3箇所	2箇所	3箇所	2箇所	4箇所	2箇所	4箇所	
	R2年度	3箇所											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

21・農業の活性化

2･地産地消の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
食育の推進 【★】 担当課 建設農林課	学校教育との連携により、農業体験学習の場の提供と学校給食への収穫物の活用など、農業への関心や理解を深める。	遊休農地解消にむけた取組みとして実証展示ほで作付けした「ジャガイモ」について、幼稚園児、保育園児による掘り取り体験を実施し、学校給食にも提供した。その他、黒米や菜の花油についても学校給食へ提供した。	遊休農地解消にむけた取組みとして実証展示ほで作付けした「ジャガイモ」について、幼稚園児、保育園児による掘り取り体験を実施し、学校給食にも提供した。その他、黒米や菜の花油についても学校給食へ提供した。	遊休農地解消にむけた取組みとして実証展示ほで作付けした「ジャガイモ」について、学校給食に提供した。ただし、幼稚園児、保育園児による掘り取り体験は、水害によりジャガイモが傷んだため実施できなかった。その他、黒米や菜の花油についても学校給食へ提供した。	遊休農地解消にむけた取組みとして実証展示ほで作付けした「ジャガイモ」について、幼稚園児、保育園児による掘り取り体験の実施を予定していたが、雨天のため、3団体について中止となった。 なお、収穫したジャガイモは、学校給食に提供するとともに、その他の黒米や菜の花油、さつまいもについても学校給食へ提供する。	遊休農地解消にむけた取組みとして実証展示ほで作付けした「ジャガイモ」について、幼稚園児、保育園児による掘り取り体験を実施し、学校給食にも提供する。その他の黒米や菜の花油、さつまいもについても学校給食へ提供する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
農業体験学習箇所数	R1年度	5箇所	5箇所／年	5箇所／年	5箇所／年	5箇所／年	5箇所／年	5箇所／年	0箇所／年	5箇所／年	2箇所／年	5箇所／年	
	R2年度	5箇所											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	ー	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
貸農園の推進 担当課 建設農林課	遊休農地などを活用して、レクリエーションやコミュニティの場となる貸農園や体験農園の開設を促進し、住民が農業にふれる機会づくりをすすめる。	阿波地区、稲葉車瀬地区において貸し農園を実施した。また、民間の貸農園の周知を行い、貸農園を推進した。	阿波地区、稲葉車瀬地区において貸し農園を実施する。また、民間の貸農園の周知を行い、貸農園を推進した。	阿波地区、稲葉車瀬地区において貸し農園を実施した。また、民間の貸農園の周知を行い、貸農園を推進した。	阿波地区、稲葉車瀬地区において貸し農園を実施する。また、民間の貸農園の周知を行い、貸農園を推進する。	阿波地区、稲葉車瀬地区において貸し農園を実施する。また、民間の貸農園の周知を行い、貸農園を推進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
貸農園数（累計）	R1年度	2地区	3地区	3地区	2地区	3地区	2地区	3地区	2地区	3地区	2地区	3地区	
	R2年度	2地区											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

21・農業の活性化

2･地産地消の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
遊休農地の解消 担当課 建設農林課	斑鳩らしい景観の要素として農地の保全をはかるため、遊休農地解消に努める。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努めた。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努めた。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努めた。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努めた。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努めた。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努めた。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努める。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努める。また各地域での地域計画の策定にむけ、地域での意向把握や目標地図の作成をすすめる。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努める。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
遊休農地面積	R1年度	11ha	640a	10ha	12.3ha	10ha	12.7ha	10ha	17.4ha	10ha	17.1ha	10ha	
	R2年度	11.1ha											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
園芸講習会の実施 担当課 建設農林課	はじめての野菜作り講習会など、初心者むけの農業講習会を実施する。	新たな貸し農園の入園者に対し、JA職員が講師として、はじめての野菜作り講習会を実施した。 また、ジャガイモサポーター制度により実践による農業講習会を実施した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	新たな貸し農園の入園者に対し、JA職員が講師として、はじめての野菜作り講習会を実施した。 また、ジャガイモサポーター制度により実践による農業講習会を実施した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	新たな貸し農園の入園者に対し、JA職員が講師として、はじめての野菜作り講習会を実施した。 また、ジャガイモサポーター制度により実践による農業講習会を実施した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	新たな貸し農園の入園者に対し、JA職員が講師として、はじめての野菜作り講習会を実施する。 また、ジャガイモサポーター制度により実践による農業講習会を実施する。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催する。	新たな貸し農園の入園者に対し、JA職員が講師として、はじめての野菜作り講習会を実施する。 また、ジャガイモサポーター制度により実践による農業講習会を実施する。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
講習会実施回数	R1年度	2講座	3講座／年	3講座／年	3講座／年	3講座／年	3講座／年	3講座／年	3講座／年	3講座／年	3講座／年	3講座／年	
	R2年度	2講座											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

21・農業の活性化

2・地産地消の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
農業にふれあう機会づくり 担当課 建設農林課	一般住民に対し、じゃがいも栽培など、植えつけから収穫までを体験してもらい、農業にふれあう機会づくりを提供し、農業に対して理解を深めてもらう。	「ジャガイモ」栽培において栽培サポーターの募集を行い、植え付けから収穫までを体験してもらい、農業にふれあう機会づくりを提供した。 また、たつた・あわ保育園、斑鳩幼稚園の児童を対象にジャガイモの収穫を体験してもらい、農業にふれあう機会づくりを提供した。	「ジャガイモ」栽培において栽培サポーターの募集を行い、植え付けから収穫までを体験してもらい、農業にふれあう機会づくりを提供した。 また、たつた・あわ保育園、斑鳩東幼稚園の児童を対象にジャガイモの収穫を体験してもらい、農業にふれあう機会づくりの場を提供した。	「ジャガイモ」栽培において栽培サポーターの募集を行い、植え付けから収穫までを体験してもらい、農業にふれあう機会づくりを提供した。 また、たつた・あわ保育園、斑鳩西幼稚園の児童を対象にジャガイモの収穫を体験してもらい、農業にふれあう機会づくりの場を提供する予定であったが、水害でじゃがいもが傷み、実施できなかった。	「ジャガイモ」栽培において栽培サポーターの募集を行い、植え付けから収穫までを体験してもらい、農業にふれあう機会づくりを提供する。 また、たつた・あわ保育園、斑鳩西幼稚園の児童を対象にジャガイモの収穫を体験してもらい、農業にふれあう機会づくりの場を提供する。	「ジャガイモ」栽培において栽培サポーターの募集を行い、植え付けから収穫までを体験してもらい、農業にふれあう機会づくりを提供する。 また、たつた・あわ保育園、斑鳩西幼稚園の児童を対象にジャガイモの収穫を体験してもらい、農業にふれあう機会づくりの場を提供する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
栽培サポーター数	R1年度 33人	30人／年	30人／年	45人／年	30人／年	45人／年	30人／年	39人／年	30人／年	42人／年	30人／年	
	R2年度 30人		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			◎	継続	◎	継続	◎	継続	◎	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩の里・農と食の活性化プロジェクトの推進 【★】 担当課 建設農林課	斑鳩の里・農と食の活性化プロジェクト推進委員会において、地域特産農作物などの開発、調査研究を行い、関係機関と連携して食育の推進をはかるイベントを行う。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈した。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催した。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈する。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催する。	農業委員会において栽培した米や、斑鳩の里農と食の活性化プロジェクトにて栽培した野菜類について、子ども食堂へ進呈する。 また、農業振興会において地域特産品の苗づくりの講習会を開催する。

指 標	実績値	前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度 イベント等の検討 苗づくり講習会開催	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	イベント等の検討	
	R2年度 イベント等の検討 苗づくり講習会の開催		進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

21・農業の活性化

2･地産地消の推進

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
景観形成作物の普及 【再掲】 担当課 都市創生課	自然、田園、歴史の景観が一体となった地域において、訪れる人だけでなく、住む人にも潤いと安らぎが感じられ、また、休耕地の有効な活用をはかることを目的に、景観形成作物の栽培を実施する。	栽培面積（コスモス） 47,250㎡ 【内訳】 岡本地区　24,230㎡ 三井地区　6,386㎡ 法隆寺東地区　2,272㎡ 東里地区　5,154㎡ 西里地区　9,208㎡ 栽培面積（レンゲ） 29,178㎡ （岡本地区　他4地区）	栽培面積（コスモス） 栽培地の団地化を目的とし、栽培エリアを岡本地区のみに集約した。 26,442㎡ 栽培面積（レンゲ） 25,589㎡ （東里、幸前、西里、三井地区で栽培を実施した。）	栽培面積（コスモス） 30,213㎡ 栽培面積（レンゲ） 33,702㎡ （東里、幸前、西里、三井、岡本の5地区）	栽培面積（コスモス） 30,999㎡ 栽培面積（レンゲ） 33,285㎡ （東里、幸前、西里、三井、岡本の5地区）	栽培面積（コスモス） 31,000㎡ 栽培面積（レンゲ） 40,000㎡ （東里、幸前、西里、三井、岡本の5地区）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	栽培地の団地化	コスモス栽培地の団地化の検討、周知	コスモス栽培地の団地化の検討、周知	コスモス栽培地の団地化の実施	コスモス栽培地の団地化の実施	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	○	継続	○	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

1・歴史文化資源の保全

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
景観計画の推進 【再掲】 担当課 都市創生課	景観計画および景観条例の適切な運用により、町全域の景観区域と幹線道路沿道などの重点景観形成区域において良好な景観を形成する。また、農業、商工業、観光との連携をはかるとともに、景観まちづくりに取り組む住民活動を支援し、官民協働による斑鳩の里の景観の保全と創出に努める。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかる。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
歴史まちづくり計画の推進 【再掲】 担当課 都市創生課	「文化財行政」と「まちづくり行政」が連携した、歴史まちづくりを実現するため、実施管理計画を着実かつ円滑にすすめる。また、電柱類の景観改善や、歴史的風致形成建造物等の指定を行うなど、歴史・観光まちづくりへの活用をはかる。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・第2期計画作成にむけた説明会の参加した。 ・第2期計画を作成することを決定した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催した。 ・第2期計画を作成した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかる。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催する。 ・第2期計画の一部の事業の主体が変更になることから、「計画の軽微な変更」の手続きを行う。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかる。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

1・歴史文化資源の保全

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町内遺跡の発掘調査 担当課 生涯学習課	町内に所在する埋蔵文化財が適切に保存されるように個人住宅建築等にともなう発掘調査を行うとともに、町内に所在する重要遺跡の確認調査を行う。	中宮寺跡周辺遺跡において、範囲確認のための発掘調査を実施した。	中宮寺跡周辺遺跡において、範囲確認のための発掘調査を実施した。	個人住宅建築等にともなう緊急発掘調査は生じなかった。	個人住宅建築等にともなう緊急発掘調査を1件実施する。	個人住宅建築等にともなう緊急発掘調査を2件実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
開発にともなう発掘調査 担当課 生涯学習課	民間等の開発にともない、埋蔵文化財の保存が適切に行われるよう、事前に発掘調査を行う。	いかるがパークウェイ建設にともなう発掘調査と開発にともなう発掘調査を1件の合計2件実施した。	いかるがパークウェイ建設にともなう発掘調査を実施した。	いかるがパークウェイ建設にともなう発掘調査と、民間開発にともなう発掘調査を3件の合計4件実施した。	いかるがパークウェイ建設にともなう発掘調査（本調査分）をすすめるとともに、令和6年度に実施した発掘調査の出土遺物の整理作業を実施する。 また、民間による開発にともなう発掘調査を2件実施する。	民間による開発にともなう発掘調査の合計2件の調査を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

1・歴史文化資源の保全

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公共事業にともなう発掘調査 担当課 生涯学習課	公共事業にともない、埋蔵文化財の適切な保存を行うため、事前に発掘調査を行う。	遺跡の範囲内において、公共事業にともなう発掘調査を2件実施した。	遺跡の範囲内における公共事業にともなう発掘調査は生じなかった。	平成緊急内水対策事業にともなう発掘調査を実施した。	平成緊急内水対策事業にともなう発掘調査を実施した。 遺跡の範囲内における公共事業にともなう発掘調査を実施する。	遺跡の範囲内における公共事業にともなう発掘調査を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
出土遺物の保存・整理 担当課 生涯学習課	発掘調査報告書作成や展示にむけて、過去に実施した発掘調査に伴い出土した遺物の適切な保存を行うため、遺物洗浄をはじめとする出土遺物の整理作業を行う。	過年度に実施した発掘調査により出土した遺物整理作業を、作業効率を高めるため、専門業者に委託した。	過年度に実施した発掘調査により出土した遺物整理作業を、作業効率を高めるため、専門業者に委託した。	過年度に実施した発掘調査により出土した遺物整理作業を、作業効率を高めるため、専門業者に委託した。	過年度に実施した発掘調査により出土した遺物整理作業を、作業効率を高めるため、専門業者に委託する。	過年度に実施した発掘調査により出土した遺物整理作業を、作業効率を高めるため、専門業者に委託する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
処理した遺物箱数（累計）	R1年度	1,285箱	1,550箱	1,350箱	1,350箱	1,400箱	1400箱	1,450箱	1445箱	1,500箱	1485箱	1550箱	
	R2年度	1,300箱											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

1・歴史文化資源の保全

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
文化財調査報告書の作成 担当課 生涯学習課	埋蔵文化財の調査に伴い出土した遺物の整理作業を経て、その調査成果等の情報の共有化をはかるため、発掘調査報告書などのとりまとめを行う。	令和2年度に国庫補助事業により実施した発掘調査の概要報告書を作成した。	令和3年度に国庫補助事業により実施した発掘調査の概要報告書を作成した。	平成30年度から令和4年度まで国庫補助事業により実施した中宮寺跡周辺遺跡の範囲確認調査の報告書を作成した。	令和5年度に概要報告書を作成すべき発掘調査が生じなかったため、刊行はしない。	令和6年度に国庫補助事業により実施する発掘調査の概要報告書を作成する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
報告書発行冊数（累計）	R1年度	8冊	14冊	10冊	10冊	11冊	11冊	12冊	12冊	13冊	12冊	13冊	
	R2年度	9冊											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	ー	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町指定文化財候補の調査 担当課 生涯学習課	文化財保護審議会委員の指導のもと、町内の各地域で保存・継承されてきた古文書、美術工芸品、考古資料、遺跡などの文化財について、町など指定文化財の候補となる文化財の調査をすすめる。	春日古墳調査検討委員会の指導により、春日古墳の本格的な調査にむけて、気象などの環境調査を引き続き行った。	春日古墳調査検討委員会の指導により、春日古墳の本格的な調査にむけて、気象などの環境調査を引き続き行った。	町内に所在する歴史資料の調査を行った。また、春日古墳の環境調査が終了したことから、今後の春日古墳に関する方針の検討を行うとともに、同敷地内で墳丘に隣接する安田家住宅の保存と活用に関する検討を行った。 奈良大学との共同により舟塚古墳の発掘調査をすすめた。	町内に所在する歴史資料の調査を行うとともに、春日古墳と安田家住宅の保存と活用のため、春日古墳と安田家住宅がある土地の公有化にむけた検討を行う。 白石畑地区の牛王法印について、町指定にむけた作業をすすめる。	町内に所在する歴史資料の調査を行うとともに、春日古墳と安田家住宅の保存と活用を行うため、春日古墳と安田家住宅がある土地の公有化をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
指定候補数（累計）	R1年度	20件	31件	23件	22件	24件	22件	26件	23件	28件	24件	31件	
	R2年度	21件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

1・歴史文化資源の保全

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
文化財の啓発 担当課 生涯学習課	文化財の重要性を見直し、身近にある文化財を再認識できるよう、講演会や歴史ウォークなどを開催する。	春季企画展開催にともなう記念講演会 開催日：6月12日 参加人数 ：100人 秋季特別展開催にともなう記念講演会 開催日：11月6日 参加人数 ：88人	春季企画展開催にともなう講演会 開催日：6月5日 参加人数 ：78人 秋季特別展開催にともなう講演会 開催日：11月5日 参加人数 ：71人	春季企画展開催にともなう講演会 開催日：6月10日 参加人数 ：90人 秋季特別展記念シンポジウム 開催日：11月19日 参加人数 ：150人	春季企画展歴史講演会 開催日：6月9日 参加人数 ：80人 秋季特別展歴史シンポジウム 開催日：11月16日	春季企画展開催にともなう講演会を開催する。 秋季特別展開催にともなう講演会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
啓発事業の参加人数（累計）	R1年度	4,741人	6,000人	5,000人	5,029人	5,200人	5,178人	5,600人	5,418人	5,800人	5,800人	6,000人	
	R2年度	4,841人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
町並み景観形成の推進 担当課 都市創生課	歴史的風致維持向上計画の着実な推進にむけて、歴史的な町並みを維持しながら周囲と調和した修景整備をすすめる。	斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金により修景整備にかかる費用の一部を助成した。また、事前相談期間をもうけ、制度の周知をはかった。	斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金により修景整備にかかる費用の一部を助成する事業の募集を行った。また、事前相談期間をもうけ、制度の周知をはかった。	斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金により修景整備にかかる費用の一部を助成した。また、事前相談期間をもうけ、制度の周知をはかった。 令和6年度からの第2期歴史的風致維持向上計画の中で事業継続することとした。	斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金により修景整備にかかる費用の一部を助成する。また、事前相談期間をもうけ、制度の周知をはかる。	・斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金により修景整備にかかる費用の一部を助成する。また、事前相談期間をもうけ、制度の周知をはかる。 ・法隆寺門前広場について、法隆寺周辺の歴史的な町並みの向上に資する公園として、再整備の検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ー	R1年度	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	
	R2年度	計画の推進											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

1・歴史文化資源の保全

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民参加による文化財の保存・活用 【★】 担当課 生涯学習課	斑鳩文化財センターの運営や史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡等の維持管理などにボランティアの協力を得るなど、住民と行政との協働により、町内の文化財の保存と活用をはかる。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかった。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行った。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかった。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行った。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかった。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行った。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかる。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行う。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかる。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
活動に参加した延べ人数（累計）	R1年度	9,756人	16,000人	12,000人	11,039人	12,000人	11,789人	13,000人	12,405人	14,000人	14,000人	16,000人	
	R2年度	10,379人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

2・歴史文化資源の「魅力」の発信

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
法隆寺iセンターの充実 【再掲】 担当課 都市創生課	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の強化をはかるため、法隆寺iセンターの設備や機能等の充実にむけ、引き続き奈良県と協議をすすめる。また、法隆寺iセンターの観光情報発信拠点として、新たな情報発信コンテンツの充実をはかる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめた。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、奈良県により、法隆寺iセンターのエレベーターの更新を行った。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、奈良県により、法隆寺iセンターの観光案内カウンターの更新を行った。	・民間活力を施設運営、観光振興に活用し、持続可能な観光地づくりを推進するため、法隆寺iセンターの指定管理者について、公募型プロポーザル方式により業者選定を行う。 ・奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめる。	奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、観光・地域情報発信の充実をはかるため、法隆寺iセンターの設備等の更新について、奈良県と協議をすすめる。また、法隆寺iセンターの情報発信コンテンツの充実をはかるため、指定管理者と新たな取り組みについて協議、検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
観光客の利用者数	R1年度	86,366人	72,500人／年	72,500人／年	43,876人／年	72,500人／年	66,712人／年	72,500人／年	76,260人／年	72,500人／年	70,000人／年	72,500人／年	
	R2年度	34,909人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ウォークイベントの開催 【再掲】 【★】 担当課 都市創生課	聖徳太子ゆかりのまちを巡るウォークイベントを実施し、滞在・宿泊型の観光形態につなげ、経済効果への波及をはかるとともに、地域住民による、地域の魅力の再発見および地域の活性化をめざす。また、斑鳩町観光協会や観光ボランティアの会と連携し、町内外のコースを設定したウォークイベントを開催する。	・聖徳太子の里ツーデーウォークは、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携した「聖徳太子1400年御遠忌」ウォークを開催した。 ・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。 ・教育委員会、観光協会などにより、「世界遺産登録30周年記念プレイベント」講演会＆ウォークを開催した。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催した。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催した。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめる。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催する。	指定管理者等と、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめる。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
延べ参加者数	R1年度	1,474人	2,000人／年	2,000人／年	25人／年	2,000人／年	170人／年	2,000人／年	118人／年	2,000人／年	200人／年	2,000人／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

2・歴史文化資源の「魅力」の発信

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民参加による文化財の保存・活用 【再掲】 【★】 担当課 生涯学習課	斑鳩文化財センターの運営や史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡等の維持管理などにボランティアの協力を得るなど、住民と行政との協働により、町内の文化財の保存と活用をはかる。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかった。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行った。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかった。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行った。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかった。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行った。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかる。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行う。	斑鳩文化財センターの文化財ボランティアや史跡藤ノ木古墳、史跡中宮寺跡の維持管理においては、老人会やボランティアの協力を得て保存と活用をはかる。また、ボランティアの増員のため、町広報紙への募集記事の掲載や、ボランティアに知人への声かけを依頼するなど、積極的な募集を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
活動に参加した延べ人数（累計）	R1年度	9,756人	16,000人	12,000人	11,039人	12,000人	11,789人	13,000人	12,405人	14,000人	14,000人	16,000人	
	R2年度	10,379人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩町文化財保存活用地域計画の策定 担当課 生涯学習課	町内所在の文化財の保存をはかるとともに、歴史文化を生かした観光振興など、施策の展開をはかるため、斑鳩町文化財保存活用地域計画の策定をすすめる。	先進地事例の調査研究を行うなど、計画策定にむけた準備をすすめた。	先進地事例の調査研究を行い、作成に係る研修会に参加するなど、計画策定にむけた準備をすすめた。	先進地事例の調査研究を行った。事業着手について、具体的なスケジュール等の検討を行った。	先進地事例の調査研究を行った。事業着手について、具体的なスケジュール等の検討を行う。	先進地事例の調査研究を行った。事業着手について、具体的なスケジュール等の検討を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	計画の策定	調査研究	調査研究	調査研究 研修会へ参加	調査研究 研修会へ参加	調査研究 スケジュールの作成	調査研究 スケジュールの検討	具体的なスケジュール等の検討	具体的なスケジュール等の検討	具体的なスケジュール等の検討	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	×	継続	△	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

2･歴史文化資源の「魅力」の発信

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
史跡中宮寺跡の保存・活用 【★】 担当課 生涯学習課	史跡中宮寺跡歴史公園を住民に親しまれる公園として適切な維持管理を行うとともに、歴史を身近に感じられる観光資源として活用する。	だれもが快適に利用できるよう、利用案内看板を作成して設置をおこなった。また、来訪者の増加を促すため、ボランティアと協働して、コスモスなどの植栽を行った。近隣市町村の活用事例などを参考に、活用計画の作成をすすめるとともに、町広報紙や新聞、講演活動などを通じ、中宮寺跡の周知に努めた。ただし、イベント会場などへの利用については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。	春季では、G.Wの期間に遺跡の現地解説や古代衣装体験を開催し、町民からいただいたこいのぼりの掲揚を行った。秋季では、いかるがマルシェの会場として利用した。また臨時駐車場案内看板の作成、町広報紙や新聞、SNSなどを通じ、中宮寺跡の周知に努めるとともに、ボランティアとの協働で、コスモスなどの植栽を行い、中宮寺跡の来訪者の増加に努めた。	春季では、G.Wの期間に子どもを対象としたイベントを開催するとともに、町民からいただいたこいのぼりの掲揚を行った。また、町広報紙や新聞、SNS、講演活動などを通じ、中宮寺跡の周知に努めるとともに、イベントの会場などへの積極的な利用をはかった。さらに、ボランティアとの協働で、コスモスなどの植栽を行い、中宮寺跡の来訪者の増加に努めた。	春季では、G.Wの期間に子どもを対象としたイベントを開催するとともに、町民からいただいたこいのぼりの掲揚を行う。また、町広報紙や新聞、SNS、講演活動などを通じ、中宮寺跡の周知に努めるとともに、近隣市町村の活用事例を参考に、イベントの会場などへの積極的な利用をはかる。さらに、ボランティアとの協働で、コスモスなどの植栽を行い、中宮寺跡の来訪者の増加に努める。	春季では、G.Wの期間にイベントを開催するとともに、町民からいただいたこいのぼりの掲揚を行う。また、町広報紙や新聞、SNS、講演活動などを通じ、中宮寺跡の周知に努め、イベントの会場などへの積極的な利用をはかる。さらに、ボランティアと協働で、コスモスなどの植栽を行い、中宮寺跡の来訪者の増加に努める。 公園の積極的な活用をはかるため、駐車場用地を購入する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
イベント等における利用件数（累計）	R1年度	3件	24件	8件	6件	10件	8件	14件	12件	18件	17件	24件	
	R2年度	4件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩文化財センターの運営 担当課 生涯学習課	史跡藤ノ木古墳のガイダンス機能を中心に、斑鳩の歴史・文化の調査・研究および情報の発信拠点として、斑鳩文化財センターの運営を行う。	春と秋にテーマを決めて特別展などの展示会を開催した。 ①春季企画展 期間：5月22日～6月27日 人数：839人 ②秋季特別展 期間：10月23日～11月28日 人数：1,995人	春と秋にテーマを決めて特別展などの展示会を開催した。 ①春季企画展 期間：5月21日～6月26日 人数：1,188人 ②秋季特別展 期間：10月22日～11月27日 人数：1,729人	春と秋にテーマを決めて特別展などの展示会を開催した。また、いかるがパークウェイにともなう発掘調査成果速報展を開催した。 ①春季企画展（5/27～6/25） 人数：759人 ②秋季特別展（10/21～12/17）　人数：1,876人 ③夏季速報展（7/22～8/27） 人数：525人 センター利用者や藤ノ木古墳見学者の利便性向上のため、駐車場を増設した。	春と秋にテーマを決めて特別展などの展示会を開催する。 ①春季企画展（5/11～6/30） 人数：1,687人 ②秋季特別展 （10/26～12/15）	春と秋にテーマを決めて特別展などの展示会を開催する。 ①春季企画展 期間：5月下旬～6月下旬 ②秋季特別展 期間：10月中旬～11月下旬

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
来館者数（累計）	R1年度	98,420人	155,000人	115,000人	111,100人	120,000人	119,339人	130,000人	127,270人	140,000人	140,000人	155,000人	
	R2年度	104,398人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

2・歴史文化資源の「魅力」の発信

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
聖徳太子歴史資料室の充実 【★】 担当課 生涯学習課	斑鳩・聖徳太子に関係する地域資料を収集、整理し、利用に供し、関心を持つ方へ聖徳太子歴史資料室の情報を提供するとともに、地域資料に関する調査・相談業務を行う。また、資料への理解を深めるための講座や、斑鳩の古写真と、それに関する情報を収集するためのワークショップを行う。	・新規受入資料数　139点 ・斑鳩の記憶データベースの維持管理を継続し、活用をはかった。 ・講座「よみがえる至宝－法隆寺金堂壁画原寸大撮影とコロタイプ」を開催し、来室者の増加に努めた。 ・「これからのまちを考えるブックリレー」の資料展示を行った。	・新規受入資料数　125点 ・斑鳩の記憶データベースの維持管理を継続し、活用をはかった。 ・講座「聖徳太子信仰と仏像」を開催し、来室者の増加に努めた。 ・「これからのまちを考えるブックリレー」の資料展示を行った。	・新規受入資料数　147点 ・斑鳩の記憶データベースの維持管理を継続し、活用をはかった。 ・ワークショップ「使ってみよう！斑鳩の記憶データベース」を開催し、活用方法を広報した。また古写真と比較できる現在の写真を募集しデータベースの充実をはかった。 ・「これからのまちを考えるブックリレー」およびガラスケースでの資料展示を定期的に行った。	・新規受入予定資料数　50点 ・斑鳩の記憶データベースの維持管理を継続し、活用をはかる。 ・講座を開催し、歴史資料室の認知度を高める。 ・「これからのまちを考えるブックリレー」およびガラスケースでの資料展示を定期的に行う。	・新規受入予定資料数　50点 ・斑鳩の記憶データベースの維持管理を継続し、活用をはかる。 ・講座もしくはワークショップを開催し、歴史資料室の認知度を高める。 ・「これからのまちを考えるブックリレー」およびガラスケースでの資料展示を定期的に行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
①来室者数（人／年） ②資料室蔵書冊数（累計）	R1年度	①3,666人 ②8,341冊	①3,800人／年 ②8,750冊	①3,800人／年 ②8,600冊	①1,093人／年 ②8,696冊	①3,800人／年 ②8,650冊	①1,464人／年 ②8,829冊	①3,800人／年 ②8,700冊	①2,346人／年 ②8,957冊	①3,800人／年 ②8,750冊	①2,748人／年 ②9,073冊	①3,800人／年 ②8,750冊	
	R2年度	①975人 ②8,558冊											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
先端情報技術を活用した文化財の情報発信 【★】 担当課 生涯学習課	町のホームページやfacebookなどを活用し、広く斑鳩の文化財情報の発信を行うとともに、先端映像技術を活用した文化財の情報発信を行う。	町広報紙や町ホームページのほか、県広報紙、新聞などにおいて文化財関係の情報発信を行った。 専用のホームページの開設については、近隣市町村のホームページを参考に検討をすすめ、町観光協会のホームページのリニューアルに合わせて協議を行い、文化財センターの情報を掲載できるように、文化財センターの専用の窓口を作成して活用するようになった。	町広報紙や町ホームページのほか、facebookやインスタグラムなどのSNS、また、町観光協会のホームページ、県広報紙、新聞などにおいて当町の歴史や文化に関するより詳しく速報性のある情報発信をすすめた。	町広報紙や町ホームページのほか、facebookやインスタグラムなどのSNS、また、町観光協会のホームページ、県広報紙、新聞などにおいて当町の歴史や文化に関するより詳しく速報性のある情報発信をすすめた。	町広報紙や町ホームページのほか、facebookやインスタグラムなどのSNS、また、町観光協会のホームページ、県広報紙、新聞などにおいて当町の歴史や文化に関するより詳しく速報性のある情報発信をすすめる。	町広報紙や町ホームページのほか、facebookやインスタグラムなどのSNS、また、町観光協会のホームページ、県広報紙、新聞などにおいて当町の歴史や文化に関するより詳しく速報性のある情報発信をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

2・歴史文化資源の「魅力」の発信

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
「斑鳩町史」の改訂 担当課 生涯学習課	編さん委員会を開催し、町史の改訂に必要な史料の調査・整理、執筆をすすめ、発刊にむけての事務をすすめる。	編さん委員会を開催し、町史の改訂に必要な史料の調査・整理、執筆をすすめ、「斑鳩町史」改訂版（上巻）の発行をすすめた。	「新修　斑鳩町史　上巻」を発刊した。 編さん委員会を開催し、町史の改訂に必要な史料の調査・整理、執筆をすすめた。	執筆者説明会および編さん委員会を開催し、町史の改訂に必要な史料の調査・整理、執筆をすすめた。 発刊スケジュール 【中巻】 R5～7　原稿執筆完了 R7～8　編集校正業務 R9　　印刷業務・完成 【下巻】 R6～7　原稿執筆完了 R8　　編集校正業務 R9　　印刷業務・完成	編さん委員会を開催し、中巻、下巻の刊行にむけて必要な史料の調査・整理、執筆をすすめる。	執筆者説明会および編さん委員会を開催し、中巻、下巻の改訂に必要な史料の調査・整理、執筆をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	全巻の改訂完了	上巻の発行	上巻の編集校正	上巻の発刊 中巻の発行準備	上巻の発刊 中巻の執筆準備	中巻の原稿執筆	中巻、下巻の調査・整理、執筆	中巻、下巻の原稿執筆	中巻、下巻の調査・整理、執筆	中巻、下巻の編集校正	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	△	継続	△	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
史跡藤ノ木古墳の保存・活用 担当課 生涯学習課	藤ノ木古墳は、日本国内のみならず世界においても貴重な文化財であることから、各団体等と協働して維持管理に努める。また、文化財の啓発活動をはかるため、春と秋の年2回、石室特別公開を開催し、歴史を体感できる機会を設ける。	藤ノ木古墳の清掃・植栽等について、あゆみの家に委託するとともに、西里老人クラブと協働して、適正な維持・管理を行った。また、活用としての石室特別公開については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。	藤ノ木古墳の清掃・植栽等について、あゆみの家に委託するとともに、西里老人クラブと協働して、適正な維持・管理を行った。 活用としての石室特別公開については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、春季の公開を中止し、秋季については、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じたうえで実施した。 秋季：11月12日、13日 参加者：356人	藤ノ木古墳の清掃・植栽等について、あゆみの家に委託するとともに、西里老人クラブと協働して草刈作業を行った。 石室特別公開については、官学連携協定を締結している法隆寺国際高校と協働して行った。また、寄付金の一部を活用して藤ノ木古墳を顕彰し、古墳の魅力を伝えることを目的に体験アプリを制作した。 春季：5月13日、14日 参加者：201人 秋季：11月25日・26日 参加者：350人	藤ノ木古墳の清掃・植栽等について、あゆみの家に委託するとともに、西里老人クラブと協働して草刈作業を行う。 石室特別公開については、官学連携協定を締結している法隆寺国際高校と協働して行う。 春季：5月25日、26日 参加者：368人 秋季：11月9日・10日	藤ノ木古墳の清掃・植栽等について、あゆみの家に委託するとともに、西里老人クラブと協働して草刈作業を行う。 活用面として、石室特別公開については、官学連携協定を締結している法隆寺国際高校と協働して行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
石室特別公開見学者数（累計）	R1年度	25,015人	40,000人	28,000人	25,015人	28,000人	25,371人	28,000人	25,922人	36,000人	26,290人	40,000人	
	R2年度	25,015人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

2･歴史文化資源の「魅力」の発信

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
考古学にふれあう機会づくりの推進 【★】 担当課 生涯学習課	斑鳩をはじめ、日本の歴史や文化に興味を持ち、学ぶきっかけになるよう、小学生を対象とした考古学教室や中学生以上を対象とした考古学講座を開催するなど、考古学にふれあう機会を創出する。	小学生とその保護者を対象 「こども勾玉づくり教室」 開催日：11月28日 人数：34人 小学生とその保護者を対象 「こども一日学芸員体験」 ※新型コロナウイルス感染症の拡大のため、中止した。 中学生以上を対象 「古墳めぐり」 開催日：3月27日 人数：27人	小学生とその保護者を対象 「こども勾玉づくり教室」 開催日：8月7日 人数：30人 「ナゾトキ！？斑鳩」 開催日：1月29日 人数：9人 中学生以上を対象 「巡って学ぼう斑鳩の文化財」 開催日：2月19日 人数：19人	小学生とその保護者を対象 「こども勾玉づくり教室」 開催日：8月7日 人数：21人 「こども鏡づくり教室」 開催日：2月25日 人数：19人 中学生以上を対象 「まなび旅あるき旅」 （※雨天により中止）	小学生とその保護者を対象 「こども勾玉づくり教室」 開催日：8月4日 人数：20人 「ペーパークラフトで藤ノ木古墳をつくろう」 中学生以上を対象 「地下に埋もれた知られざる遺跡めぐり」	小学生とその保護者を対象とした「こども考古学教室」を開催する。 中学生以上を対象とした「斑鳩考古学講座」を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数（累計）	R1年度	717人	1,300人	900人	835人	1,000人	893人	1,100人	933人	1,100人	1,000人	1,300人	
	R2年度	774人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
法隆寺ゆかりの都市文化交流事業の開催 担当課 生涯学習課	法隆寺ゆかりの都市である、4市（小田原市・姫路市・高崎市・朝来市）と本町で、それぞれの地域の歴史や文化について理解を深めるための交流事業を開催する。	姫路市でパネル展示を開催した。 期間：6月6日～7月4日	◇朝来市との連携 ①枚田小学校による藤ノ木古墳および法隆寺見学への職員派遣 ◇小田原市との連携 ①小田原で開催する東京・斑鳩リレーセミナー【3月26日開催】への職員派遣	◇姫路市との連携 ①第10回世界遺産サミットin斑鳩への市長参加 ②姫路市文化財保護協会研修への職員派遣 ③姫路城世界遺産登録30周年記念シンポジウムへの講師派遣 ④姫路ユネスコ協会研修への職員派遣 ◇朝来市との連携 ⑤枚田小学校による藤ノ木古墳および法隆寺見学への職員派遣	それぞれの地域の歴史や文化について理解を深めるための交流事業について、各市からの協力要請や招待等に対して個別に対応する。	それぞれの地域の歴史や文化について理解を深めるための交流事業について、各市からの協力要請や招待等に対して個別に対応する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

22・歴史・文化遺産の保全と活用

2･歴史文化資源の「魅力」の発信

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
太子の日フォーラムの開催 担当課 都市創生課	住民が郷土愛と誇りをもてるまちづくりをすすめるため、聖徳太子の命日にあたる2月22日に、太子の「和の精神」を現代の視点から問い、太子の事績の意義を考え、太子の精神を未来へ引き継ぐことを目的に「太子の日フォーラム」を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。	地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用し、斑鳩セミナーとして開催した。	斑鳩遊学プロジェクト（町教育委員会、観光協会、文化振興財団）による講演会として開催した。	町もしくは文化振興財団の主催による太子の日フォーラムを開催する。 斑鳩遊学プロジェクト（町教育委員会、観光協会、文化振興財団）による講演会として開催する。	町もしくは文化振興財団の主催による太子の日フォーラムを開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加者数	R1年度	145人	200人／年	200人／年	ー	200人／年	171人／年	200人／年	317人／年	200人／年	720人／年	200人／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
世界遺産サミットの開催 担当課 生涯学習課	国内の世界遺産所在自治体の首長等が一堂に会し、世界遺産の保全や観光面における活用について意見交換をし、地域間の連携を深めることを目的に「世界遺産サミット」を開催する。			奈良県シンポジウム助成金（300万円）と日本観光振興協会拠出金（50万円）を活用して実施した。 ◇世界遺産サミットin斑鳩 開催日：10月28日・29日 会　場：法隆寺聖徳会館ほか 参加者：約570人（両日とも）		

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加者数	R1年度		600人／年					600人／年	600人／年				
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
								◎	完了				

23・文化・芸術の振興

1・文化・芸術に親しめる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公民館教室・教養講座の開催 【再掲】 担当課 生涯学習課	生きがいづくりや知識・技術の習得をはかるための生涯学習の機会づくりとして、各公民館において教室・教養講座等を開催する。	公民館教室(18教室) 中央公民館　12教室 東公民館　4教室 西公民館　2教室 生涯学習講座（9講座） 文学講座　7講座 6月8日、7月13日、8月10日 9月14日、10月12日、11月9日 12月14日 生活・経済講座　2講座 10月15日、11月30日	公民館教室(21教室) 中央公民館　16教室 東公民館　2教室 西公民館　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月14日、7月12日、8月9日 9月13日、10月11日、11月8日 12月13日 生活・経済講座　2講座 10月29日、2月18日	公民館教室(25教室) 中央公民館　21教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月13日、7月11日、8月8日 9月12日、10月10日、11月14日、12月12日 生活・経済講座　2講座 6月23日、10月28日	公民館教室(27教室) 中央公民館　23教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活・経済講座　3講座	公民館教室(27教室) 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活・経済講座　2講座

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
満足度	R1年度	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	78.5%	100.0%	83.4%	100.0%	90.0%	100.0%	
	R2年度	100.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
太子の日フォーラムの開催 【再掲】 担当課 都市創生課	住民が郷土愛と誇りをもてるまちづくりをすすめるため、聖徳太子の命日にあたる2月22日に、太子の「和の精神」を現代の視点から問い、太子の事績の意義を考え、太子の精神を未来へ引き継ぐことを目的に「太子の日フォーラム」を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。	地域文化財総合活用推進事業（補助金）を活用し、斑鳩セミナーとして開催した。	斑鳩遊学プロジェクト（町教育委員会、観光協会、文化振興財団）による講演会として開催した。	町もしくは文化振興財団の主催による太子の日フォーラムを開催する。 斑鳩遊学プロジェクト（町教育委員会、観光協会、文化振興財団）による講演会として開催する。	町もしくは文化振興財団の主催による太子の日フォーラムを開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加者数	R1年度	145人	200人／年	200人／年	ー	200人／年	171人／年	200人／年	317人／年	200人／年	720人／年	200人／年	
	R2年度	ー											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				ー	継続	○	継続	◎	継続	○	継続		

23・文化・芸術の振興

1・文化・芸術に親しめる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
美術展覧会の開催 担当課 生涯学習課	住民の芸術に対する関心と技術の向上をはかるため、美術展覧会を開催する。	美術展覧会を開催し、住民の芸術に対する関心を高める機会を提供した。 ・開催期間 10月30日～11月3日 ・開催場所 いかるがホール ・出展内容 洋画、日本画、水墨画、写真、書、彫塑工芸	美術展覧会を開催し、住民の芸術に対する関心を高める機会を提供した。 ・開催期間 10月30日～11月3日 ・開催場所 いかるがホール ・出展内容 洋画、日本画、水墨画、写真、書芸、彫塑工芸	美術展覧会を開催し、住民の芸術に対する関心を高める機会を提供した。 文化芸術祭式典と産業まつり2023を同日開催とした。 ・開催期間 11月2日～5日の4日間 ・開催場所 いかるがホール ・出展内容 洋画、日本画、水墨画、写真、書芸、彫塑工芸	美術展覧会を開催し、住民の芸術に対する関心を高める機会を提供する。 文化芸術祭式典と産業まつり2024を同日開催とする。 ・開催期間 11月1日～4日の4日間 ・開催場所 いかるがホール ・出展内容 洋画、水墨画、写真、書芸、彫塑工芸	美術展覧会を開催し、住民の芸術に対する関心を高める機会を提供する。 産業まつり同時開催 ・開催期間 11月3日前後の4日間 ・開催場所 いかるがホール ・出展内容 洋画、日本画、水墨画、写真、書芸、彫塑工芸

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
出品作品数	R1年度	125点	130点／年	130点／年	130点／年	130点／年	118点／年	130点／年	112点／年	130点／年	109点／年	130点／年	
	R2年度	126点											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
文化祭の開催 担当課 生涯学習課	各種芸術・文化の発展と意識の向上をはかるため、芸術・文化にふれる機会づくりとして文化祭を開催する。	文化祭の開催を通じ、各種芸術・文化の発展と意識の向上をはかった。 10月30日　式典 10月30～11月3日　美術展覧会 新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催	文化祭の開催を通じ、各種芸術・文化の発展と意識の向上をはかった。 10月30日～11月3日　美術展覧会 11月3日　式典 新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催	文化祭の開催を通じ、各種芸術・文化の発展と意識の向上をはかった。 11月2日（木）～11月5日（日） 美術展覧会 11月3日（祝・金） 式典、中高生による部活動発表（斑鳩町産業まつり2023と同日開催） 11月5日（日） 文化芸術ミニ体験コーナー	文化祭の開催を通じ、各種芸術・文化の発展と意識の向上をはかる。 産業まつり同日開催 11月1日（金）～11月4日（月） 美術展覧会 11月2日（土） 式典、小中高生による部活動発表（斑鳩町産業まつり2024と同日開催） 11月2日（土）～4日（月） 文化芸術ミニ体験コーナー	美術展覧会を開催し、住民の芸術に対する関心を高める機会を提供する。 産業まつり同日開催 ・開催期間 11月3日前後の4日間 ・開催場所 いかるがホール ・出展内容 洋画、日本画、水墨画、写真、書芸、彫塑工芸

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加者数	R1年度	1,000人	1,275人／年	1,275人／年	600人／年	1,275人／年	680人／年	1,275人／年	1,336人／年	1,275人／年	1,575／年	1,275人／年	
	R2年度	1,000人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	◎	継続	○	継続		

23・文化・芸術の振興

1・文化・芸術に親しめる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
美術協会に対する支援 担当課 生涯学習課	美術・芸術文化の向上をはかるため、美術創作活動を通じて、郷土の美術振興に寄与する美術協会に対し支援を行う。	美術協会展に対する支援を行った。 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行った。 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行った。 □ 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行う。 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
文化・芸術イベントの充実 担当課 都市創生課	文化・芸術にふれる機会づくりとして、いかるがホールなどを活用した、さまざまな分野のイベントを開催する。	令和3年5月23日（日） ・NHKあおによし奈良歴史講座 「聖徳太子ゆかりの地で古代の魅力を語る」 ・来場者：71名	令和5年2月3日（金） ・上方演芸会 来場者：560名	令和5年5月13日（土） ・ラジオ深夜便のつどい 来場者：532名	令和6年6月21日（金） ・上方演芸会 来場者：563名	文化振興に資するイベントの実施にむけて、NHK等に申請する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

23・文化・芸術の振興

1・文化・芸術に親しめる環境づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
(公財)斑鳩町文化振興財団への支援 担当課 都市創生課	文化・芸術の振興をはかるため、(公財)斑鳩町文化振興財団への助成を行い、その活動の充実を促進する。	文化・芸術の振興をはかるため、(公財)斑鳩町文化振興財団が自主事業を開催した。	文化・芸術の振興をはかるため、(公財)斑鳩町文化振興財団が自主事業を開催した。	文化・芸術の振興をはかるため、(公財)斑鳩町文化振興財団が自主事業を開催した。	文化・芸術の振興をはかるため、(公財)斑鳩町文化振興財団が自主事業を開催する。	文化・芸術の振興をはかるため、(公財)斑鳩町文化振興財団が自主事業を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
財団自主事業参加者数	R1年度	5,311人	6,000人／年	6,000人／年	1,901人／年	6,000人／年	4,232人／年	6,000人／年	6,298人／年	6,000人／年	6,000人／年	6,000人／年	
	R2年度	1,033人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	△	継続	◎	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
斑鳩町文化振興センターの充実 担当課 都市創生課	文化・芸術活動の拠点施設として、斑鳩町文化振興センター（いかるがホール）の施設・設備の充実をはかる。	・大ホールの舞台諸幕類の更新を行った。 ・空調設備更新（2階研修室・和室・楽屋等）を行った。 ・トイレ洋式化・感染症対策等の改修を行った。	・小ホールの音響設備の更新を行った。	・小ホールの照明設備の取替を行った。 ・いかるがホール照明設備のLED化を行った。	・小ホールの床改修を行う。 ・いかるがホール照明設備のLED化を行う。（大ホールホワイエ、バックヤード）	・空調機器の修繕を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
施設稼働率	R1年度	66.4%	80.0%	80.0%	32.8%	80.0%	37.9%	80.0%	40.4%	80%	50%	80%	
	R2年度	27.7%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	△	継続	△	継続		

23・文化・芸術の振興

2･文化･芸術活動の支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公民館教室･教養講座の開催 【再掲】 担当課 生涯学習課	生きがいづくりや知識･技術の習得をはかるための生涯学習の機会づくりとして、各公民館において教室･教養講座等を開催する。	公民館教室(18教室) 中央公民館　12教室 東公民館　4教室 西公民館　2教室 生涯学習講座（9講座） 文学講座　7講座 6月8日、7月13日、8月10日 9月14日、10月12日、11月9日 12月14日 生活･経済講座　2講座 10月15日、11月30日	公民館教室(21教室) 中央公民館　16教室 東公民館　2教室 西公民館　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月14日、7月12日、8月9日 9月13日、10月11日、11月8日 12月13日 生活･経済講座　2講座 10月29日、2月18日	公民館教室(25教室) 中央公民館　21教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 6月13日、7月11日、8月8日 9月12日、10月10日、11月14日、12月12日 生活･経済講座　2講座 6月23日、10月28日	公民館教室(27教室) 中央公民館　23教室 東公民館　3教室 西公民館　1教室 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活･経済講座　3講座	公民館教室(27教室) 夏季教室　2教室 冬季教室　3教室 生涯学習講座(9講座) 文学講座　7講座 生活･経済講座　2講座

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
満足度	R1年度	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	78.5%	100.0%	83.4%	100.0%	90.0%	100.0%	
	R2年度	100.0%											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	△	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
美術協会に対する支援 【再掲】 担当課 生涯学習課	美術･芸術文化の向上をはかるため、美術創作活動を通じて、郷土の美術振興に寄与する美術協会に対し支援を行う。	美術協会展に対する支援を行った。 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行った。 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行った。 □ 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行う。 補助金交付　41千円	美術協会展に対する支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

23・文化・芸術の振興

2･文化･芸術活動の支援

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
文化振興活動の育成支援 担当課 都市創生課	文化芸術の創造・普及等の文化活動を行うために新たに設立された団体の活動支援を行う。	文化芸術の創造・普及等の文化活動を行うため、育成型事業を実施した。	文化芸術の創造・普及等の文化活動を行うため、育成型事業を実施した。	文化芸術の創造・普及等の文化活動を行うため、育成型事業を実施した。	文化芸術の創造・普及等の文化活動を行うため、育成型事業を実施する。	文化芸術の創造・普及等の文化活動を行うため、育成型事業を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	支援の継続	支援の継続	支援の継続	支援の継続	支援の継続	支援の継続	支援の継続	支援の継続	支援の継続	支援の継続	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
文化・芸術活動の情報提供の充実 担当課 都市創生課	ホームページや広報紙により、いかるがホールで開催するイベントや施設案内などの情報を提供する。	文化振興財団が機関誌（年1回）と「ステージアラカルト」（月1回）を発行 文化振興財団HPからの情報発信 町facebook、観光協会公式Instagramからのイベント情報の発信	文化振興財団が機関誌（年1回）と「ステージアラカルト」（月1回）を発行 文化振興財団HPからの情報発信 町facebook、観光協会公式Instagramからのイベント情報の発信	文化振興財団が機関誌（年1回）と「ステージアラカルト」（月1回）を発行 文化振興財団HPからの情報発信 町facebook、LINE、観光協会公式Instagram、いかるがホール公式Instagramからのイベント情報の発信 新たにいかるがホール公式Instagramのアカウント開設、ホームページの改修を行った。	文化振興財団が機関誌（年1回）と「ステージアラカルト」（月1回）を発行 文化振興財団HPからの情報発信 町facebook、LINE、観光協会公式Instagram、いかるがホール公式Instagramからのイベント情報の発信	文化振興財団が機関誌（年1回）と「ステージアラカルト」（月1回）を発行 文化振興財団HPからの情報発信 町facebook、LINE、いかるがホール公式Instagramからのイベント情報の発信

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

1・斑鳩の里にふさわしい景観づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
まちづくりの推進 【再掲】 担当課 都市創生課	開発行為や建築行為に対し、都市計画法、建築基準法、町開発指導要綱等に基づく行政指導を行うことにより、良好な都市環境の形成と秩序あるまちづくりの実現をはかる。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。 また、立地適正化計画の策定に着手する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
景観計画の推進 【再掲】 担当課 都市創生課	景観計画および景観条例の適切な運用により、町全域の景観区域と幹線道路沿道などの重点景観形成区域において良好な景観を形成する。また、農業、商工業、観光との連携をはかるとともに、景観まちづくりに取り組む住民活動を支援し、官民協働による斑鳩の里の景観の保全と創出に努める。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかった。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかる。	・届出に対する相談や指導を行い景観計画の適切な運用をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

1・斑鳩の里にふさわしい景観づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
歴史まちづくり計画の推進 【再掲】 担当課 都市創生課	「文化財行政」と「まちづくり行政」が連携した、歴史まちづくりを実現するため、実施管理計画を着実かつ円滑にすすめる。また、電柱類の景観改善や、歴史的風致形成建造物等の指定を行うなど、歴史・観光まちづくりへの活用をはかる。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・第2期計画作成にむけた説明会の参加した。 ・第2期計画を作成することを決定した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかった。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催した。 ・第2期計画を作成した。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかる。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催する。 ・第2期計画の一部の事業の主体が変更になることから、「計画の軽微な変更」の手続きを行う。	・政策企画調整幹事会議および政策企画調整員会議を開催し、進捗管理および実施管理計画の推進をはかる。 ・斑鳩町歴史まちづくり推進協議会を開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
遊休農地の解消 【再掲】 担当課 建設農林課	斑鳩らしい景観の要素として農地の保全をはかるため、遊休農地解消に努める。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努めた。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努めた。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努めた。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努めた。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努めた。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努めた。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努める。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努める。また各地域での地域計画の策定にむけ、地域での意向把握や目標地図の作成をすすめる。	農業委員会において、遊休農地の解消策の一環として遊休農地の利用状況調査および利用意向調査を実施し、遊休農地の実態把握に努める。 また、調査結果を元に、農地耕作者に対し適正管理の指導を行いながら遊休農地の解消に努める。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
遊休農地面積	R1年度	11ha	640a	10ha	12.3ha	10ha	12.7ha	10ha	17.4ha	10ha	17.1ha	10ha	
	R2年度	11.1ha											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

1・斑鳩の里にふさわしい景観づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
屋外広告物の適正な誘導 担当課 都市創生課	良好な景観の形成や公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物法や奈良県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の掲出に対する許可事務や違反広告物に対する指導・除却事務を実施する。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
電柱類景観改善事業 【★】 担当課 都市創生課	歴史的佇まいが色濃く残る道路（町道202、218号線など）を中心にそれぞれの路線に応じた工法を検討し、無電柱化等電柱類の景観改善を行う。	無電柱化整備にむけ、奈良県無電柱化地方部会等に出席し、電柱事業者との協議、情報収集を行った。	無電柱化整備にむけ、奈良県無電柱化地方部会等に出席し、電柱事業者との協議、情報収集を行った。	無電柱化整備にむけ、奈良県無電柱化地方部会等に出席し、電柱事業者との協議、情報収集を行った。	無電柱化整備にむけ、奈良県無電柱化地方部会等に出席し、電柱事業者との協議、情報収集を行う。	無電柱化整備にむけ、奈良県無電柱化地方部会等に出席し、電柱事業者との協議、情報収集を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	当該路線の整備時期・整備方法等の検討	電線事業者との合意形成 当該路線の整備時期・整備方法等の検討	電線事業者との合意形成 当該路線の整備時期・整備方法等の検討	当該路線の整備時期・整備方法等の検討	電線事業者との合意形成 当該路線の整備時期・整備方法等の検討	当該路線の整備時期・整備方法等の検討	電線事業者との合意形成 当該路線の整備時期・整備方法等の検討	当該路線の整備時期・整備方法等の検討	電線事業者との合意形成 当該路線の整備時期・整備方法等の検討	当該路線の整備時期・整備方法等の検討	電線事業者との合意形成 当該路線の整備時期・整備方法等の検討	
	R2年度	当該路線の整備時期・整備方法等の検討											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	△	継続	△	継続	△	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

1・斑鳩の里にふさわしい景観づくり

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
景観形成作物の普及 担当課 都市創生課	自然、田園、歴史の景観が一体となった地域において、訪れる人だけでなく、住む人にも潤いと安らぎが感じられ、また、休耕地の有効な活用をはかることを目的に、景観形成作物の栽培を実施する。	栽培面積（コスモス） 47,250㎡ 【内訳】 岡本地区 24,230㎡ 三井地区 6,386㎡ 法隆寺東地区 2,272㎡ 東里地区 5,154㎡ 西里地区 9,208㎡ 栽培面積（レンゲ） 29,178㎡ （岡本地区　他4地区）	栽培面積（コスモス） 栽培地の団地化を目的とし、栽培エリアを岡本地区のみに集約した。 26,442㎡ 栽培面積（レンゲ） 25,589㎡ （東里、幸前、西里、三井地区で栽培を実施した。）	栽培面積（コスモス） 30,213㎡ 栽培面積（レンゲ） 33,702㎡ （東里、幸前、西里、三井、岡本の5地区）	栽培面積（コスモス） 30,999㎡ 栽培面積（レンゲ） 33,285㎡ （東里、幸前、西里、三井、岡本の5地区）	栽培面積（コスモス） 31,000㎡ 栽培面積（レンゲ） 40,000㎡ （東里、幸前、西里、三井、岡本の5地区）

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	栽培地の団地化	コスモス栽培地の団地化の検討、周知	コスモス栽培地の団地化の検討、周知	コスモス栽培地の団地化の実施	コスモス栽培地の団地化の実施	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	コスモス栽培地の団地化の実施と、レンゲの栽培地拡大	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				◎	継続	◎	継続	○	継続	○	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

2･自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
まちづくりの推進 【再掲】 担当課 都市創生課	開発行為や建築行為に対し、都市計画法、建築基準法、町開発指導要綱等に基づく行政指導を行うことにより、良好な都市環境の形成と秩序あるまちづくりの実現をはかる。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施した。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。	開発行為や建築行為に対し、都市計画法等関係諸法令に基づく各種申請に対する相談・指導を実施する。 また、立地適正化計画の策定に着手する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
JR法隆寺駅周辺整備の推進 【再掲】 担当課 都市創生課	町の玄関口にふさわしい交通拠点として、駅前広場や周辺アクセス道路の整備など、駅周辺整備の推進をはかるとともに、県とも連携し、まちづくり連携協定に基づく基本構想の策定等をすすめ、財政計画などをふまえた計画的な整備をはかる。	令和3年9月、県とのまちづくり連携協定に基づく「法隆寺及びJR法隆寺駅周辺地区のまちづくりに関する基本協定」を締結し、「まちづくり基本構想」を策定した。	まちづくり基本構想をより具体化した、「まちづくり基本計画」の策定にむけ、県のとりまとめ担当課や事業担当課と協議を行った。	・県とのまちづくり連携協定に基づき、基本構想をより具体的な事業へ落とし込んだ「まちづくり基本計画」の策定へむけ検討をすすめた。 ・奈良県による西和医療センター移設・再整備の候補地として、県担当課との協議を行った。 ・駅南側の都市機能集積およびアクセス道路の整備について、検討をすすめた。	・駅南側の都市機能集積およびアクセス道路の整備について、検討をすすめ、駅南側地区の基本計画を策定する。 ・県とのまちづくり連携協定に基づき、基本構想をより具体的な事業へ落とし込んだ「まちづくり基本計画」の策定へむけ検討をすすめる。 ・奈良県による西和医療センター移設・再整備について、県担当課および県立病院機構との協議を行う。	・県とのまちづくり連携協定に基づき、基本構想をより具体的な事業へ落とし込んだ「まちづくり基本計画」の策定へ向け、計画（案）に基づき、県との調整を行い、計画策定を行う。 ・奈良県による西和医療センター移設・再整備について、県担当課および県立病院機構との協議を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	まちづくり連携協定における基本構想および基本計画の策定	法隆寺駅周辺の整備方針の検討およびまちづくり連携協定に基づく基本構想の策定	法隆寺駅周辺の整備方針の検討およびまちづくり連携協定に基づく基本構想の策定	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	基本計画策定に向けた関係各所との協議	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	基本計画策定に向けた関係各所との協議	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	まちづくり連携協定に基づく基本計画（案）の策定	まちづくり連携協定に基づく基本計画の策定	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	×	継続	×	継続	△	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

2・自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
住民の環境保全活動への支援 【再掲】 担当課 環境対策課	環境保全分野で活動するNPO・ボランティアの活動を支援する。また、自然を回復する取組みについても支援を行うとともに、衛生害虫の駆除に対する支援を行う。	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・親子環境教室（ソーラーランタン教室） ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩の開催 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：29件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ斑鳩2022の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：28件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援した。 （主な活動内容） ・ソーラーランタンづくり教室 ・SDGs・地球温暖化対策ポスター募集 ・エコフェスタ2023斑鳩の開催 ・幼稚園や小学校での環境教室 ・ゼロ・ウェイスト啓発活動 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援した。 補助件数：30件	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。 補助件数：14件 （9月末時点）	地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。 また、スズメバチ被害防止対策補助金交付要綱に基づき、営巣駆除を支援する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	1団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
生き生きプラザ斑鳩ガーデニングボランティア活動の推進 【再掲】 担当課 健康対策課	ガーデニングボランティアの活動を通して、生き生きプラザ斑鳩の低木の剪定、草引き、草花の補植など植栽管理を行う。	ガーデニングボランティアによる低木の剪定、草引、草花の補植等、植栽管理を行った。 また、開館時より当館のガーデニングをコーディネイトしていた事務所の閉鎖にともない、コーディネーターが不在となり、ボランティア養成を行うことができないため、廃止とした。				

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
ボランティア登録数（累計）	R1年度	31人	35人	35人	31人								
	R2年度	31人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	廃止								

24・風景・景観・自然環境の保全

2･自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
広域的な水質改善活動の推進 【再掲】 担当課 環境対策課	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動等を実施する。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進した。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進した。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進した。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進する。	大和川水環境協議会、竜田川流域生活排水対策推進会議および、大和川重点対策支川部会に参加し、各種啓発活動、廃食用油の回収、河川美化活動を推進する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
河川の水質浄化 【再掲】 担当課 環境対策課	町内河川の水質検査等を継続して実施することにより、河川の水質浄化に努める。	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施した。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.97 富雄川　5.91 竜田川　4.07	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施した。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.29 富雄川　3.70 竜田川　3.08	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施した。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.56 富雄川　4.17 竜田川　3.33	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施する。 河川の水質状況 平均BOD 大和川　3.70 富雄川　4.08 竜田川　2.97 （9月末時点）	町内河川の水質の維持・向上をはかるため、水質検査を実施する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
大和川水系のBOD （生物化学的酸素要求量）	R1年度	大和川　3.79 富雄川　2.39 竜田川　2.88	BOD　5以下	BOD　5以下	大和川　3.97 富雄川　5.91 竜田川　4.07	BOD　5以下	大和川　3.29 富雄川　3.70 竜田川　3.08	BOD　5以下	大和川　3.56 富雄川　4.17 竜田川　3.33	BOD　5以下	大和川　3.70 富雄川　4.08 竜田川　2.97	BOD　5以下	
	R2年度	大和川　4.53 富雄川　4.08 竜田川　4.51											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				△	継続	◎	継続	◎	継続	○	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

2･自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
野外活動センター利用の支援 【再掲】 担当課 生涯学習課	青少年の健全な育成を目的とする団体が野外活動施設を利用する際に、補助金を交付することにより、野外体験活動の推進をはかる。	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行った。 利用件数　1件 新型コロナウイルス感染症のため申請件数の減	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行った。 利用件数　1件 新型コロナウイルス感染症のため申請件数の減	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行った。 利用件数　3件	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行う。 利用件数　2件（9月末時点）	青少年育成団体が野外体験活動を利用するに際し支援を行う。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
利用件数	R1年度	8件	8件／年	8件／年	1件／年	8件／年	1件／年	8件／年	3件／年	8件／年	3件／年	8件／年	
	R2年度	0件											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
マラソン大会の開催 【再掲】 担当課 生涯学習課	住民の健康・体力づくりを推進し、スポーツへの関心を深めるため「いかるがの里・法隆寺マラソン」「斑鳩三塔健康走ろう会」を開催する。	昨年度開催を延期した第50回いかるがの里・法隆寺マラソンを令和4年2月11日に開催する計画であったが、第50回いかるがの里・法隆寺マラソン、第44回斑鳩三塔健康走ろう会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった また、今大会を一区切りとし、新たなマラソン大会の開催を進めていく。	新たなマラソン大会を開催するために、準備期間として、開催を1年見送った。 以下の内容について、検討する期間とした。 ・マラソン大会名称 ・看板作成 ・コース作成 ・警備計画 ・運営委託 ・コース上住民の同意形成 三塔健康走ろう会代替事業として、いかるが溜池ふれあいファミリージョギングを開催した。	新たなマラソン大会として、第1回いかるがの里聖徳太子マラソンを開催した。 スポーツ振興くじ助成事業を活用した。 〇マラソンの部 令和6年2月11日 ハーフ・10kmコース 〇ファンランの部 令和5年10月9日 3km・6kmコース	第2回いかるがの里聖徳太子マラソン「マラソンの部」「ファンランの部」を開催する。 スポーツ振興くじ助成事業を活用する。 〇マラソンの部 令和7年2月9日 ハーフ・10kmコース 〇ファンランの部 令和6年10月14日 3km・6kmコース	第3回いかるがの里 聖徳太子マラソン「マラソンの部」「ファンランの部」を開催する。 スポーツ振興くじ助成事業を活用する。 〇マラソンの部 令和8年2月8日 ハーフ・10kmコース 〇ファンランの部 令和7年10月13日 3km・6kmコース

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
参加人数 ①マラソン ②三塔 （②はR5年度からファンランに変更）	R1年度	①1,450人 ②1,116人	①2,000人／年 ②1,500人／年	①2,000人／年 ②1,500人／年	①－ ②－	①2,000人／年 ②1,500人／年	①－ ②－	①2,000人／年 ②1,500人／年	①1,106人／年 ②284人／年	①2,000人／年 ②1,500人／年	①2,000人／年 ②456人／年	①2,000人 ②500人／年	
	R2年度	①0人 ②0人											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				－	継続	－	継続	△	継続	〇	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

2・自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
ウォークイベントの開催 【再掲】 【★】 担当課 都市創生課	聖徳太子ゆかりのまちを巡るウォークイベントを実施し、滞在・宿泊型の観光形態につなげ、経済効果への波及をはかるとともに、地域住民による、地域の魅力の再発見および地域の活性化をめざす。また、斑鳩町観光協会や観光ボランティアの会と連携し、町内外のコースを設定したウォークイベントを開催する。	・聖徳太子の里ツーデーウォークは、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携した「聖徳太子1400年御遠忌」ウォークを開催した。 ・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。 ・教育委員会、観光協会などにより、「世界遺産登録30周年記念プレイベント」講演会＆ウォークを開催した。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催した。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめた。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催した。	・観光協会などと、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめる。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催する。	指定管理者等と、滞在時間の長期化と経済波及効果が達成できるプランの協議・調整をすすめる。 ・斑鳩の里観光ボランティアの会を含む近隣団体と連携したウォークを開催する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
延べ参加者数	R1年度	1,474人	2,000人／年	2,000人／年	25人／年	2,000人／年	170人／年	2,000人／年	118人／年	2,000人／年	200人／年	2,000人／年	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				×	継続	×	継続	×	継続	×	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
環境保全向上活動等への支援 【再掲】 担当課 建設農林課	農地や農業用施設などを農家と非農家が一体となり地域の資源として維持管理を行い、施設等の長寿命化の強化をはかる。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区と新たに加入する新家地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかった。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかる。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかった。 また、新たに目安地区についても実施した。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区・目安地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかる。	稲葉車瀬地区・岡本地区・高安地区・いかるが溜池地区・新家地区・目安地区において、国・県・町の補助を受けながら、地域で自らの資源を維持管理し、施設の長寿命化をはかる。 なお、三井地区・幸前地区において、いかるが溜池地区から独立し、活動を開始する。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
活動団体数（累計）	R1年度	4団体	6団体	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体	6団体	6団体	6団体	6団体	
	R2年度	4団体											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

2・自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
屋外広告物の適正な誘導 【再掲】 担当課 都市創生課	良好な景観の形成や公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物法や奈良県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の掲出に対する許可事務や違反広告物に対する指導・除却事務を実施する。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。	・窓口における相談・指導および申請に基づく許可事務を実施。 ・違反広告物に対する簡易除却・是正指導を実施。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
公共施設等の緑化の推進 担当課 都市創生課	公共施設の維持管理を部分的にボランティア団体に担っていただくなど、緑化に関するコストの縮減を視野に入れながら緑化を推進する。また、既存の公共施設についてもさらなる緑化をすすめる。	・いかるがパークウェイボランティアサポートプログラムによる植栽帯の清掃、除草作業を支援した。 ・JR法隆寺駅前広場の清掃活動を支援した。	・いかるがパークウェイボランティアサポートプログラムによる植栽帯の清掃、除草作業を支援した。	・いかるがパークウェイボランティアサポートプログラムによる植栽帯の清掃、除草作業を支援した。	・いかるがパークウェイボランティアサポートプログラムによる植栽帯の清掃、除草作業を支援する。 ・公共施設にて当該事業に関連のある改修等がある場合は協議、調整をはかる。	・いかるがパークウェイボランティアサポートプログラムによる植栽帯の清掃、除草作業を支援する。 ・公共施設にて当該事業に関連のある改修等がある場合は協議、調整をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	公共施設での緑化活動	公共施設の緑化	公共施設の緑化	公共施設での緑化活動	公共施設の緑化	公共施設の緑化	公共施設の緑化	公共施設の緑化	公共施設の緑化	公共施設の緑化	公共施設の緑化	
	R2年度	公共施設での緑化活動											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	△	継続	△	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

2･自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
里山の整備 担当課 建設農林課	山林の機能を保全するため、森林環境保全基金を活用し、里山整備団体への補助を行い、里山の整備を実施する。	山林を保全するため、整備団体、整備地所有者の協力を得て、「森林環境譲与税」を財源とした「森林環境保全基金」を活用し、里山整備をすすめた。	山林を保全するため、整備団体、整備地所有者の協力を得て、「森林環境譲与税」を財源とした「森林環境保全基金」を活用し、里山整備をすすめた。	山林を保全するため、整備団体、整備地所有者の協力を得て、「森林環境譲与税」を財源とした「森林環境保全基金」を活用し、里山整備をすすめた。	山林を保全するため、整備団体、整備地所有者の協力を得て、「森林環境譲与税」を財源とした「森林環境保全基金」を活用し、里山整備をすすめる。	山林を保全するため、整備団体、整備地所有者の協力を得て、「森林環境譲与税」を財源とした「森林環境保全基金」を活用し、里山整備をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
整備面積（累計）	R1年度	5.35ha	10.75ha （単年1.0ha）	6.75ha	6.65ha	7.75ha	7.45ha	8.75ha	8.25ha	9.75ha	9.15ha	10.75ha	
	R2年度	5.75ha											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				○	継続	○	継続	○	継続	○	継続		

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
事業用地を活用した公園等の検討 【★】 担当課 都市創生課	洪水時など、水を一時的に貯留し、河川の水位の上昇を抑えるための遊水池等の施設において、平時の表面を公園や緑地等に有効活用する方法について検討をすすめる。			法隆寺北雨水貯留施設や目安遊水池の表面利用にむけた公園や緑地としての、費用対効果の高い整備手法について、建設農林課、都市創生課、生涯学習課の担当者にて、調査研究をすすめた。	法隆寺北雨水貯留施設や目安遊水池の表面利用にむけた公園や緑地としての、費用対効果の高い整備手法について、検討をすすめる。	法隆寺北雨水貯留施設や目安遊水池の表面利用にむけた公園や緑地としての、費用対効果の高い整備手法について、検討をすすめる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度		―					―	―	―	―	―	
	R2年度												
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
								―	継続	―	継続		

24・風景・景観・自然環境の保全

2・自然環境の保全と活用

事業名	事業の概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）	令和7年度（計画）
緑化活動組織の育成 担当課 都市創生課	先進的に活動されている団体、自治会などの事例等を研究し、緑化を目的とした活動組織に対する助言や、各活動組織の情報収集や共有を行う等、身近な緑化活動の活性化をはかる。	・他市町村の事例収集を行った。 ・身近な緑化活動を行う団体や個人に対し、他団体の事例をふまえた助言等を行った。	・他市町村の事例収集を行った。 ・身近な緑化活動を行う団体や個人に対し、他団体の事例をふまえた助言等を行った。	・他市町村の事例収集を行う。 ・身近な緑化活動を行う団体や個人に対し、他団体の事例をふまえた助言等を行った。 ・新たな緑化活動組織の募集を行った。 ・協働のまちづくり活動提案事業の募集テーマとして挙げ、賛同者や団体を募集した。	・他市町村の事例収集を行う。 ・身近な緑化活動を行う団体や個人に対し、他団体の事例をふまえた助言等を行う。 ・新たな緑化活動組織の拡充をはかる。 ・協働のまちづくり活動団体に対し、活動場所の確保や活動の周知などの支援を行う。	・他市町村の事例収集を行う。 ・身近な緑化活動を行う団体や個人に対し、他団体の事例をふまえた助言等を行う。 ・新たな緑化活動組織の拡充をはかる。

指 標	実績値		前期目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	見込値
―	R1年度	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	R2年度	―											
				進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応	進捗状況	次年度対応
				―	継続	―	継続	―	継続	―	継続		

Ⅲ　重点施策 - 第２期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略 -

（１）実施計画（重点施策）の施策体系

「第２期斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、本町が人口減少社会の中にあってもくらしやすく、持続可能なまちであり続けるための具体的な戦略を示しています。

第５次斑鳩町総合計画では、第２期総合戦略を総合計画の重点施策とし、同計画に掲げるまちづくりにかかる 24 の基本施策から、人口減少対策・地域活性化に資する施策を抽出、横断連携的な視点で３つの柱にとりまとめるとともに、推進にあたっては、２つの横断的視点を取り入れ、これまで以上に積極的に取り組むほか、効率的・効果的な進捗管理に努めます。

〈柱〉	〈重点施策〉	〈施策〉	〈横断的視点〉	
Ⅰ 元気な“斑鳩っ子”を増やすための支援	1．子育て世代の希望が叶うまち“斑鳩”の実現	（１） 子育て世代が住みやすいまちづくり	新しい時代の流れをまちづくりの力にする	多様な主体と連携したまちづくりを推進する
		（２） 子どもを産みやすいまちづくり		
		（３） 子どもを育てやすいまちづくり		
	2．教育の充実と郷土愛の育成	（１） 家庭・地域・学校の連携による学びの場づくり		
		（２） 斑鳩を身近に感じる郷土愛の育成		
		（３） 特別な配慮を必要とする子どもたちへの支援		
Ⅱ “世界遺産 法隆寺”を核とした にぎわいと活力の創出	1．交流人口拡大による観光の振興	（１） じっくりと斑鳩を楽しむ観光プログラムの開発・充実		
		（２） 斑鳩観光スポットの整備と受入体制の充実		
		（３） 効果的な観光情報の発信		
		（４） 2021年聖徳太子1400年御遠忌を契機とした観光振興		
	2．斑鳩の特性を生かした産業の活性化と創業支援	（１） 地域資源、農産物等を活用した新商品の開発・ブランド化		
		（２） 地域内経済の活性化		
		（３） 新規創業やリーダー・後継者の育成支援		
Ⅲ 選ばれ続ける“斑鳩の里”づくり	1．転入・定住の促進	（１） 「斑鳩ライフ」情報の発信強化		
		（２） 転入の促進		
		（３） 定住の促進		
	2．生涯にわたって健康で活躍できるまちづくり	（１） 疾病予防対策の充実		
		（２） 健康増進対策の推進		
		（３） 地域包括ケアシステムの構築		
	3．安心してくらせる環境の充実	（１） 移動の安全性・利便性の向上と快適な生活環境の確保		
		（２） 防災・減災対策の強化		
		（３） 防犯対策の充実		

（2）実施計画（重点施策）事業一覧

重点１	元気な“斑鳩っ子”を増やすための支援

重点施策１　子育て世代の希望が叶うまち“斑鳩”の実現

（1）子育て世代が住みやすいまちづくり　【6 事業】

事業名	該当頁
地域子育て支援センターの運営	P.100
子育て支援ネットワークの整備	P.102
ファミリー・サポート・センター事業の実施	P.103
町立図書館蔵書の充実	P.204
子育て女性等就業・起業の支援	P.226
新型コロナウイルス感染症予防接種の実施	P.139

（2）子どもを産みやすいまちづくり　【8 事業】

事業名	該当頁※【　】は再掲
子育て世代包括支援センターの運営	P.84
妊婦健康診査の実施	P.85【P.131】
両親学級の実施	P.88【P.133】
一般不妊・不育治療費の助成	P.89【P.134】
産後ケア事業の実施	P.90【P.136】
産婦健康診査受診費用の助成	P.91
マタニティ・子育てタクシー利用者への助成事業の実施	P.92
産前産後ヘルパー事業の実施	P.94

（3）子どもを育てやすいまちづくり　【24 事業】

事業名	該当頁※【　】は再掲
子ども家庭総合支援拠点の設置	P.82【P.124】
子ども家庭総合支援拠点の運営	P.83【P.124】
新生児訪問の実施	P.86【P.132】
乳幼児健診の実施	P.86【P.132】
乳幼児相談の実施	P.87【P.133】
乳幼児教室の実施	P.87
未熟児訪問の実施	P.88【P.134】
育てにくさを感じる親に寄り添う支援の充実	P.89【P.135】
新生児聴覚検査の実施	P.90【P.135】
保育体制の充実	P.95
病児保育事業の実施	P.95
学校給食における自校方式の継続	P.118

保育所保育料の軽減	P.128
幼児教育・保育の無償化	P.128
多子世帯に対する学校給食費の軽減	P.129
任意予防接種費用の助成	P.144
ペアレントトレーニングの実施	P.186
子ども医療費の助成	P.191
ひとり親家庭等医療費の助成	P.192
未熟児養育医療費の給付	P.194
男女共同参画の啓発	P.223【P.225】
食育の推進	P.266
こども子育てセンターの設置	P.83【P.125】
こども子育てセンターの運営	P.84【P.125】

重点施策２　教育の充実と郷土愛の育成

（１）家庭・地域・学校の連携による学びの場づくり　【11 事業】

事業名	該当頁※【　】は再掲
こどもエコクラブに対する支援	P.45
ブックスタートの実施	P.93
国際化教育の推進	P.106【P.233】
小・中学校情報教育の推進	P.107【P.110】
学校における住民力の活用	P.110
学校支援地域本部事業の展開	P.111
青少年育成のホリディ学園の開催	P.121
放課後子ども教室の運営	P.121
住民参加による文化財の保存・活用	P.275【P.277】
学校運営協議会の実施	P.109
不登校対策の充実	P.116

（２）斑鳩を身近に感じる郷土愛の育成　【5 事業】

事業名	該当頁
郷土愛を育む教育の充実	P.107
日本伝統文化の学習	P.108
特別活動の推進（学校行事・部活動）	P.108
聖徳太子歴史資料室の充実	P.279
考古学にふれあう機会づくりの推進	P.281

（3）特別な配慮を必要とする子どもたちへの支援　【5 事業】

事業名	該当頁※【　】は再掲
学習支援事業（スクールサポート事業）	P.111【P.127】
通級指導教室の実施	P.115
小・中学校特別支援教育の充実	P.117【P.184】
少人数学級編制および少人数指導の推進	P.118
小・中学校要保護・準要保護児童・生徒の就学援助	P.129

重点2　“世界遺産 法隆寺”を核としたにぎわいと活力の創出

重点施策1　交流人口拡大による観光の振興

（1）じっくりと斑鳩を楽しむ観光プログラムの開発・充実　【5 事業】

事業名	該当頁※【　】は再掲
総合的な観光推進体制の戦略的な展開・推進	P.235【P.244】
民間団体主体の観光イベントの開催支援	P.236
体験型観光プログラムの拡充・販売促進	P.240
歴史、文化を生かした体験交流の充実や旅行商品の企画・造成・販売促進	P.241
ウォークイベントの開催	P.246【P.276/ P.297】

（2）斑鳩観光スポットの整備と受入体制の充実　【8 事業】

事業名	該当頁　※【　】は再掲
歴史街道散策ルートの充実	P.237
奈良市・斑鳩町連携による観光誘客	P.238
周辺観光地や友好都市、各種交流都市等との広域観光連携の促進	P.238【P.240】
観光集客拠点の整備支援	P.242
斑鳩ビュースポットの選定	P.242
回遊型まちなか観光の推進	P.243【P.41/ P.239】
史跡中宮寺跡の保存・活用	P.278
電柱類景観改善事業	P.291

（3）効果的な観光情報の発信　【5 事業】

事業名	該当頁
新たな観光パンフレット外国語版の作成	P.237
旅マエ・旅ナカ・旅アトの戦略的プロモーションの実施	P.244
外国人用ホームページの充実	P.245
新たな観光パンフレットの作成	P.247
先端情報技術を活用した文化財の情報発信	P.279

（4）2021 年聖徳太子 1400 年御遠忌を契機とした観光振興　【3 事業】

事業名	該当頁
宿泊施設の利用促進	P.241
聖徳太子 1400 年御遠忌を契機とした計画的なイベントの企画立案	P.245
民間団体と連携した「木の文化」の情報発信	P.247

重点施策２　斑鳩の特性を生かした産業の活性化と創業支援

（1）地域資源、農産物等を活用した新商品の開発・ブランド化　【3 事業】

事業名	該当頁　※【　】は再掲
斑鳩ブランドの商品開発・販売促進	P.249【P.239】
新たな特産品の商品化	P.262【P.264】
斑鳩の里・農と食の活性化プロジェクトの推進	P.268【P.253】

（2）地域内経済の活性化　【6 事業】

事業名	該当頁
ふるさと納税のお礼の品を活用した地域特産品のＰＲ	P.250
民間事業所の持続可能な経営モデルの構築	P.251
中小企業の創業・成長支援	P.252
共同化・協業化の支援	P.252
事業者の設備導入等の支援	P.257
農産物直売所の推進	P.265

（3）新規創業やリーダー・後継者の育成支援　【6 事業】

事業名	該当頁
創業支援センターの運営	P.255
空き店舗の活用	P.256
新しい事業主への育成支援	P.256
農地流動化の推進	P.261
農作業受委託システムの推進	P.261
若手後継者の育成	P.263

重点３　選ばれ続ける“斑鳩の里”づくり

重点施策１　転入・定住の促進

（１）「斑鳩ライフ」情報の発信強化　【2 事業】

事業名	該当頁
タウンプロモーションホームページの充実	P.81
子育て支援サービスの効果的な発信	P.103

（２）転入の促進　【1 事業】

事業名	該当頁
空家の活用	P.39

（３）定住の促進　【2 事業】

事業名	該当頁　※【　】は再掲
地域集会所施設整備等の支援	P.216
参加と協働のまちづくりの推進	P.221【P.219】

重点施策２　生涯にわたって健康で活躍できるまちづくり

（１）疾病予防対策の充実　【4 事業】

事業名	該当頁
特定健康診査・特定保健指導の実施	P.140
各種がん検診の実施	P.142
脳ドック健診受診費用の助成	P.143
歯周疾患検診の実施	P.143

（２）健康増進対策の推進　【4 事業】

事業名	該当頁　※【　】は再掲
健康増進計画の推進	P.136【P.187】
生活習慣病予防教室の充実	P.138
自殺対策計画の推進	P.146
骨粗しょう症予防事業	P.145

（3）地域包括ケアシステムの構築　【7 事業】

事業名	該当頁　※【　】は再掲
安心サポートごみ収集事業の充実	P.51
外出が困難な高齢者等への住民票等の宅配サービス	P.160
認知症施策総合推進事業の推進	P.161
介護予防・日常生活支援総合事業の実施	P.163
地域包括ケアシステムの構築	P.165【P.150】
介護関係資格取得費の支援	P.167
人にやさしいごみ収集の実施	P.43

重点施策３　安心してくらせる環境の充実

（1）移動の安全性・利便性の向上と快適な生活環境の確保　【5 事業】

事業名	該当頁　※【　】は再掲
バリアフリー基本構想の推進	P.33
コミュニティバス等による地域公共交通の確保	P.35
エコポカード利活用の推進	P.50
ゼロ・ウェイストの推進	P.42【P.55】
通学路の安全確保に関する取組みの推進	P.101

（2）防災・減災対策の強化　【9 事業】

事業名	該当頁　※【　】は再掲
地域防災計画の見直しおよび各種マニュアルの作成	P.7
被災者支援システムの運用	P.7
防災情報伝達手段の充実	P.8【P.18】
災害用備蓄品の整備	P.9
避難行動要支援者支援計画の推進	P.9
国土強靱化地域計画に基づく取組みの推進	P.12
消防団活動の強化	P.14
自主防災組織等の設立の促進と活動支援	P.16【P.212】
事業用地を活用した公園等の検討	P.298

（3）防犯対策の充実　【3 事業】

事業名	該当頁
地域防犯体制の充実	P.18
防犯灯の整備の実施および支援	P.19
自治会管理防犯カメラの設置に対する支援	P.20